Fate/kaleid liner

プリズマ☆イリヤ 2wei!

ツヴァイ! PRISMA ILLYA 2wei!

5

Fate/
kaleid
liner
PRISMA
ILLYA
2wei!

Kadokawa Comics A

原作：Fate/stay night（TYPE-MOON）
企画協力：TYPE-MOON

漫画
ひろやまひろし
Hiroyama Hiroshi

Ich wer nur ein virtuelles Bild des
Spiegel ollowness nicht.Und, ich habe die Hand ni n
beruhr piegels.dann ist Mein Verstand "unbegr .

ビキッ
!?
なに!?
何の音!?
キキキ…
これはいったい……!?
亀裂が広がって…割れていきます!!
!!
ギリギリギリ
割れるって…何がよ!?
何が割れてるの!?
第23話

第23話☆監視者

Fate/kaleid liner

プリズマ☆イリヤ 2wei!

ツヴァイ! PRISMA ILLYA 2wei!

漫画
ひろやまひろし

原作：Fate/stay night(TYPE-MOON)
企画原案：TYPE-MOON

⑤

Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA zwei!

CONTENTS

もくじ

001　第23話 監視者

025　第24話 地下のその地下にあるモノ

051　第25話 金色の少年

077　第26話 黒色の運命

115　最終話　世界の片隅で君の名を

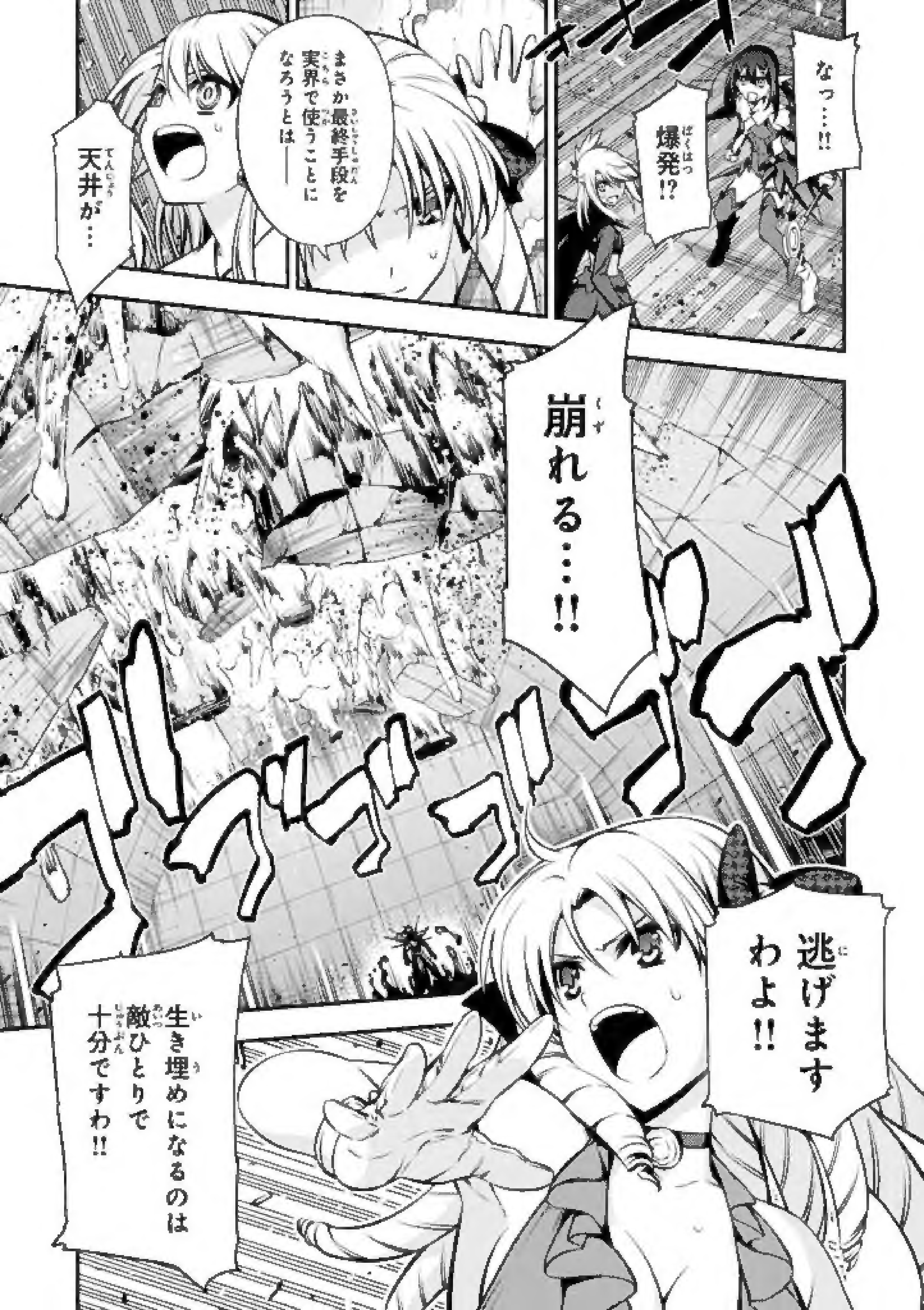
Original story : Fate/stay night(TYPE-MOON)
Original planning : TYPE-MOON
Manga:Hiroyama Hiroshi

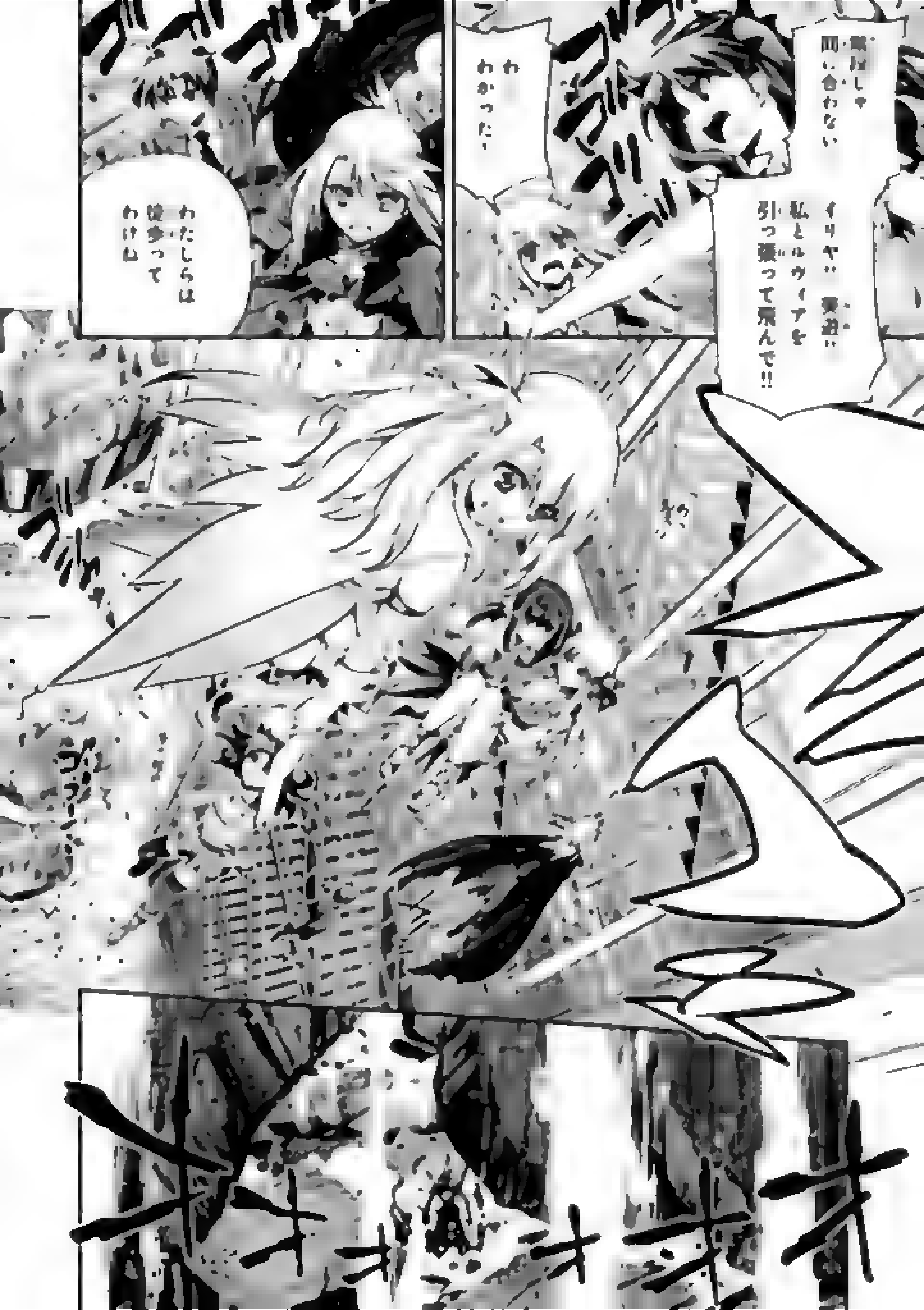
Kadokawa Comics A

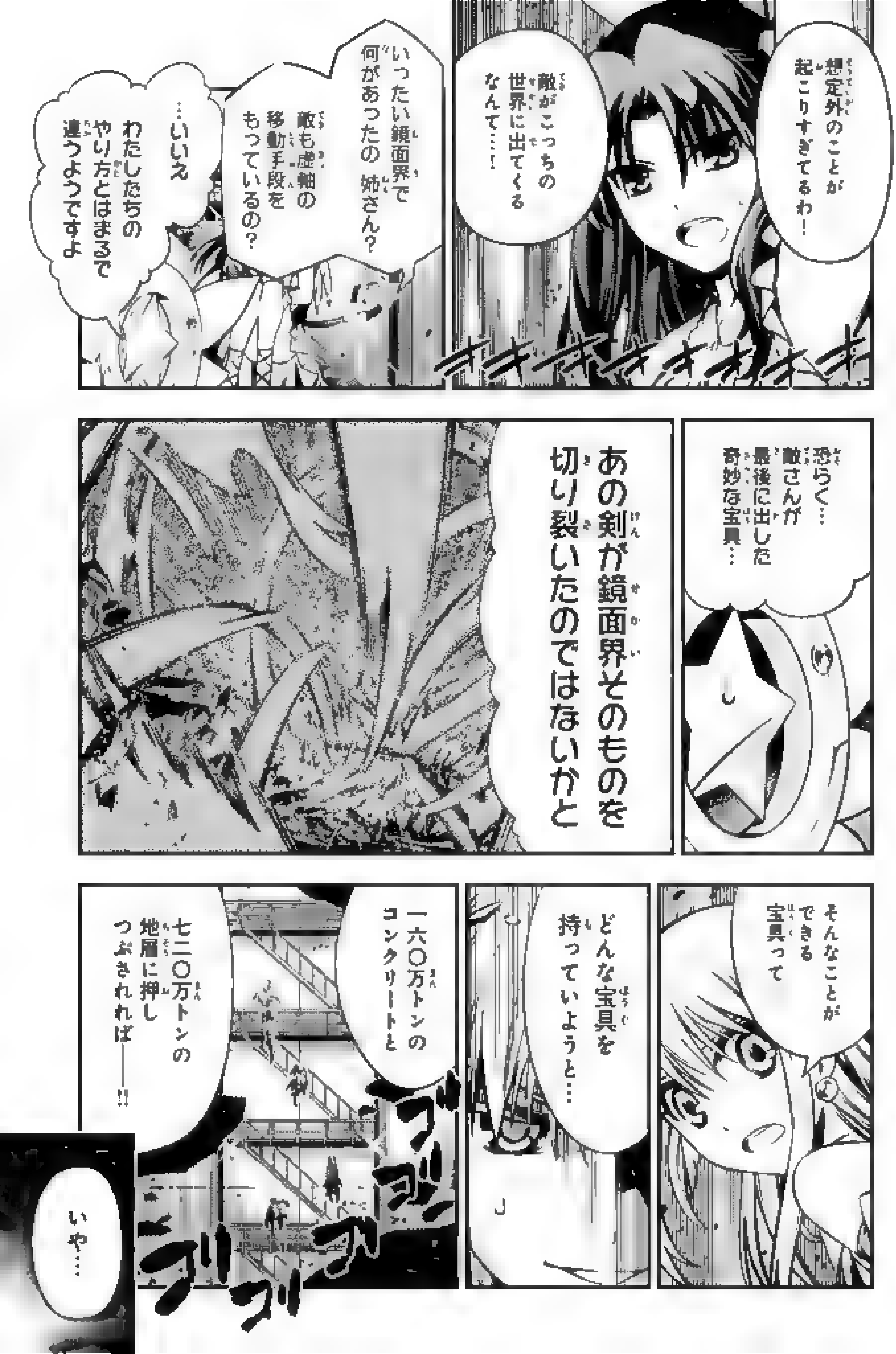
ガ
ギ
ギャァァァ
風が…!?
これって…まさか…ッ!?
こんなことが…あり得るとは…
オォォォォォォォ

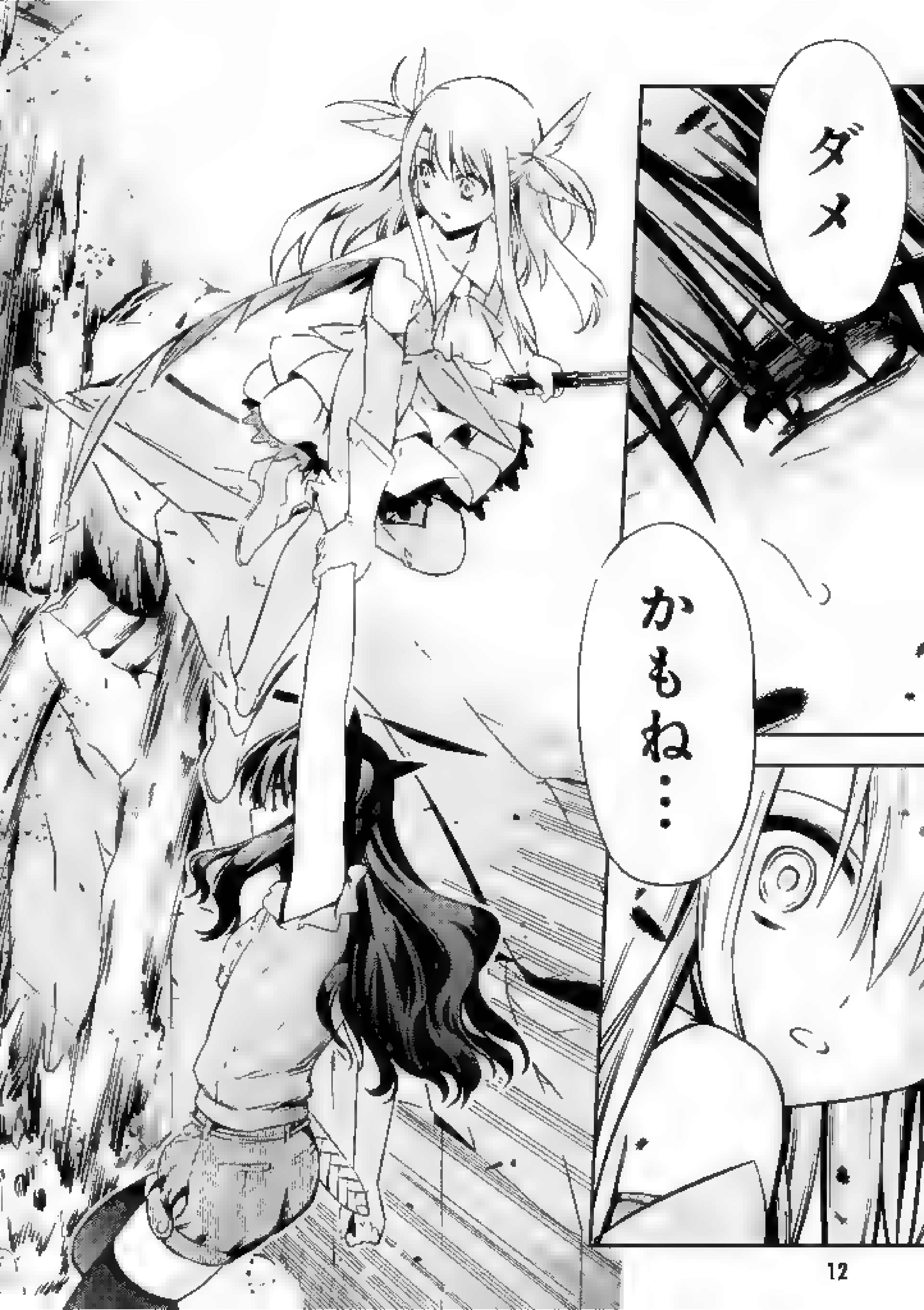
——一歩も
動けなかった
敵が鏡面界を破った
ただそれだけの事実だけど
脳が理解を拒んでいた
想定の外側の事態に遭って
ただひとり
動いたのは——

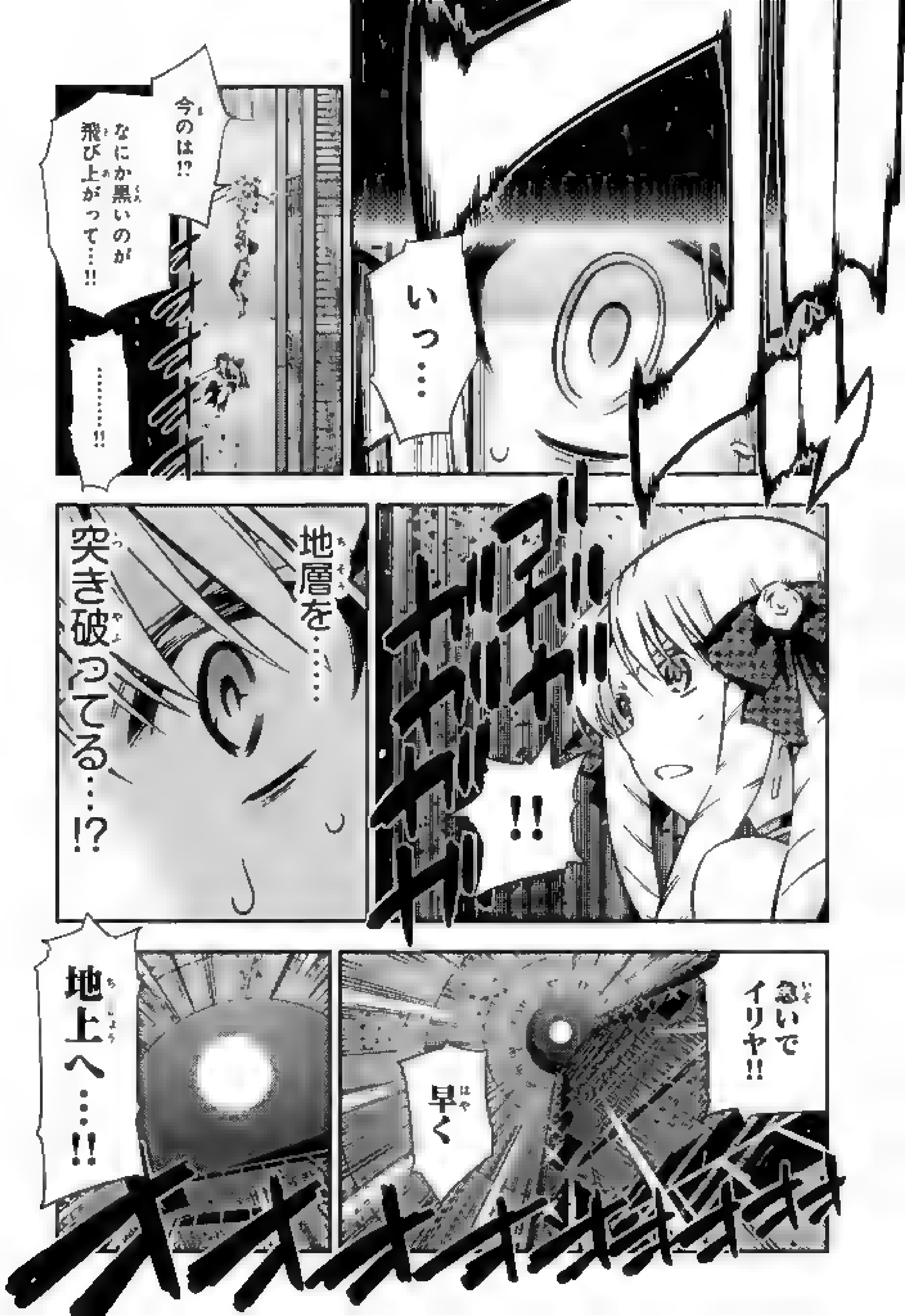
ピタ…
Zeichen（サイン）——
メィッ
キィィィィィ…ン
ドドドドドッ
!!


なっ…!!
爆発!?
まさか最終手段を実界で使うことになろうとは――
天井が…
崩れる…!!
逃げますわよ!!
生き埋めになるのは敵ひとりで十分ですわ!!

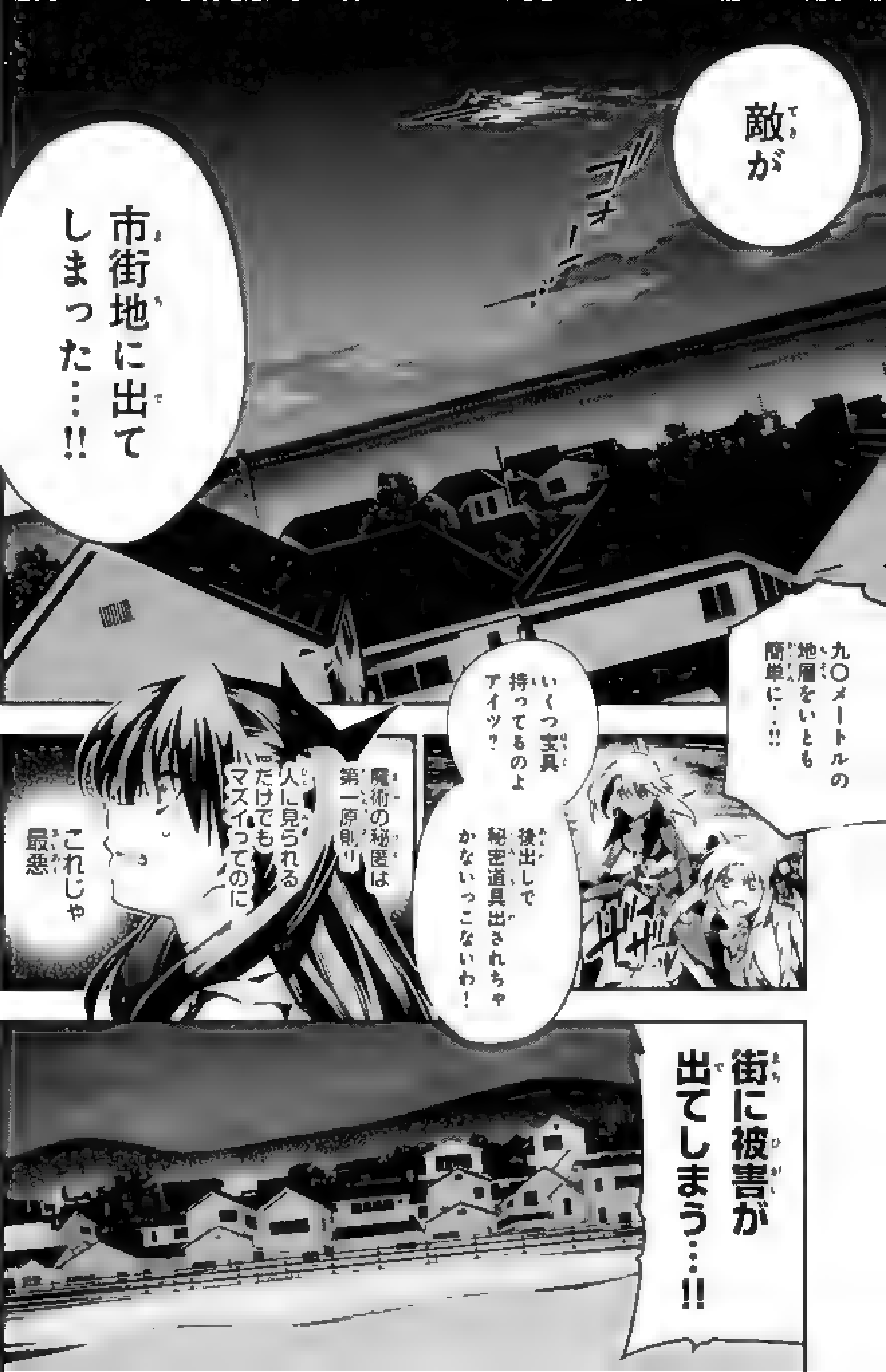

普通じゃ
間に合わない
イリヤ!! 美遊!!
私とルヴィアを
引っ張って飛んで!!
わ
わかった!
わたしらは
徒歩って
わけね

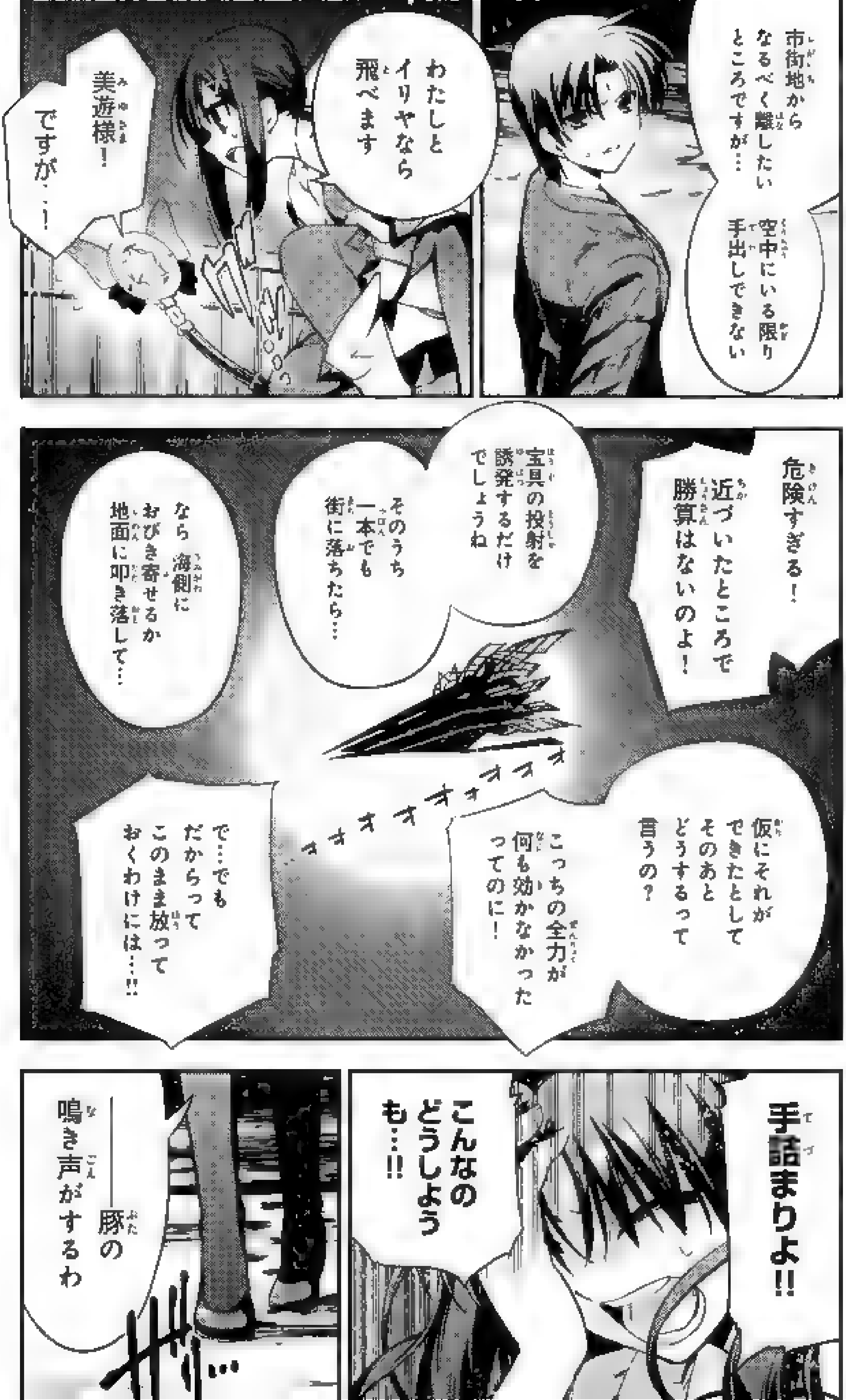

想定外のことが起こりすぎてるわ！
敵がこっちの世界に出てくるなんて…！
オオオオオオオオ
いったい鏡面界で何があったの 姉さん？
敵も虚軸の移動手段をもっているの？
…いいえ
わたしたちのやり方とはまるで違うようですよ
恐らく…敵さんが最後に出した奇妙な宝具…
あの剣が鏡面界そのものを切り裂いたのではないかと
そんなことができる宝具って
どんな宝具を持っていようと…
一六〇万トンのコンクリートと
七二〇万トンの地層に押しつぶされれば――!!
ゴゴゴゴゴゴ
いや…

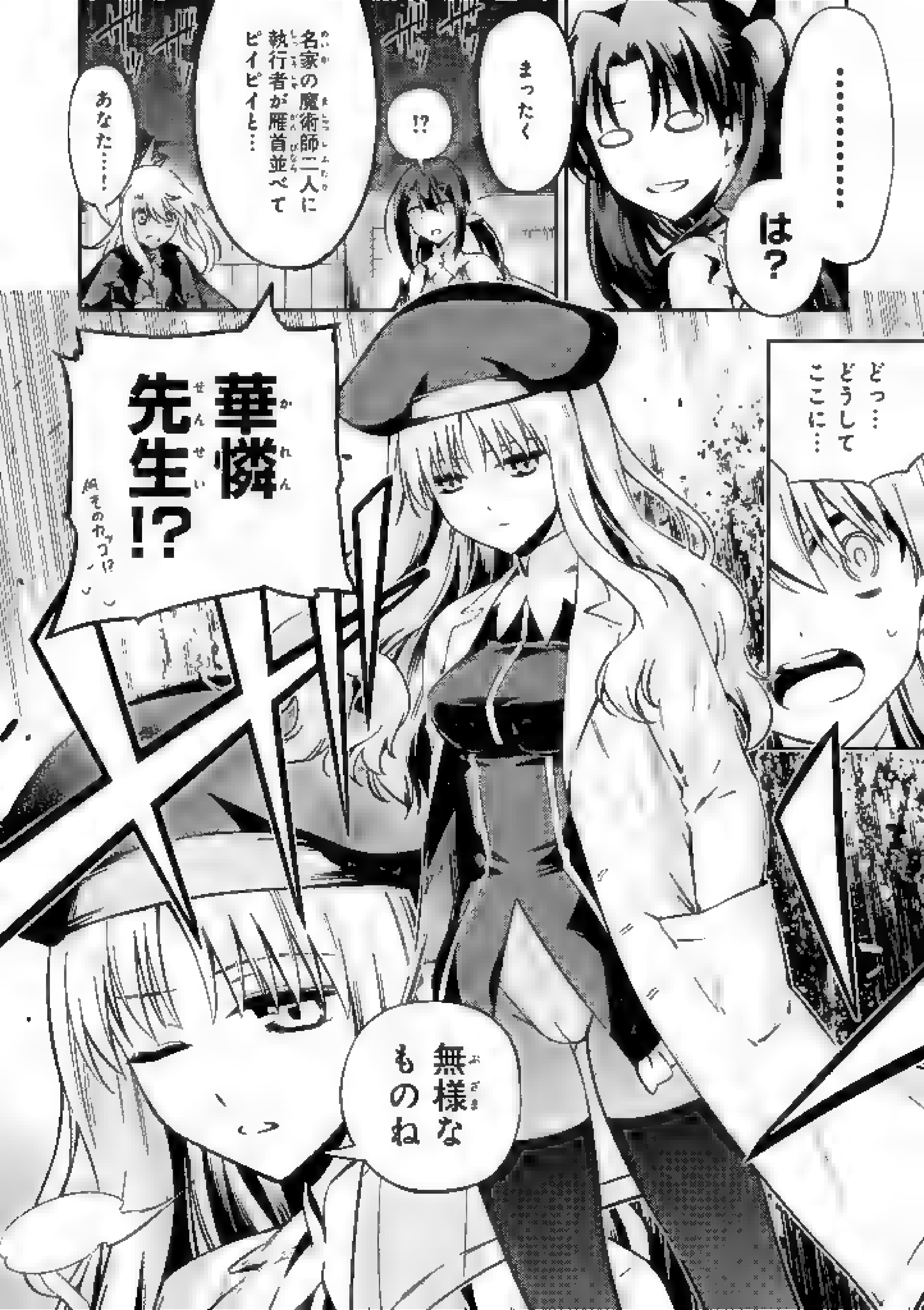

ダメ
かもね・・・

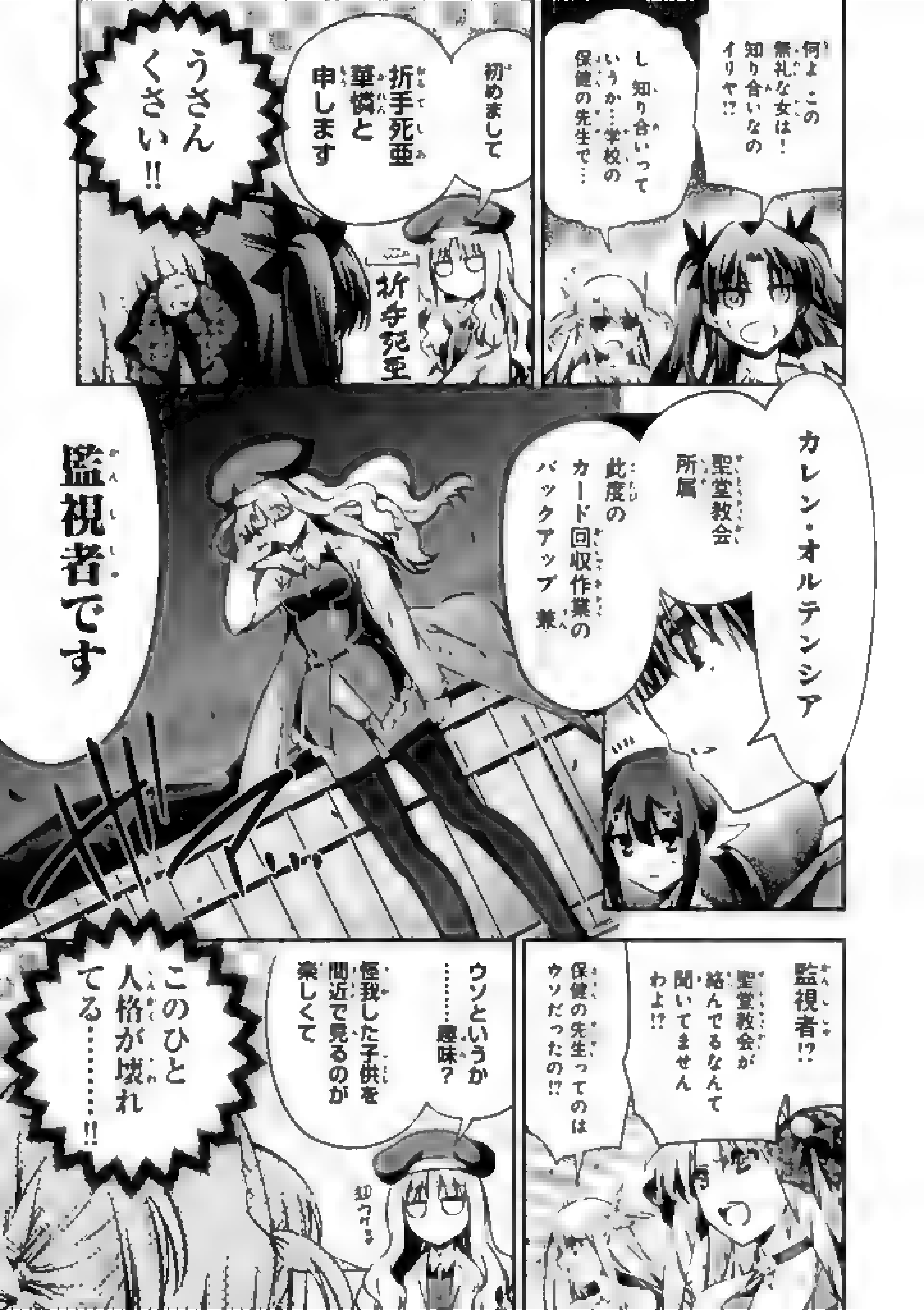

いっ…
今のは!?
なにか黒いのが飛び上がって…!!
……!!
オオオオ
ガガガガガガ
!!
地層を……
突き破ってる…!?
急いでイリヤ!!
早く
地上へ…!!
オオオオオオオオ

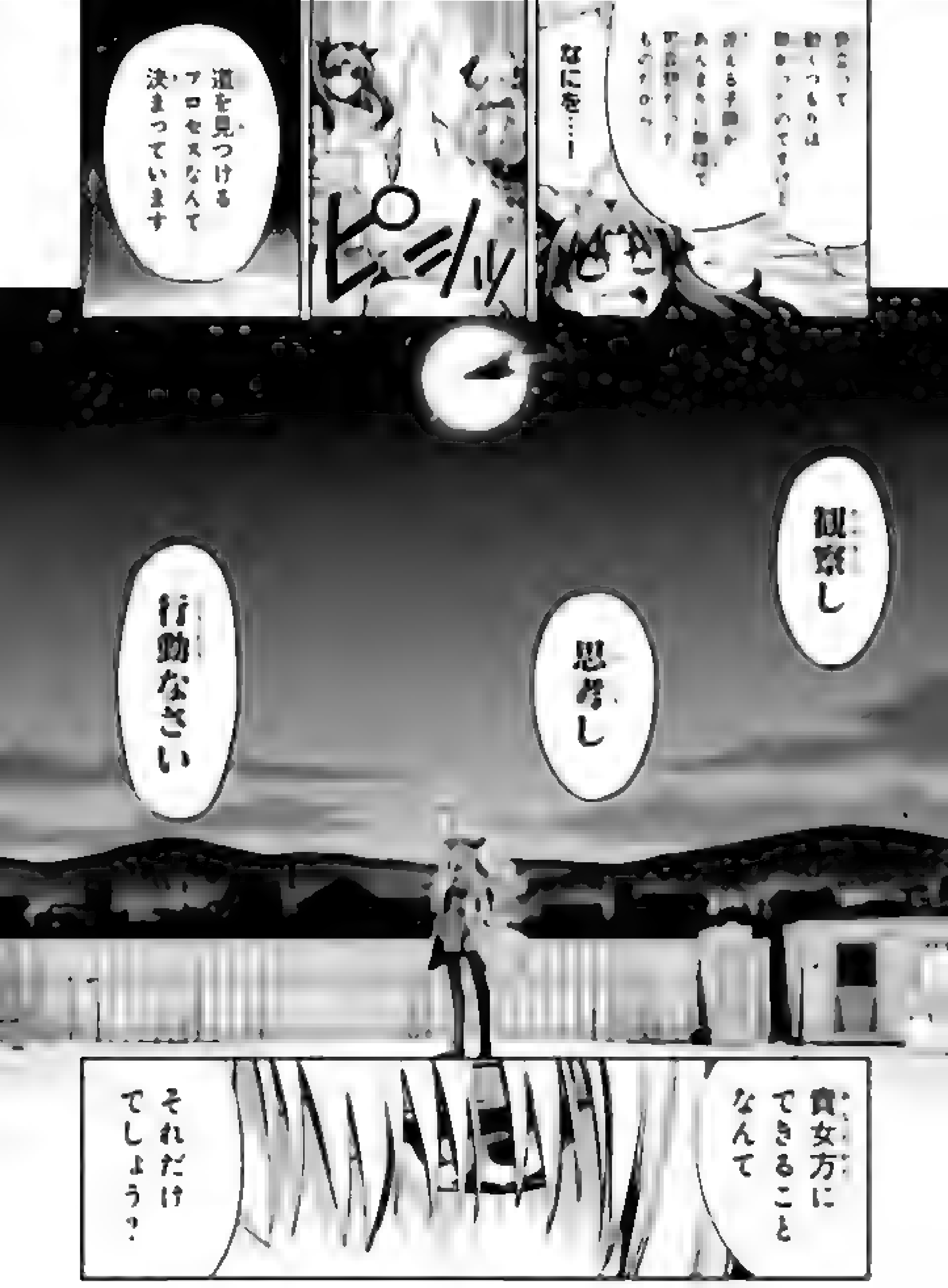
なんてこと…

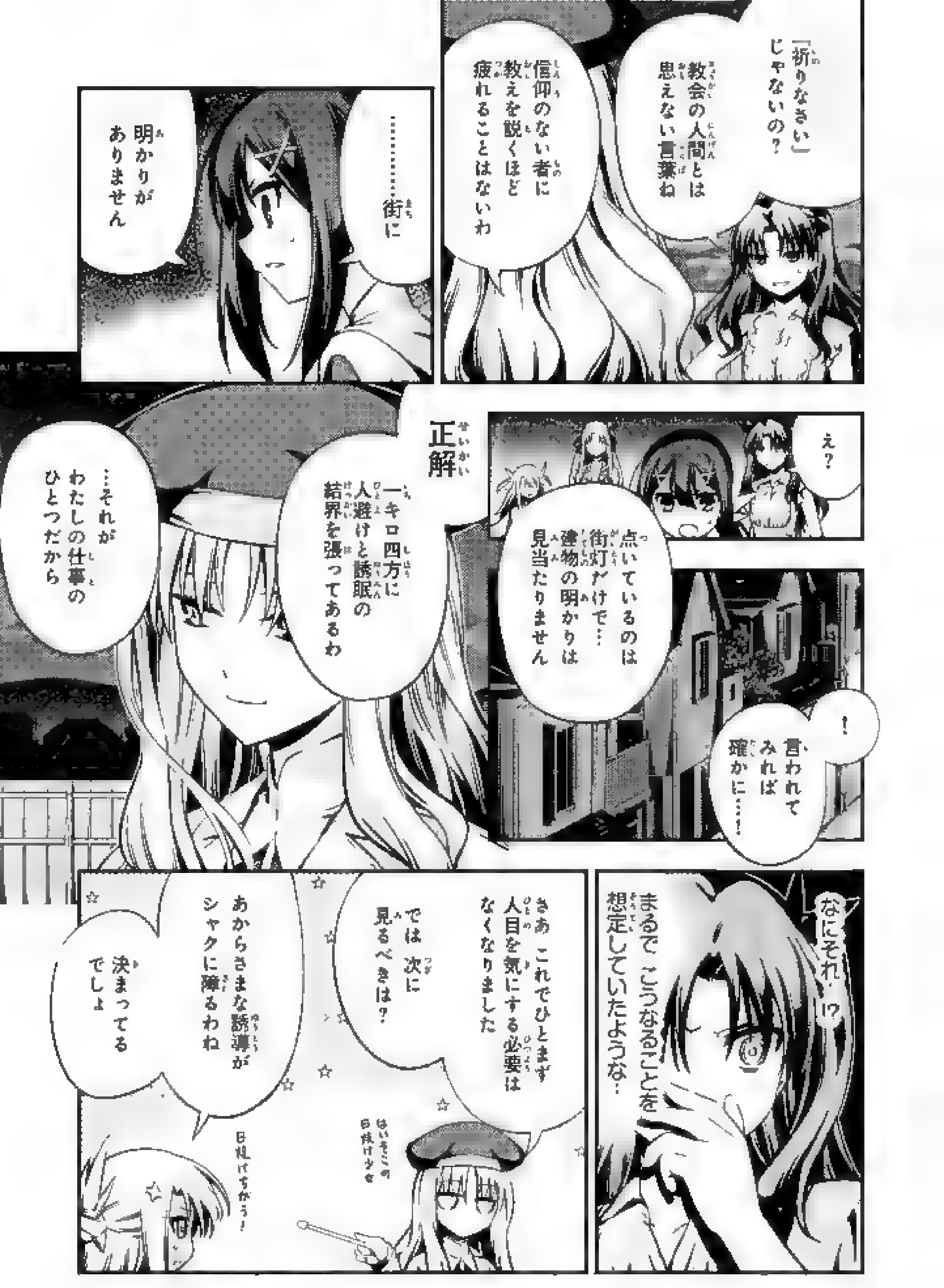

敵が
市街地に出てしまった…!!
九〇メートルの地層をいとも簡単に…!!
いくつ宝具持ってるのよアイツッ
後出しで秘密道具出されちゃかないっこないわ！
魔術の秘匿は第一原則
人に見られるだけでもマズイってのに
これじゃ最悪
街に被害が出てしまう…!!

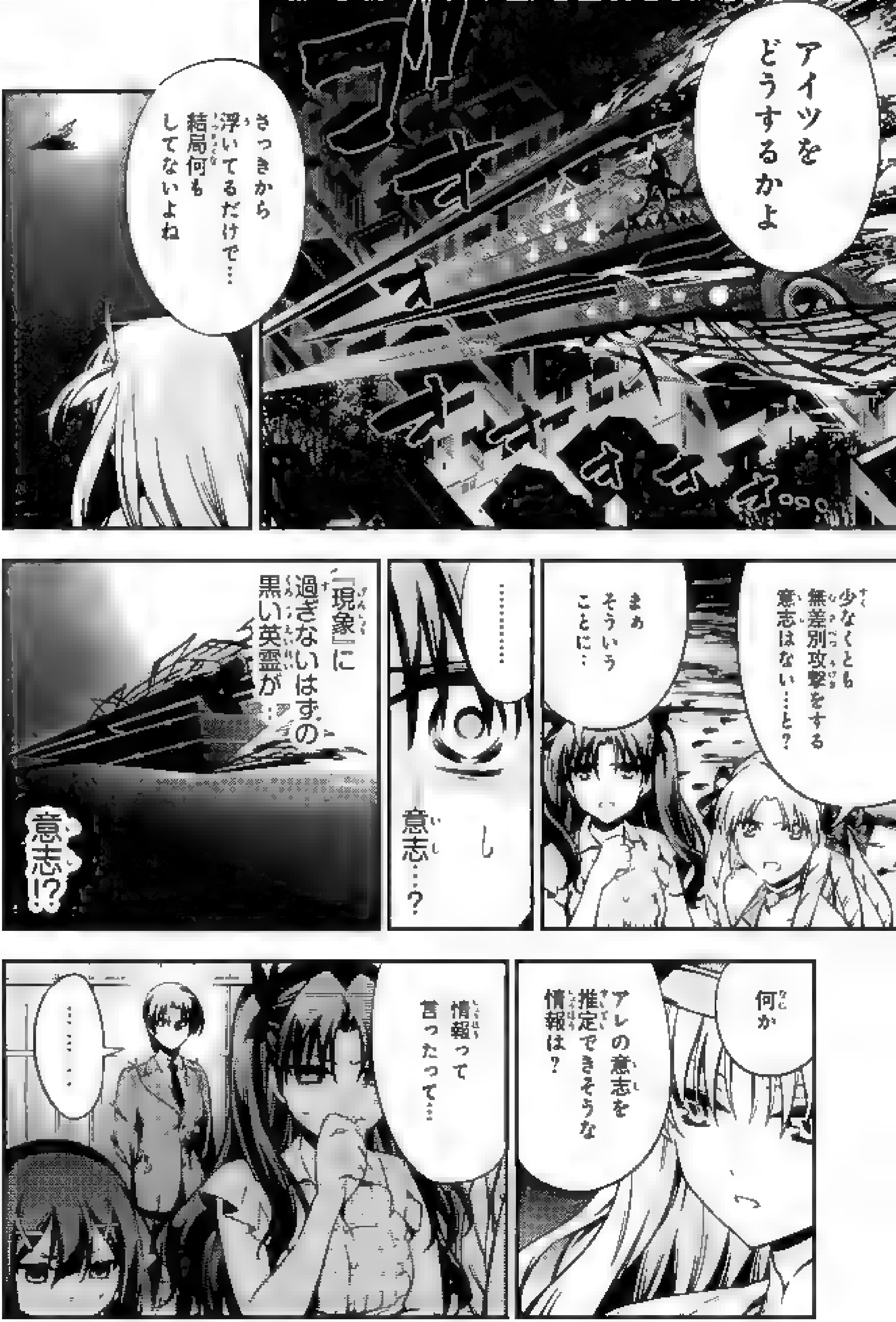

市街地からなるべく離したいところですが…
空中にいる限り手出しできない
わたしとイリヤなら飛べます
美遊様！ ですが…！
危険すぎる！近づいたところで勝算はないのよ！
宝具の投射を誘発するだけでしょうね
そのうち一本でも街に落ちたら…
なら 海側におびき寄せるか地面に叩き落して…
オォォォォォォォォォ
仮にそれができたとしてそのあとどうするって言うの？
こっちの全力が何も効かなかったってのに！
で…でもだからってこのまま放っておくわけには…!!
手詰まりよ!!
こんなのどうしようも…!!
──豚の鳴き声がするわ
ザッ…

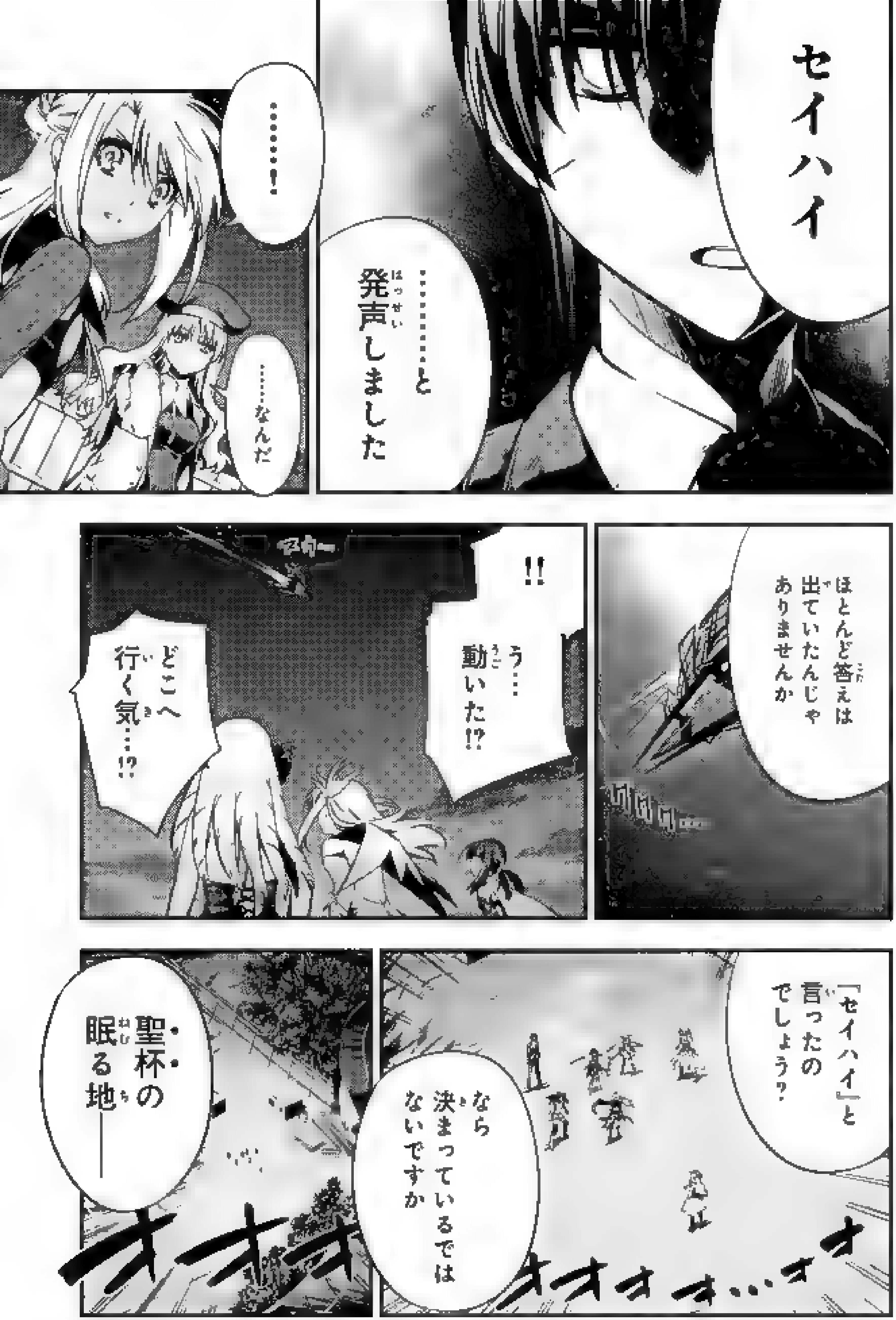

……………
は？
まったく
名家の魔術師二人に
執行者が雁首並べて
ピイピイと…
!?
あなた……!
どっ…
どうして
ここに……
華憐先生!?
何そのカッコ!?
無様なものね

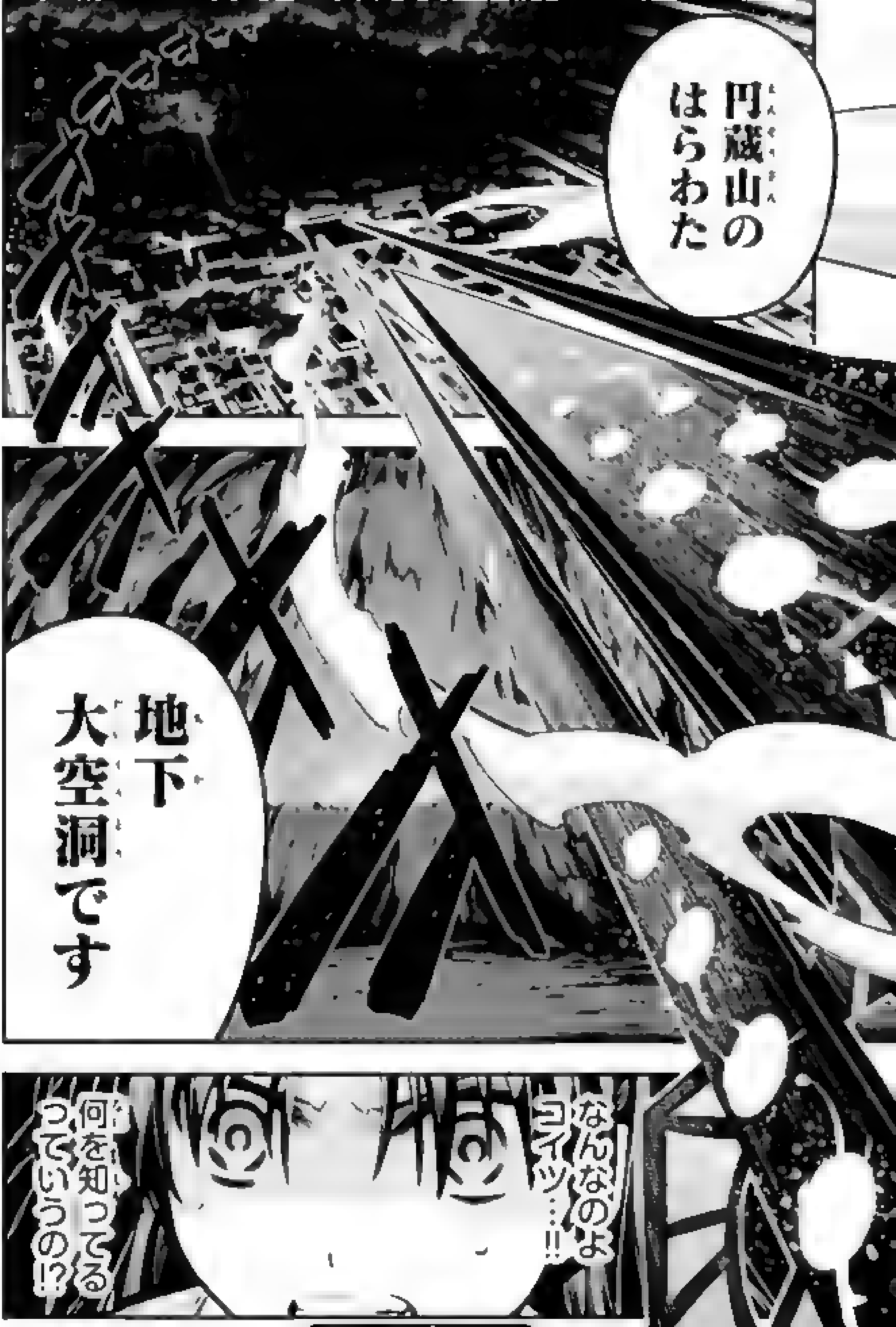

何よこの無礼な女は！知り合いなのイリヤ!?
し 知り合いっていうか…学校の保健の先生で…
初めまして 折手死亜華憐と申します
折手死亜
うさんくさい!!
カレン・オルテンシア 聖堂教会所属 此度のカード回収作業のバックアップ兼
監視者です
監視者!? 聖堂教会が絡んでるなんて聞いてませんわよ!!
保健の先生ってのはウソだったの!?
ウソというか……趣味？ 怪我した子供を間近で見るのが楽しくて
このひと人格が壊れてる……!!


夢って
動くつもりは
動かないのですけど
調べる手段が
あんまりにも曖昧で
不親切すぎる
ものなのね
なにを…!
ピシッ
道を見つけるプロセスなんて決まっています
観察し
思考し
行動なさい
貴女方にできることなんて
それだけでしょう?


「祈りなさい」じゃないの？
教会の人間とは思えない言葉ね
信仰のない者に教えを説くほど疲れることはないわ
………街に
明かりがありません
え？
点いているのは街灯だけで…建物の明かりは見当たりません
！
言われてみれば確かに…！
正解
一キロ四方に人避けと誘眠の結界を張ってあるわ
…それがわたしの仕事のひとつだから
なにそれ！？
まるで こうなることを想定していたような…
まあ これでひとまず人目を気にする必要はなくなりました
では 次に見るべきは？
はいそこの日焼け少女
あからさまな誘導がシャクに障るわね
決まってるでしょ
日焼けちがう！

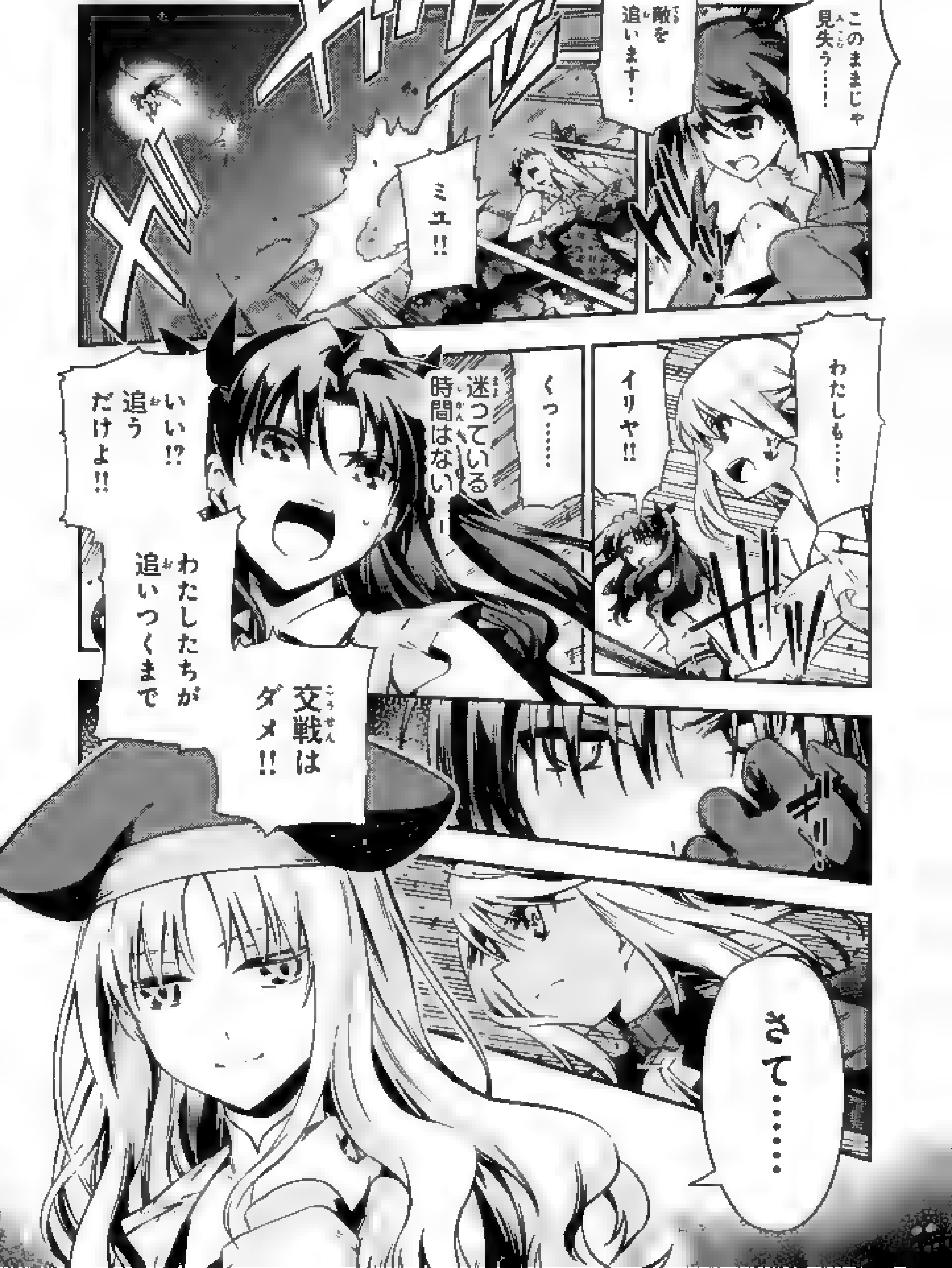

アイツをどうするかよ
オオオオオオ…。
さっきから浮いてるだけで…結局何もしてないよね
少なくとも無差別攻撃をする意志はない…と？
まぁそういうことに…
………
意志…？
『現象』に過ぎないはずの黒い英霊が…
意志!?
何かアレの意志を推定できそうな情報は？
情報って言ったたって…
……


セイハイ
……と発声しました
………!!
……なんだ
ほとんど答えは出ていたんじゃありませんか
ゴゴゴ…
!!
う…動いた!?
どこへ行く気…!?
「セイハイ」と言ったのでしょう?
なら決まっているではないですか
聖杯の眠る地――
オオオォォ…ォオ
オォォオ

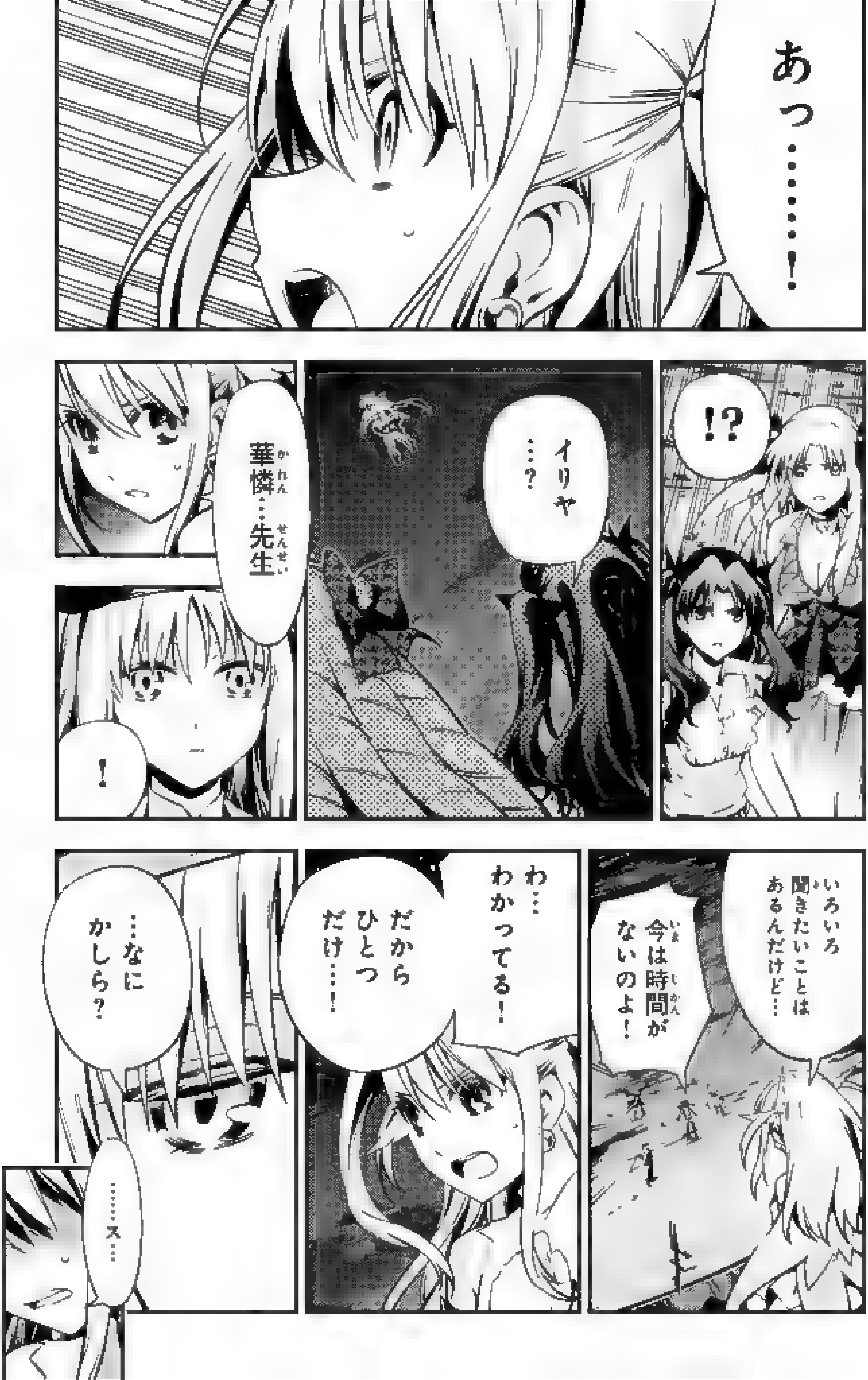

円蔵山のはらわた
おおおおおおお
地下大空洞です
なんなのよコイツ…!!
何を知ってるっていうの!?

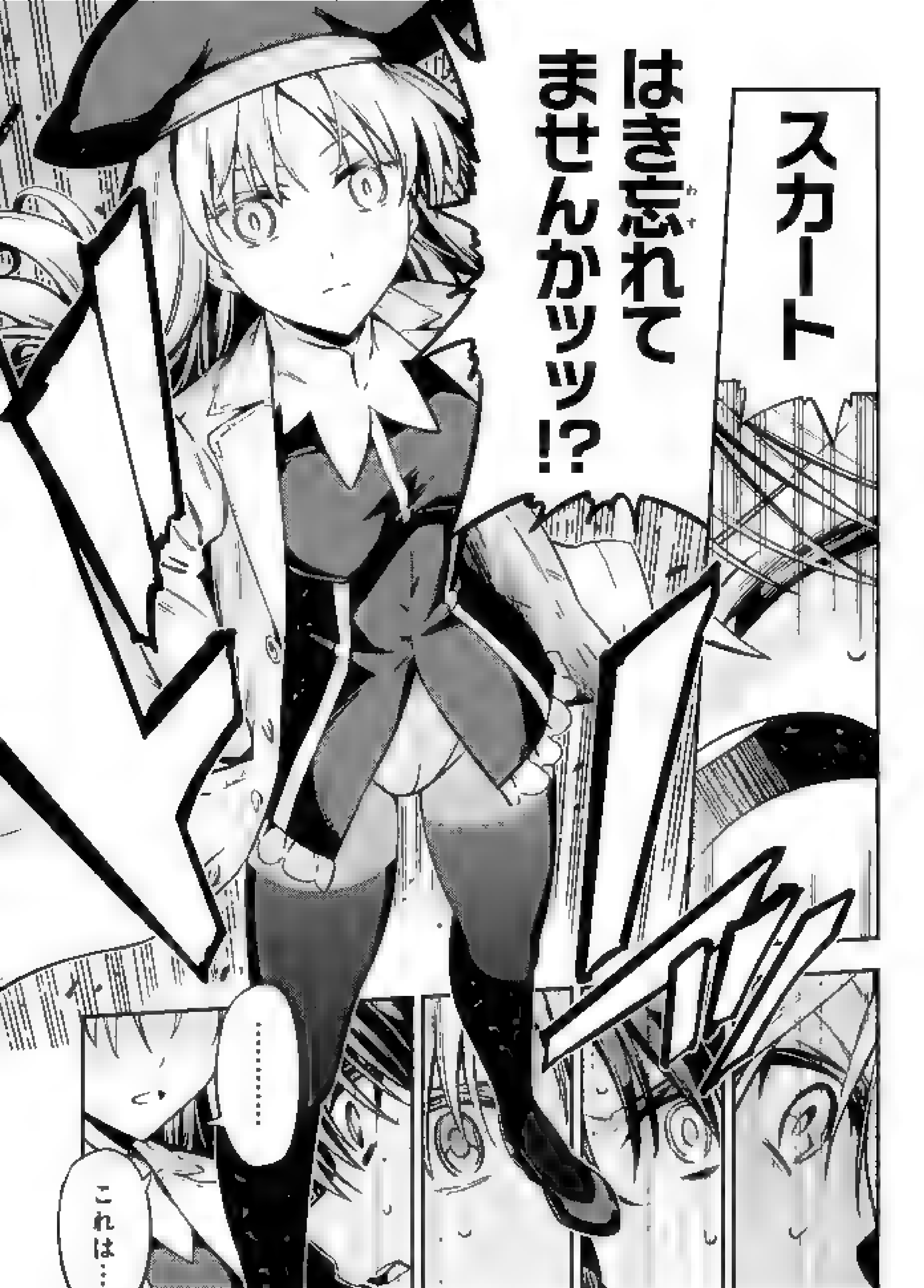
第23話✪おわり

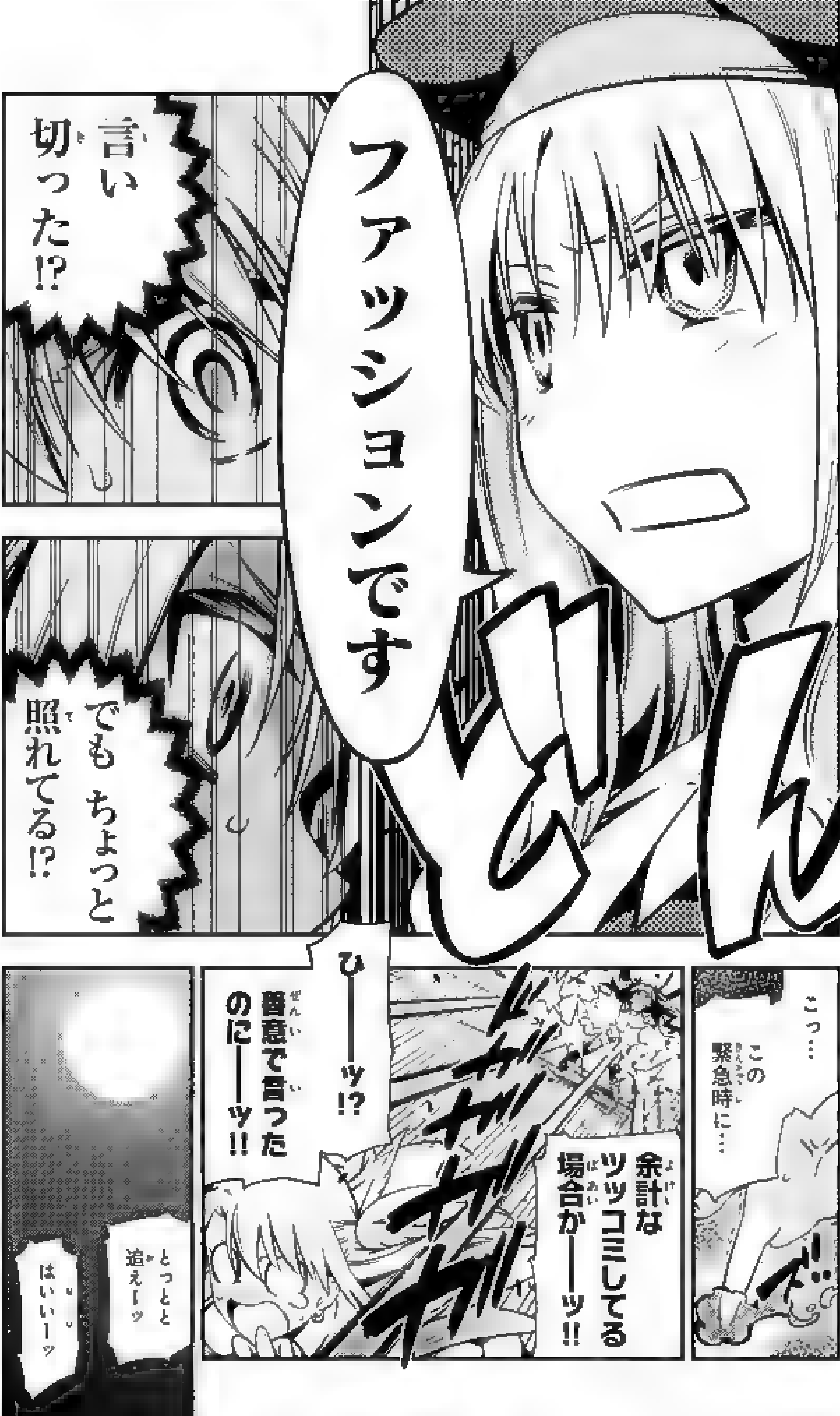
★第24話★

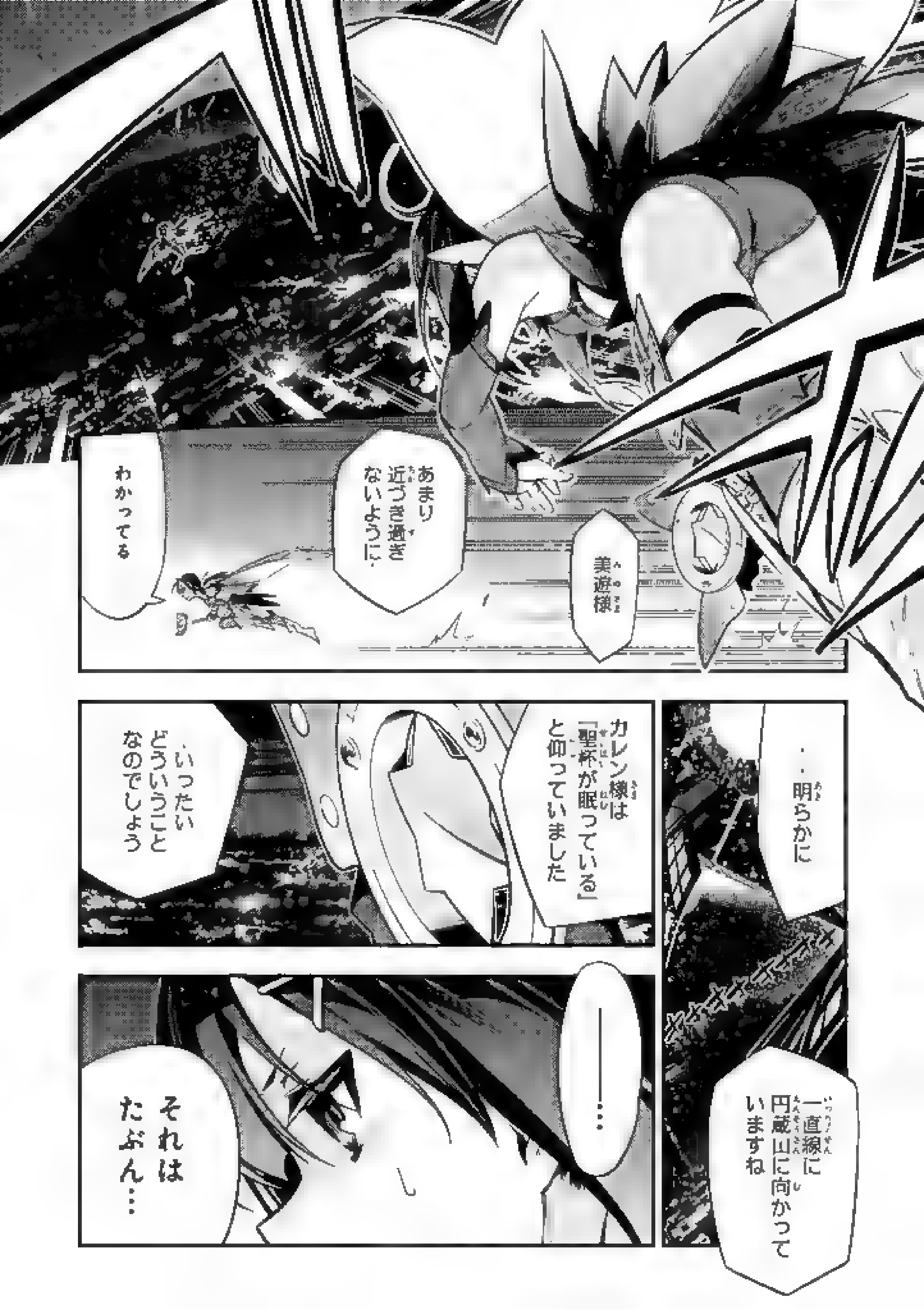

このままじゃ見失う……!
敵を追います!
ミユ!!
わたしも……!
イリヤ!!
くっ……
迷っている時間はない
いい!? 追うだけよ!!
わたしたちが追いつくまで
交戦はダメ!!
ギリ…
さて……

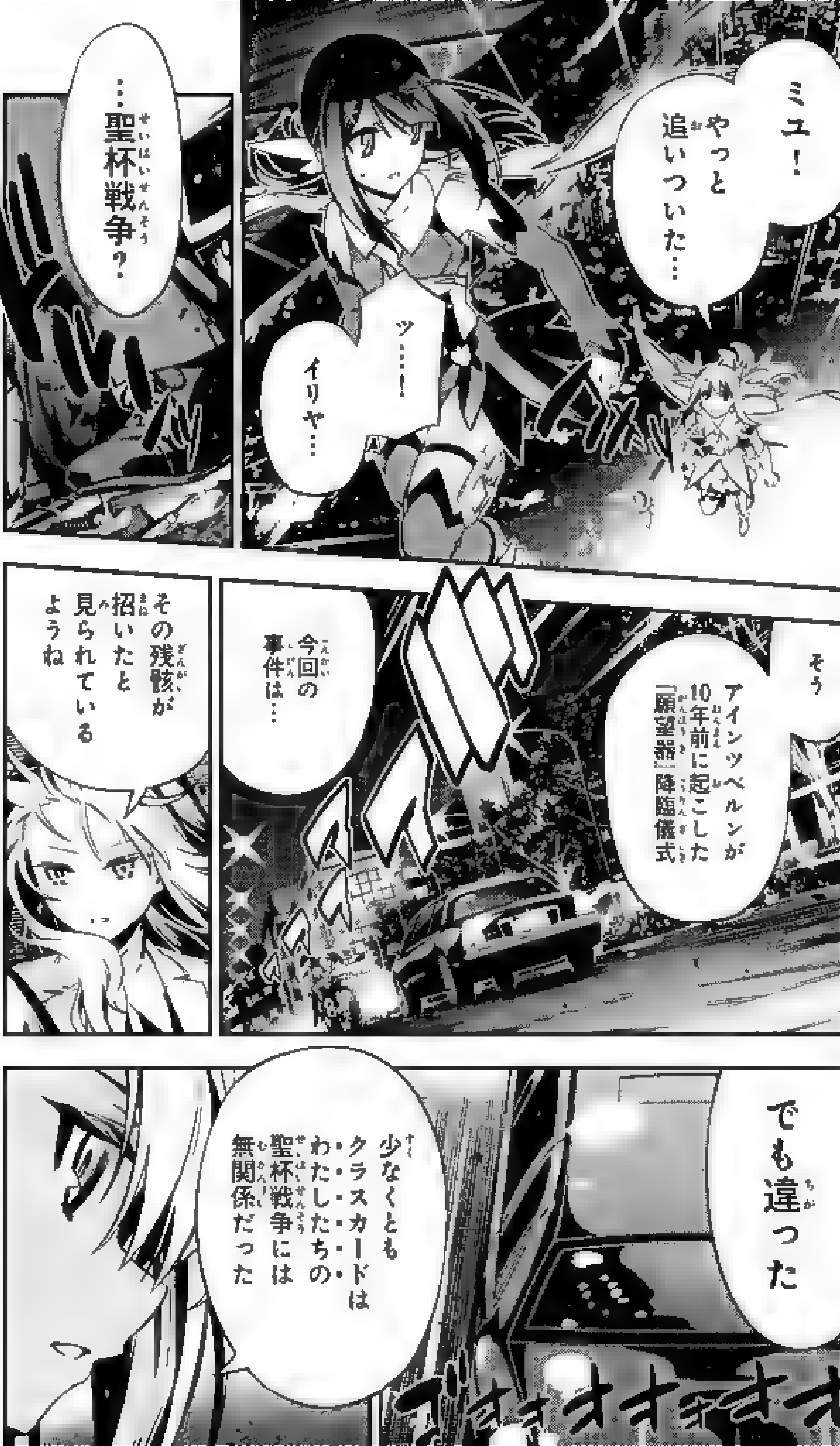
第24話☆地下のその地下にあるモノ

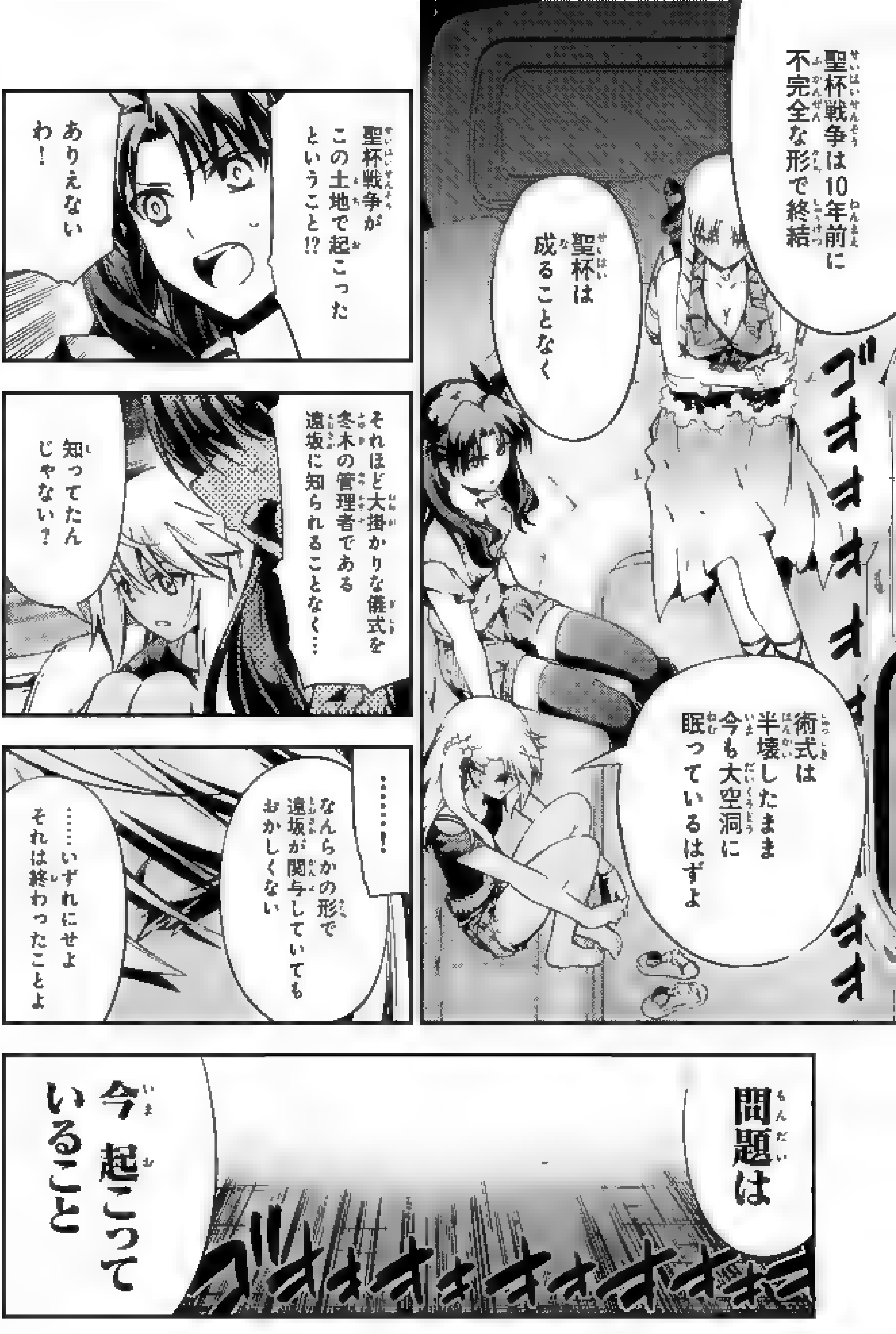

あっ………！
!?
イリヤ…？
華憐…先生
！
いろいろ聞きたいことはあるんだけど… 今は時間がないのよ！
わ…わかってる！ だからひとつだけ…！
…なにかしら？
……ス…

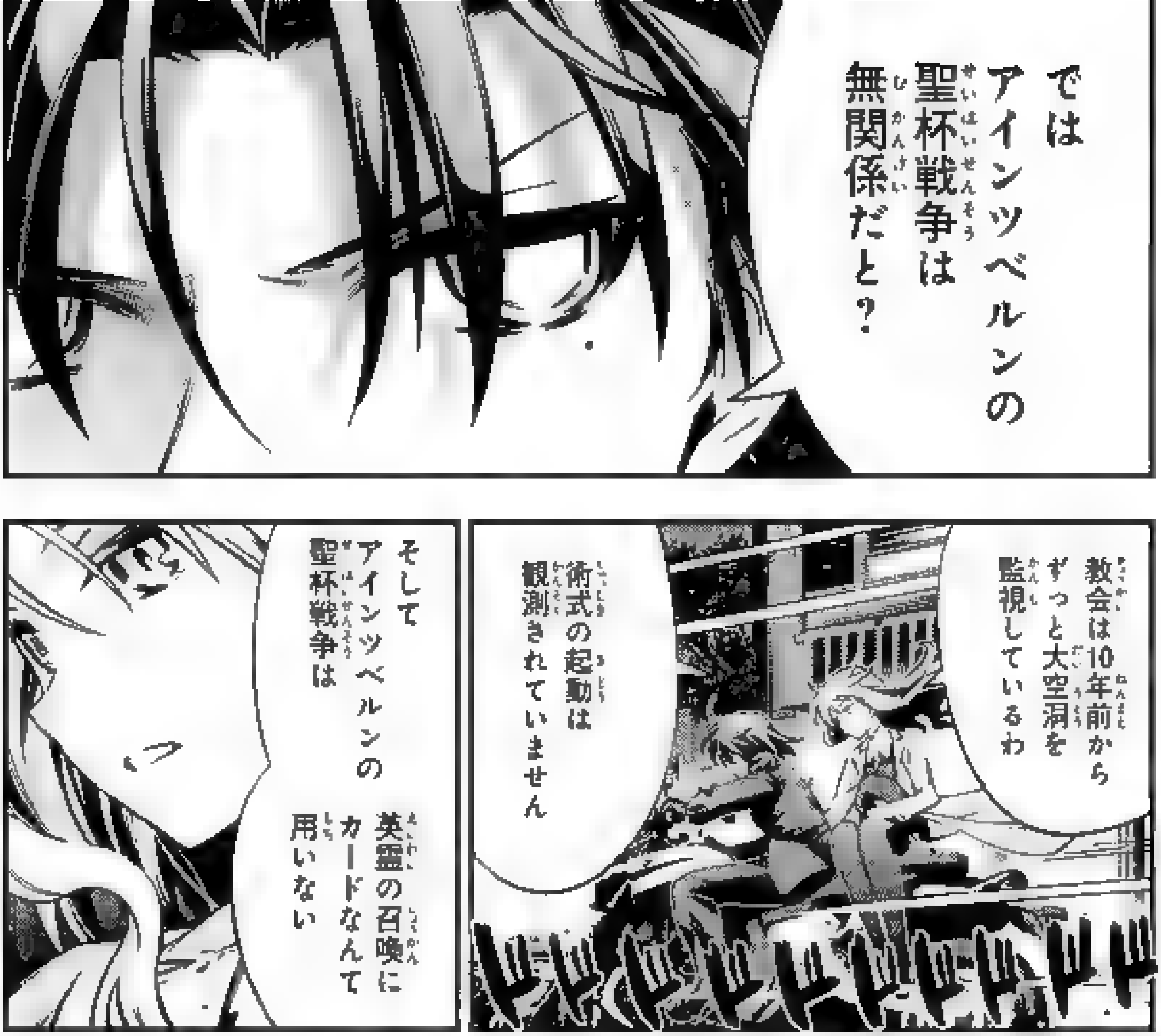
スカート
はき忘れて
ませんかッッ!?
………
これは…


ファッションです
どん
言い切った!?
でも ちょっと照れてる!?
こっ…この緊急時に…
余計なツッコミしてる場合かーーッ!!
ひーーッ!?
善意で言ったのにーーッ!!
とっとと追えーッ
はいいいーッ

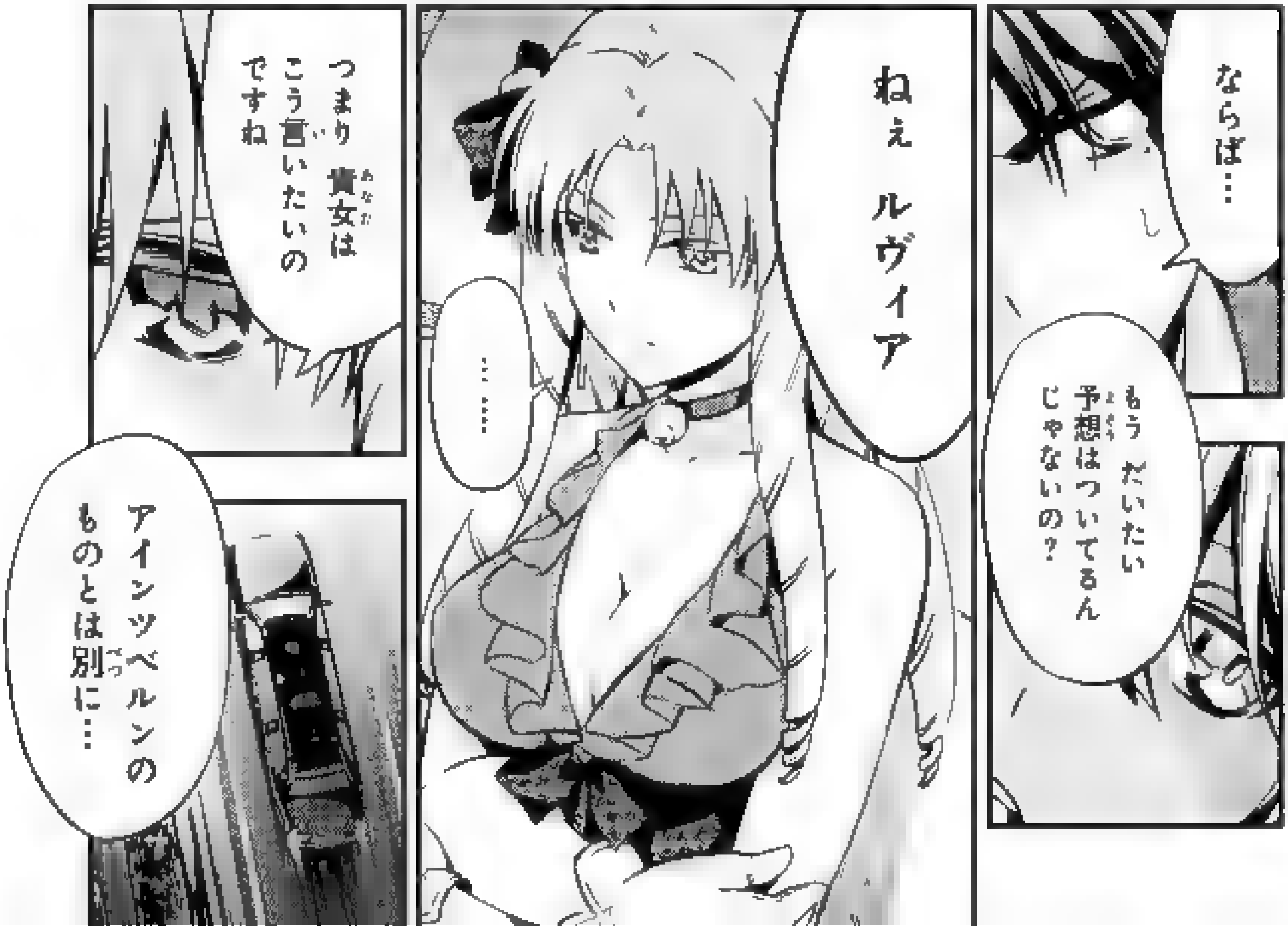

美遊様
あまり近づき過ぎないように・
わかってる
・・明らかに
一直線に円蔵山に向かっていますね
カレン様は「聖杯が眠っている」と仰っていました
いったいどういうことなのでしょう
――・・・
それはたぶん・・・


ミユ！やっと追いついた…
ッ…！イリヤ…
…聖杯戦争？
そう アインツベルンが10年前に起こした『願望器』降臨儀式
今回の事件は…
その残骸が招いたと見られているようね
でも違った
少なくともクラスカードはわたしたちの聖杯戦争には無関係だった
ゴオオオオオオ


聖杯戦争は10年前に不完全な形で終結
聖杯は成ることなく
ゴオオオオオオ
術式は半壊したまま今も大空洞に眠っているはずよ
聖杯戦争がこの土地で起こったということ!?
ありえないわ！
それほど大掛かりな儀式を冬木の管理者である遠坂に知られることなく…
知ってたんじゃない？
……！
なんらかの形で遠坂が関与していてもおかしくない
……いずれにせよそれは終わったことよ
問題は
今 起こっていること
ゴゴオオオオオオオオオ


では アインツベルンの 聖杯戦争は 無関係だと？
教会は10年前から ずっと大空洞を 監視しているわ
術式の起動は 観測されていません
ドドドドドドドドドドド
そして アインツベルンの 聖杯戦争は
英霊の召喚に カードなんて 用いない

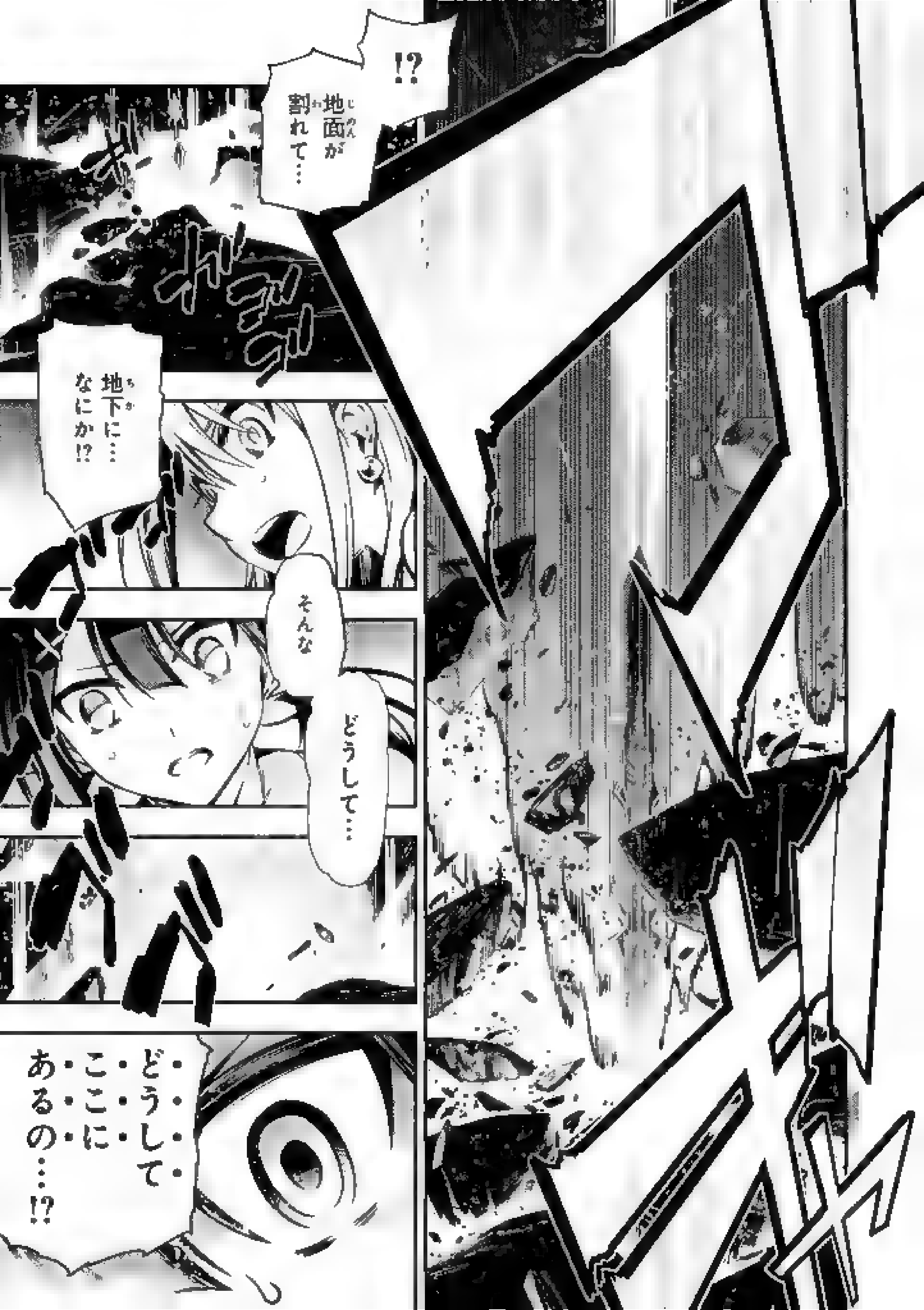
今ノ　ヘル運転ダメ絶対 from まひろ

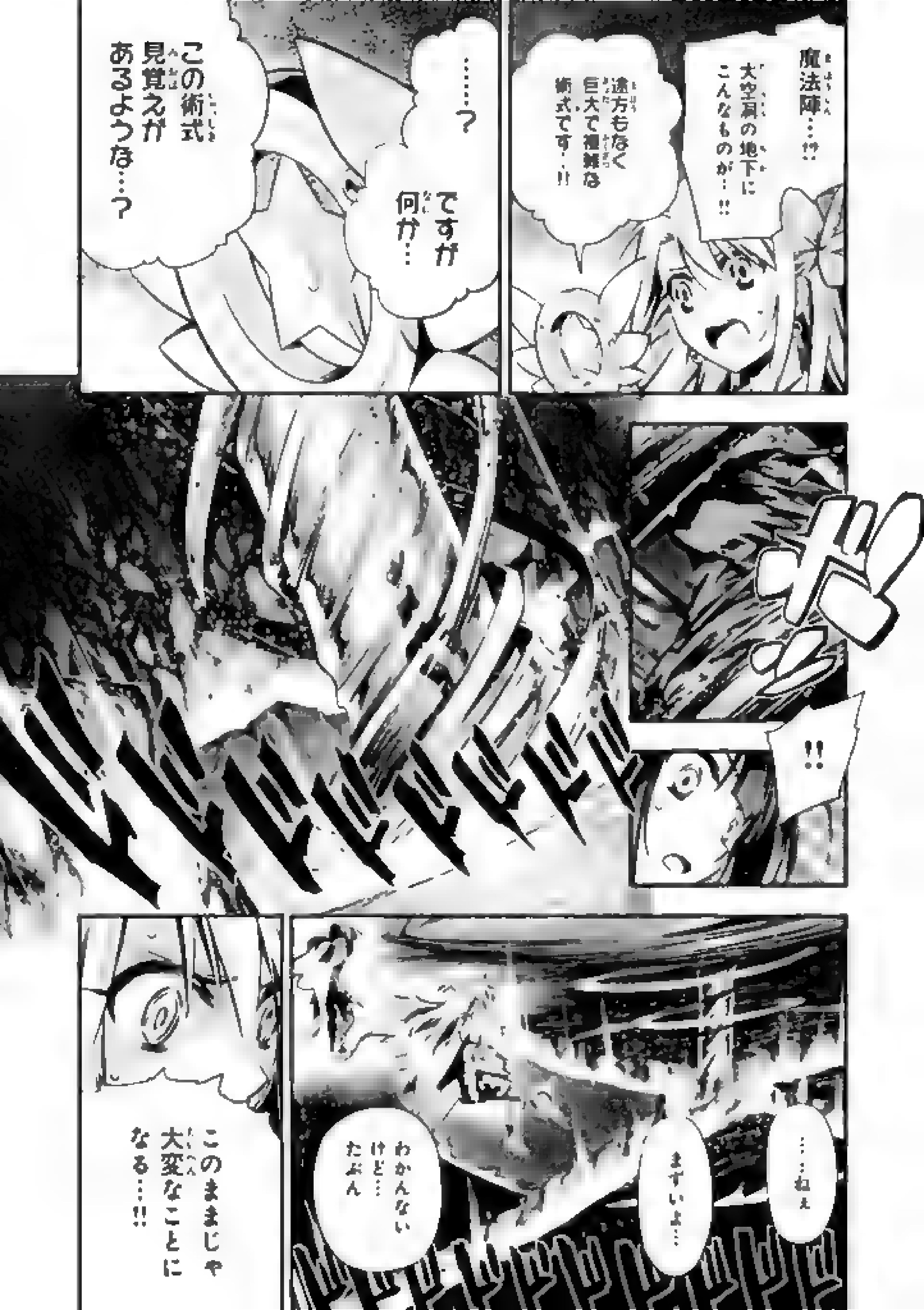

ならば…
もう だいたい 予想はついてるん じゃないの？
ねぇ ルヴィア
……
つまり 貴女は こう言いたいの ですね
アインツベルンの ものとは別に…

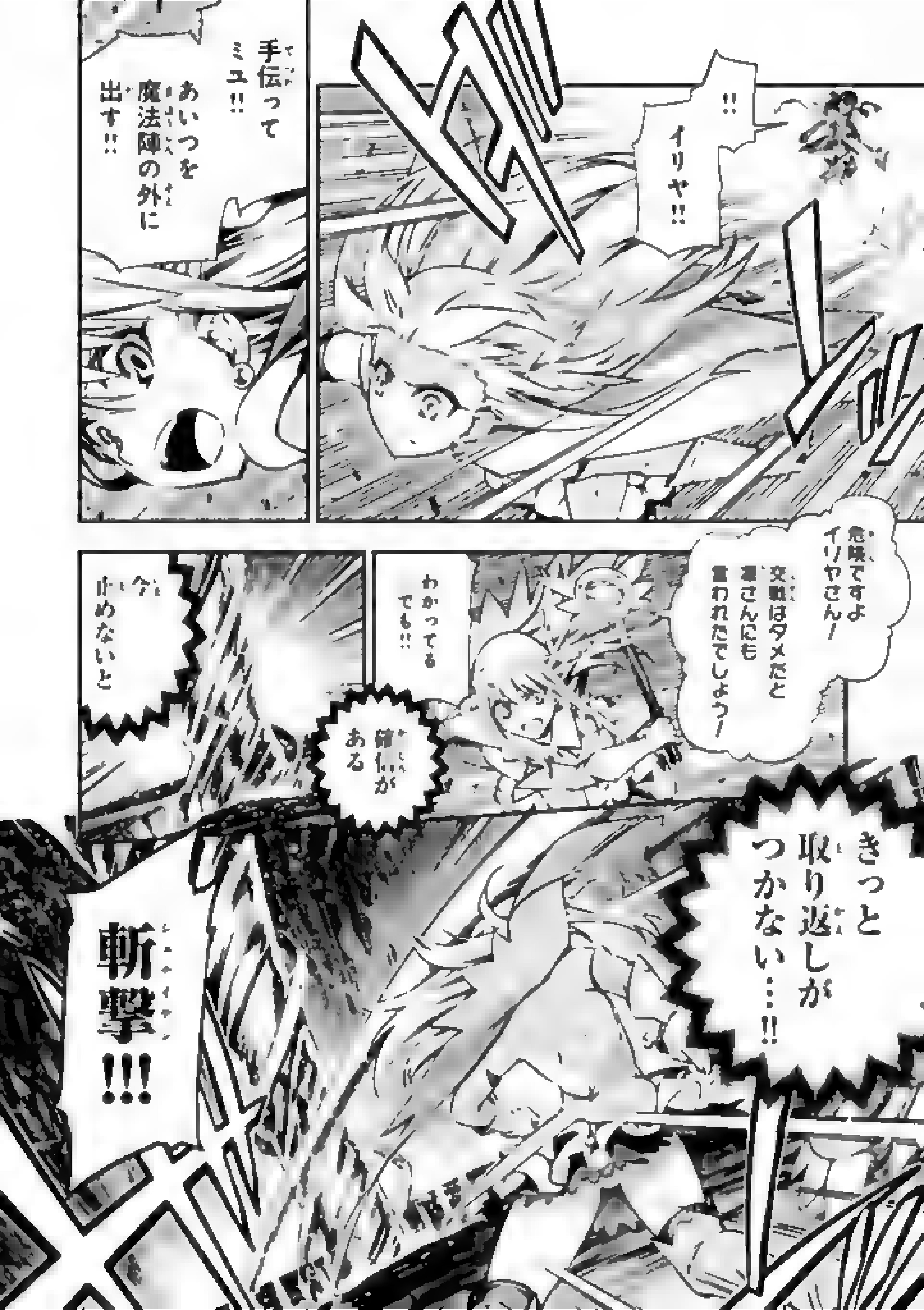
もうひとつの聖杯戦争が存在する――…!!

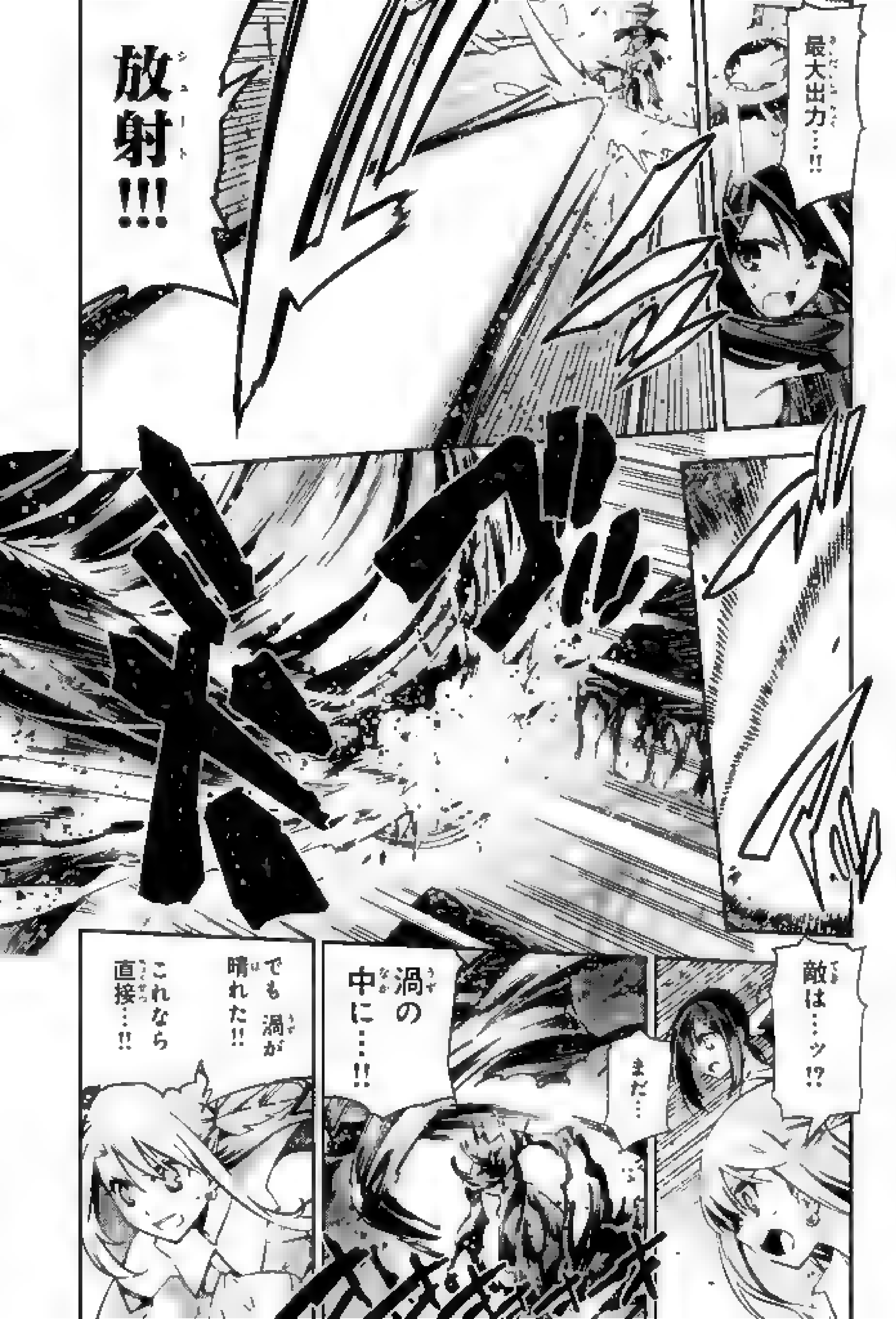
!!
あれは……!?

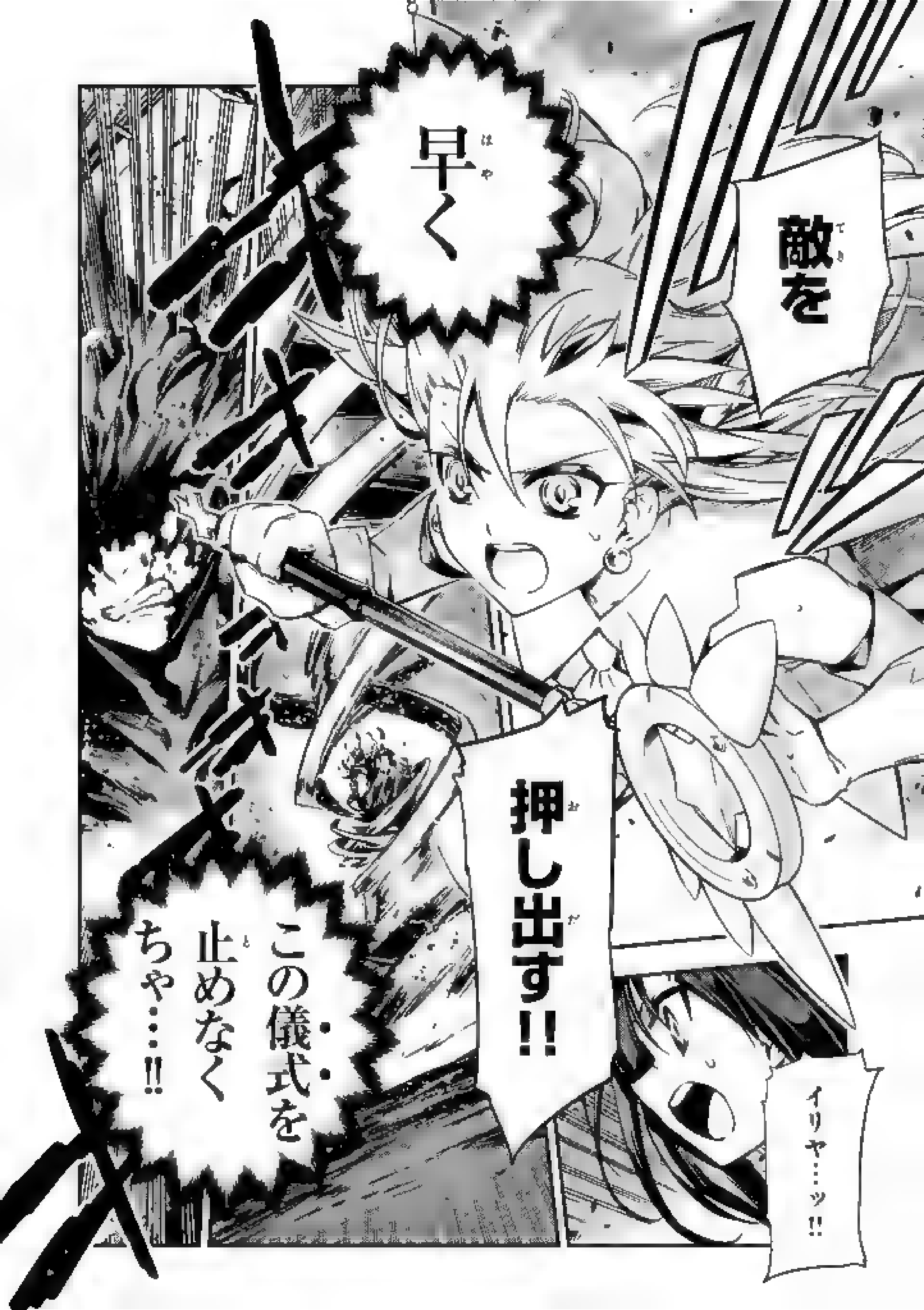
……!!
こんなの…めちゃくちゃだよ…!!
地表が…蒸発して
大空洞がむき出しに…!!

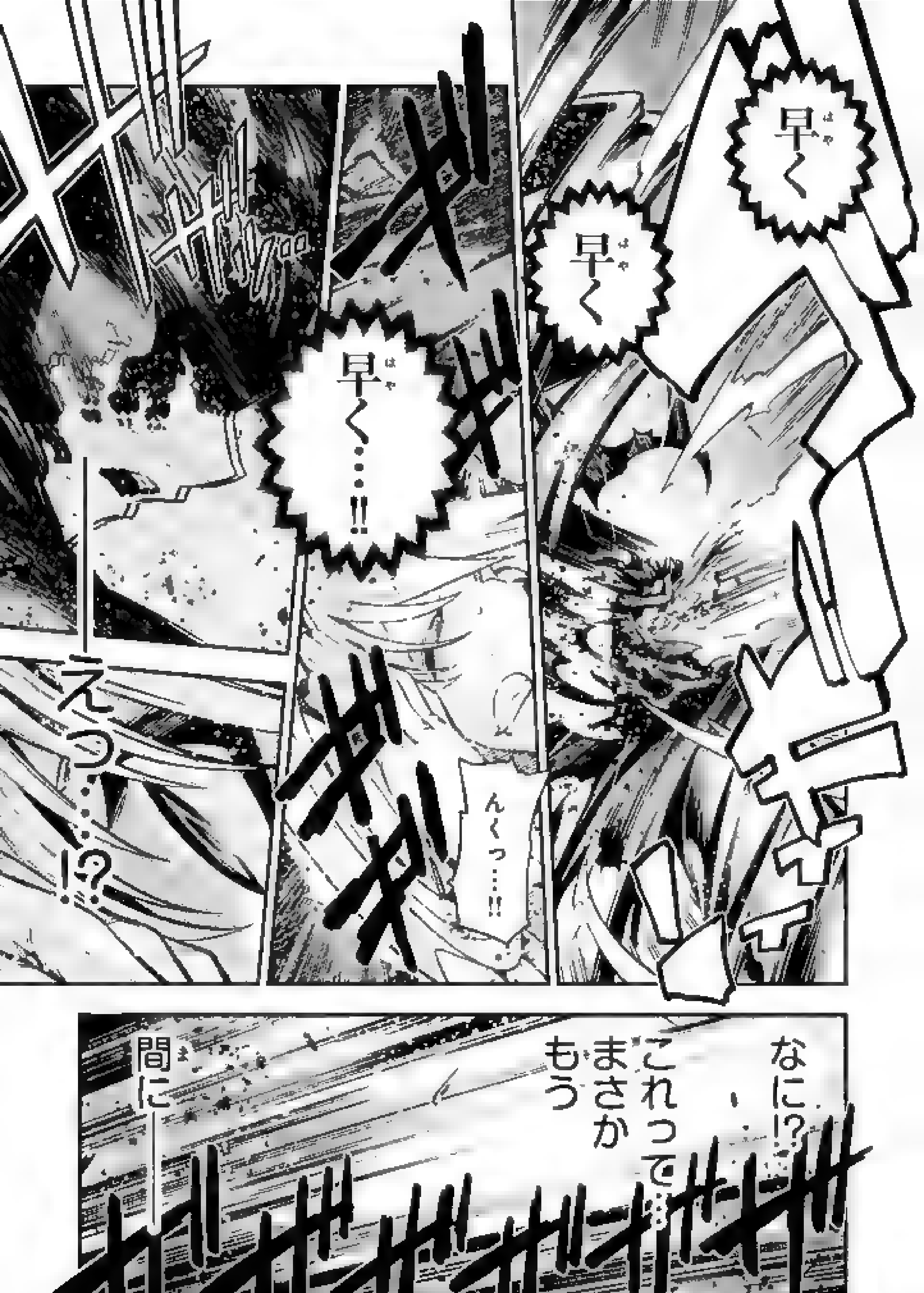

!?
地面が割れて…
ズゴゴゴ
地下に…なにか!?
そんな
どうして…
どうしてここにあるの…!?


魔法陣…!?
大空洞の地下にこんなものが…!!
途方もなく巨大で複雑な術式です…!!
……？
ですが何か…
この術式見覚えがあるような…？
ズ
ドドドドドド
!!
……ねぇ
まずいよ…
わかんないけど…たぶん
このままじゃ大変なことになる…!!
ドドドドド


!!
イリヤ!!
手伝って ミユ!!
あいつを魔法陣の外に出す!!
危険ですよイリヤさん! 交戦はダメだと凛さんにも言われたでしょう!
わかってる でも!!
確信がある
今止めないと
きっと取り返しがつかない…!!
斬撃!!!


最大出力…!!
放射!!!
敵は…ッ!?
まだ…
渦の中に…!!
でも 渦が晴れた!!
これなら直接…!!

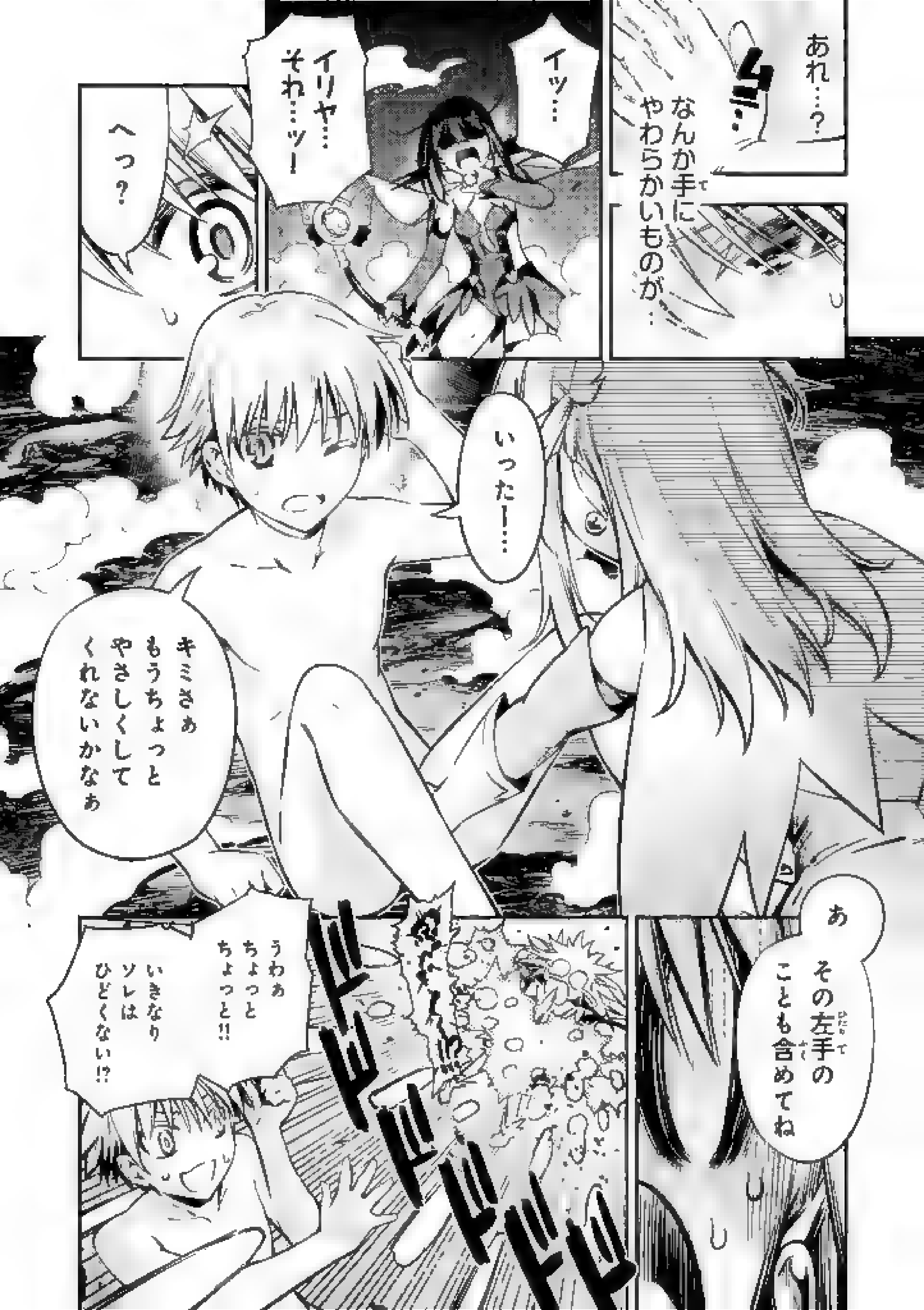

敵を
押し出す!!
早く
この儀式を止めなくちゃ・・・!!
イリヤ・・・ッ!!

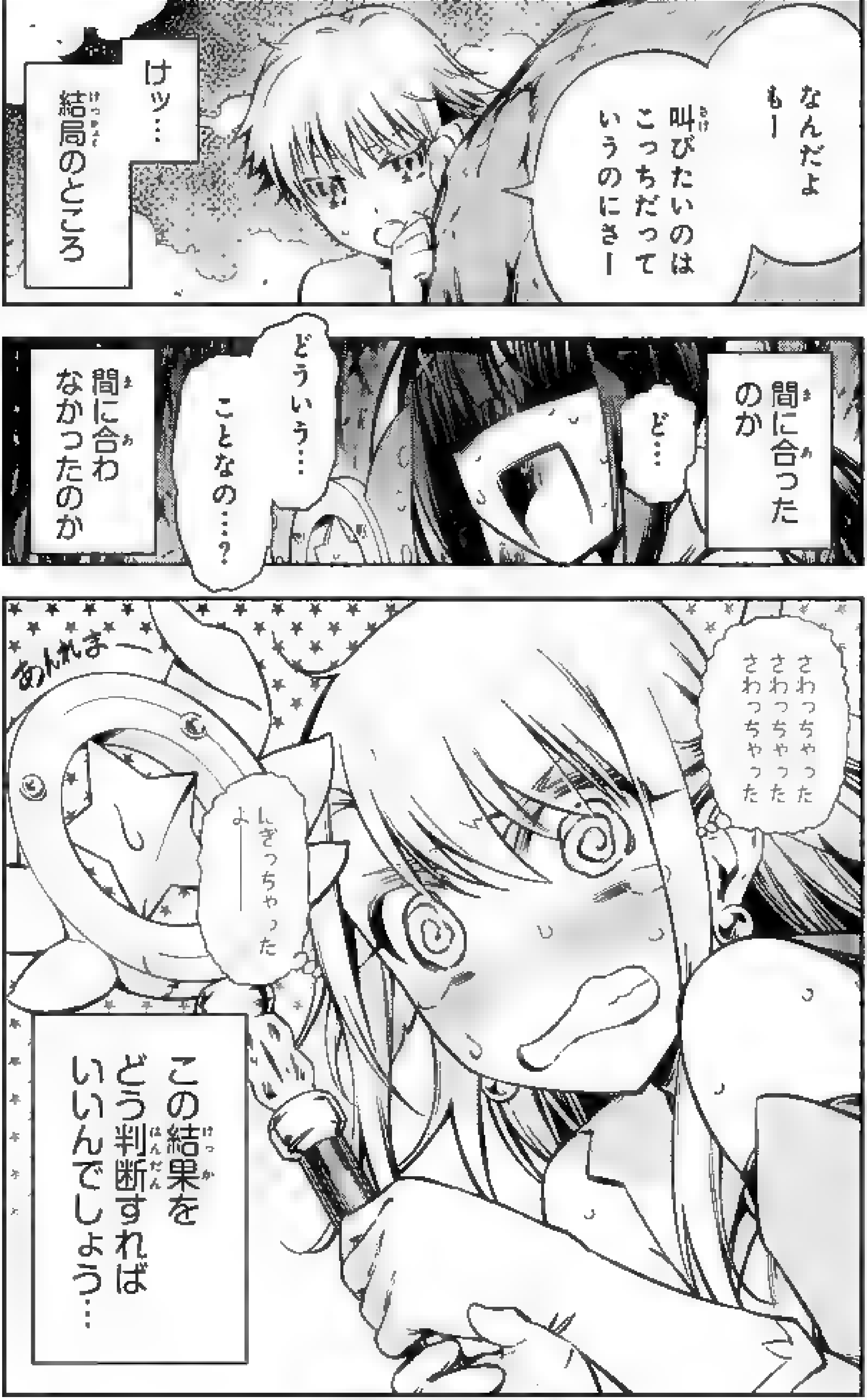

早く
早く
早く……!!
んくっ……!!
え……っ……!?
なに!?
……これって……
まさか
もう
間に——

合わなかっ——

たは…？
あら？

ず。ず。ず。ず。
オおおおおおお!?
な…っ
何が…!?
敵は渦の中に健在…!!
押し出しは失敗?
ならアレは…!?
イリヤ!?
いっ…
いったい何が起こったの…!?
ケホ ケホ


あれ…？
ム…
なんか手にやわらかいものが…
イッ…
イリヤ…それ…ッ！
へっ？
いったー…
キミさぁ もうちょっと やさしくして くれないかなぁ
あ その左手の ことも含めてね
ドドドドド
うわぁ ちょっと ちょっと!!
いきなり ソレは ひどくない!?

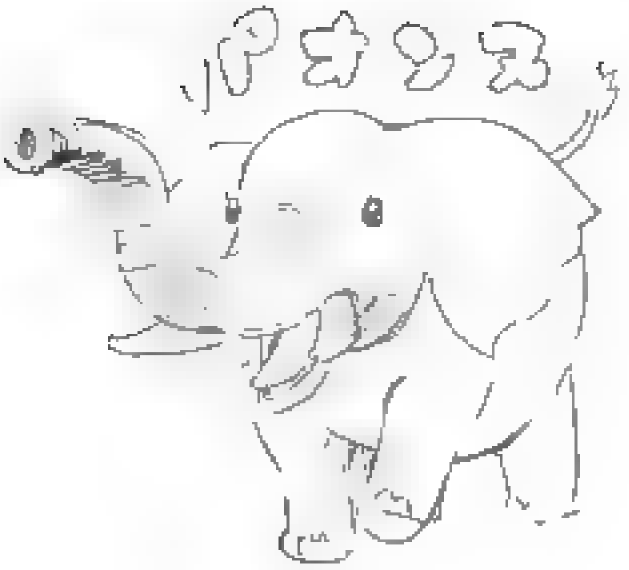

なんだよ
もー
叫びたいのは
こっちだって
いうのにさー
けッ…
結局のところ
間に合ったのか
ど…
どういう…
ことなの…？
間に合わなかったのか
さわっちゃった
さわっちゃった
さわっちゃった
しきっちゃったよ――
あんれま――
この結果をどう判断すればいいんでしょう…

第24話☆おわり

Fate/kaleid liner

プリズマ☆イリヤ 2wei!

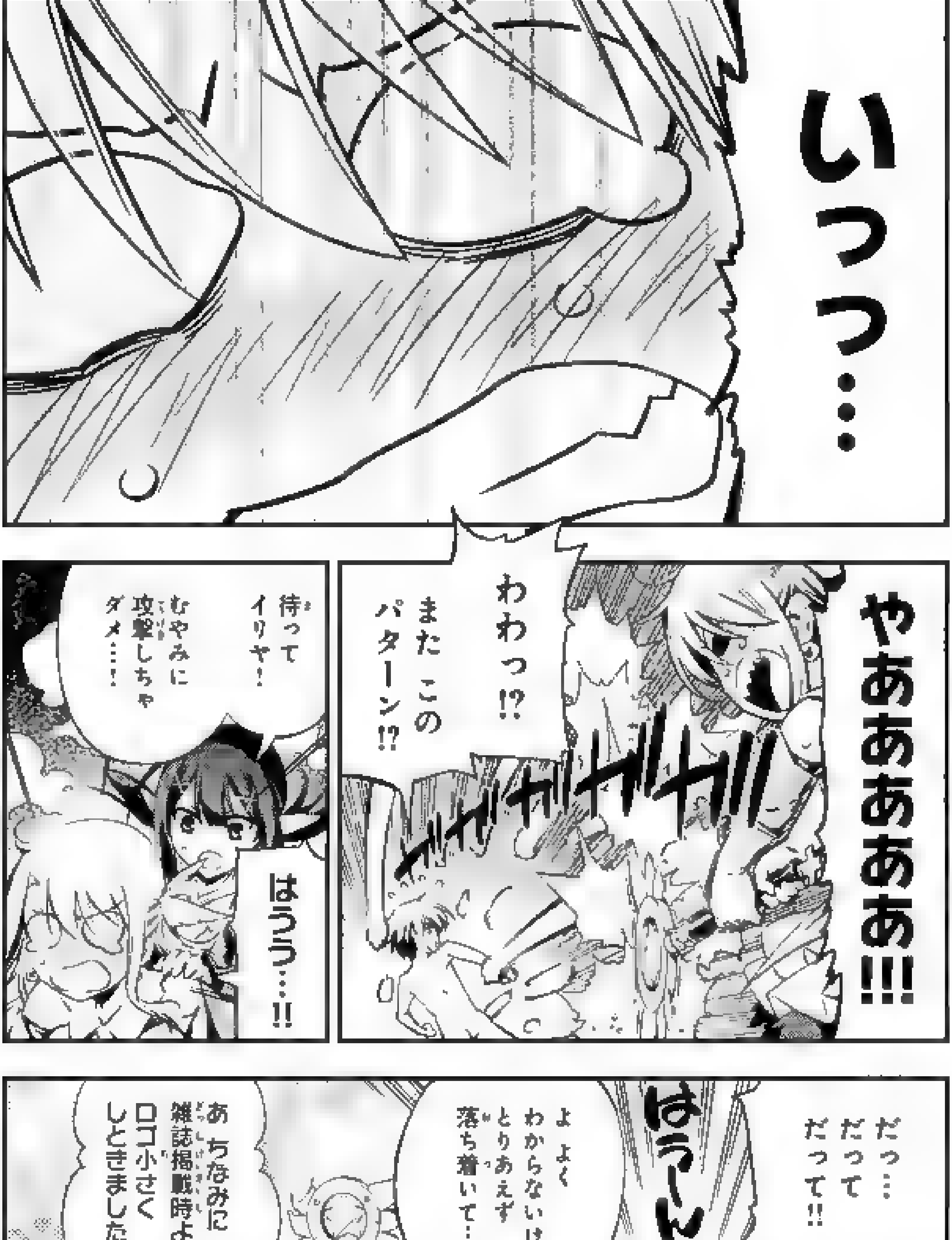
ツヴァイ! PRISMA☆ILLYA 2wei!

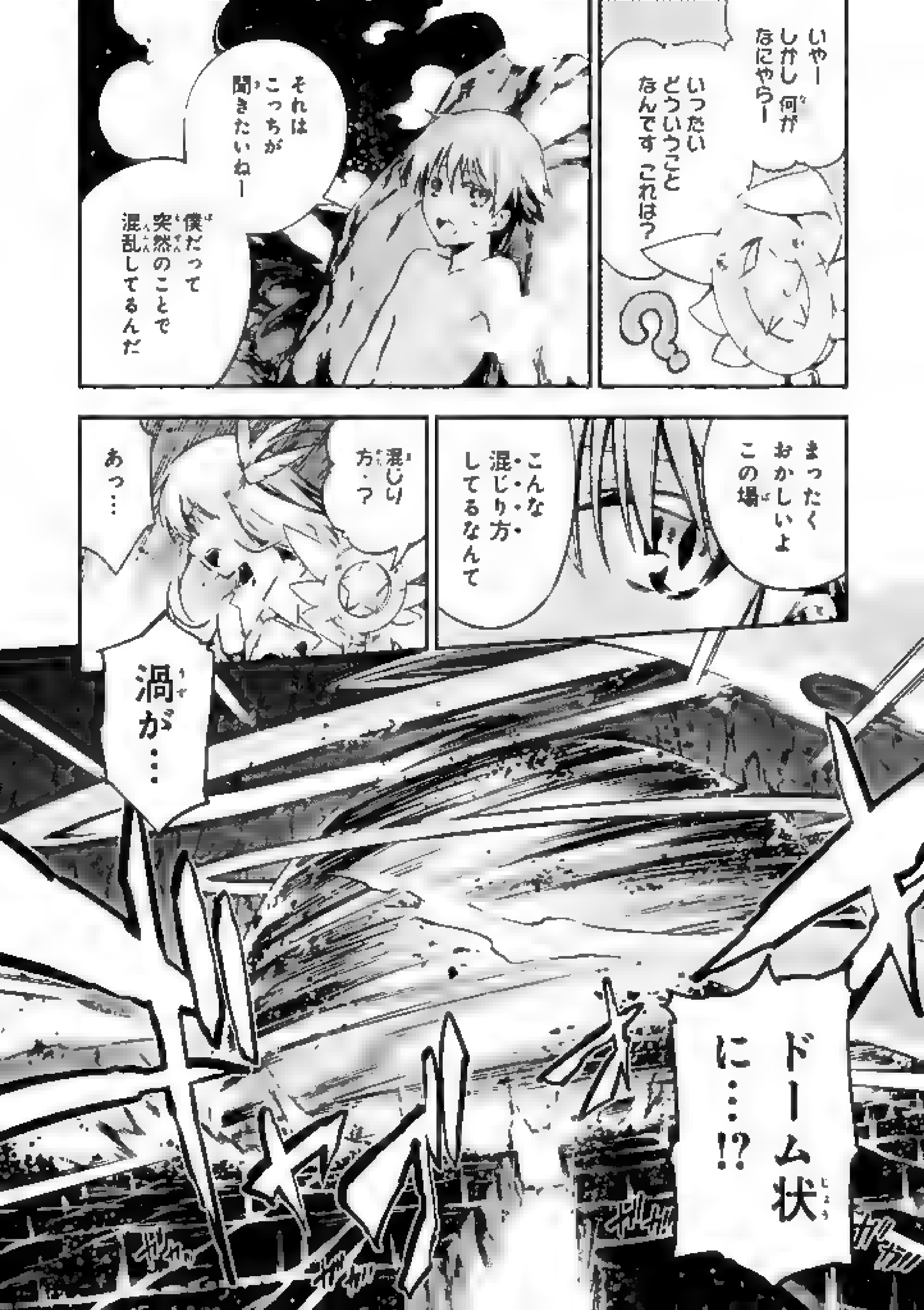

パオンヌ

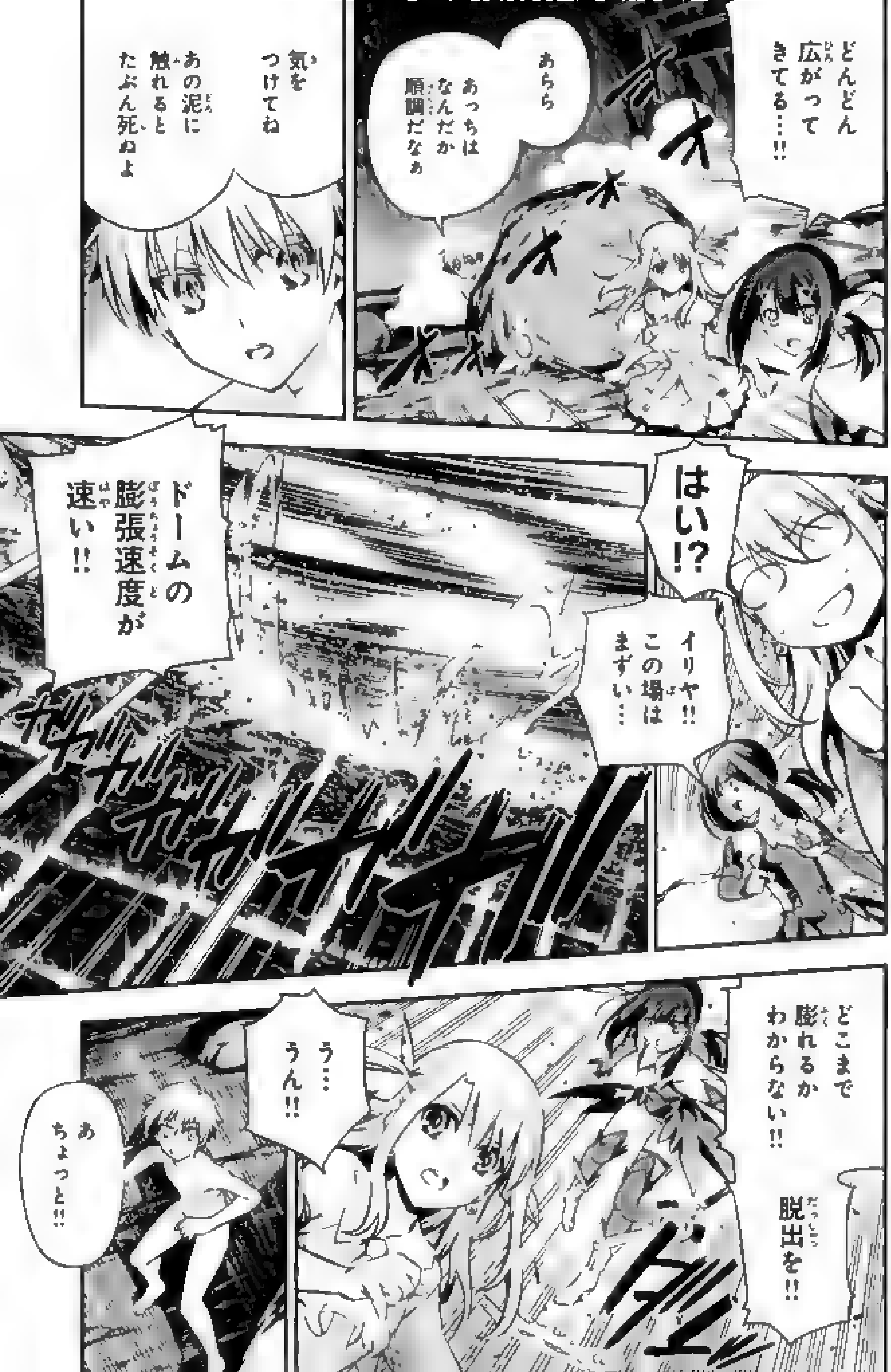
第25話
まったく やれやれだね
いちばん 驚いてるのは 僕だよ？
間違いなくさ
それにしても これ 本当に まいったなぁ
まさか こんなふうになるとは 思ってもいなかった
軽はずみなことを してくれたものだよね——

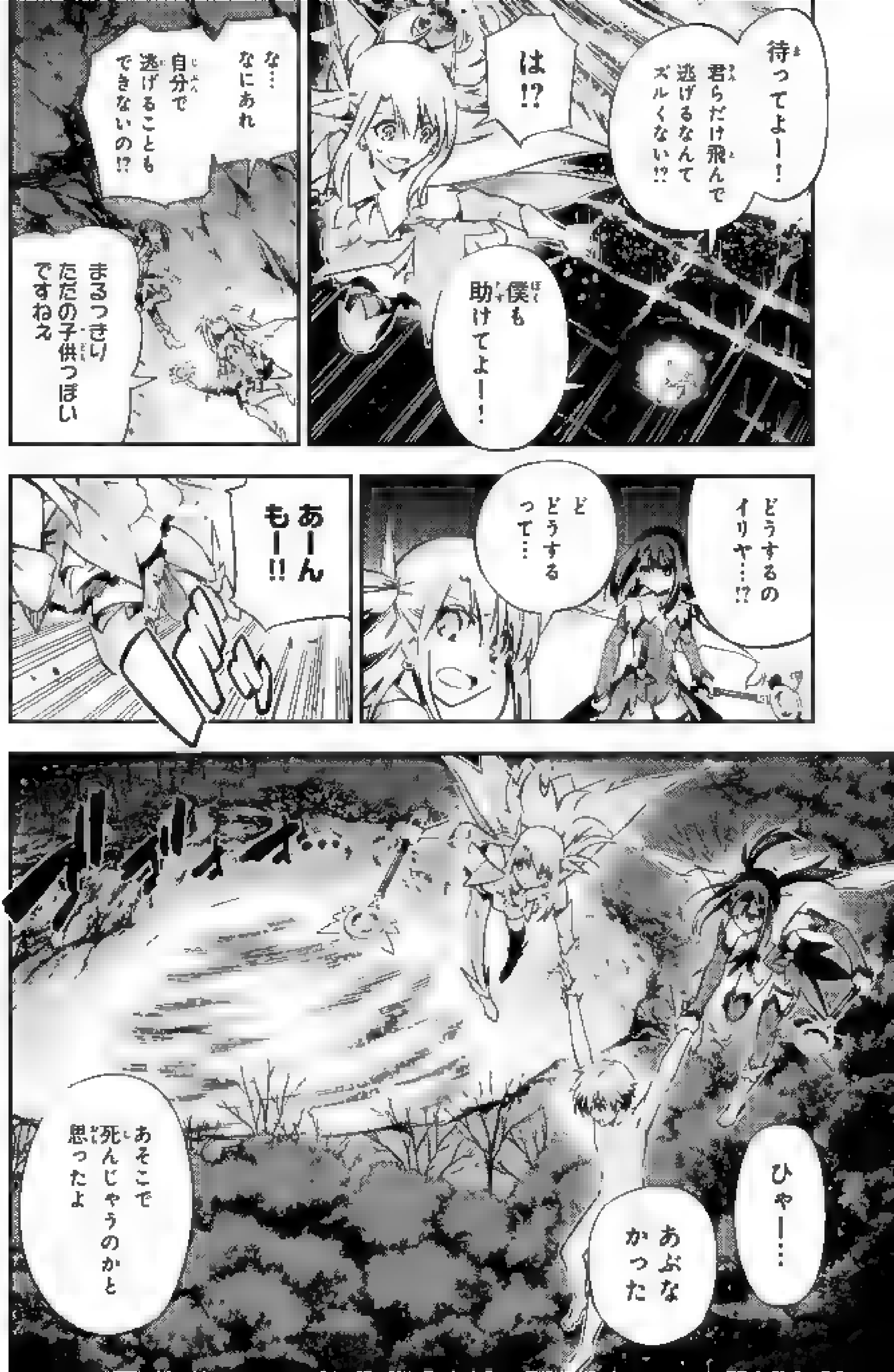
どう責任とってくれるのさ？
ねえ？
プリズマ☆イリヤ 2wei!

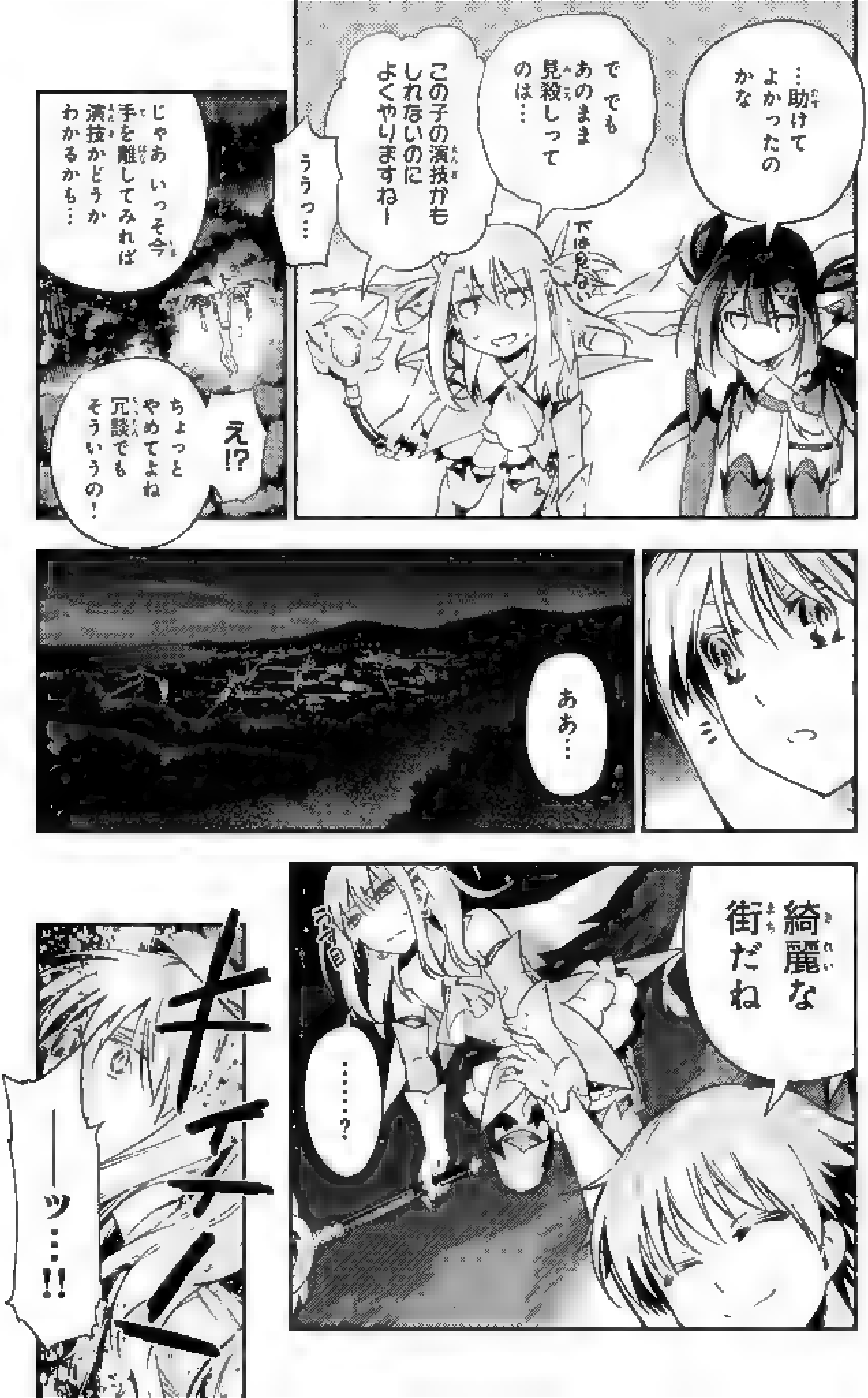
第25話☆金色の少年

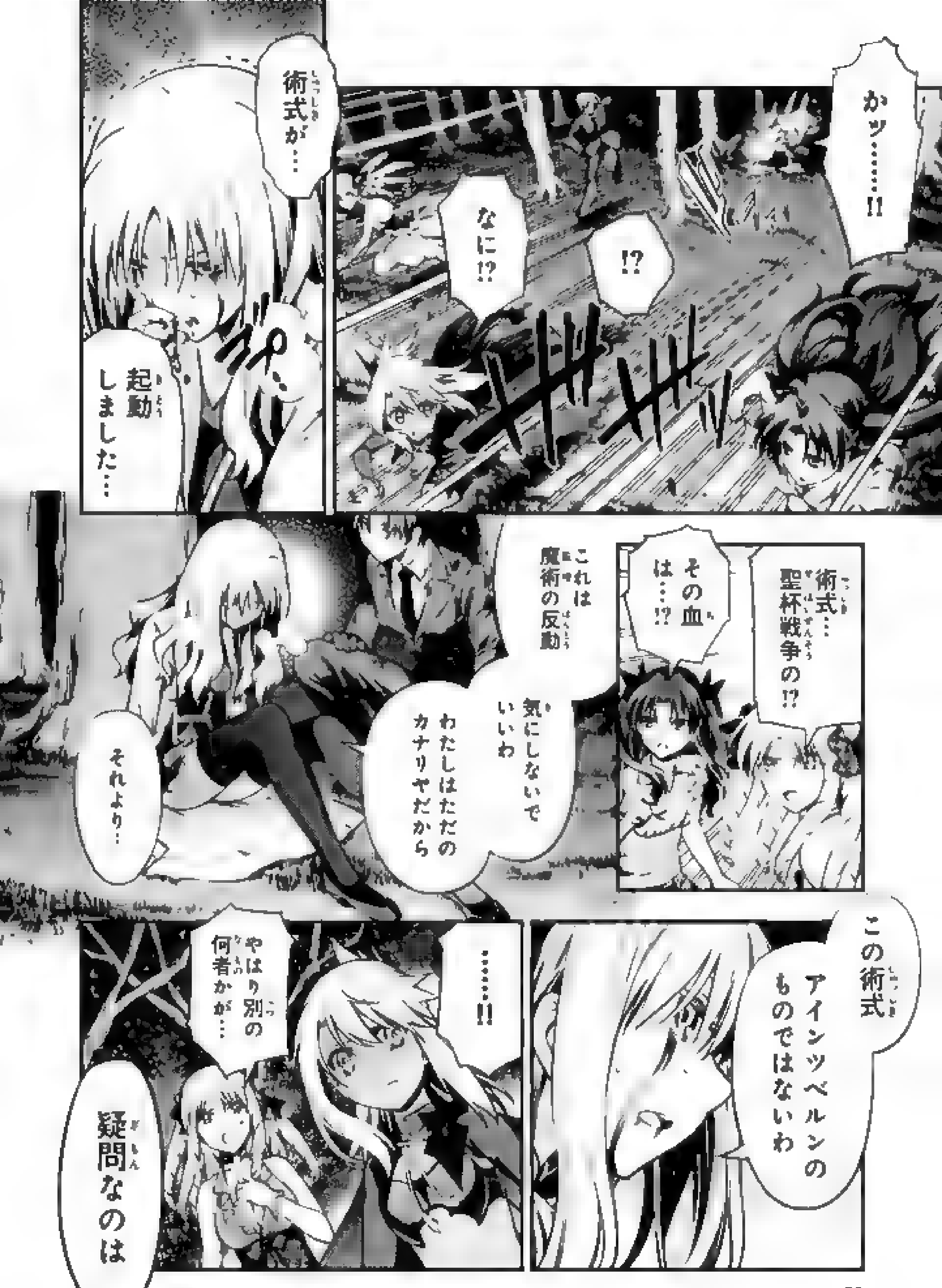

いっつ・・・
やあああああ!!!
わわっ!? また このパターン!?
ガガガガガ!!
待って イリヤ! むやみに攻撃しちゃダメ…!
はうう…!!
だっ… だって だって!!
何か大切なものを汚された気がして…!!
はうーん!!
よ よく わからないけど とりあえず 落ち着いて…!
あ ちなみに 雑誌掲載時より ロゴ小さく しときましたよ
余計なサービスは しなくていいわ 姉さん

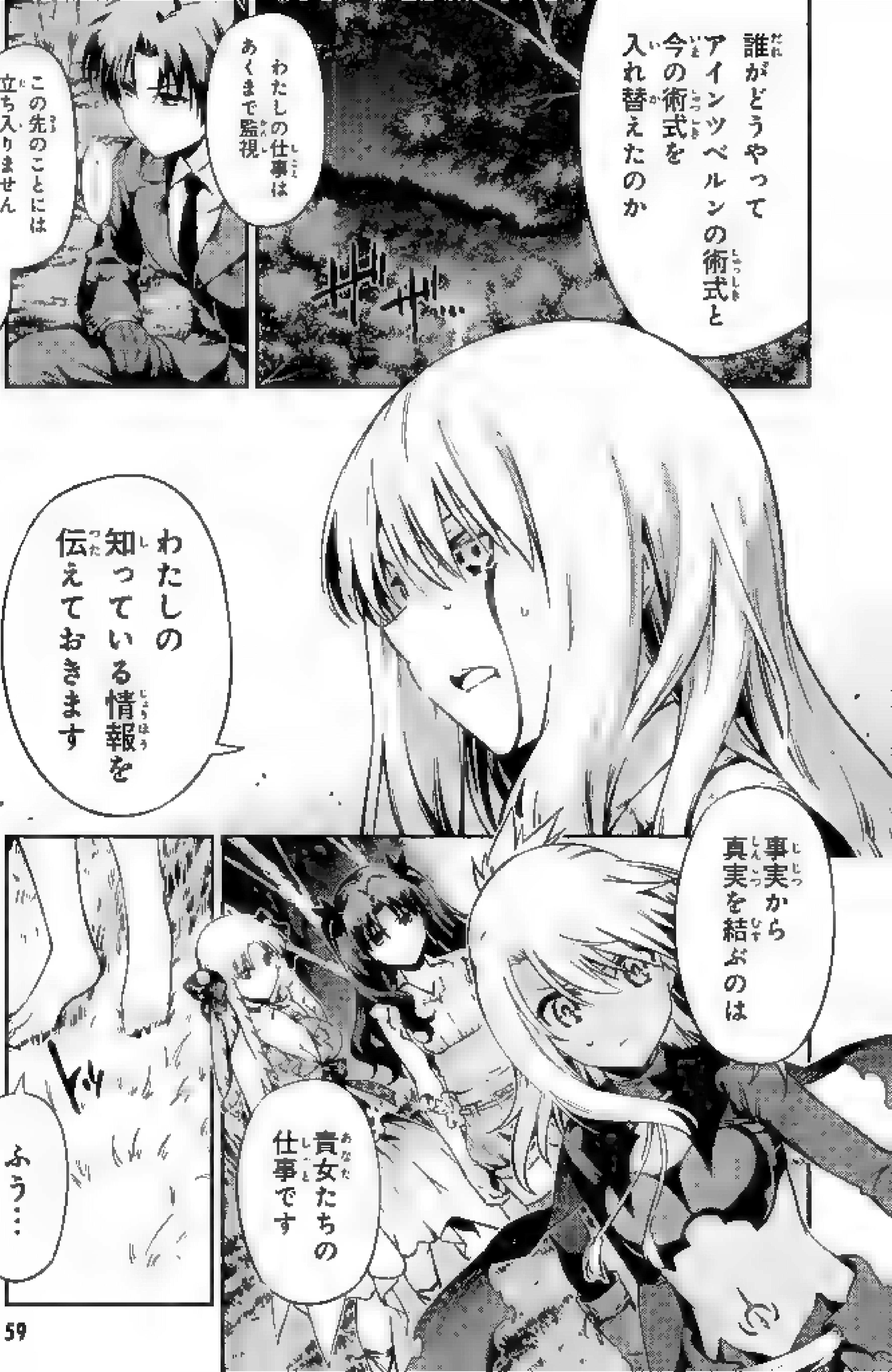

いやー しかし 何が なにやらー
いったい どういうこと なんです これは？
それは こっちが 聞きたいねー
僕だって 突然のことで 混乱してるんだ
まったく おかしいよ この場
こんな・・・ 混じり方 してるなんて
混じり 方・？
あっ…
渦が・・・
ドーム状 に・・・!?

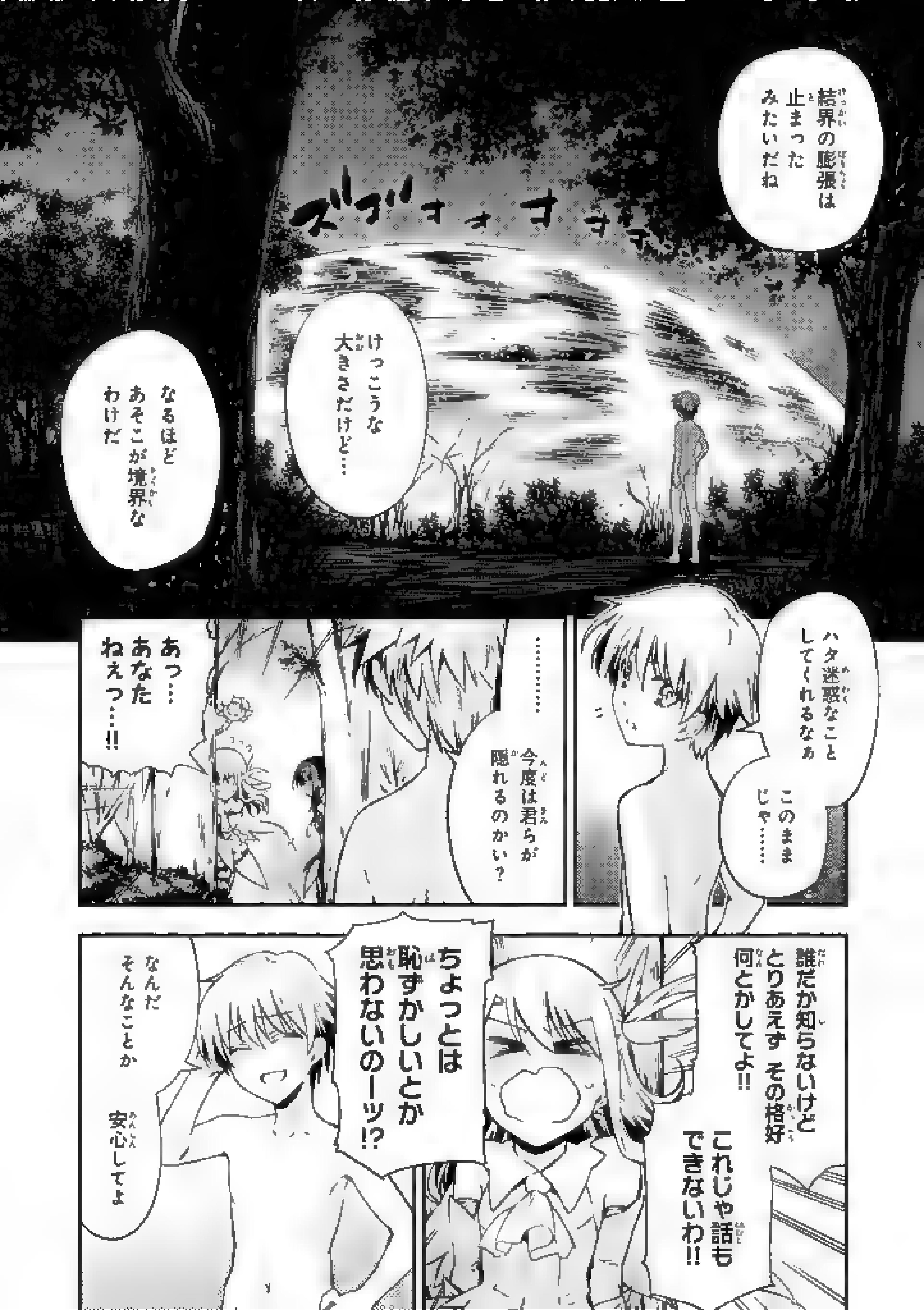

どんどん広がってきてる…!!
オオオ
あらら あっちはなんだか順調だなぁ
気をつけてね あの泥に触れるとたぶん死ぬよ
はい!?
イリヤ!! この場はまずい…
ドームの膨張速度が速い!!
どこまで膨れるかわからない!!
脱出を!!
ダッ
う… うん!!
あ ちょっと!!

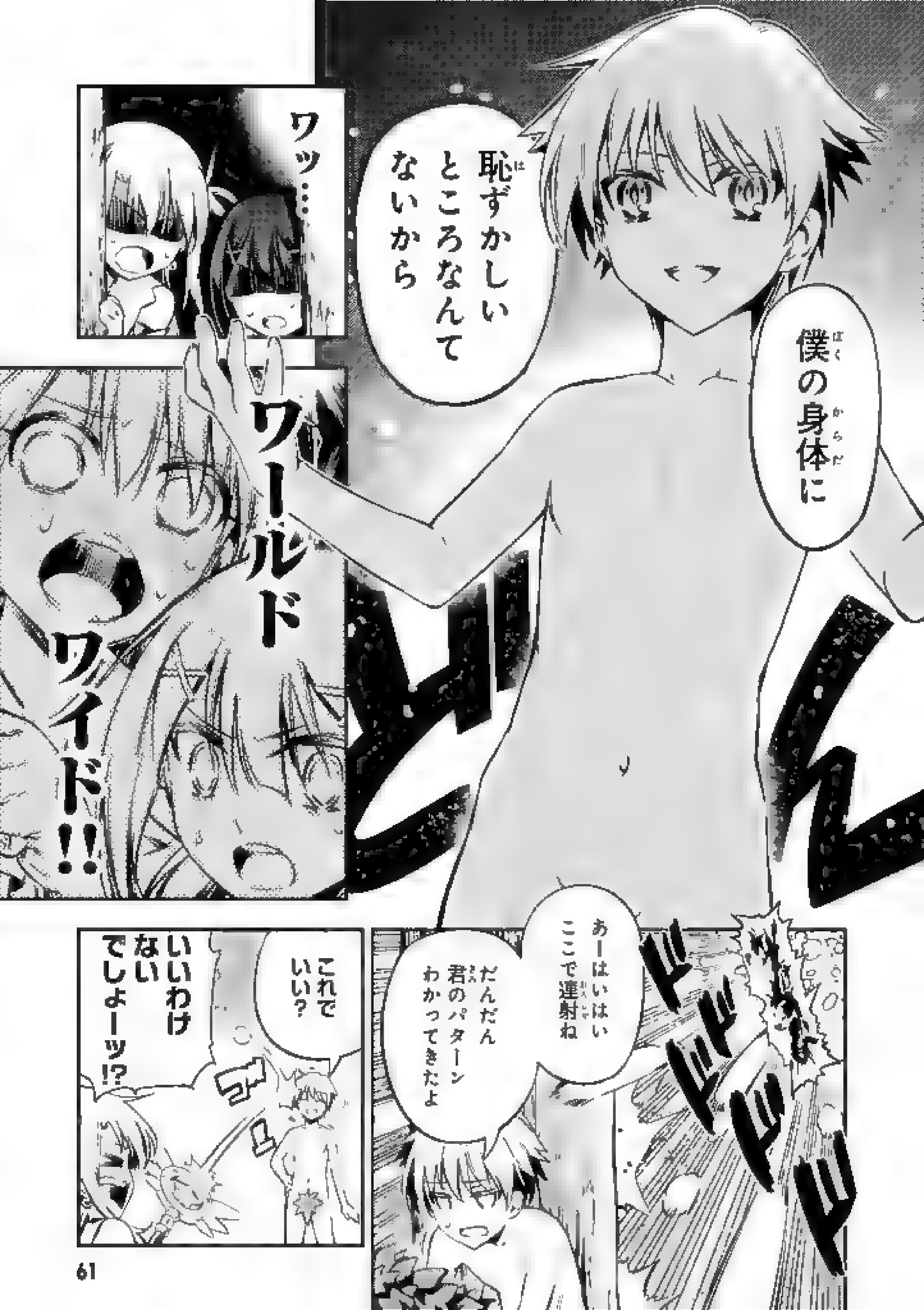

待ってよー！
君らだけ飛んで逃げるなんてズルくない!?
は!?
僕も助けてよー！！
な…なにあれ
自分で逃げることもできないの!?
まるっきりただの子供っぽいですねえ
どうするのイリヤ…!?
ど どうするって…
あーんもー!!
ズザザァ…
ひゃー…
あぶなかった
あそこで死んじゃうのかと思ったよ

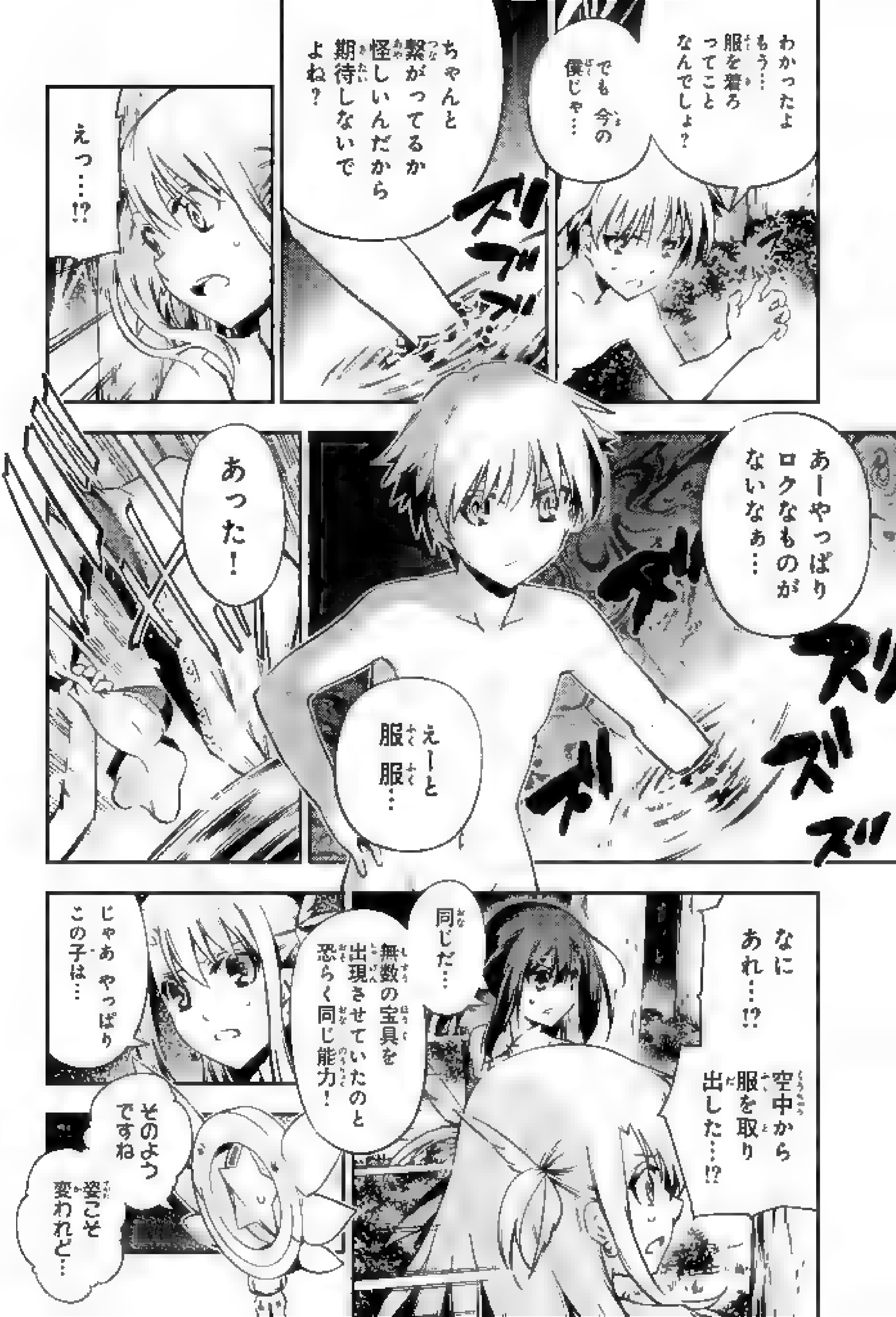

…助けて よかったの かな
でも あのまま 見殺しって のは…
この子の演技かも しれないのに よくやりますねー
ううっ…
じゃあ いっそ今 手を離してみれば 演技かどうか わかるかも…
え!?
ちょっと やめてよね 冗談でも そういうの!
ああ…
綺麗な 街だね
……?
キィィ——
——ッ…!!


かッ……!!
!?
なに!?
術式が…
起動しました…
術式…聖杯戦争の!?
その血は…!?
これは魔術の反動
気にしないでいいわ
わたしはただのカナリヤだから
それより…
この術式
アインツベルンのものではないわ
……!!
やはり別の何者かが…
疑問なのは

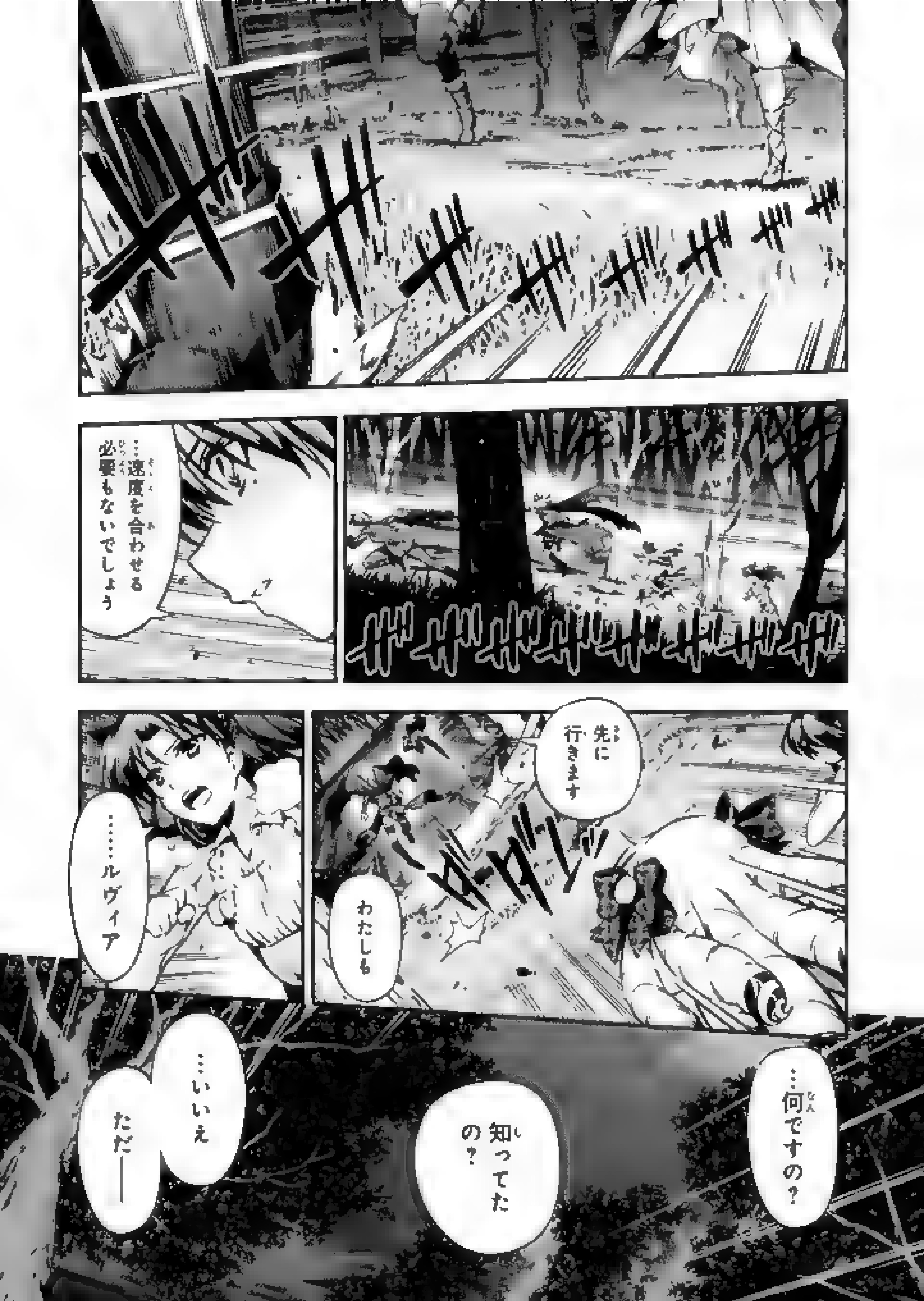

誰がどうやって
アインツベルンの術式と
今の術式を
入れ替えたのか
ザッ ザッ
わたしの仕事は
あくまで監視
この先のことには
立ち入りません
だから
わたしの
知っている情報を
伝えておきます
事実から
真実を結ぶのは
貴女たちの
仕事です
ザッ
ふう…

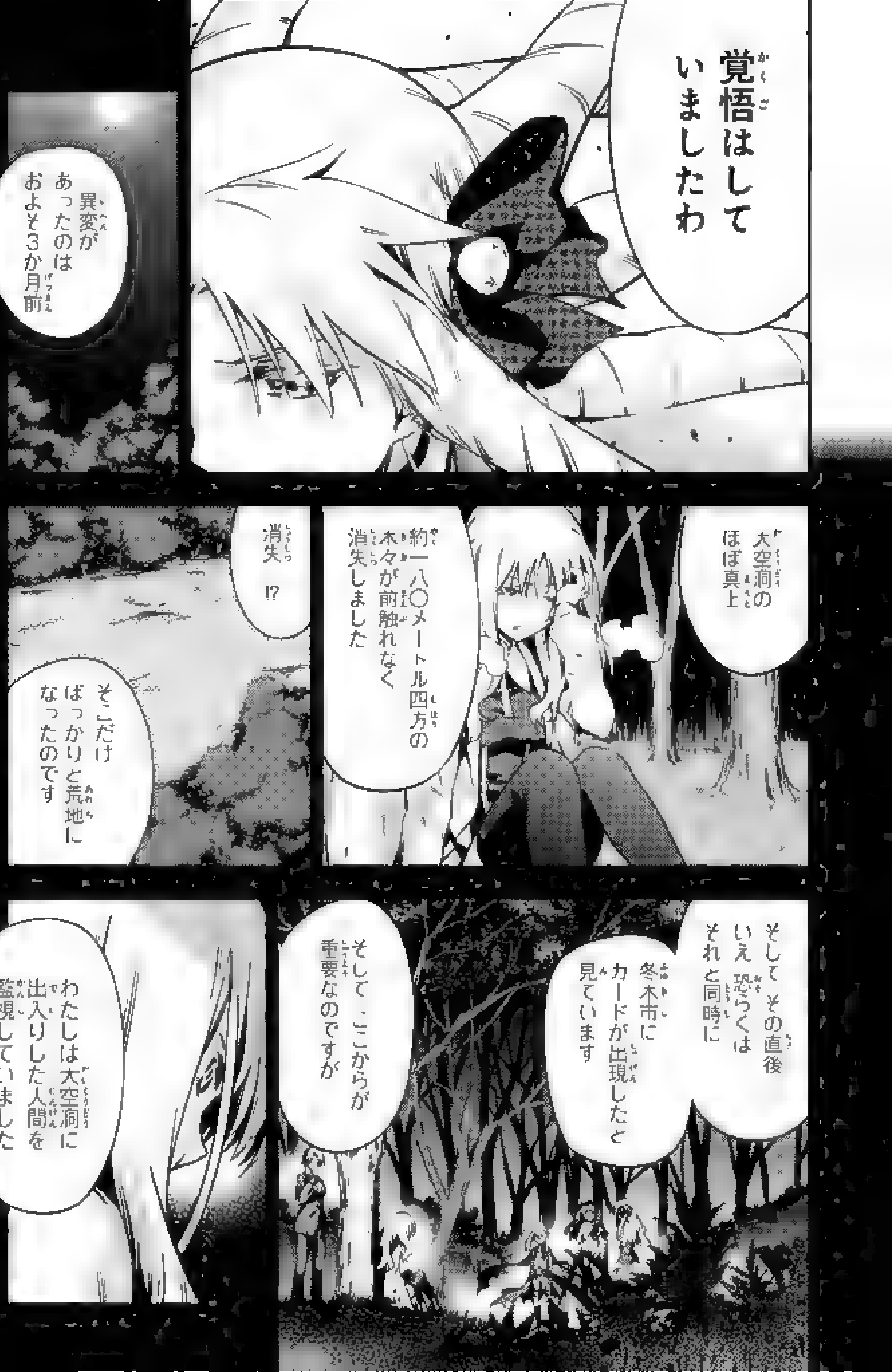

結界の膨張は止まったみたいだね
ズゴォォォォォ
けっこうな大きさだけど…
なるほどあそこが境界なわけだ
ハタ迷惑なことしてくれるなぁ
このままじゃ……
……
今度は君らが隠れるのかい？
あっ…あなたねえっ…!!
誰だか知らないけどとりあえずその格好何とかしてよ!!
これじゃ話もできないわ!!
ちょっとは恥ずかしいとか思わないのーッ!?
なんだそんなことか安心してよ

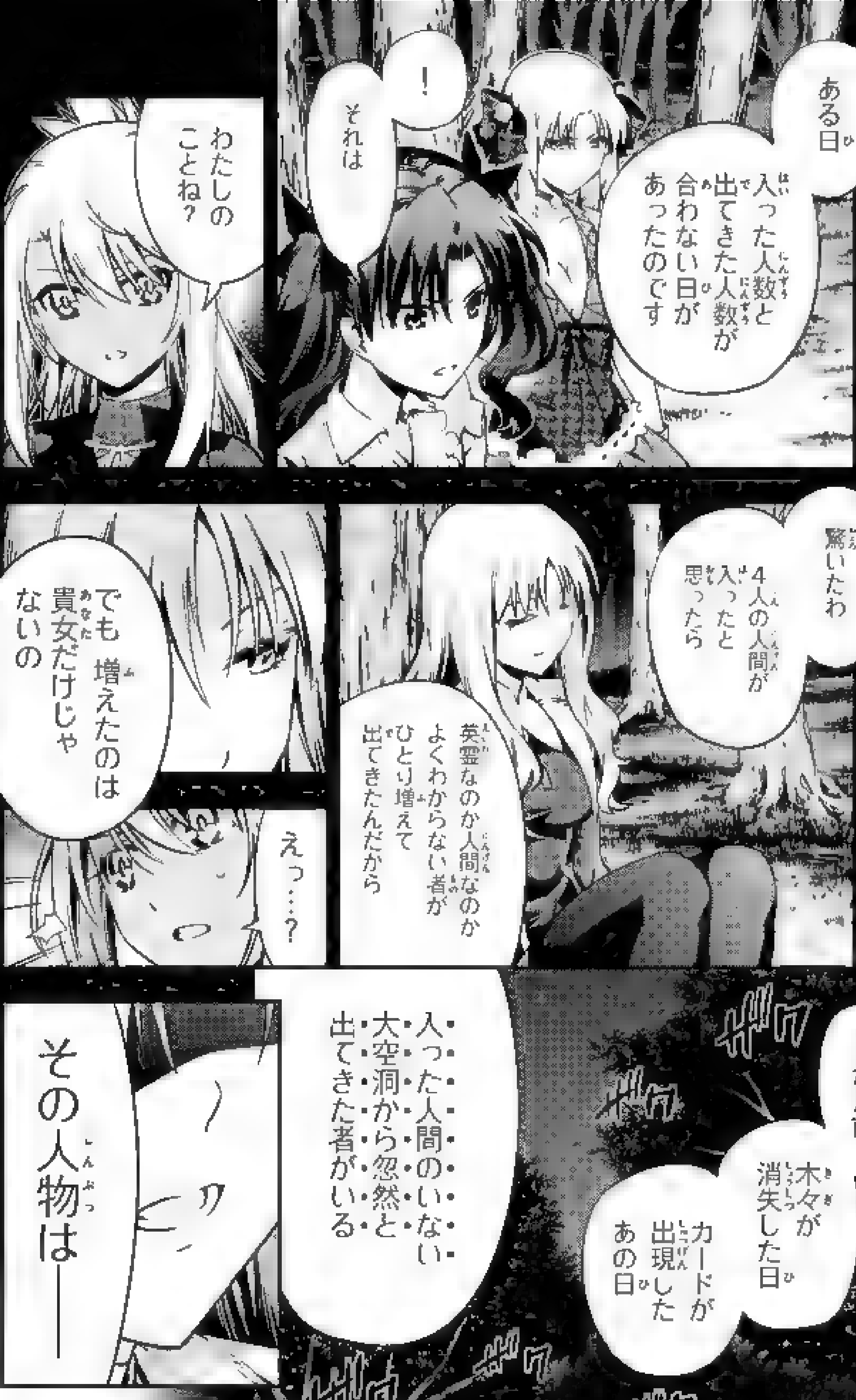

僕の身体に
恥ずかしいところなんてないから
ワッ……
ワールドワイド!!
ドドドドド
あーはいはいここで連射ね
だんだん君のパターンわかってきたよ
これでいい?
ゴッ
いいわけないでしょーッ!?


わかったよ もう… 服を着ろってことなんでしょ？
でも 今の僕じゃ…
ちゃんと繋がってるか怪しいんだから期待しないでよね？
ズリ ズリ
えっ…!?
あーやっぱりロクなものがないなぁ…
ズリ ズリ ズリ ズリ
えーと服服…
あった！
なにあれ…!?
空中から服を取り出した…!?
同じだ…
無数の宝具を出現させていたのと恐らく同じ能力！
じゃあやっぱりこの子は…
そのようですね
姿こそ変われど…

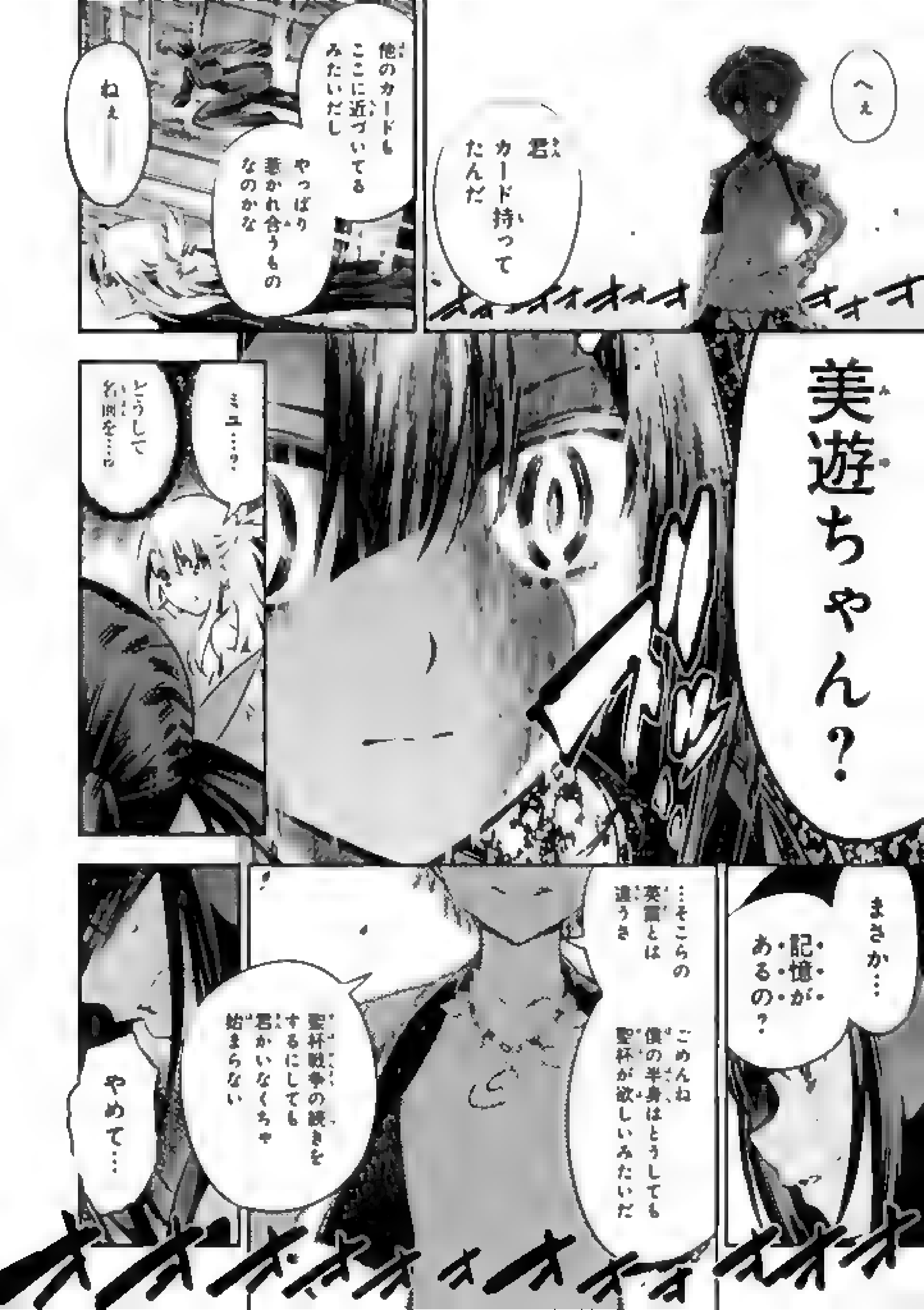
8枚目のカード・・・
その英霊です!!
さてと
これでお話できるよね？

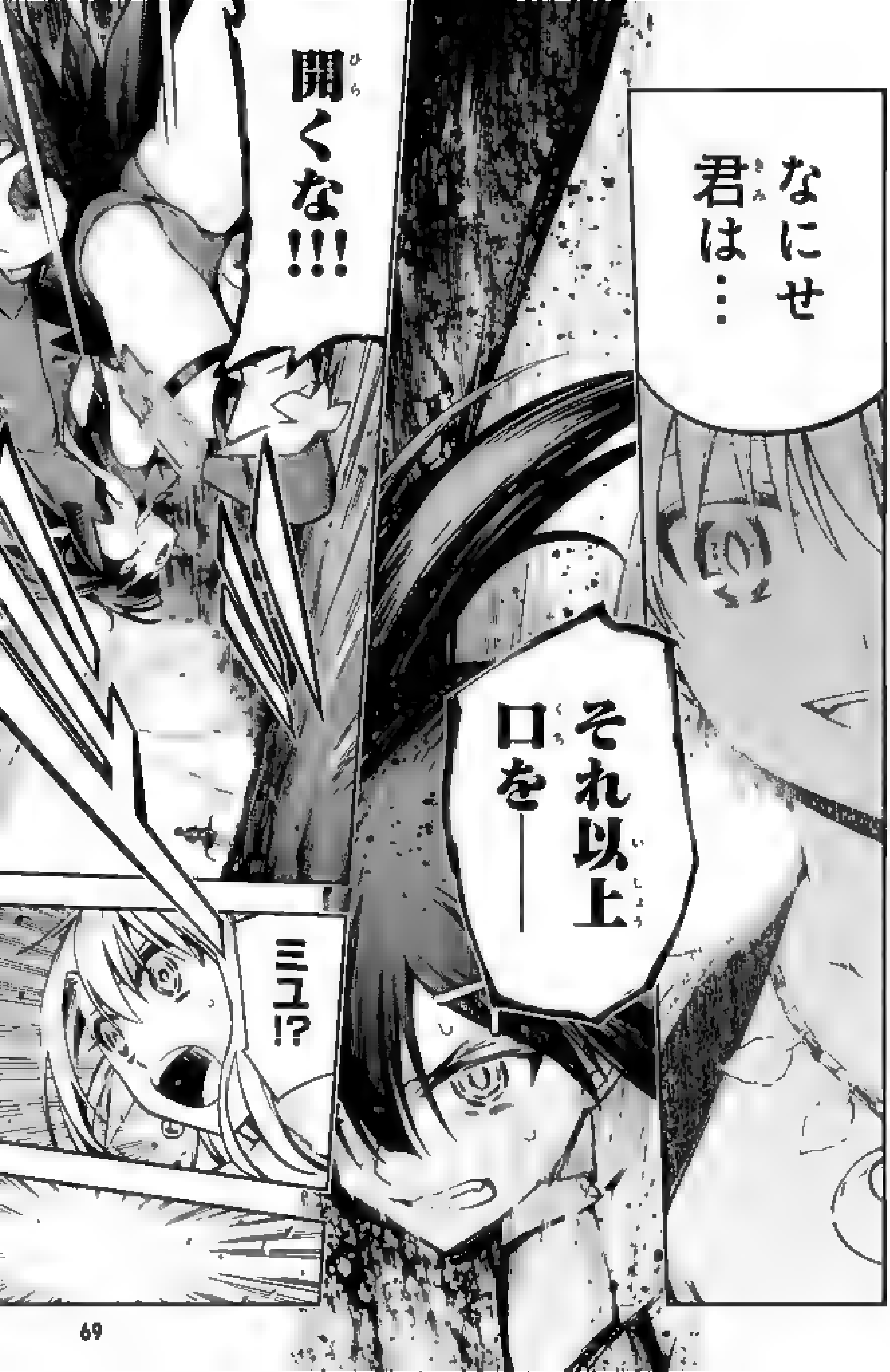

ザザザザザザザザ
ザザザザザザザザザザ
……速度を合わせる必要もないでしょう
先に行きます
ザザッ
わたしも
……ルヴィア
……何ですの？
知ってたの？
……いいえ
ただ――

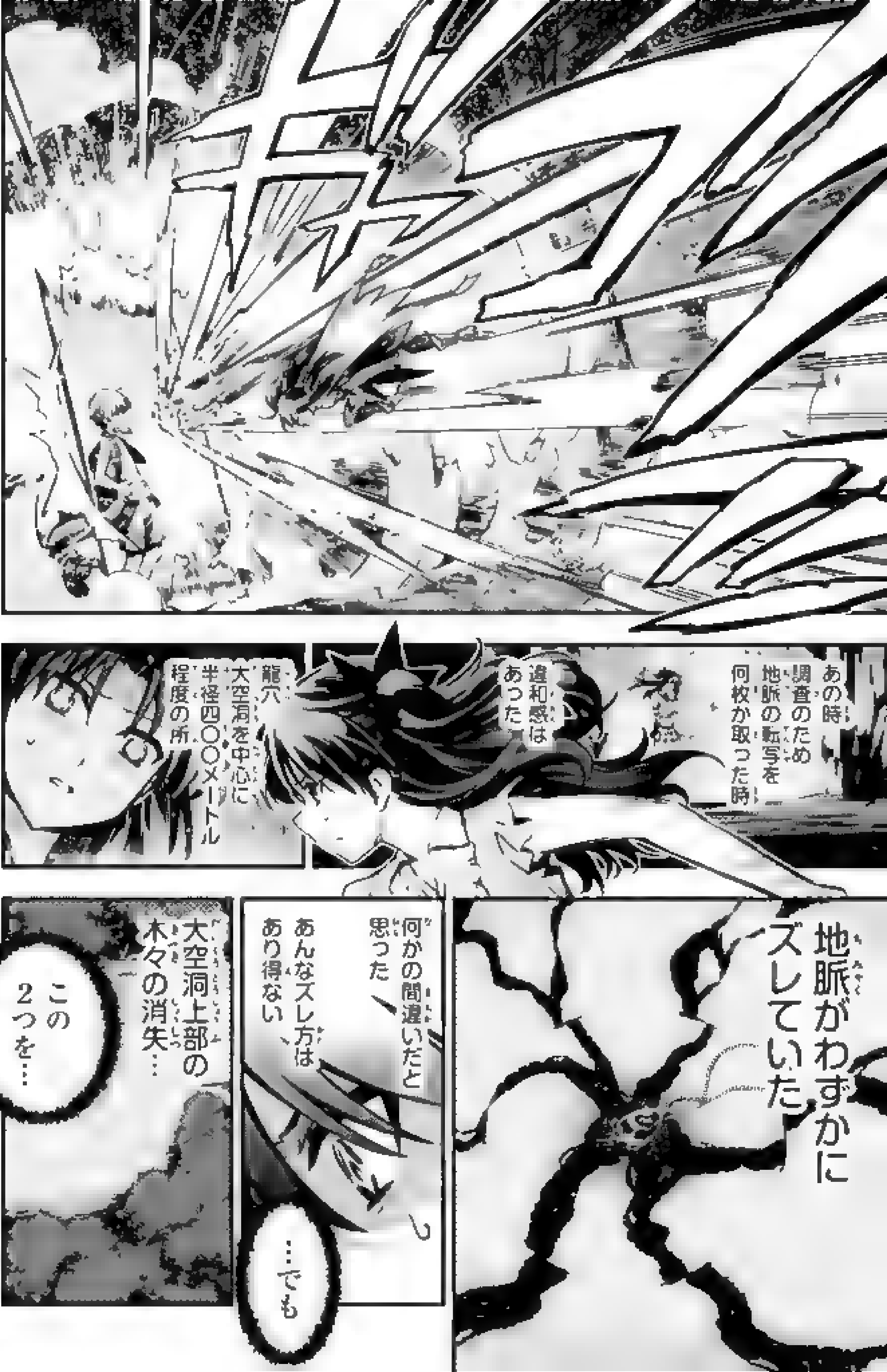

覚悟はしていましたわ
異変があったのはおよそ3か月前
大空洞のほぼ真上
約一八〇メートル四方の木々が前触れなく消失しました
消失!?
そこだけぽっかりと荒地になったのです
そしてその直後 いえ恐らくはそれと同時に冬木市にカードが出現したと見ています
そして、ここからが重要なのですが
わたしは大空洞に出入りした人間を監視していました


ある日
入った人数と出てきた人数が合わない日があったのです
！
それは
わたしのことね？
驚いたわ 4人の人間が入ったと思ったら
英霊なのか人間なのかよくわからない者がひとり増えて出てきたんだから
でも 増えたのは貴女だけじゃないの
えっ…？
3か月前
木々が消失した日 カードが出現したあの日
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
入った人間のいない大空洞から忽然と出てきた者がいる
その人物は——

なっ…!?
これは…!?
カードが…
脈打ってる…!?


へぇ
君 カード持ってたんだ
オォォオオオオ
他のカードもここに近づいてるみたいだし
やっぱり惹かれ合うものなのかな
ねぇ――
美遊ちゃん？
ミユ…？
どうして名前を…!?
まさか…記憶があるの？
…そこらの英霊とは違うさ
ごめんね 僕の半身はどうしても聖杯が欲しいみたいだ
聖杯戦争の続きをするにしても君がいなくちゃ始まらない
やめて…
オオオオオオオオオオオオオ


なにせ君は・・・
それ以上口を――
開くな!!!
ミユ!?


あの時
調査のため
地脈の転写を
何枚か取った時
違和感は
あった
龍穴
大空洞を中心に
半径四〇〇メートル
程度の所
地脈がわずかに
ズレていた
何かの間違いだと
思った
あんなズレ方は
あり得ない
…でも
大空洞上部の
木々の消失…
この
2つを…

立体で考えれば……!!
状況証拠でしかない　けど すべての辻褄が合ってしまう…！
つまり
大空洞周辺の空間が丸ごと
別の世界と入れ替わっている!!
なら…
ならば…!!
そこから出てきた美遊は…!!

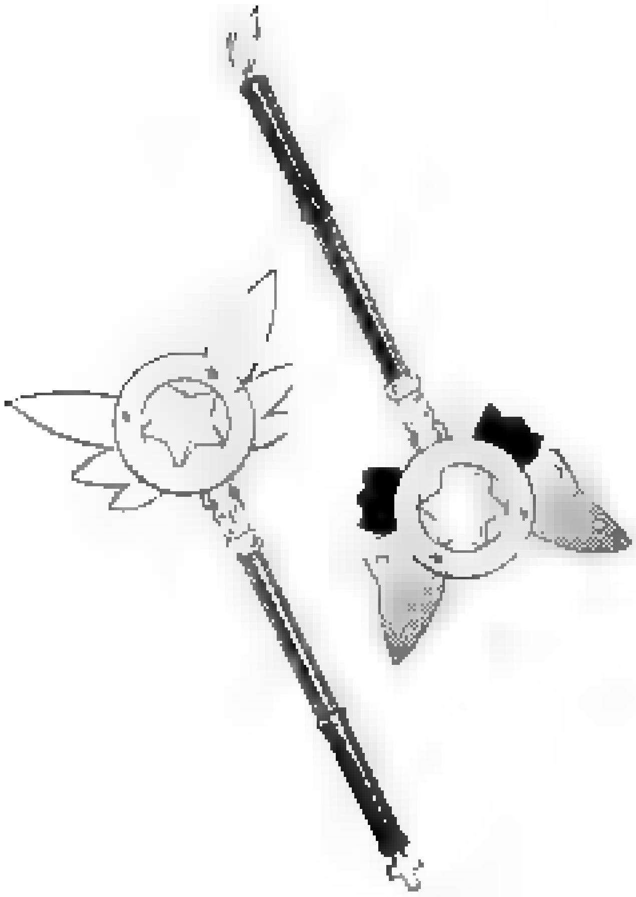
眠ってばかりだった君が
ずいぶんとお転婆になったものだ
もしかして秘密だったのかな――？

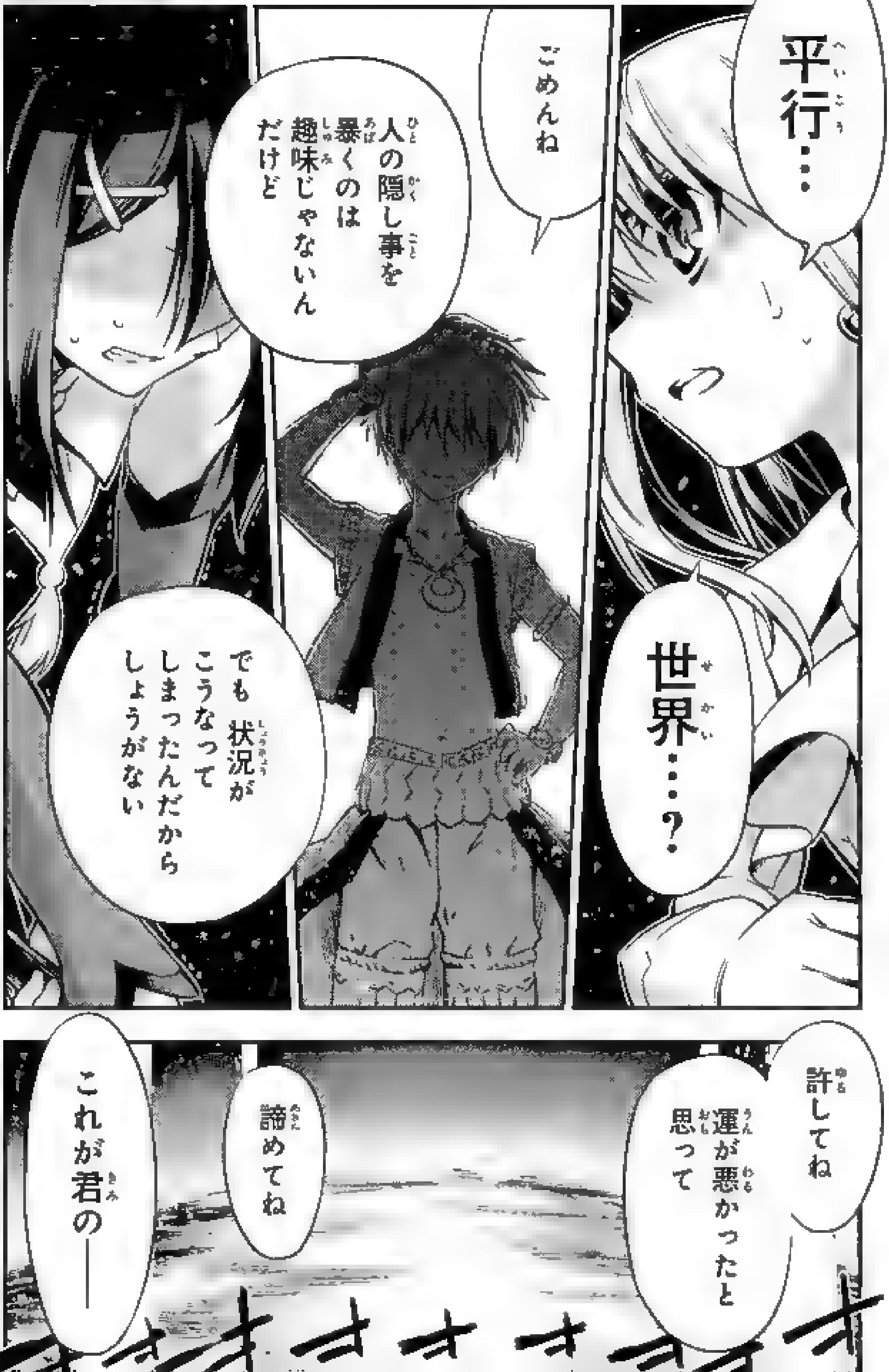
平行世界のお姫様

平行（へいこう）・・・
世界（せかい）・・・？

第25話☆おわり

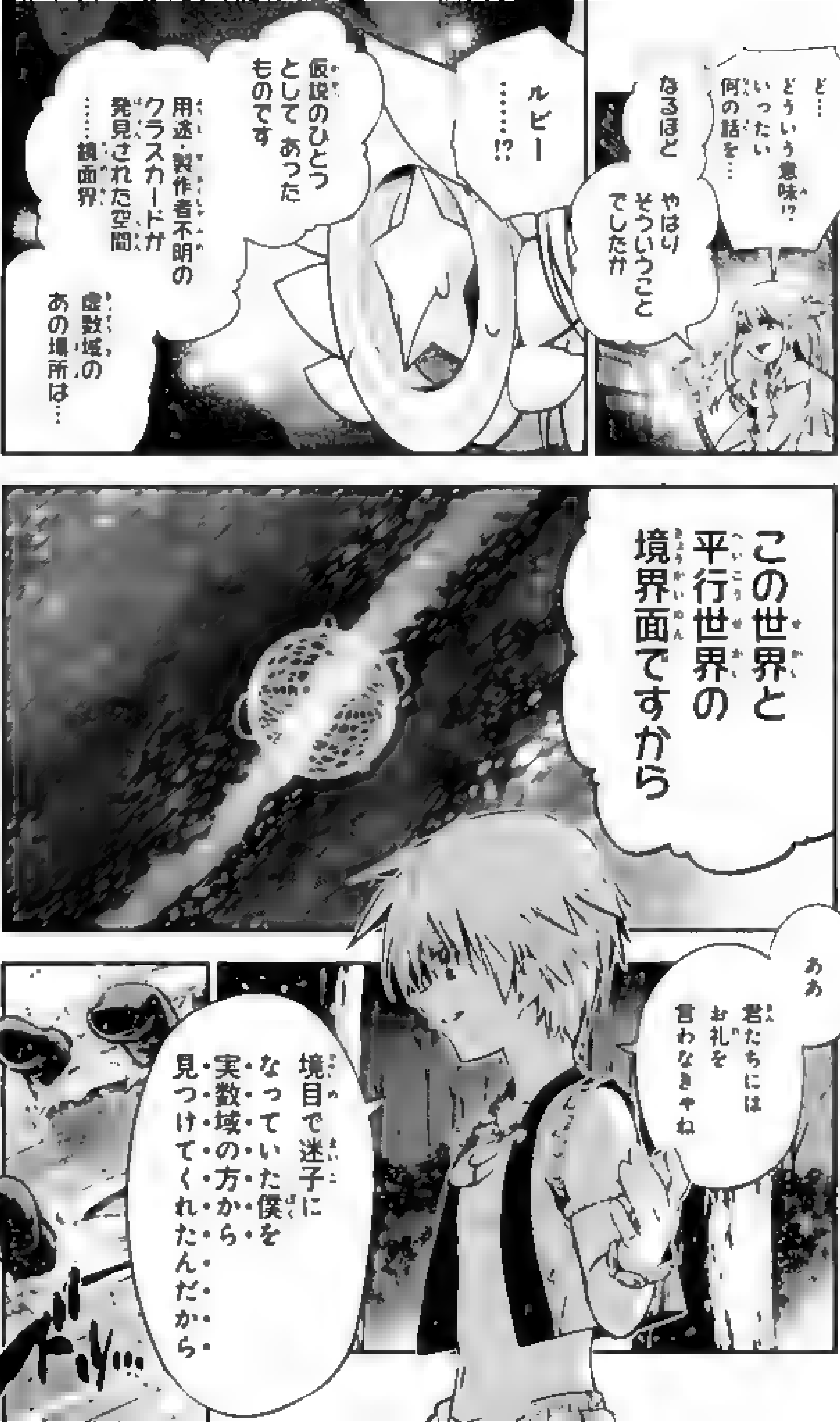
Fate/kaleid liner
プリズマ☆イリヤ 2wei!
ツヴァイ! PRISMA☆ILLYA 2wei!

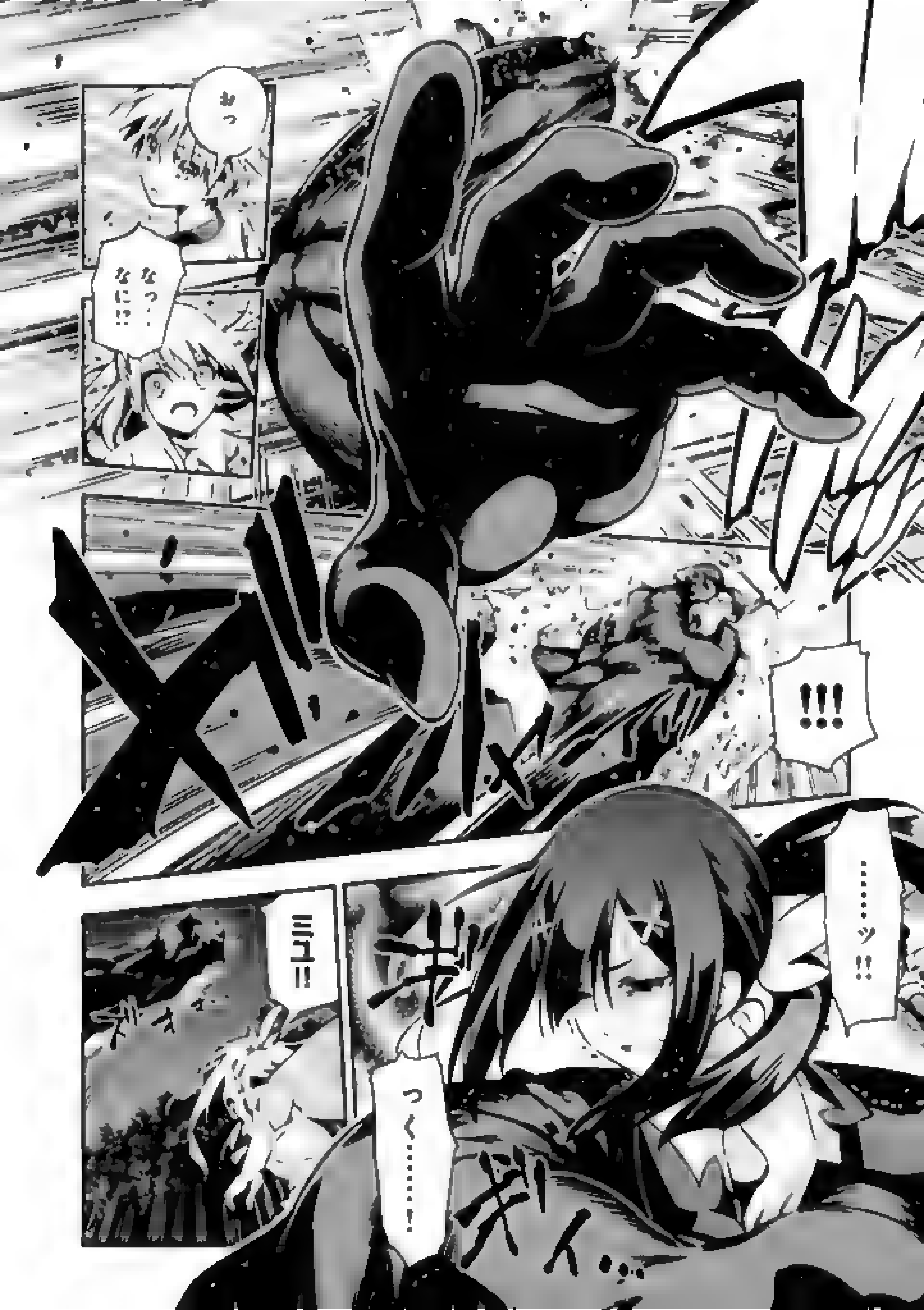



平行・・・
世界・・・？
ごめんね
人の隠し事を暴くのは趣味じゃないんだけど
でも 状況がこうなってしまったんだからしょうがない
許してね 運が悪かったと思って
諦めてね
これが君の――

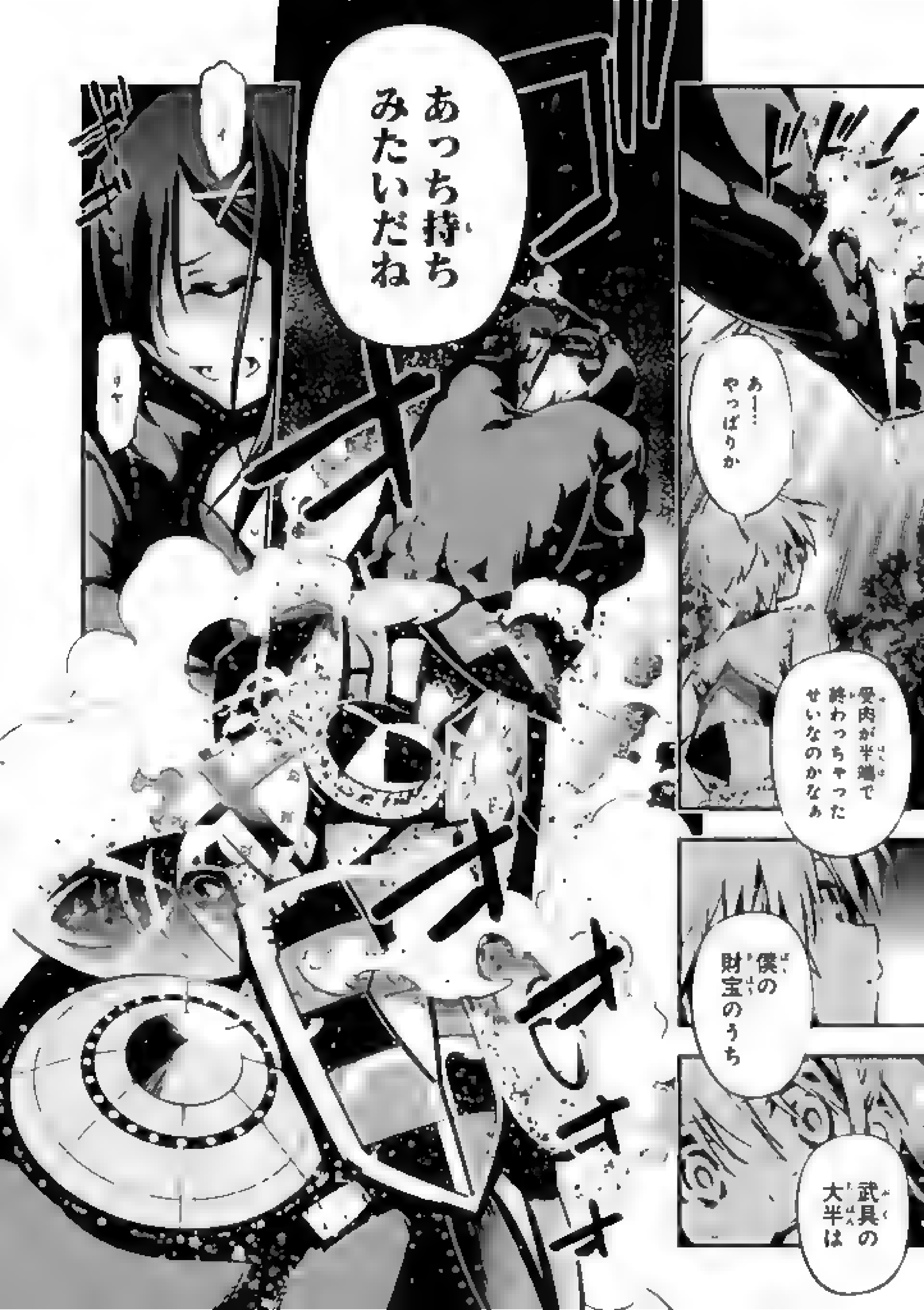
Fate（運命）だと思（おも）って
オオオオ…

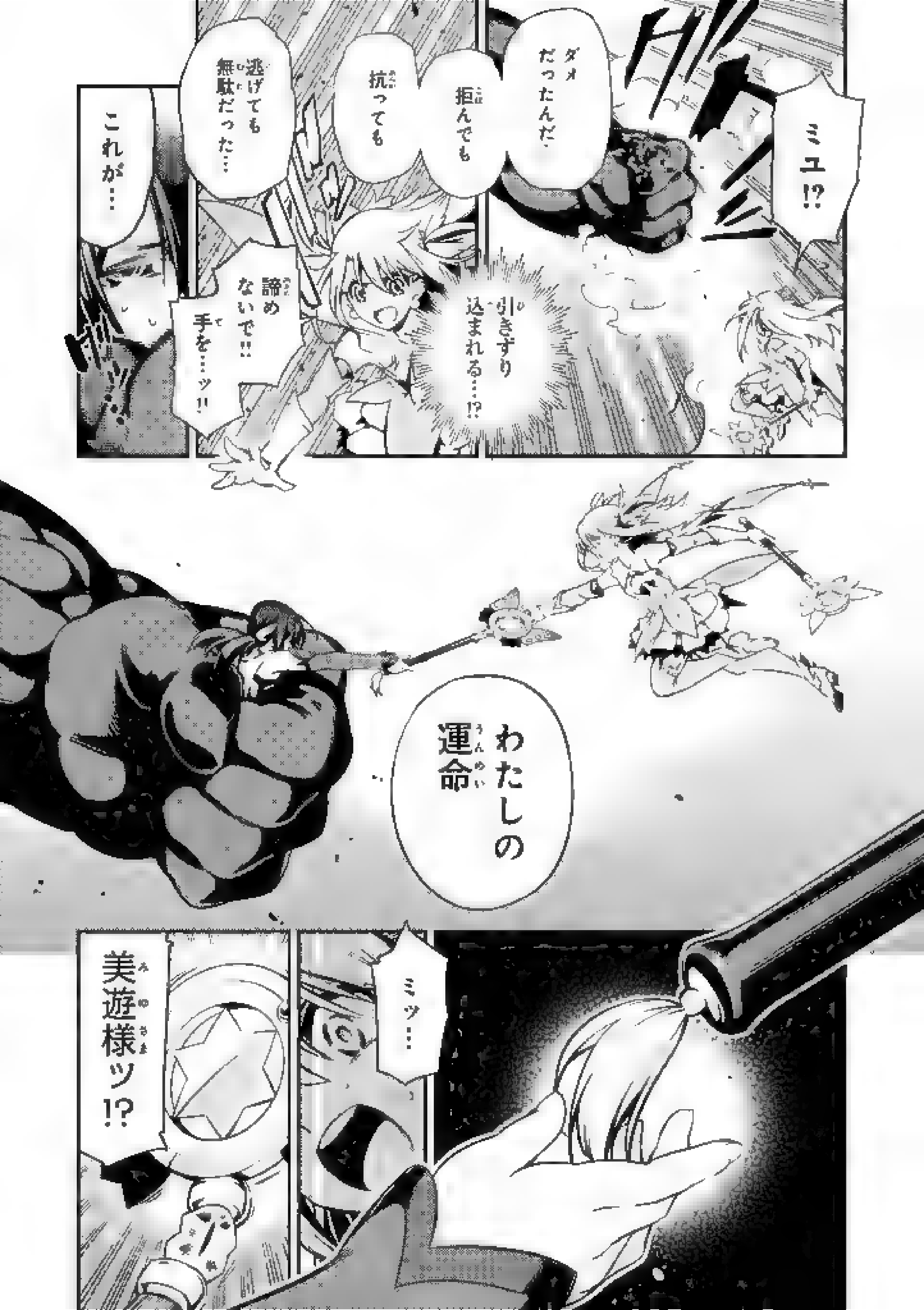
第26話☆黒色の運命

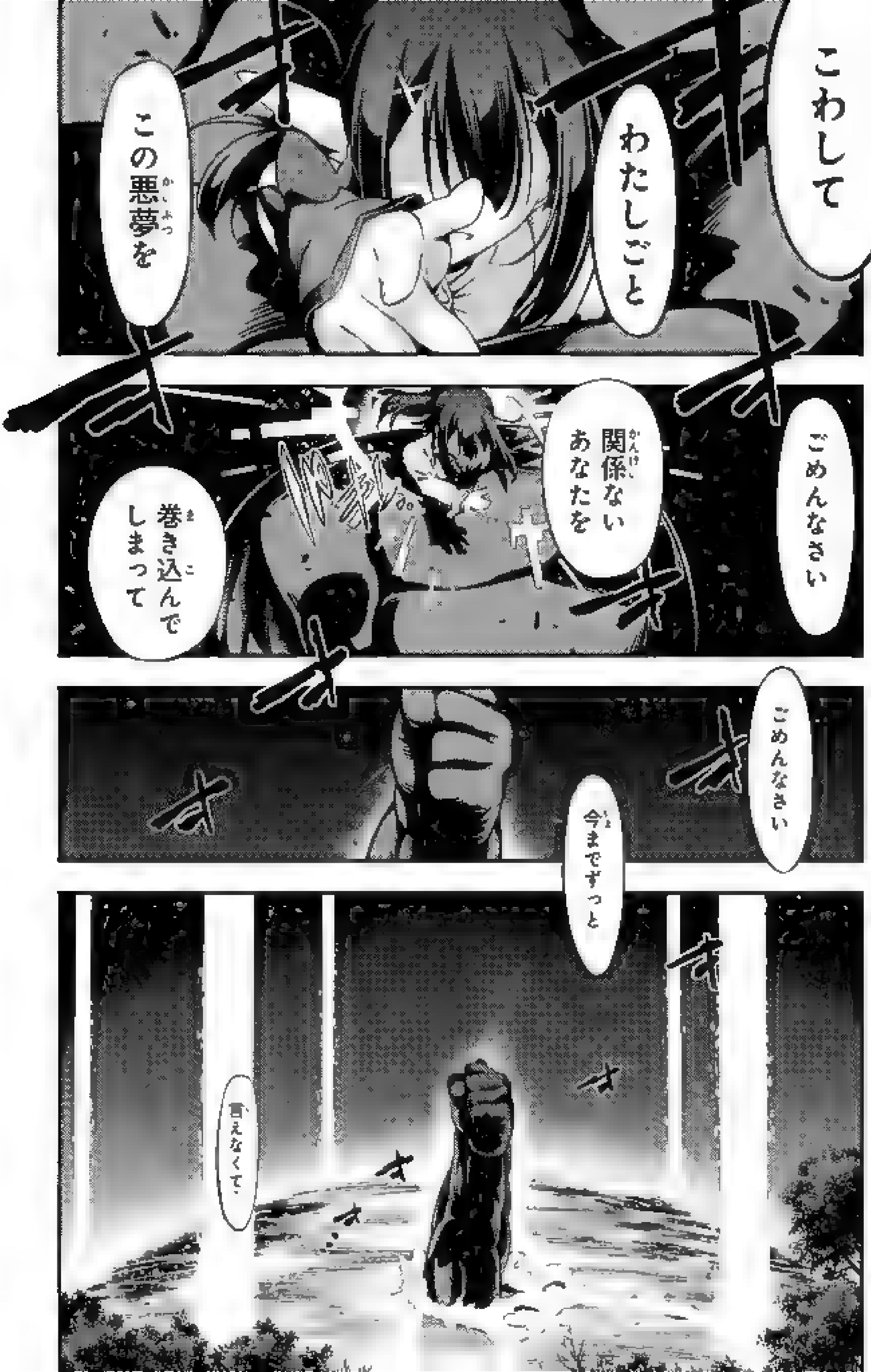

ど…どういう意味⁉
いったい何の話を…
なるほど
やはりそういうことでしたか
ルビー……⁉
仮説のひとつとして あったものです
用途・製作者不明のクラスカードが発見された空間……鏡面界
虚数域のあの場所は…
この世界と平行世界の境界面ですから
ああ
君たちにはお礼を言わなきゃね
境目で迷子になっていた僕を実数域の方から見つけてくれたんだから
ボリッ…


おっ
なっ…なに!?
ズバッ
!!!
……ッ!!
ギギ
ミュ!!
ズザァ
っく……!
ギィ…

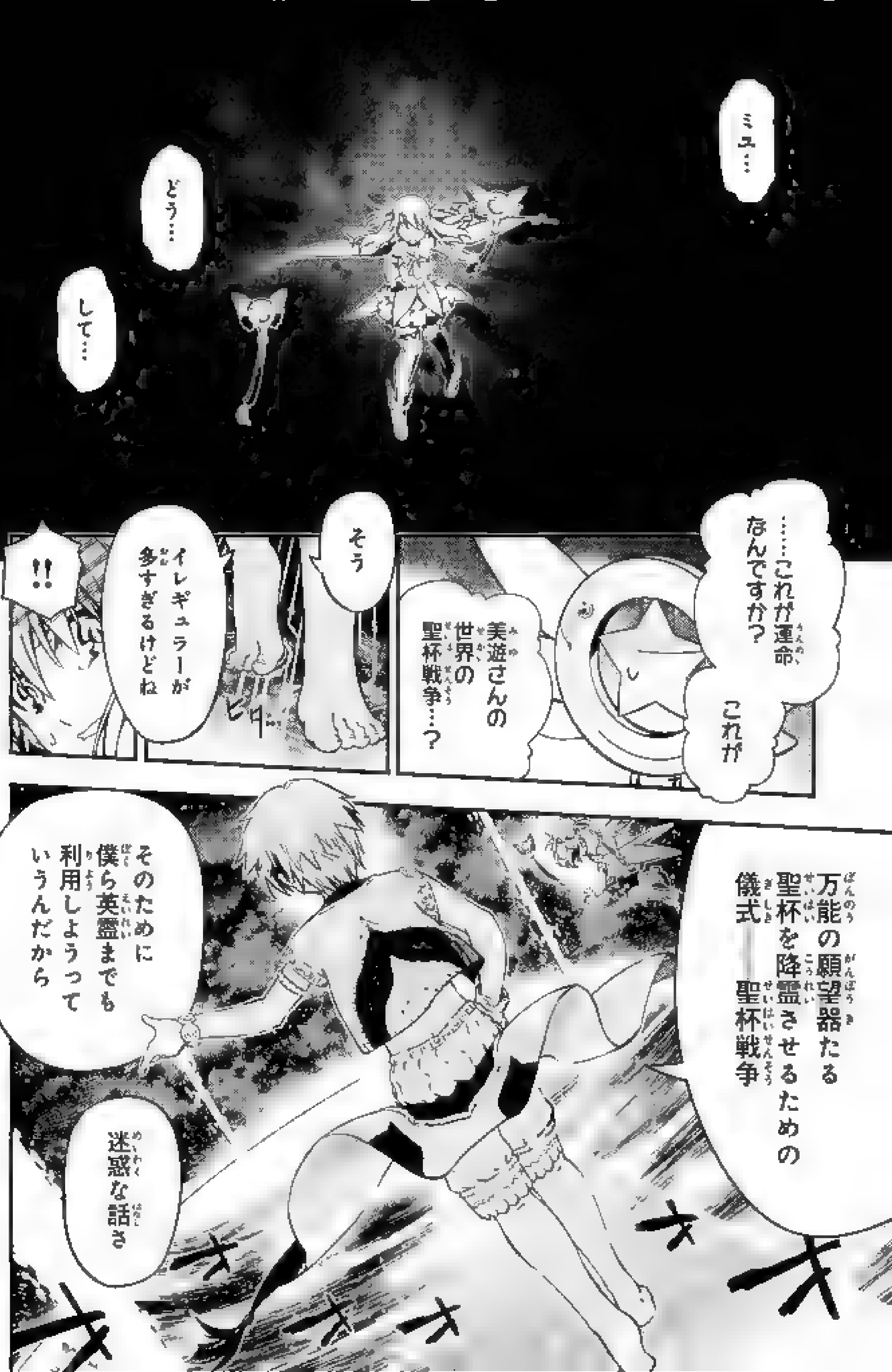
乱暴だなぁ
術式の乗っ取りは終わったのかい？
ドドドドドドドド
ミュ!!
待ってて 今助ける…!!
斬撃（シュナイデン）!!
えっ…

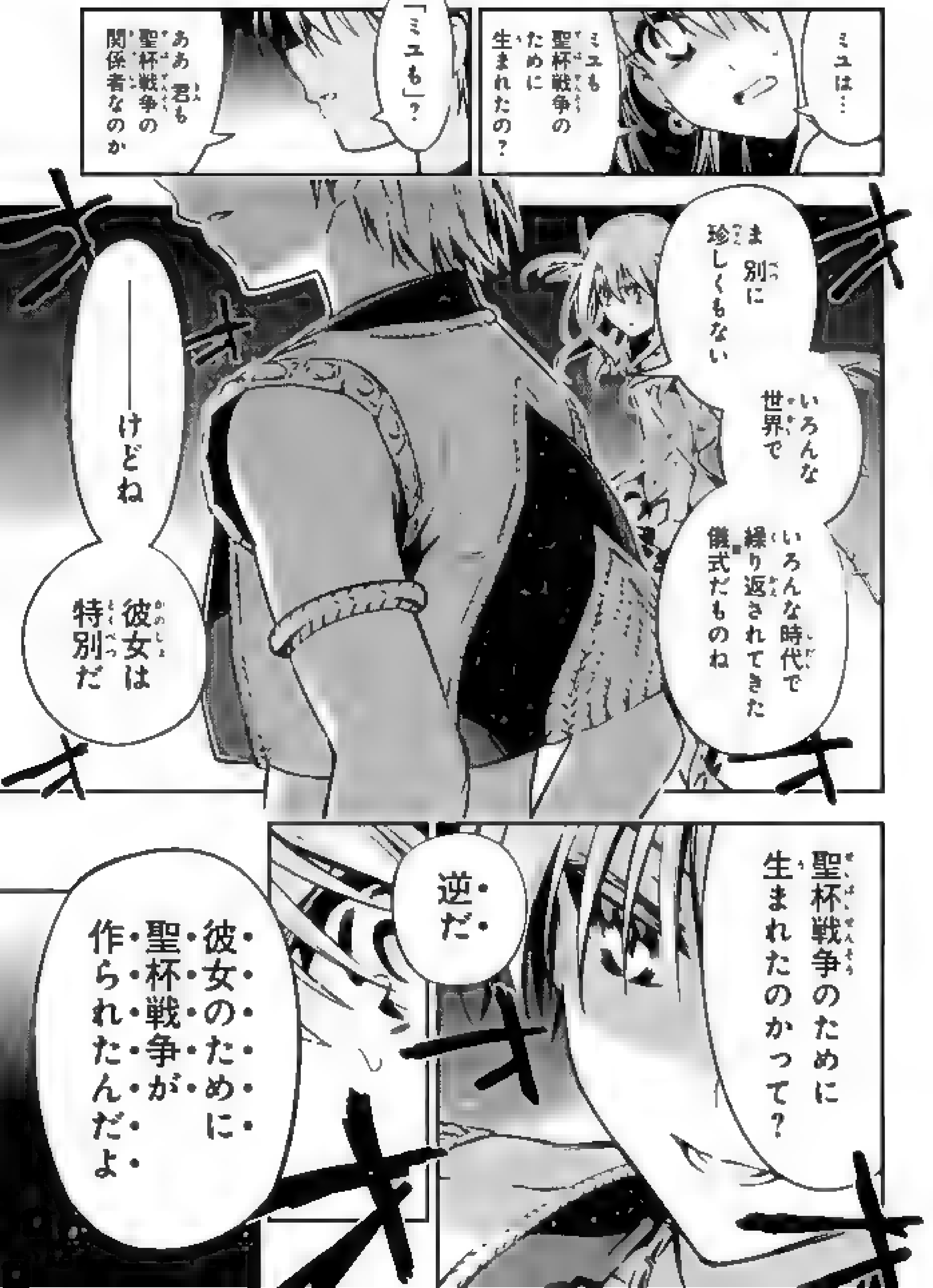

ドドド
あー…
やっぱりか
受肉が半端で
終わっちゃった
せいなのかなぁ
僕の
財宝のうち
武具の
大半は
あっち持ち
みたいだね
ギギ
りゃ…
ゴォオオ


ミユ!?
ダメだったんだ
拒んでも
抗っても
逃げても無駄だった…
引きずり込まれる…!?
諦めないで!!
手を…ッ!!
これが…
わたしの運命
ミッ…
美遊様ッ!?

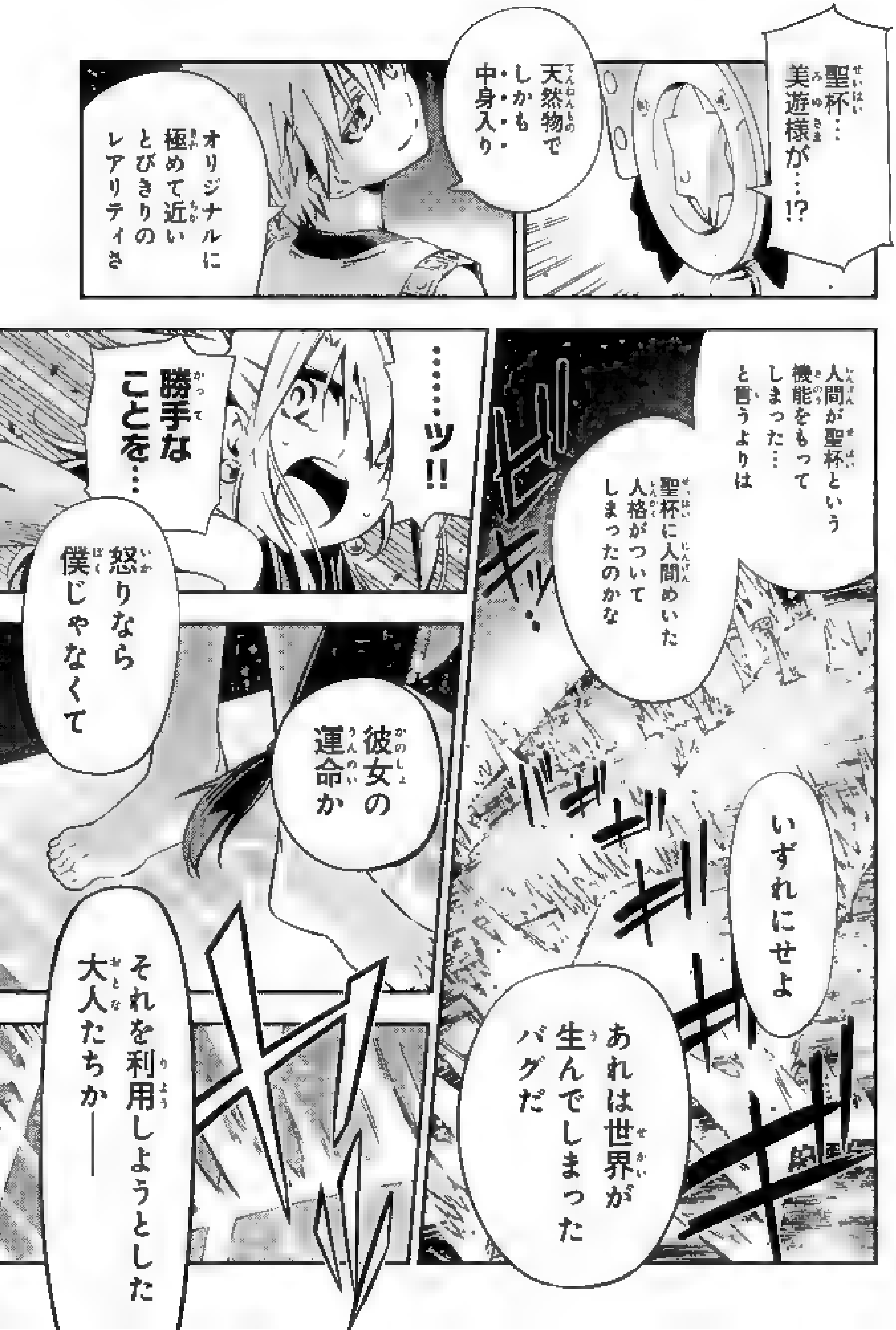

こわして
わたしごと
この悪夢を
ごめんなさい
関係ない あなたを
巻き込んでしまって
ごめんなさい
今までずっと
言えなくて

ミュ!!!
さよなら


ミユ…
どう…
して…
……これが運命なんですか？
これが
美遊さんの世界の聖杯戦争…？
そう
ピタ…
イレギュラーが多すぎるけどね
!!
万能の願望器たる聖杯を降霊させるための儀式――聖杯戦争
そのために僕ら英霊までも利用しようっていうんだから
迷惑な話さ

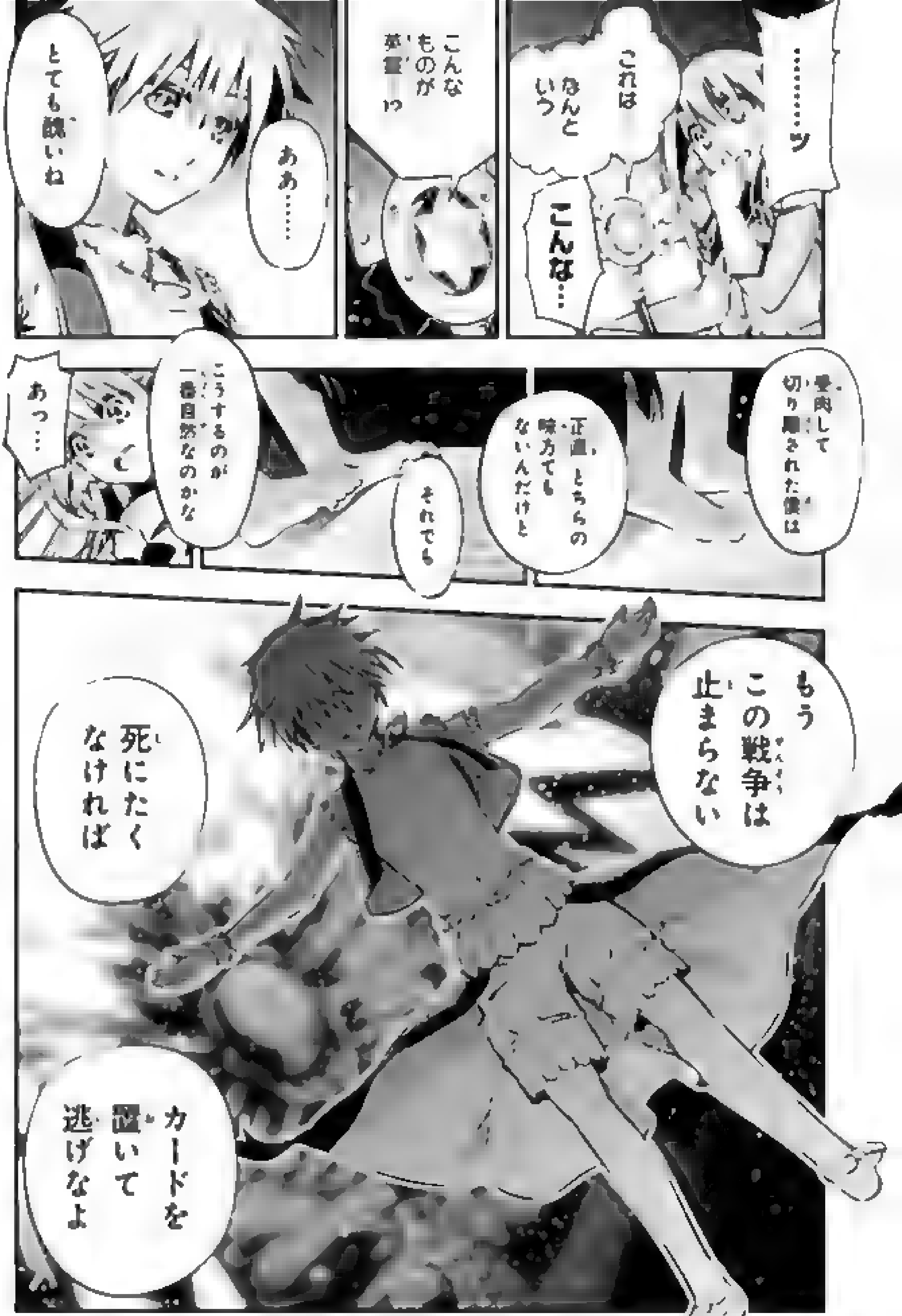

ミユは…
ミユも聖杯戦争のために生まれたの？
「ミユも」？
ああ 君も聖杯戦争の関係者なのか
ま 別に珍しくもない
いろんな世界で
いろんな時代で繰り返されてきた儀式だものね
——けどね
彼女は特別だ
聖杯戦争のために生まれたのかって？
逆だ・・
彼女のために聖杯戦争が作られたんだよ

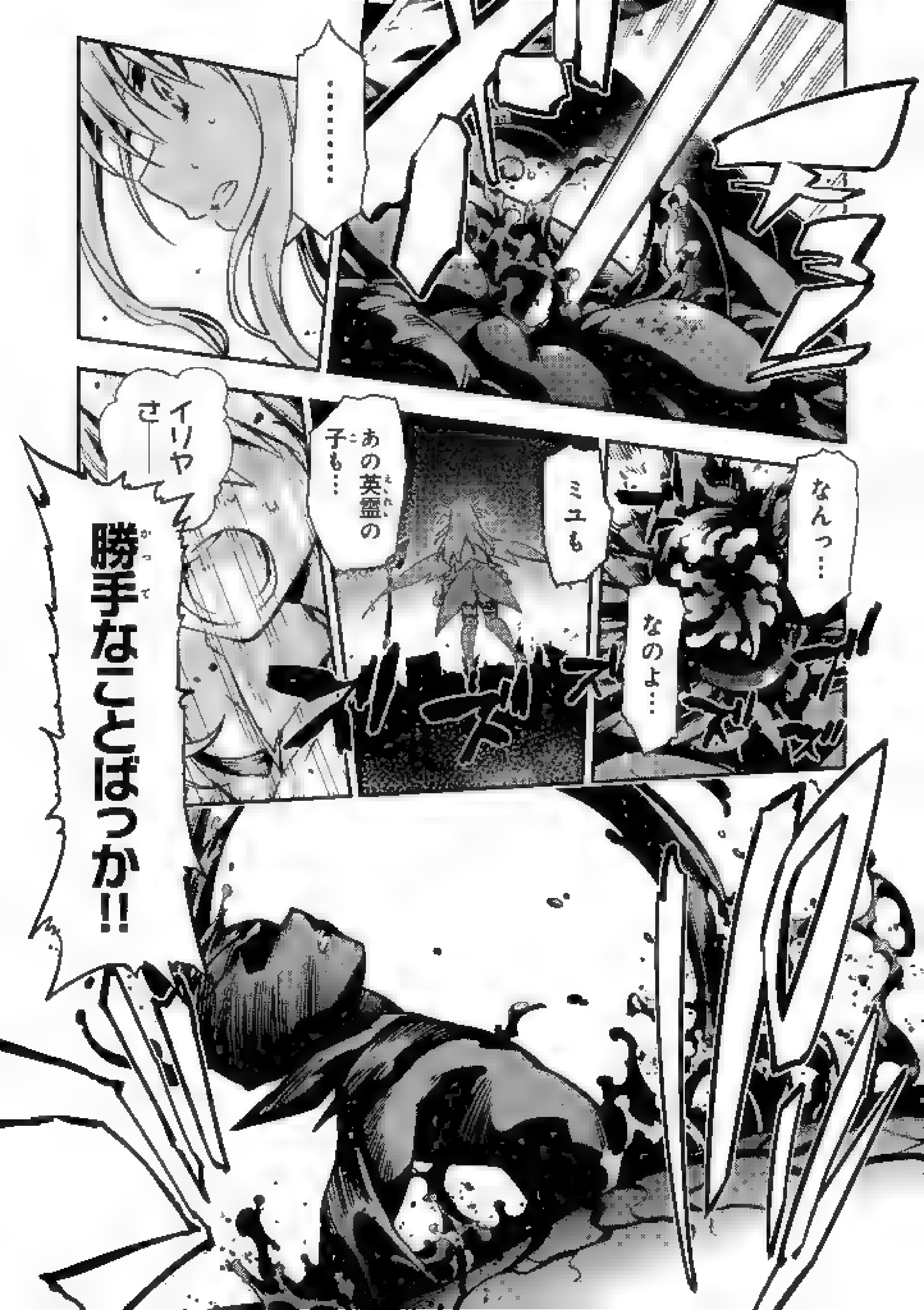
彼女は
生まれながらに完成された聖杯だった


聖杯・・・美遊様が・・・!?
天然物でしかも・・・中身入り
オリジナルに極めて近いとびきりのレアリティさ
人間が聖杯という機能をもってしまった・・・と言うよりは
聖杯に人間めいた人格がついてしまったのかな
ギリッ
ギギギギ
いずれにせよ
あれは世界が生んでしまったバグだ
・・・・・・ッ!!
勝手なことを・・・
怒りなら僕じゃなくて
彼女の運命か
それを利用しようとした大人たちか——

理性を失って肥大化した

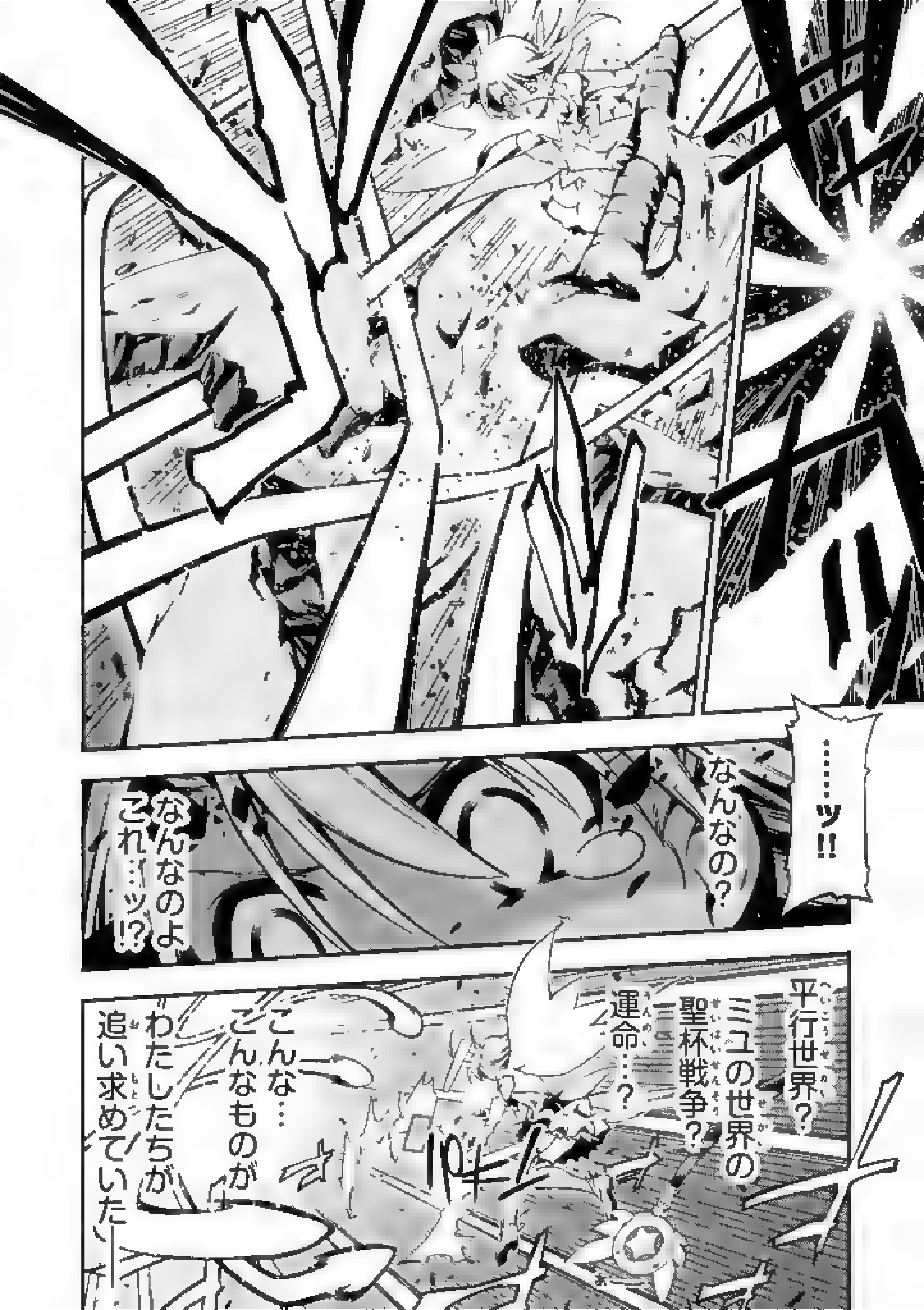
哀れなこの僕に・・・ぶつけてよ
ギギ

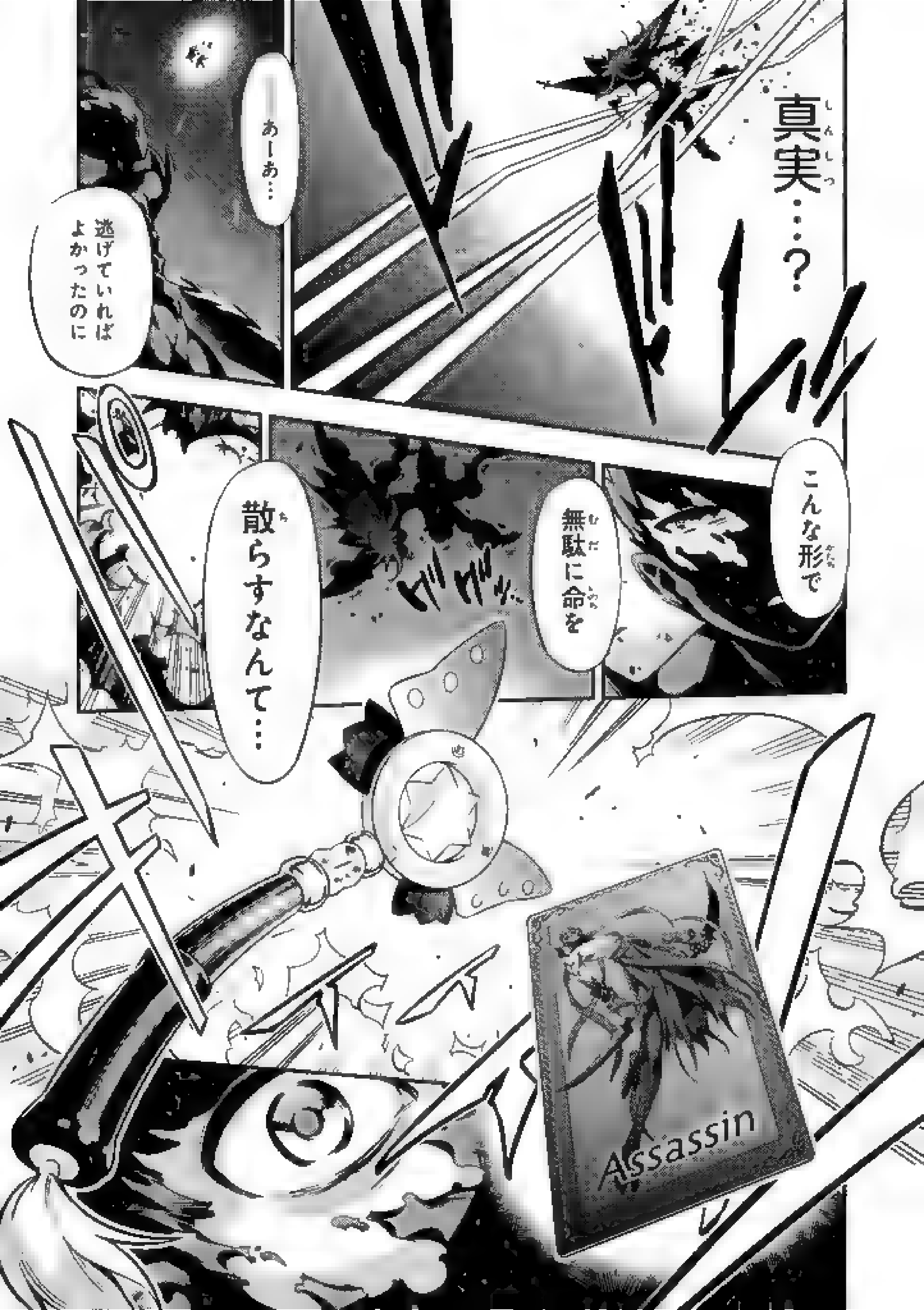

……ッ
これは なんと いう
こんな…
こんな ものが 英霊―ッ
ああ……
とても醜いね
受肉して 切り離された僕は
正直 どちらの 味方でも ないんだけど
それでも
こうするのが 一番自然なのかな
あっ…
もう この戦争は 止まらない
死にたく なければ
カードを 置いて 逃げなよ

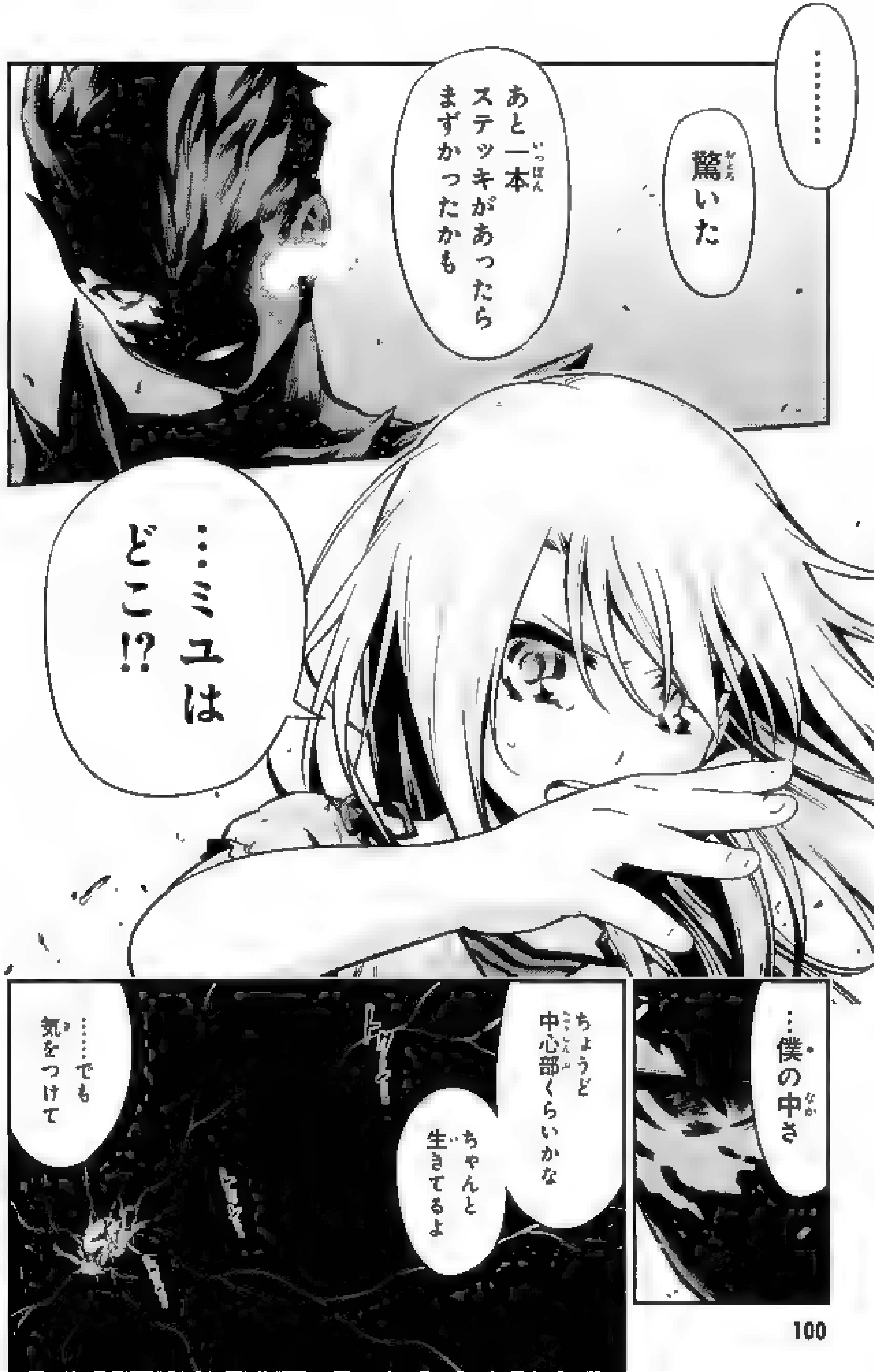

…………
なんっ…
なのよ…
ミユも
あの英霊の子も…
イリヤさ――
勝手なことばっか!!

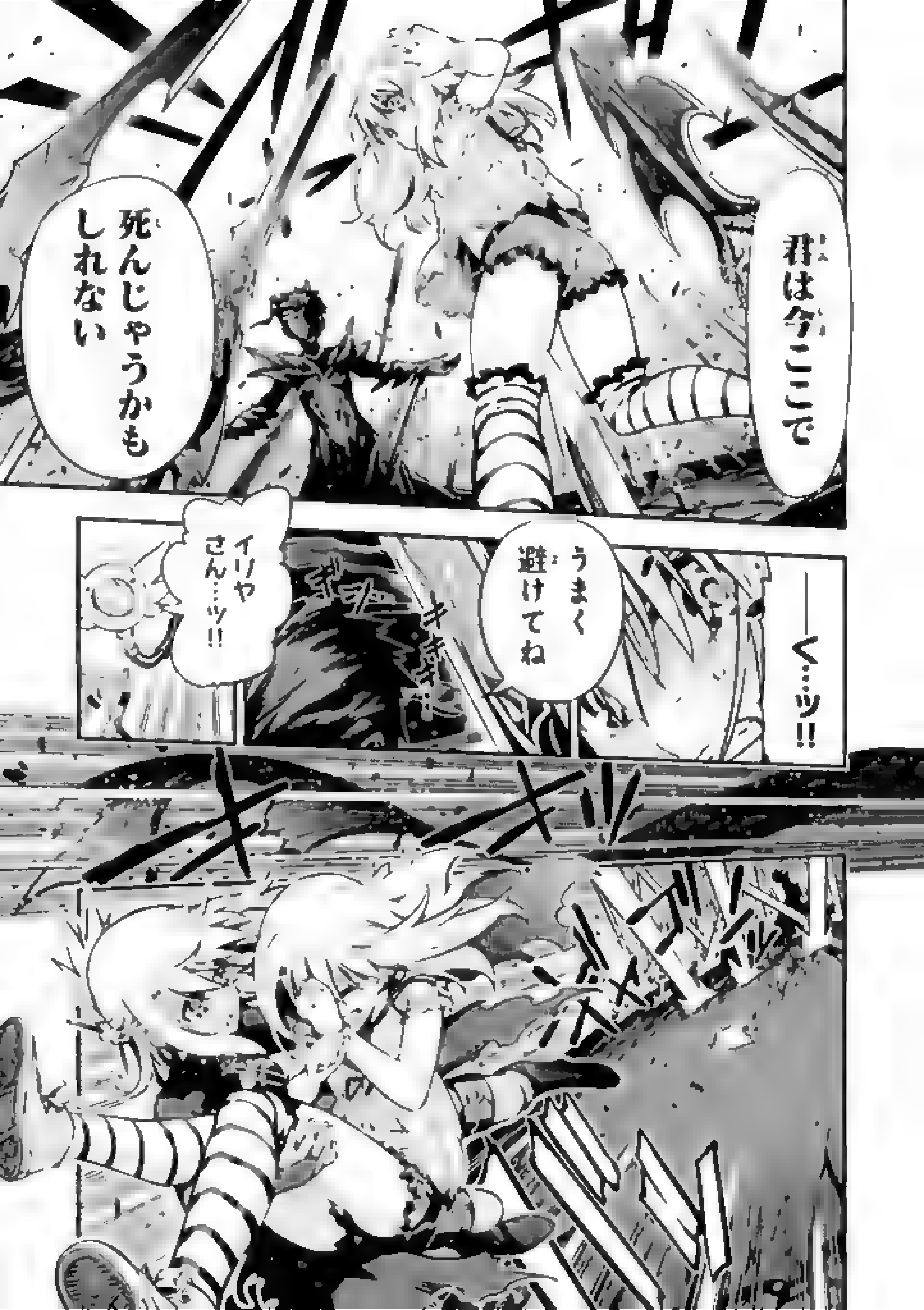
クラスカード『バーサーカー』!!
Berse
待ってください イリ…
限定展開（インクルード）!!
射殺す百頭（ナインライブズ）!!!

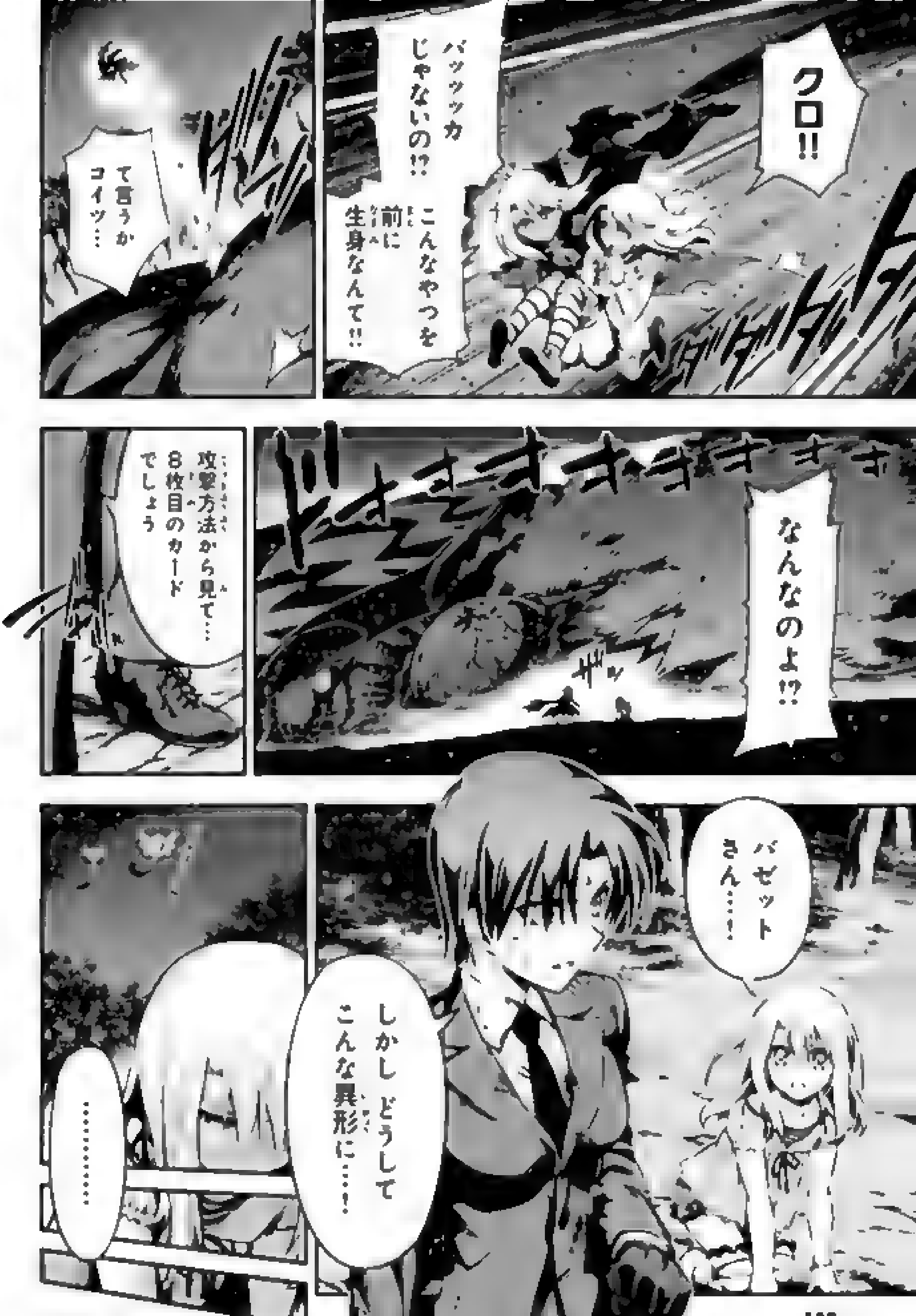
劣化物（レプリカ）じゃ
原典（オリジナル）には勝（か）てないよ
真・射殺す百頭（ナインライブズ）!!!
なっ…

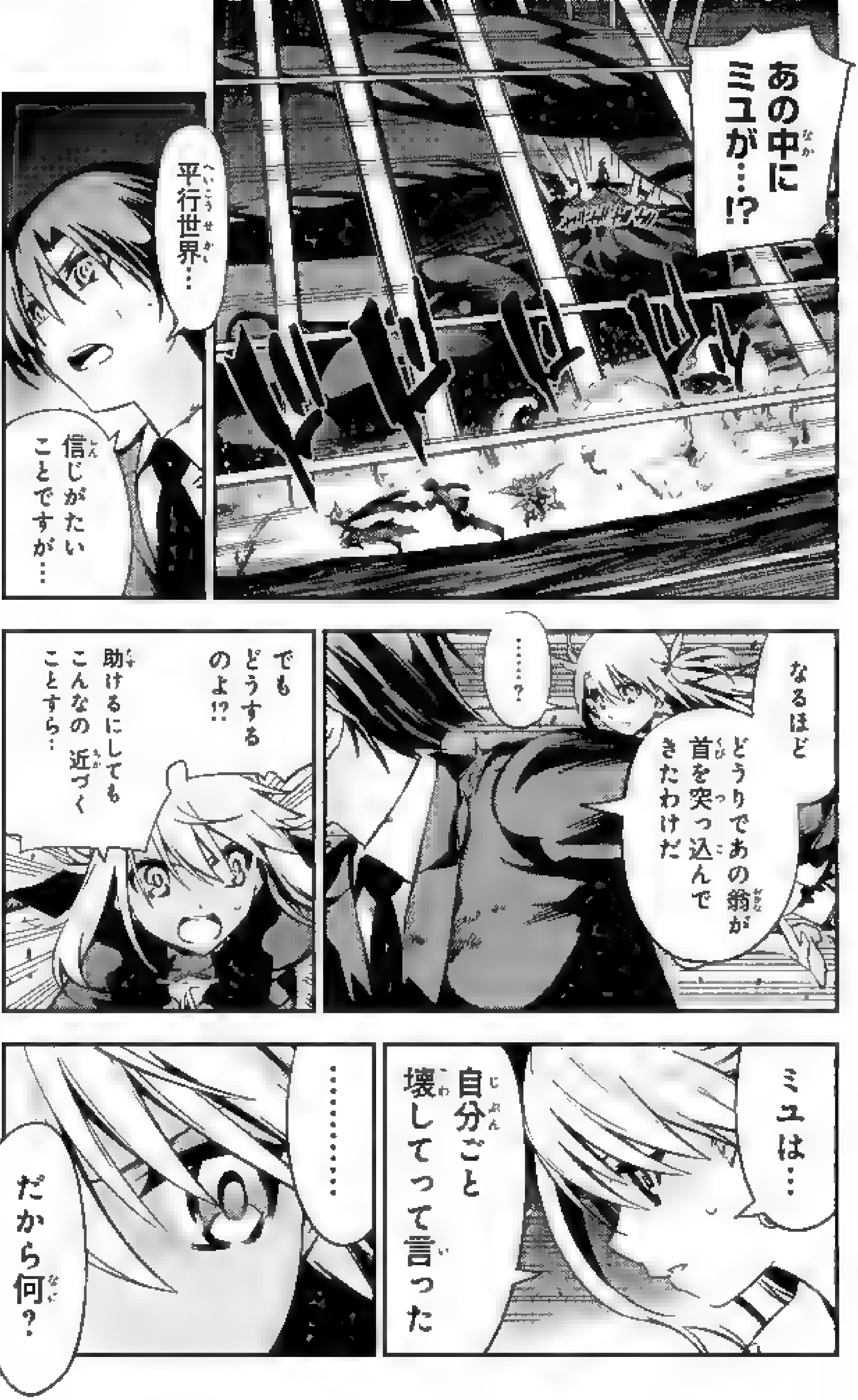

……ッ!!
なんなの?
なんなのよ これ……ッ!?
平行世界? ミユの世界の 聖杯戦争? 運命……?
こんな… こんなものが わたしたちが 追い求めていた——

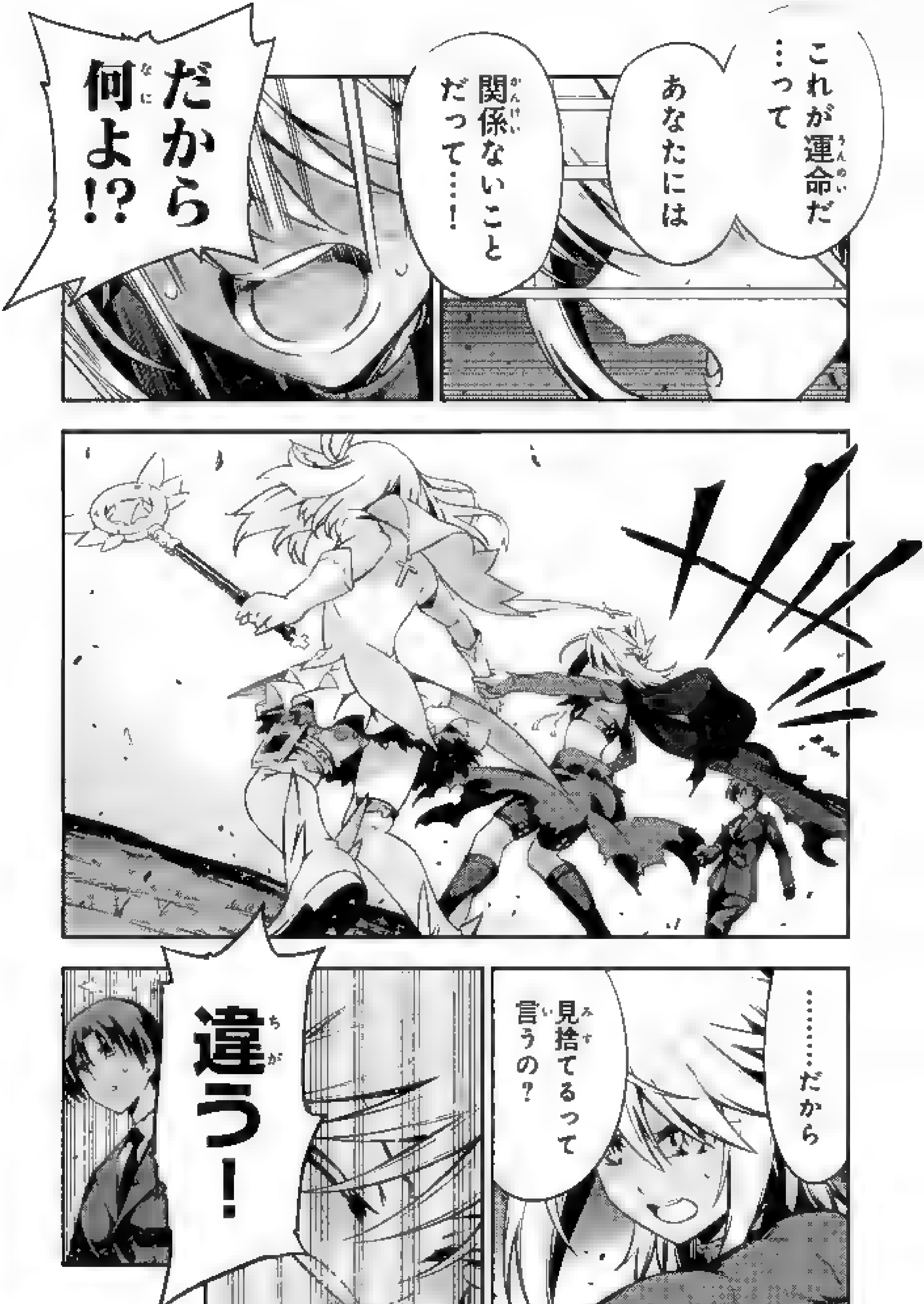

真実・・・？
あーあ・・・
逃げていればよかったのに
こんな形で
無駄に命を
散らすなんて・・・
Assassin


………
驚いた
あと一本ステッキがあったらまずかったかも
…ミユはどこ!?
…僕の中さ
ちょうど中心部くらいかな
ちゃんと生きてるよ
……でも気をつけて

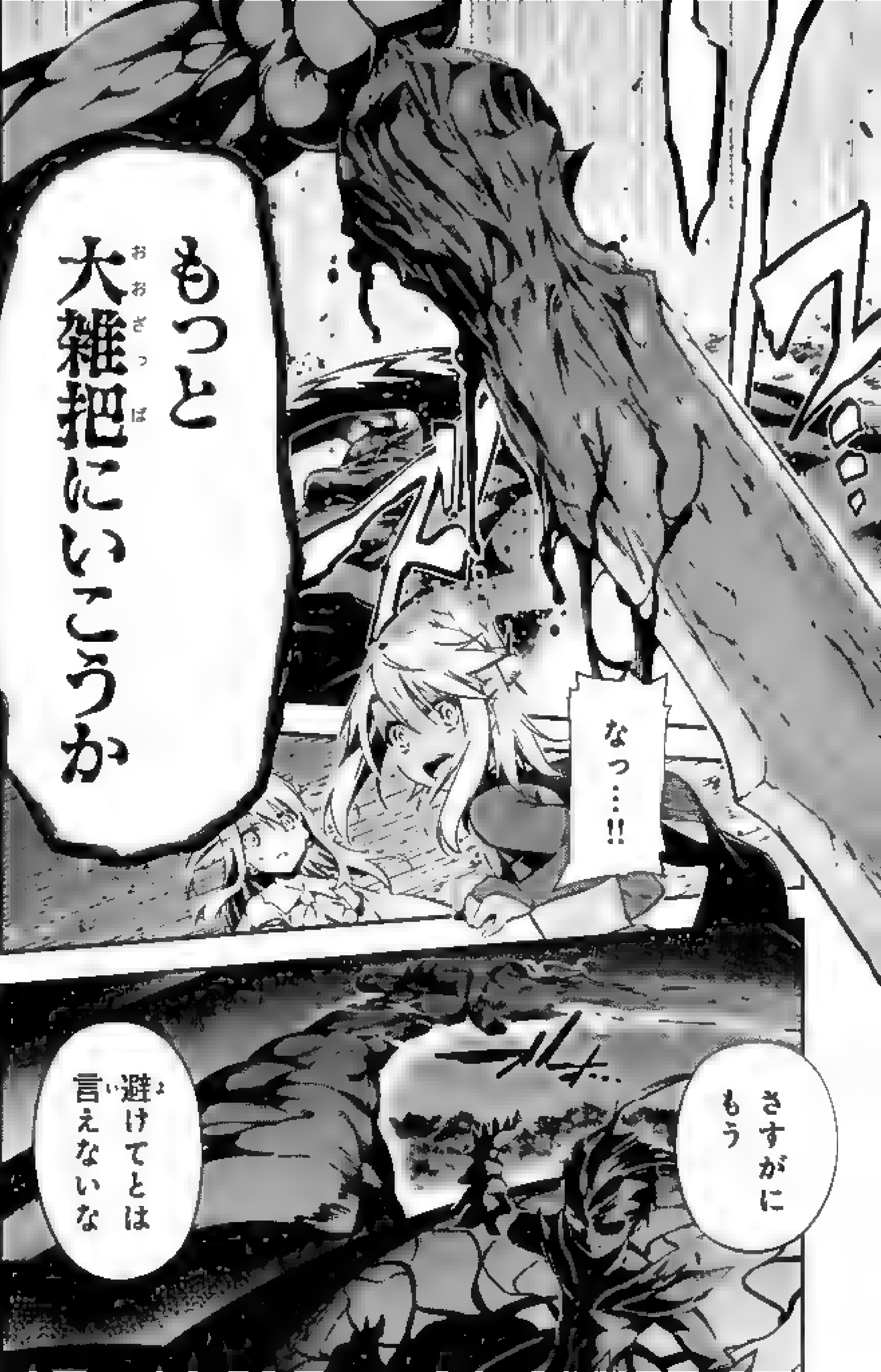

君は今ここで
死んじゃうかもしれない
――く…ッ!!
うまく避けてね
イリヤさん…ッ!!

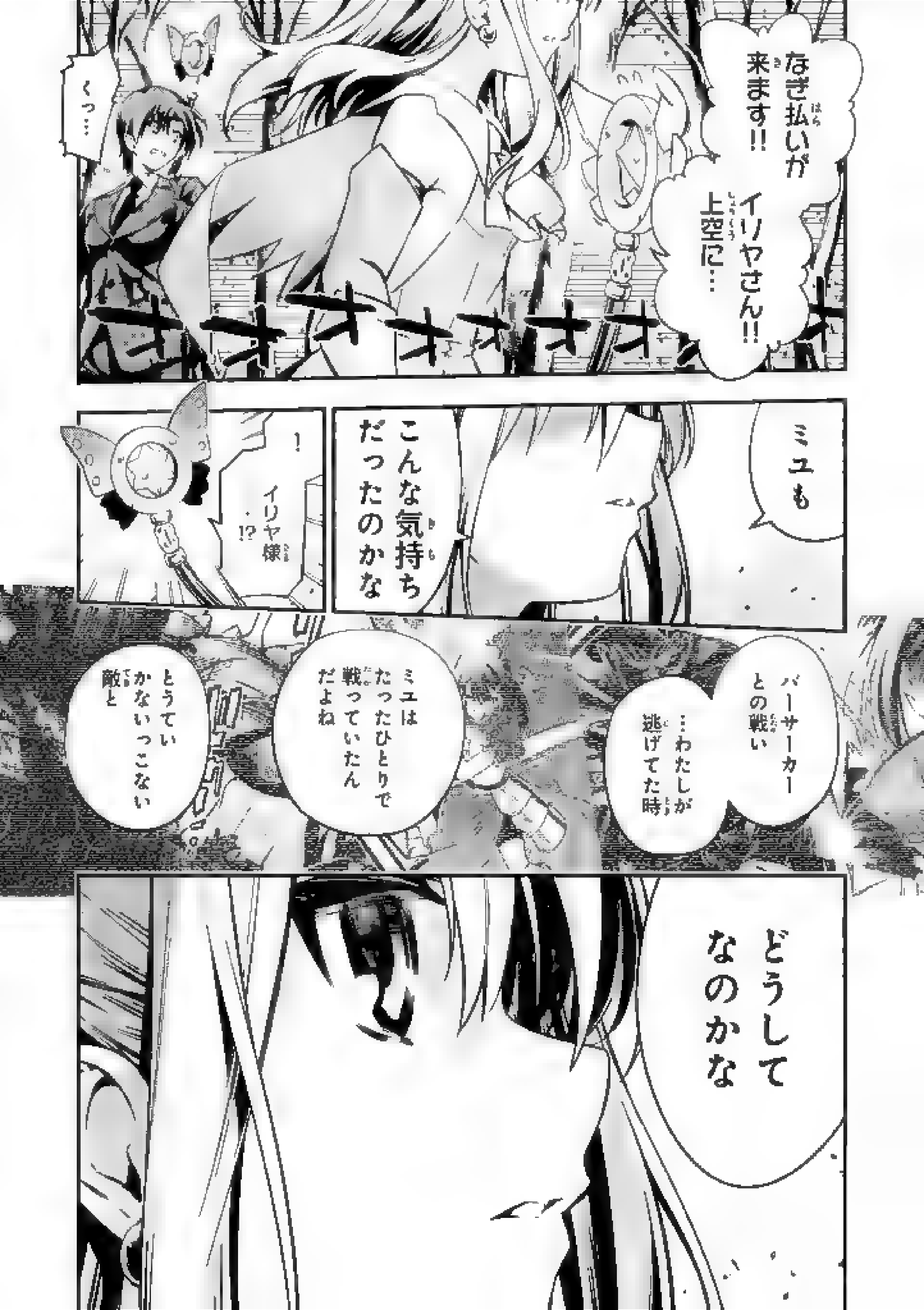

クロ!!
バッッッカじゃないの!? こんなやつを前に生身なんて!!
て言うかコイツ…
ドォォォォォォォォ
なんなのよ!?
攻撃方法から見て… 8枚目のカードでしょう
バゼットさん…!
しかし どうして こんな異形に…!
……


あの中にミユが…!?
平行世界…
信じがたいことですが…
なるほど どうりであの翁が首を突っ込んできたわけだ
……?
でもどうするのよ!?
助けるにしてもこんなの 近づくことすら…
ミユは…
自分ごと壊してって言った
…………
だから何?

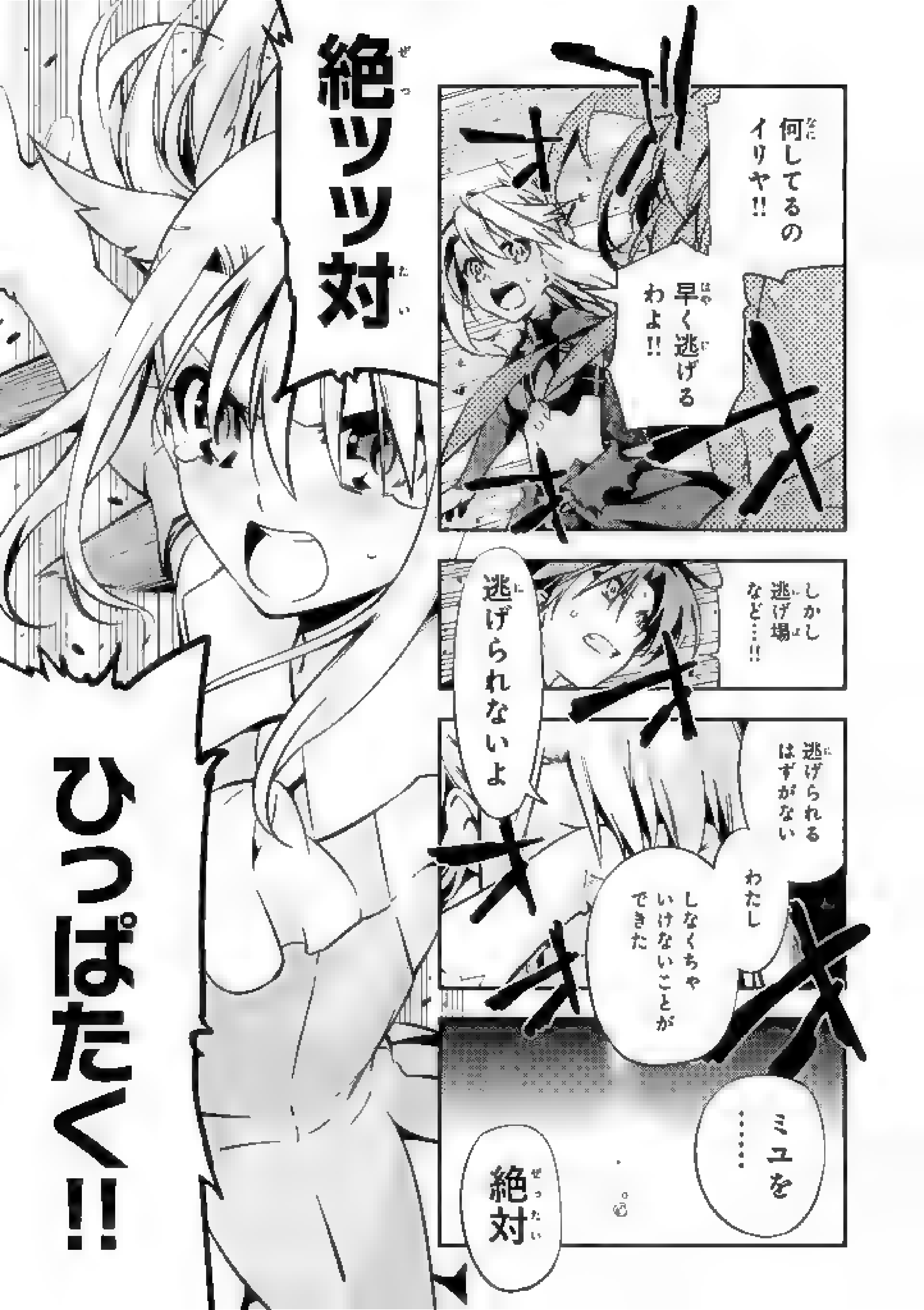

これが運命だ……って
あなたには
関係ないことだって……！
だから何よ!?
………だから
見捨てるって言うの？
違う！

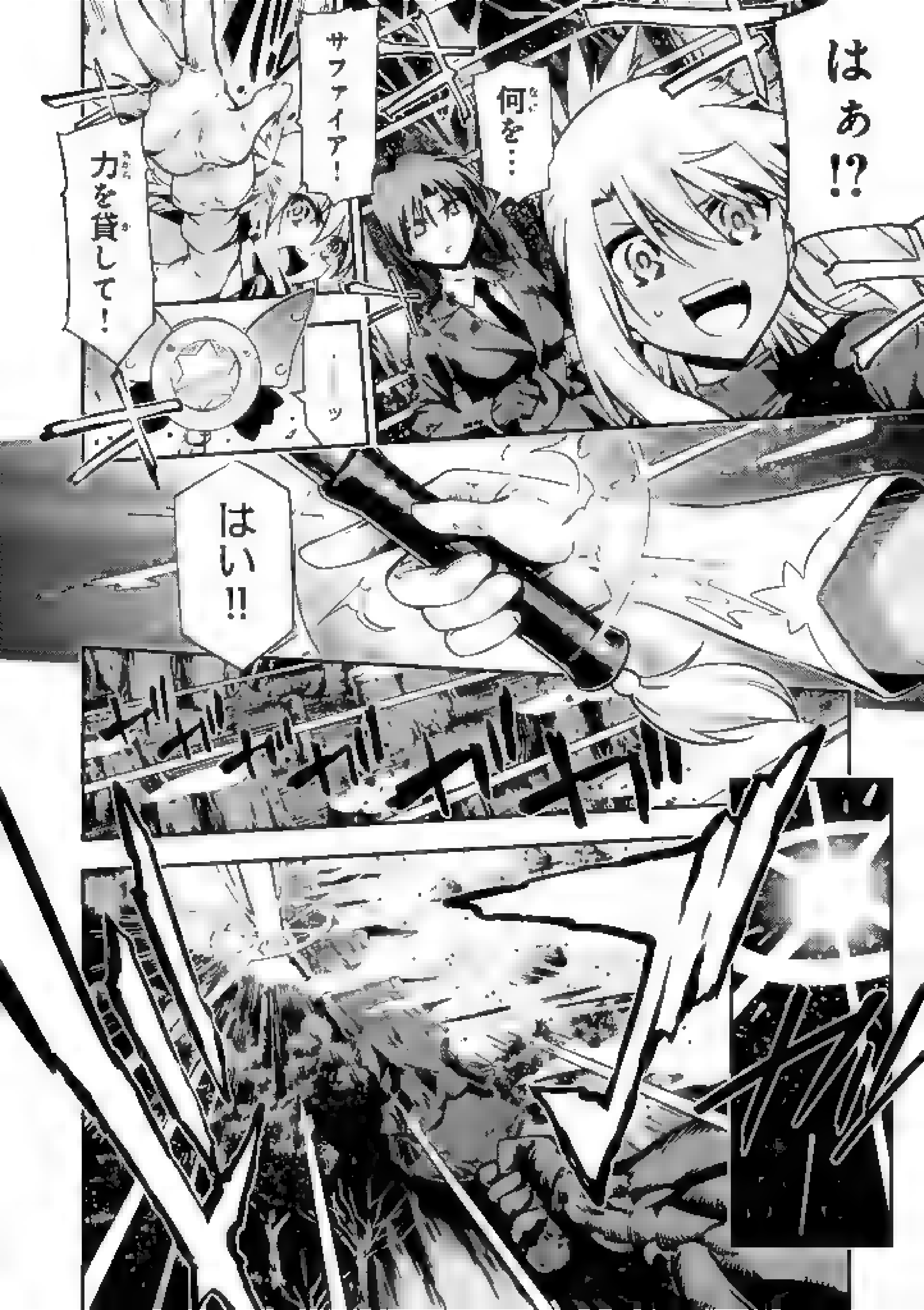
……違うの
――…
どうにも
身体が大きくなると攻撃まで大雑把になっていけない
でもまぁ
どうせなら

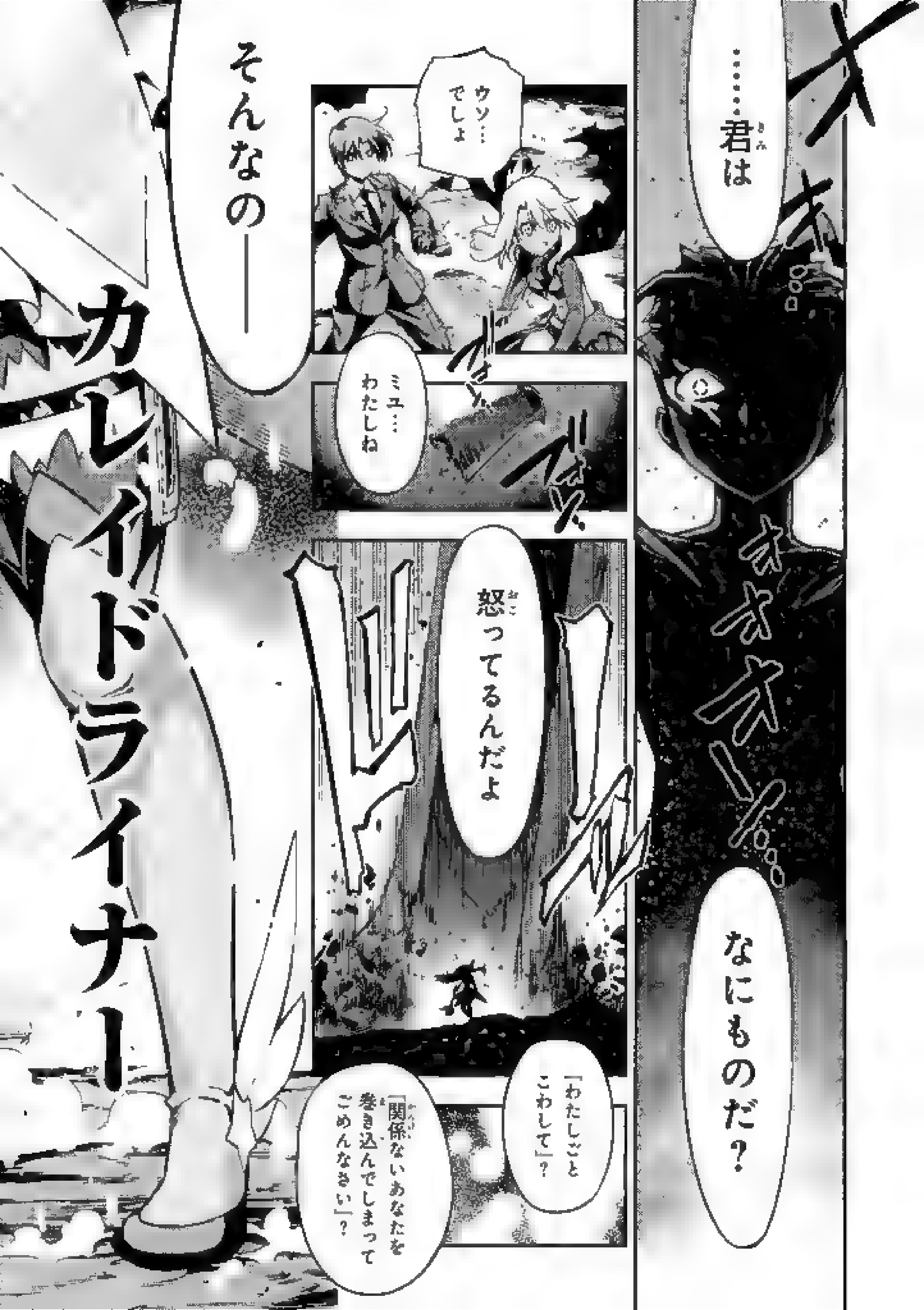

もっと大雑把（おおざっぱ）にいこうか
なっ…!!
さすがにもう
避（よ）けてとは言（い）えないな


なぎ払いが来ます!! イリヤさん!! 上空に…
くっ…
オオオオオオオ
ミユも
こんな気持ちだったのかな
!
イリヤ様!?
バーサーカーとの戦い …わたしが逃げてた時
ミユはたったひとりで戦っていたんだよね
とうていかないっこない敵と
どうしてなのかな

…美遊様は
イリヤ様が初めての友達だから…と
…！
うん
そっか
バチッ
バチッ
バチッ
バチッ
バチッ
バチッ
バチッ


ゴオオオオオオ
何してるのイリヤ!!
早く逃げるわよ!!
しかし逃げ場など…!!
逃げられるはずがない
わたし
しなくちゃいけないことができた
ミユを……
絶対
逃げられないよ
絶ッ対
ひっぱたく!!

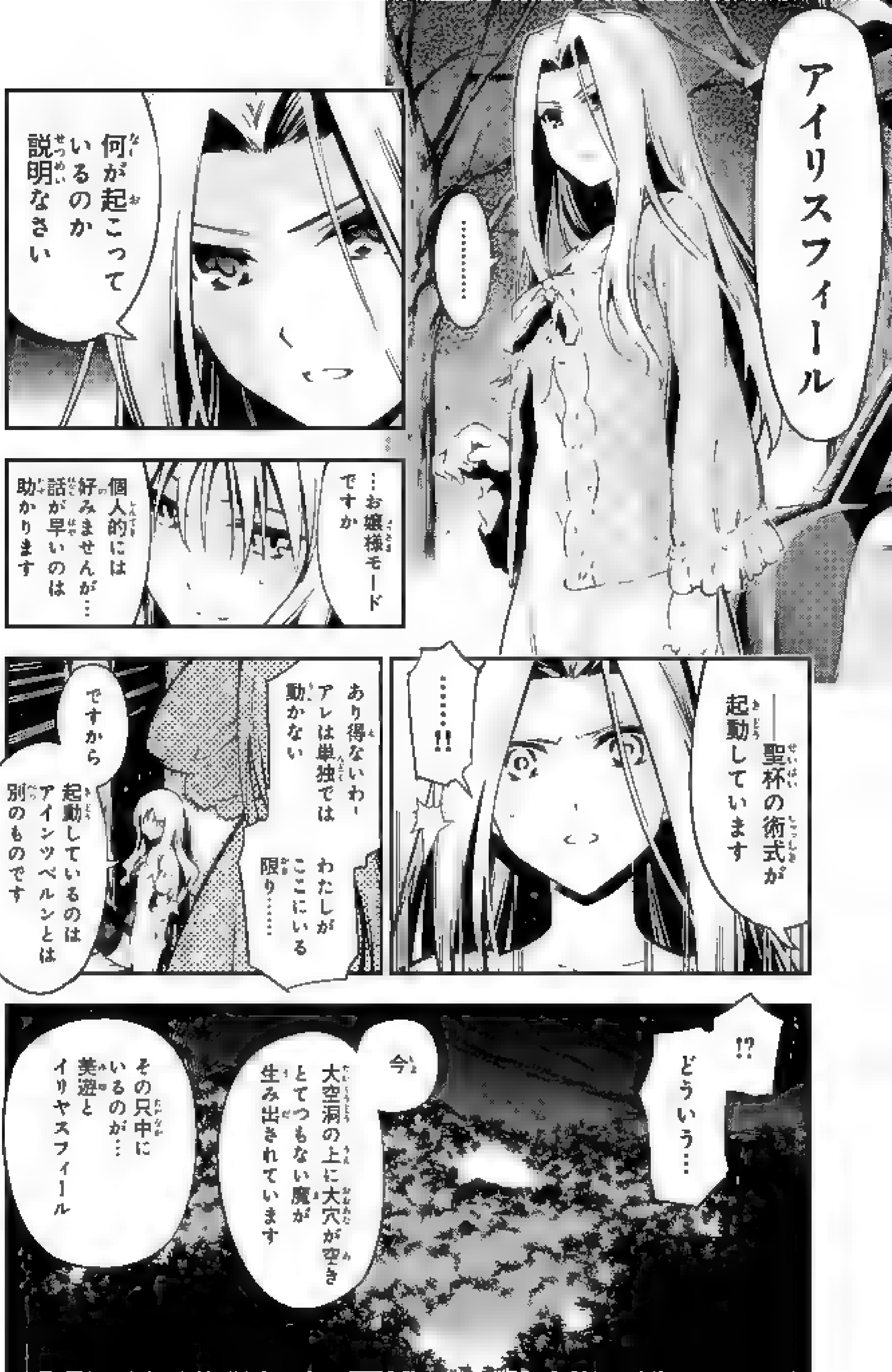

はぁ!?
何を…
サファイア!
力を貸して!
ーーッ
はい!!

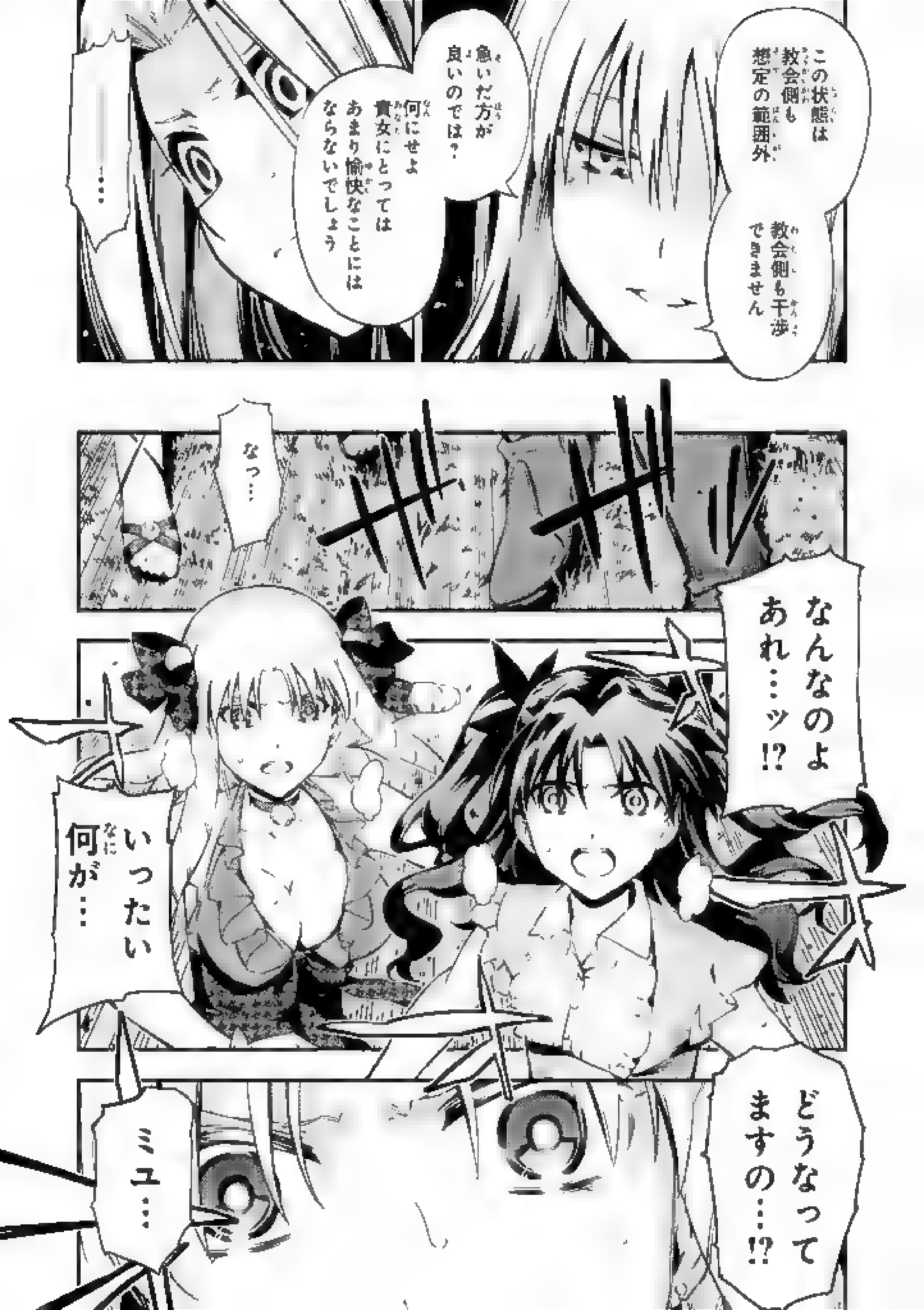

オオオオオオ…
……君は
なにものだ？
ウソ…でしょ
ミユ…わたしね
怒ってるんだよ
「わたしごと こわして」？
「関係ないあなたを巻き込んでしまって ごめんなさい」？
そんなの――
カレイドライナー

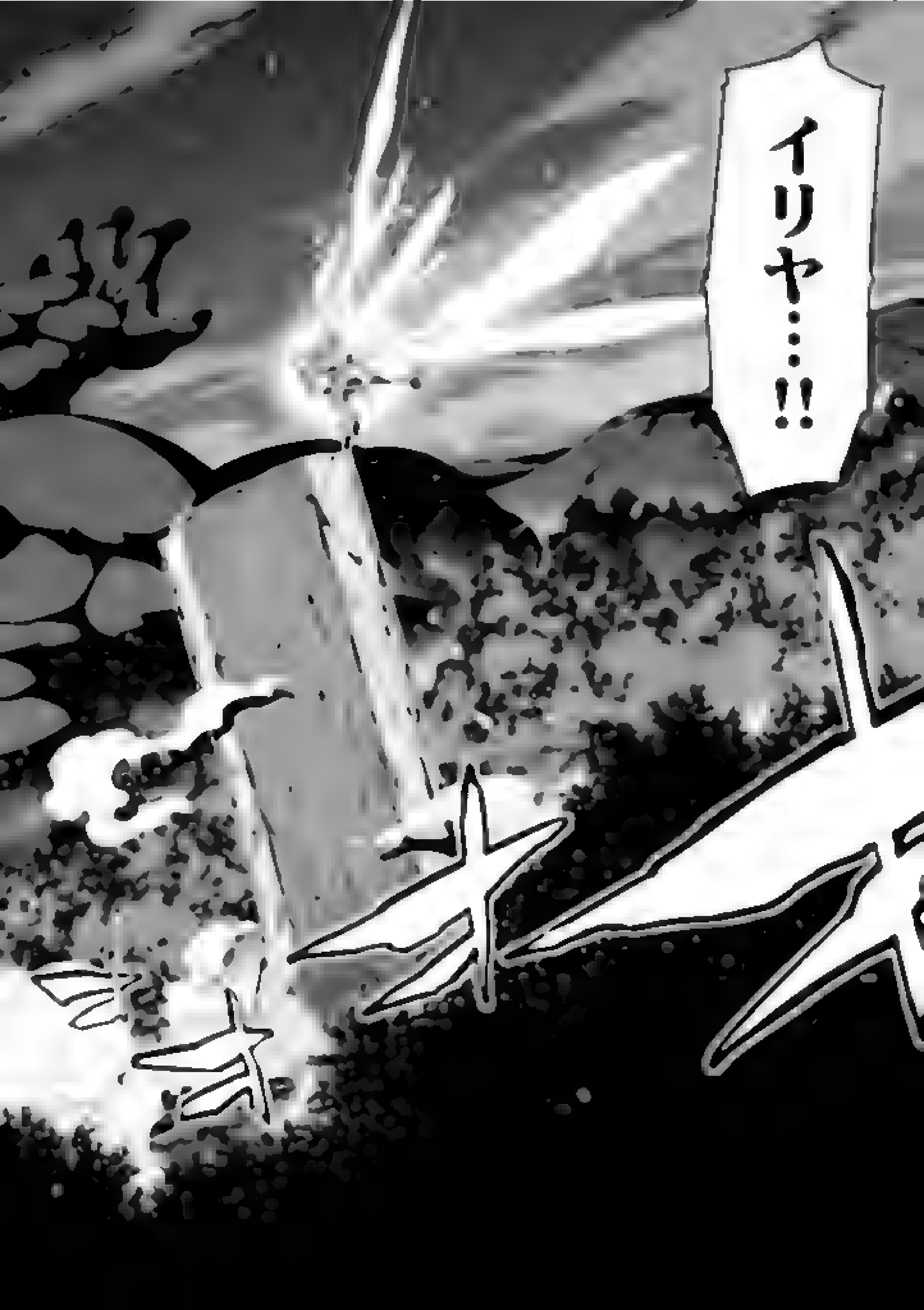
ツヴァイフォーム!!!
友達に言うセリフじゃないっての!!!

第26話☆おわり

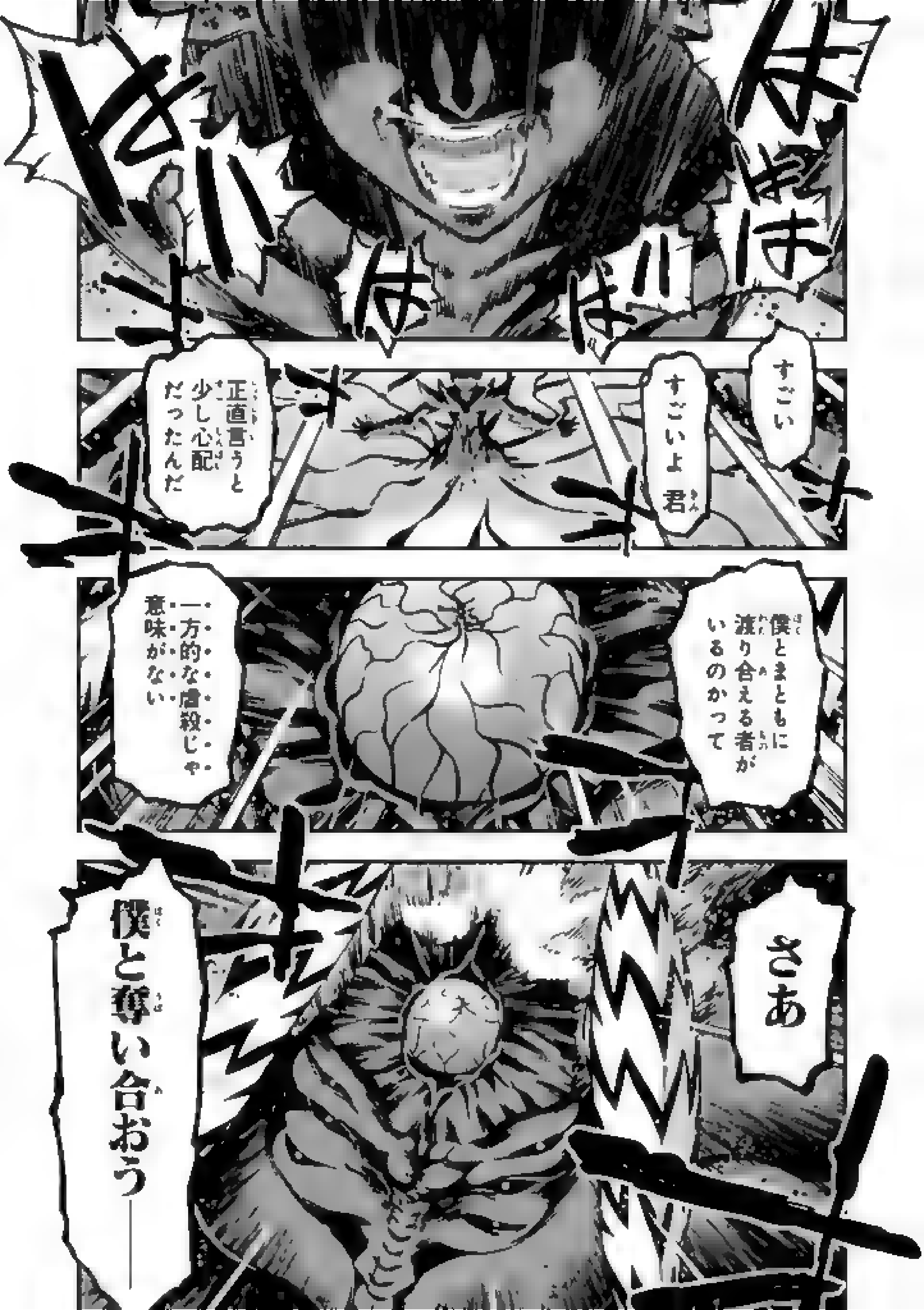
最終話
思ったより早かった
……いえ
遅かったですね


アイリスフィール
……
何が起こっているのか説明なさい
…お嬢様モードですか
個人的には好みませんが…話が早いのは助かります
──聖杯の術式が起動しています
……!!
あり得ないわ アレは単独では動かない
わたしがここにいる限り……
ですから
起動しているのはアインツベルンとは別のものです
!? どういう…
今
大空洞の上に大穴が空き とてつもない魔が生み出されています
その只中にいるのが… 美遊と イリヤスフィール


この状態は教会側も想定の範囲外
教会側も干渉できません
急いだ方が良いのでは？
何にせよ貴女にとってはあまり愉快なことにはならないでしょう
・・・
なっ・・・
ギギ
なんなのよあれ・・・ッ!?
いったい何が・・・
どうなってますの・・・!?
ミユ・・・

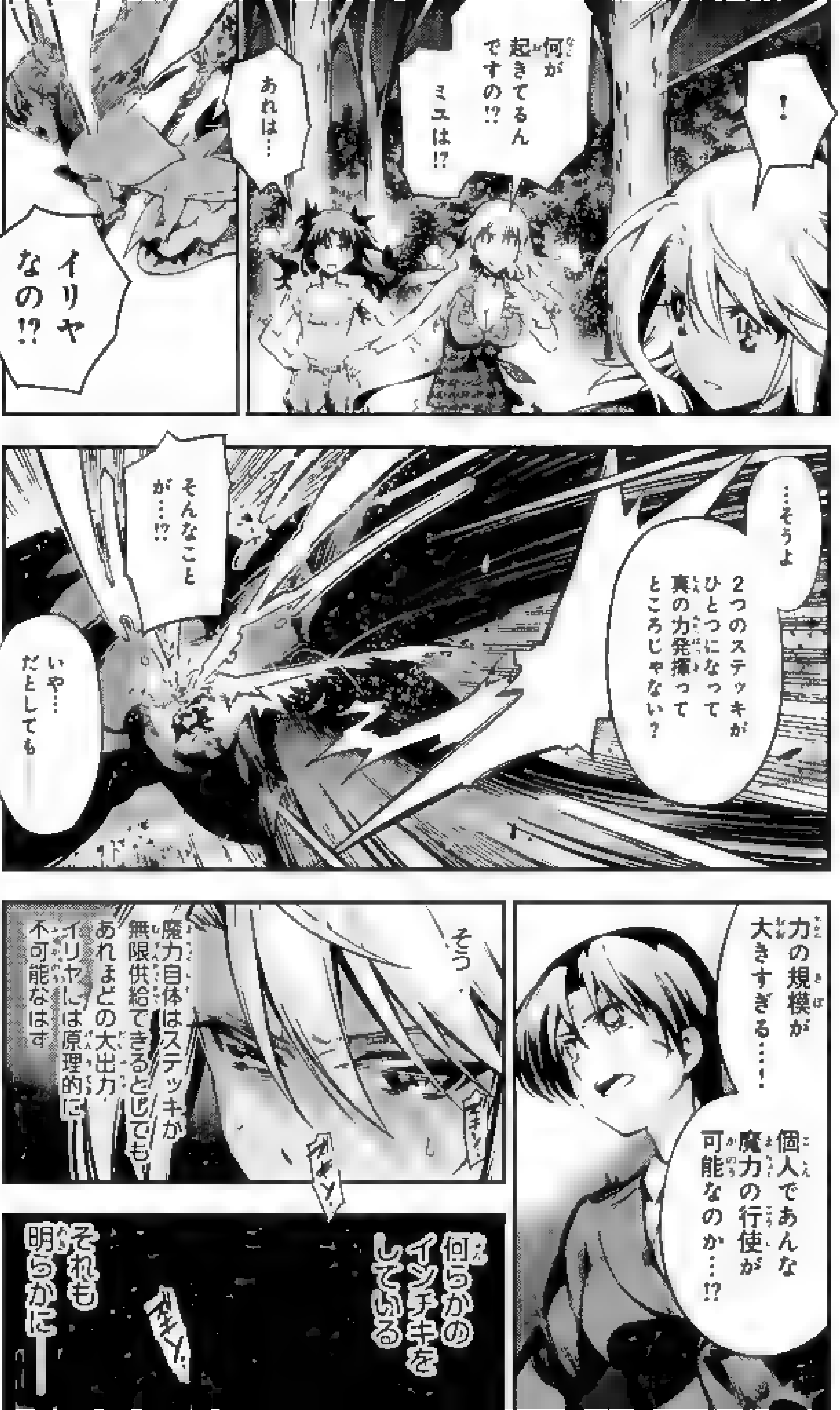

イリヤ…!!

最終話☆世界の片隅で君の名を

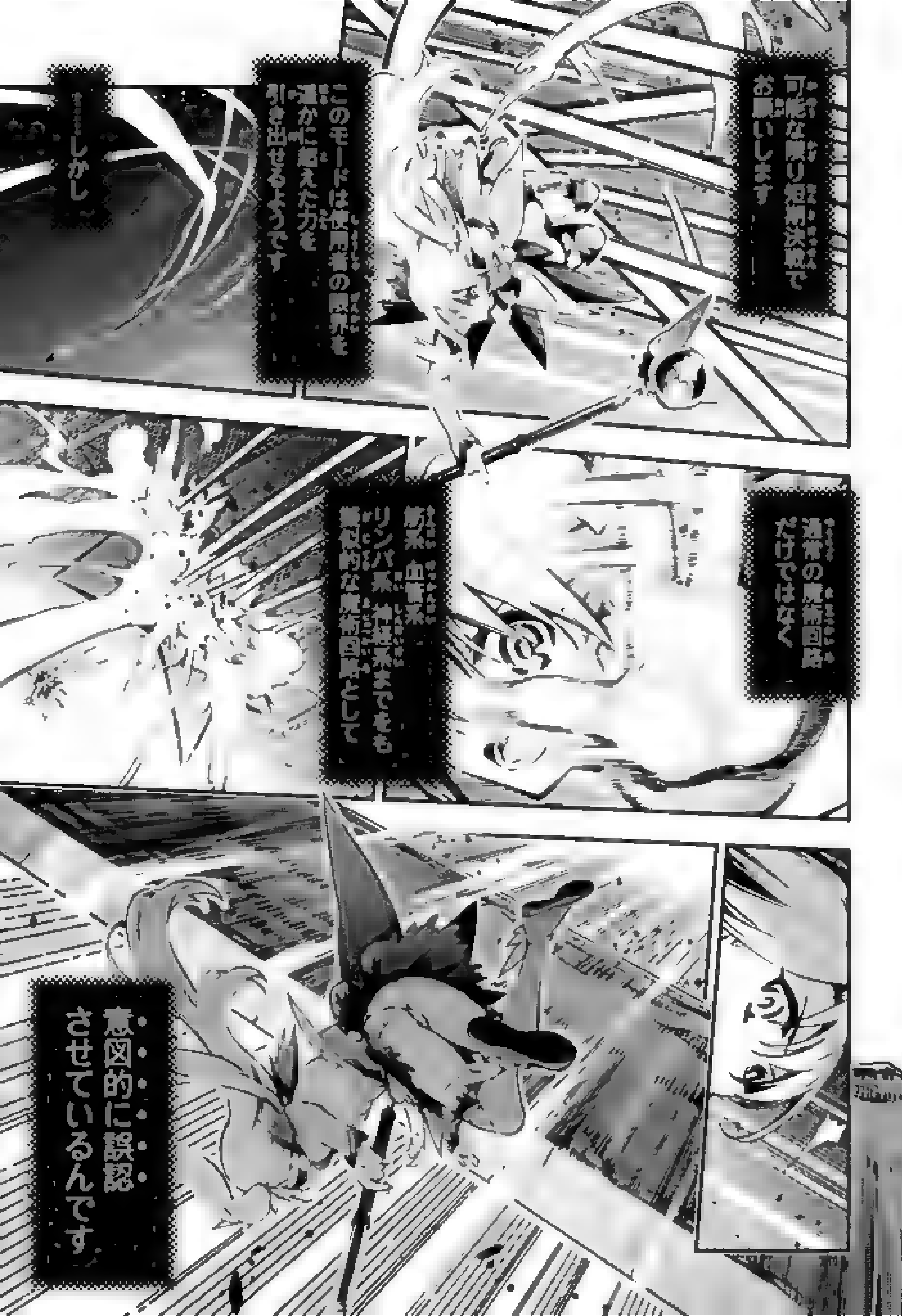

ははは
はは
はハ
すごい
すごいよ 君
正直言うと
少し心配
だったんだ
僕とまともに
渡り合える者が
いるのかって
一方的な虐殺じゃ
意味がない
さあ
僕と奪い合おう——

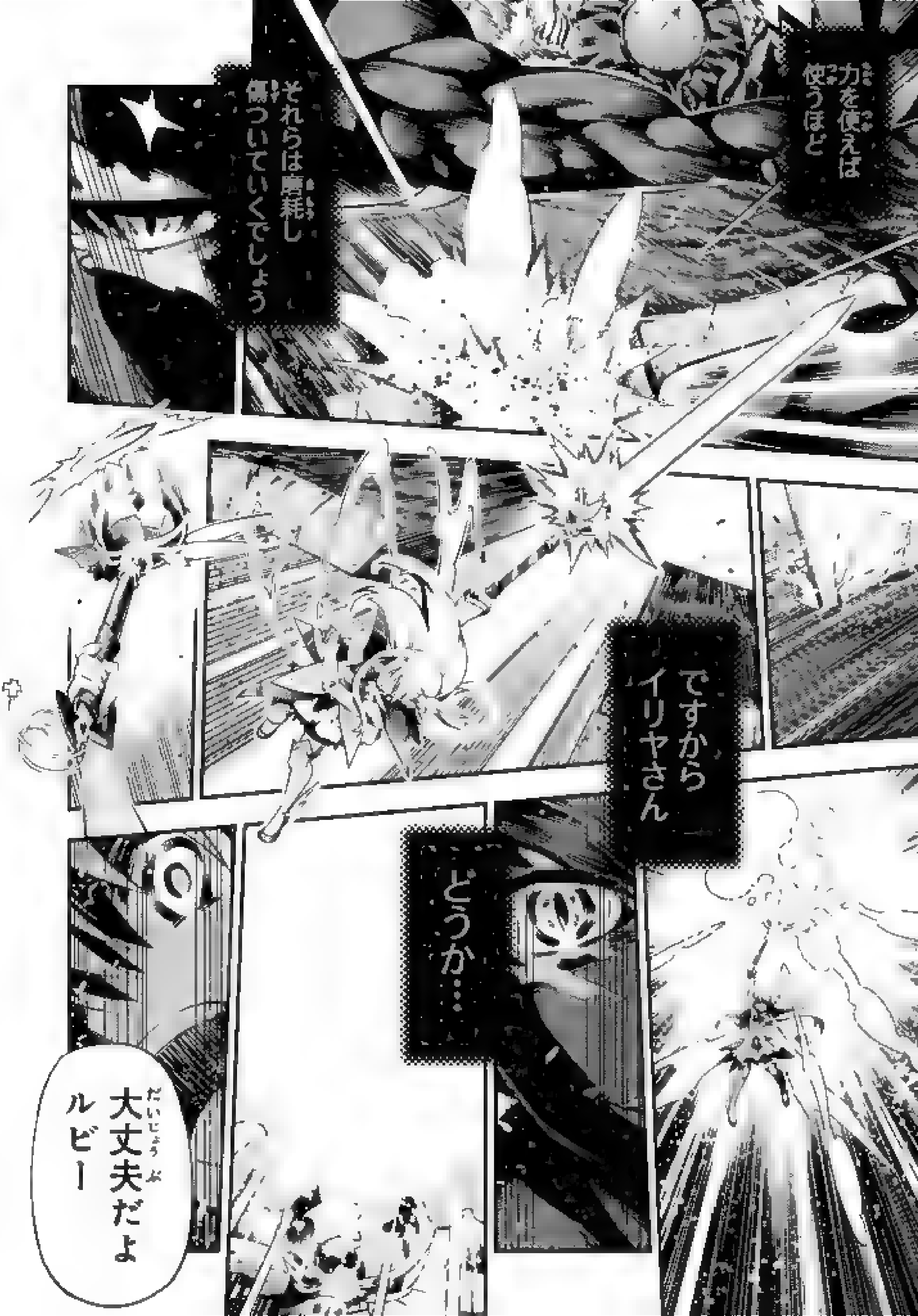
ミユ
聖杯を!!

……ッ
ドゴッ
ゴォォ
クロ!!
ザザッ
バゼット!!

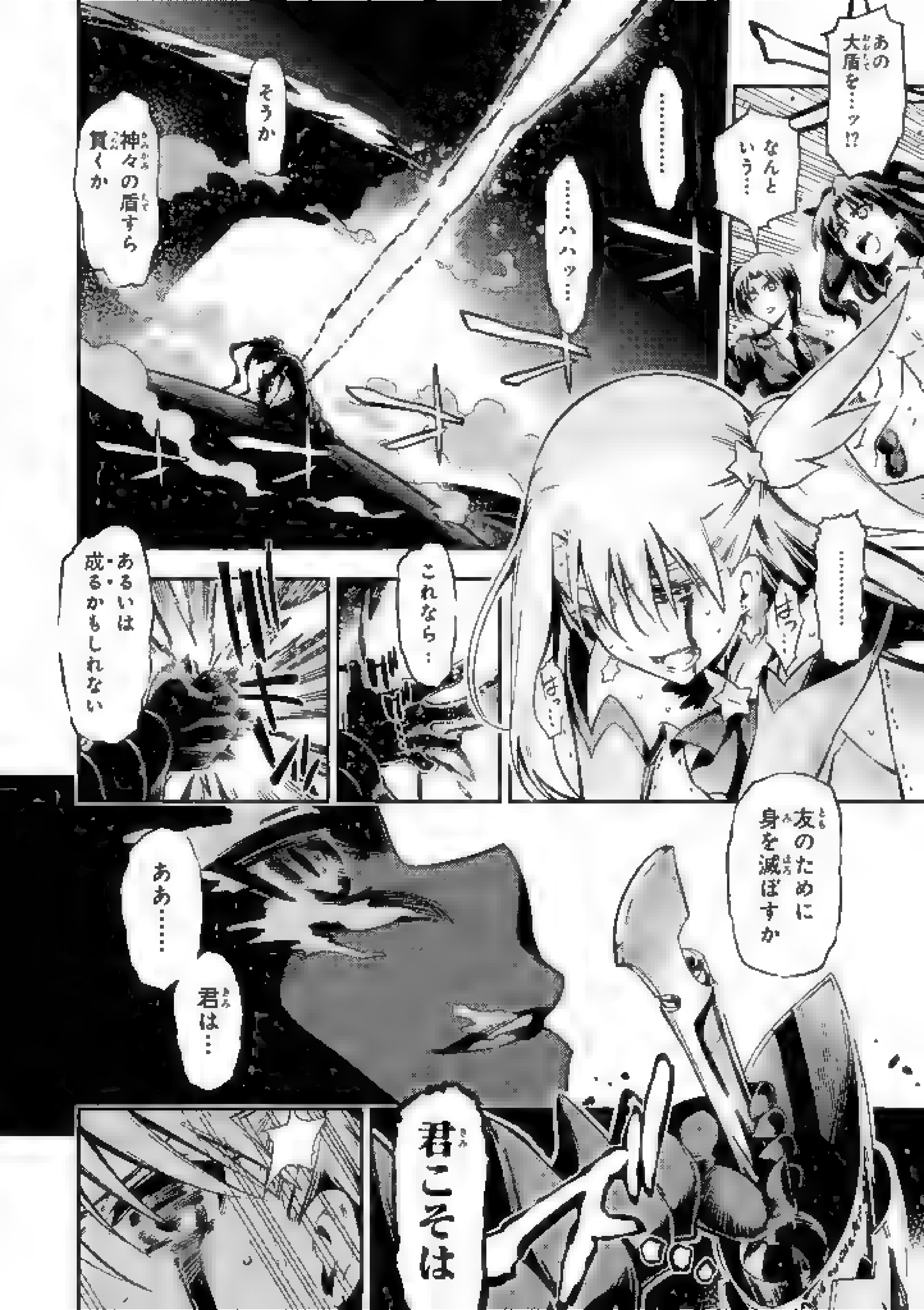

！
何が起きてるんですの!?
ミユは!?
あれは…
イリヤなの!?
…そうよ 2つのステッキがひとつになって真の力発揮ってところじゃない？
そんなことが…!?
いや…だとしても――
力の規模が大きすぎる…！
個人であんな魔力の行使が可能なのか…!?
そう
魔力自体はステッキが無限供給できるとしても
あれほどの大出力
イリヤには原理的に不可能なはず
ズキン
ズキン
何らかのインチキをしている
それも明らかに――
ズキン

代償（だいしょう）が要（い）る
インチキを
クッ…
ハ
はッ
はッ
はッ
ーいいですか
イリヤさん

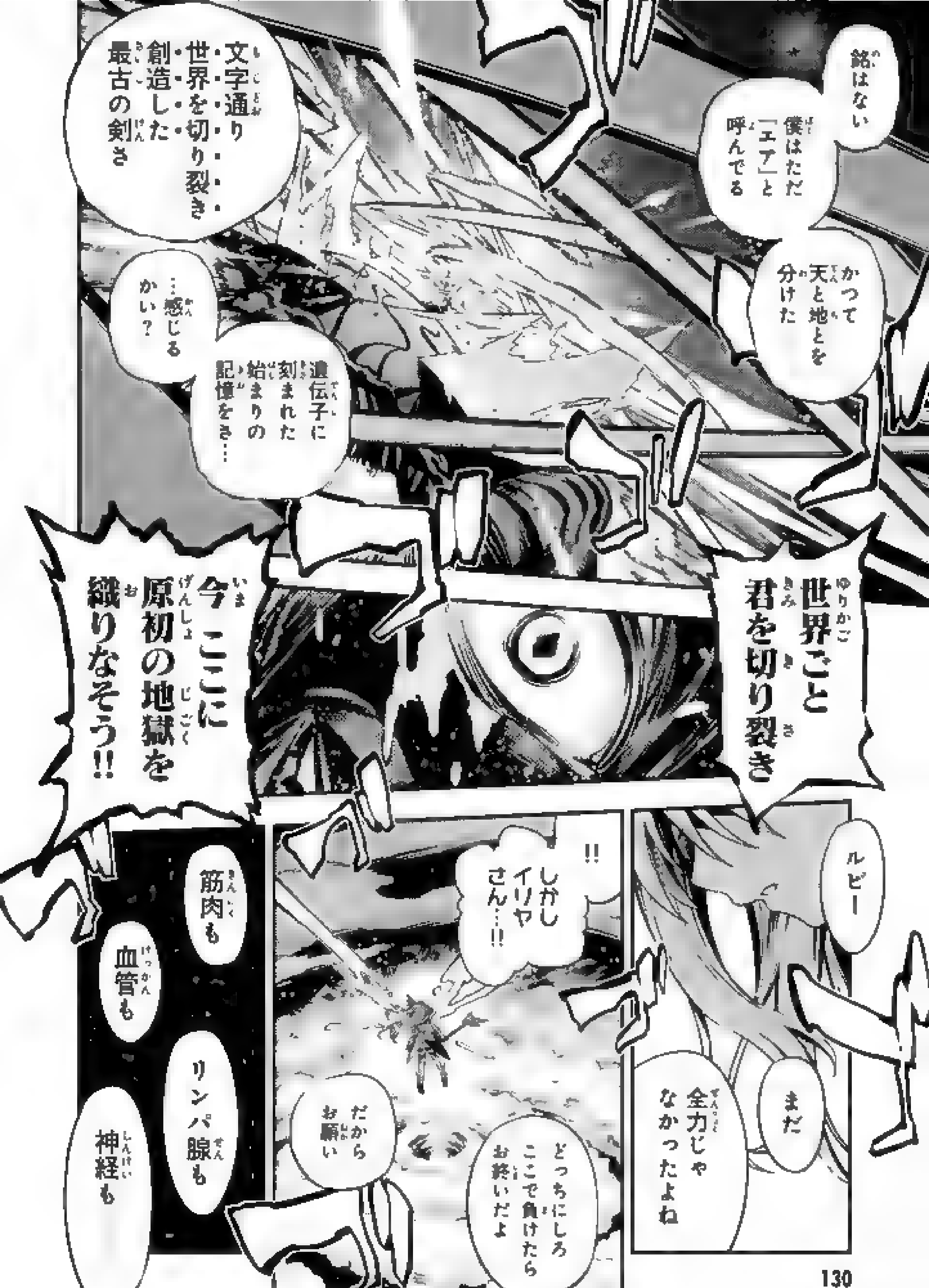

可能な限り短期決戦で
お願いします
このモードは使用者の限界を
遥かに超えた力を
引き出せるようです
しかし
通常の魔術回路
だけではなく
筋系 血管系
リンパ系 神経系までをも
擬似的な魔術回路として
意図的に誤認
させているんです


力を使えば使うほど
それらは磨耗し傷ついていくでしょう
ですからイリヤさん
どうか…
大丈夫だよルビー

こんなモノ
すぐに壊（こわ）してあげるから
ギギーン


あの大盾を…ッ!?
なんという…
…………
……ハハッ……
そうか
神々の盾すら貫くか
……
はっ…
はっ…
これなら…
あるいは成るかもしれない
友のために身を滅ぼすか
ああ……
君は…
君こそは

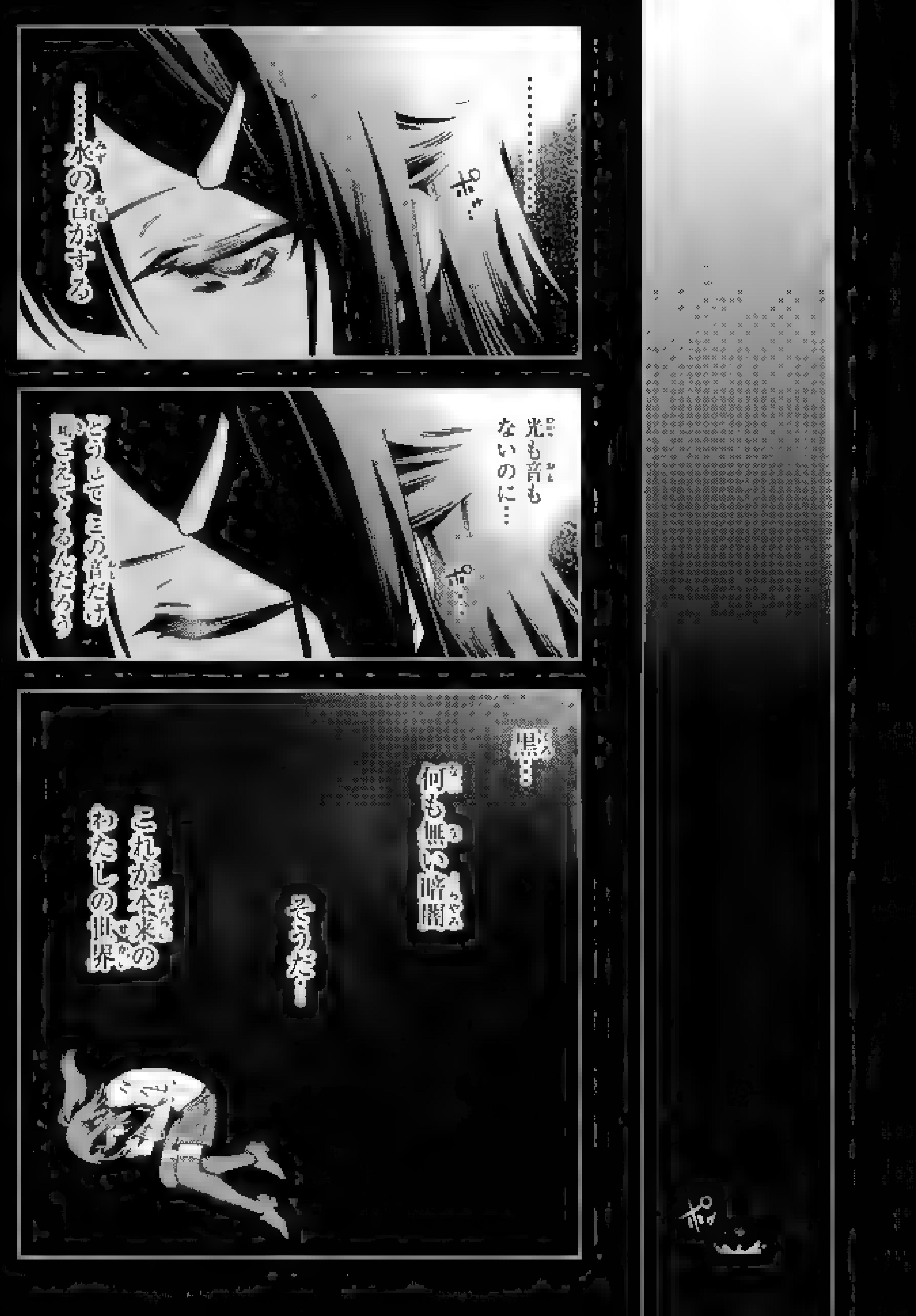
僕の全力に
相応しい!!!
……ッ!!
この豪風…あの時の…!?
ゴゴゴゴ


銘はない
僕はただ「エア」と呼んでる
かつて天と地とを分けた
文字通り・・・世界を切り裂き創造した最古の剣さ
遺伝子に刻まれた始まりの記憶をさ…
感じるかい？
世界ごと君を切り裂き
今ここに原初の地獄を織りなそう!!
ルビー
まだ
全力じゃなかったよね
!!
しかしイリヤさん…!!
どっちにしろここで負けたらお終いだよ
だからお願い
筋肉も
血管も
リンパ腺も
神経も

わたしの全部を使って!!!
ーおォオ
ーおォおオオ
うぅあぁあーあ
ーあァ

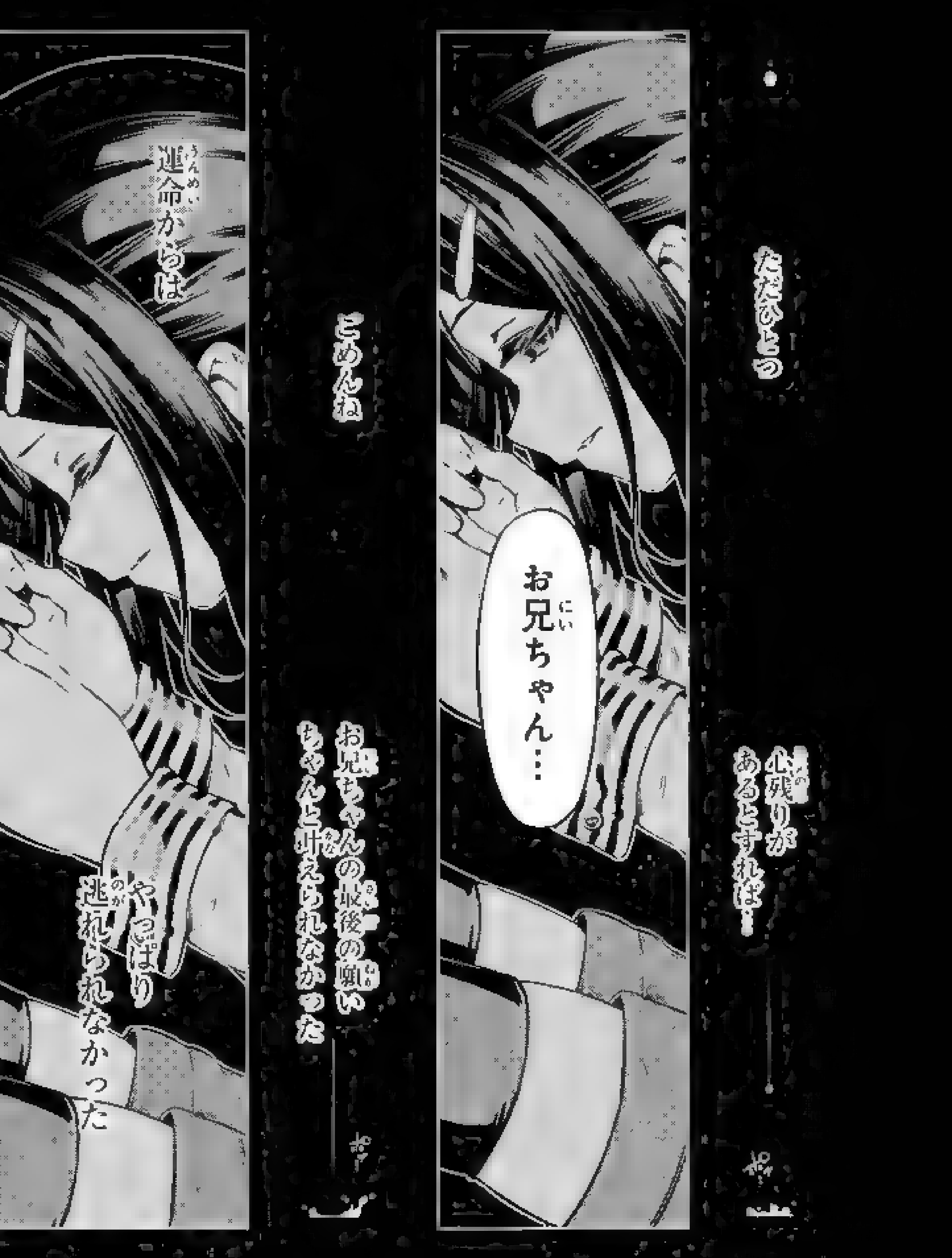
多元重奏飽和砲撃（クヴィンテットフォイア）!!!
…
あああああああ!!
ドドドドドドドドドド

天地乖離す開闢の星（エヌマ・エリシュ）!!!…


ポツ
……
ポツ…
……水の音がする
光も音もないのに…
ポツ
どうしてこの音だけ聞こえてくるんだろう
黙…
何も無い暗闇
そうだ
これが本来のわたしの世界

全てを叶える力と引き換えに
わたしは全てを失った
望んでそう生まれた力じゃない
でも聖杯として生まれてしまった以上わたしの意志は関係ない
わたしは光を[illegible]役割が[illegible]
わたしには光は必要ない
でも——
光をくれた人たちがいた
居場所をくれた人たちがいた
こんなわたしでも
ちょっとだけ人間らしくなれる世界があった

・・る――
[illegible]
それは本来（ほんらい）
わたしなんかが
手（て）にすることが
できないものだった
この世界で
過ごした日々は
――・・
きっと最後に
見ることを
許された夢
ポロ
悲しみはない
初めから定めるだけ
ただ　元（もと）の自分に
戻っただけだから


ただひとつ
心残りがあるとすれば・・・
ポツ
お兄ちゃん…
ごめんね
お兄ちゃんの最後の願い ちゃんと叶えられなかった
ポツ
運命からは
やっぱり逃れられなかった

「美遊がもう苦しまなくていい世界になりますように」

ポッ

そう願ってくれたのに
わたしにできたことは別の世界に逃げてきただけ
ああ でも……

「やさしい人たちに出会って――」

ポッ

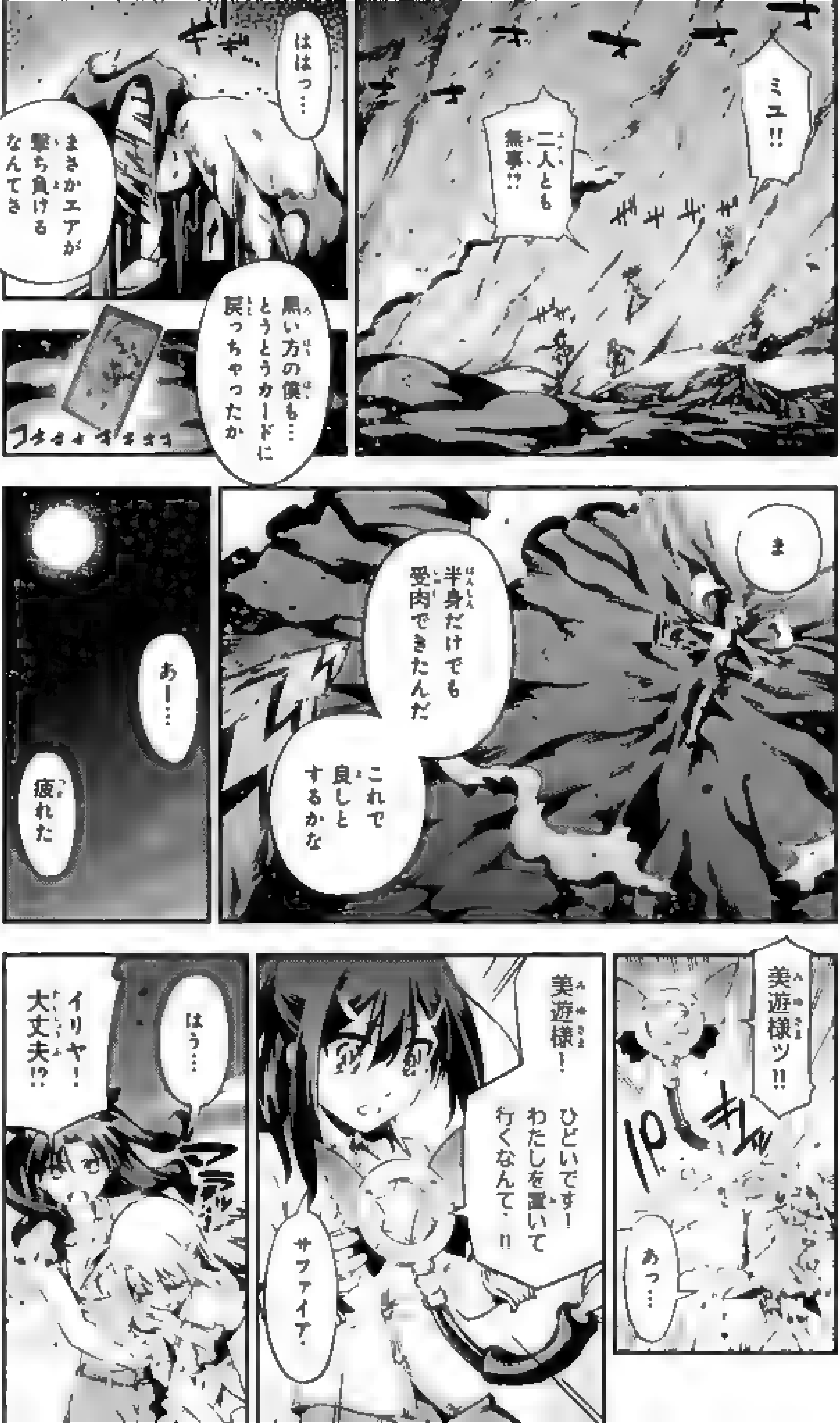
出会えたよ
とてもとてもやさしい人たちに
そして……

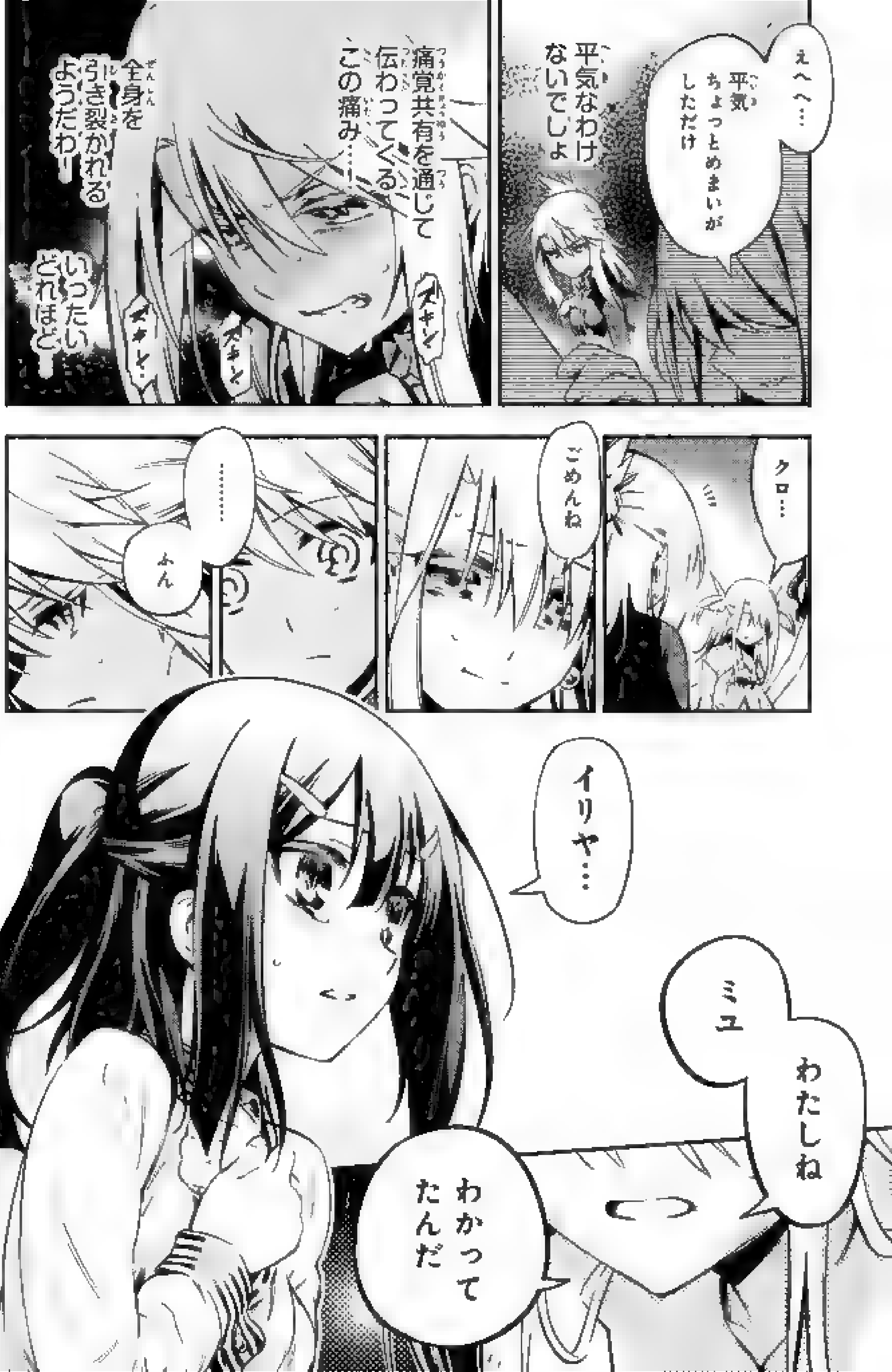
『笑いあえる友達を作って――』
うん
作れたんだ
とっても
大切な友達……
銀色の髪が
とても綺麗で……
『あたたかでささやかな――』
まるで月の光
みたいな
その子の
名前は――

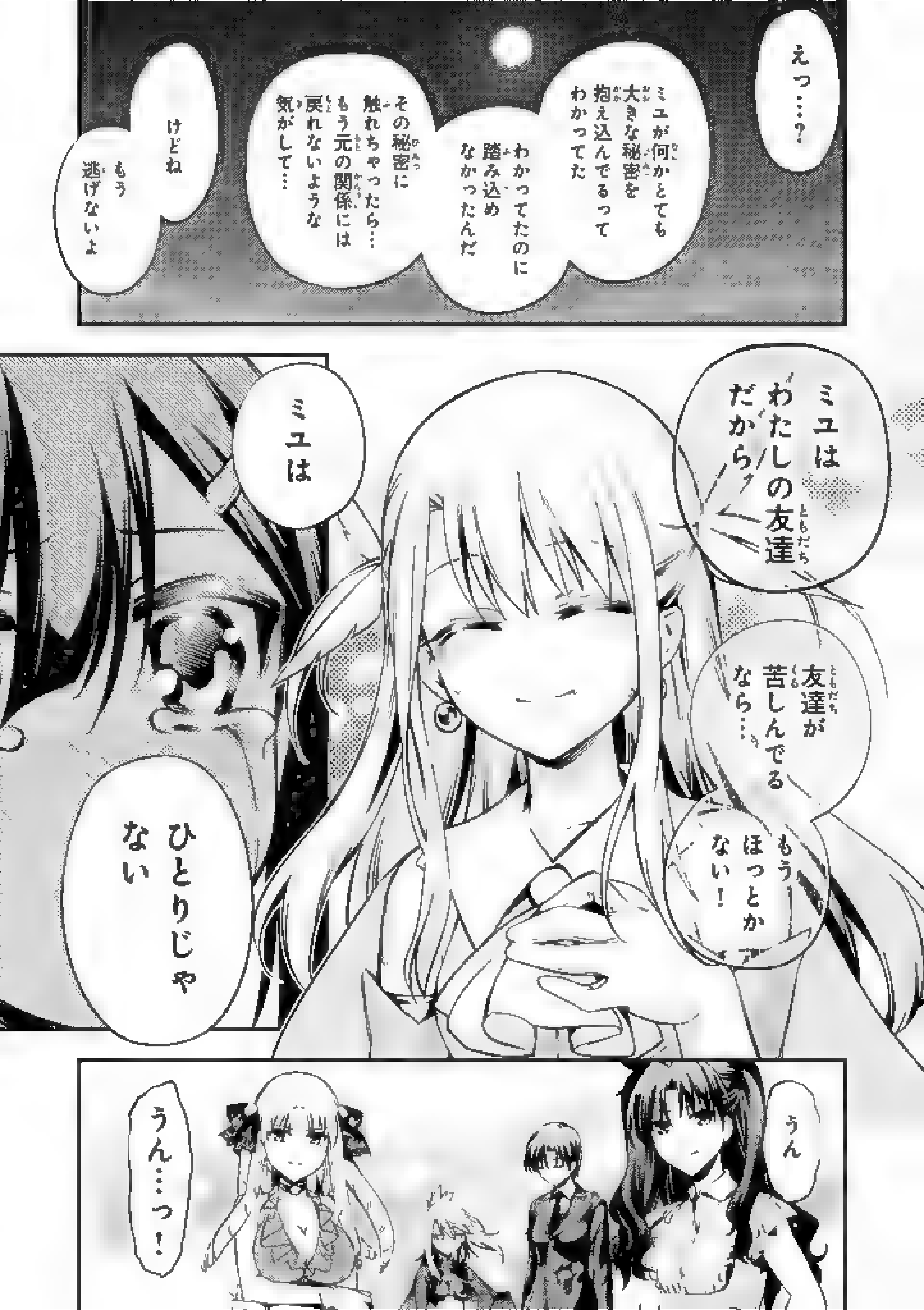
「幸せでありますように」

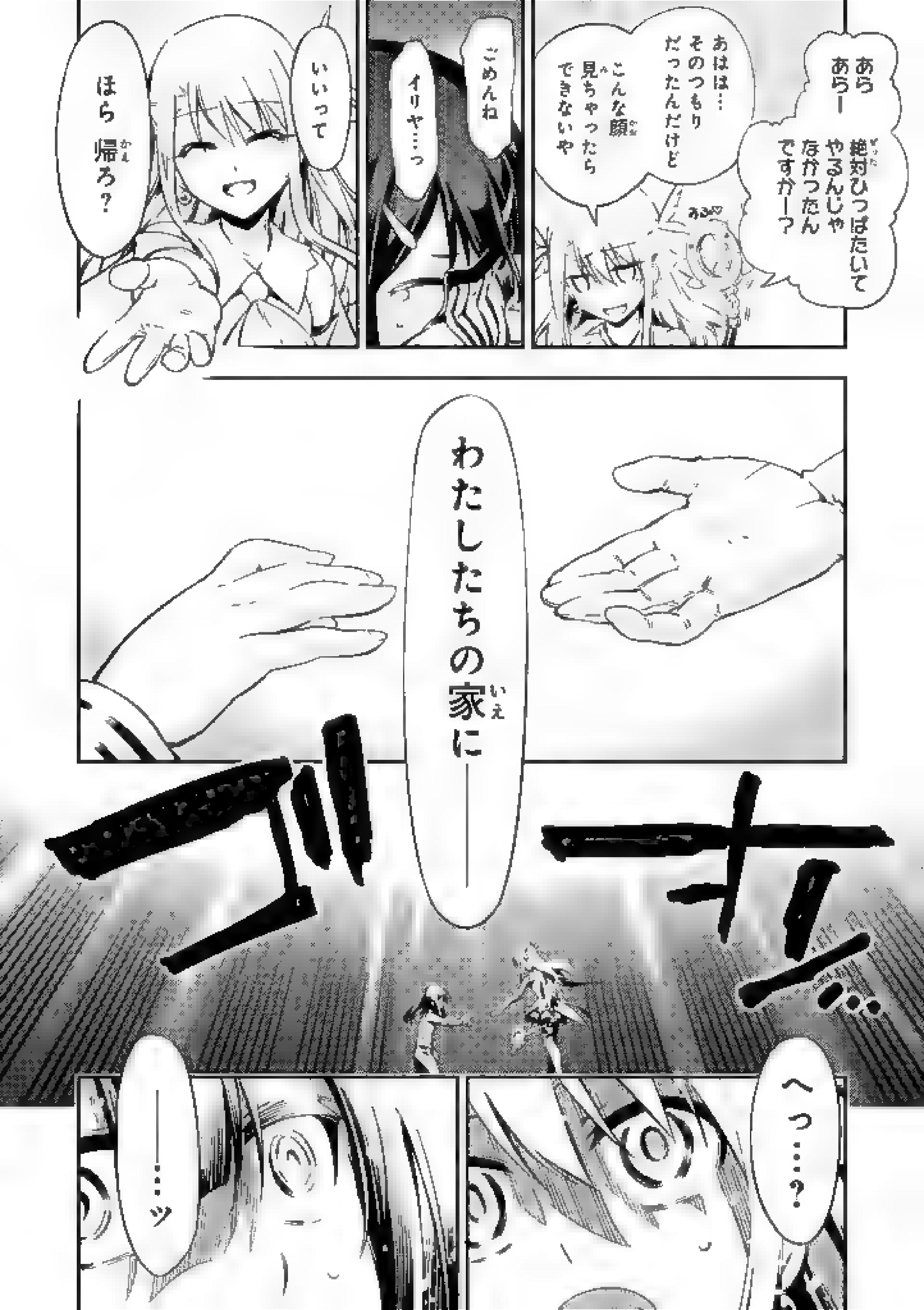
イリヤ…っ

……泣いてるとこ
初めて見た
え……？

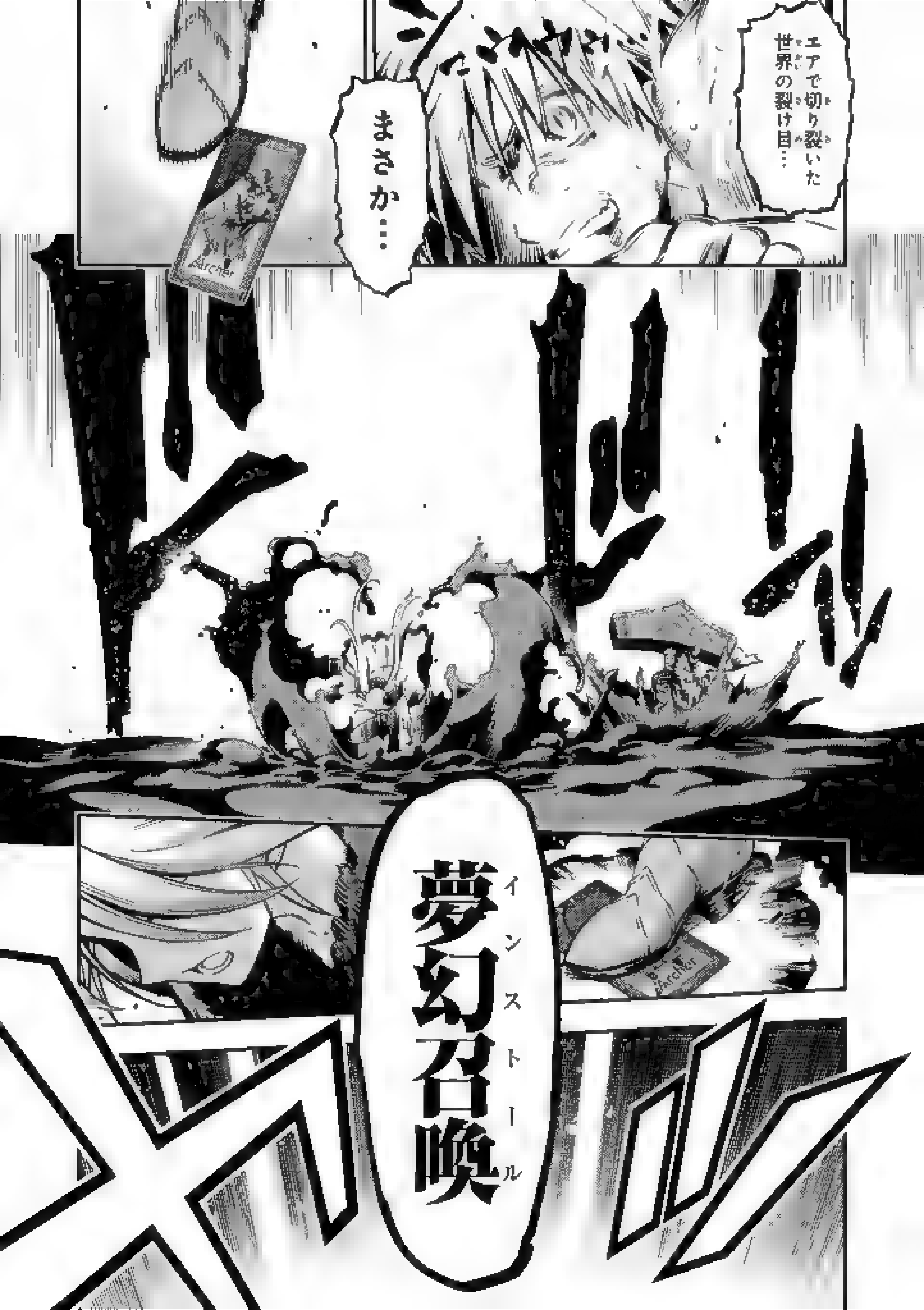

ミユ!!
二人とも無事!?
ははっ…
まさかエアが撃ち負けるなんてさ
黒い方の僕も…とうとうカードに戻っちゃったか
ま
半身だけでも受肉できたんだ
これで良しとするかな
あー…
疲れた
美遊様ッ!!
あっ…
美遊様!
ひどいです!わたしを置いて行くなんて…!!
サファイア
イリヤ!大丈夫!?
はう…


えへへ…
平気 ちょっとめまいがしただけ
平気なわけないでしょ
痛覚共有を通じて伝わってくるこの痛み…!
ズキン
ズキン
ズキン
全身を引き裂かれるようだわ!
いったいどれほど
クロ…
ごめんね
……
ふん
イリヤ…
ミユ わたしね
わかってたんだ


えっ…？
ミユが何かとても大きな秘密を抱え込んでるってわかってた
わかってたのに踏み込めなかったんだ
その秘密に触れちゃったら…もう元の関係には戻れないような気がして…
けどね もう逃げないよ
ミユは わたしの友達だから
ミユは
友達が苦しんでるなら…
もう ほっとかない！
ひとりじゃない
うん
うん…っ！

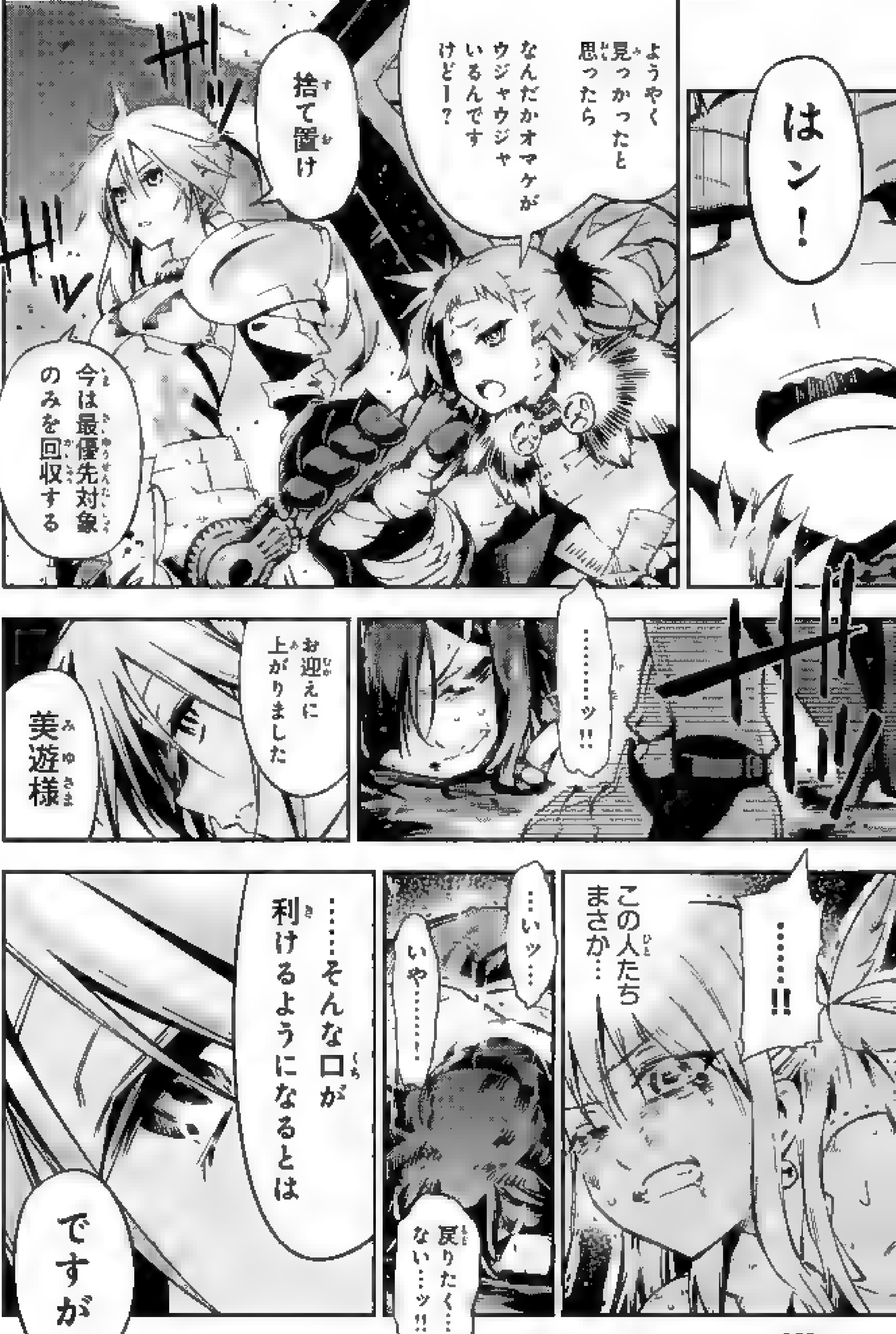

あら あらー 絶対ひっぱたいてやるんじゃなかったんですかーっ？
あふ♡
あはは… そのつもりだったんだけど こんな顔見ちゃったらできないや
ごめんね イリヤ…っ
いいって ほら 帰ろ？
わたしたちの家に――
ゴーオッ…
へっ…？
――…ッ

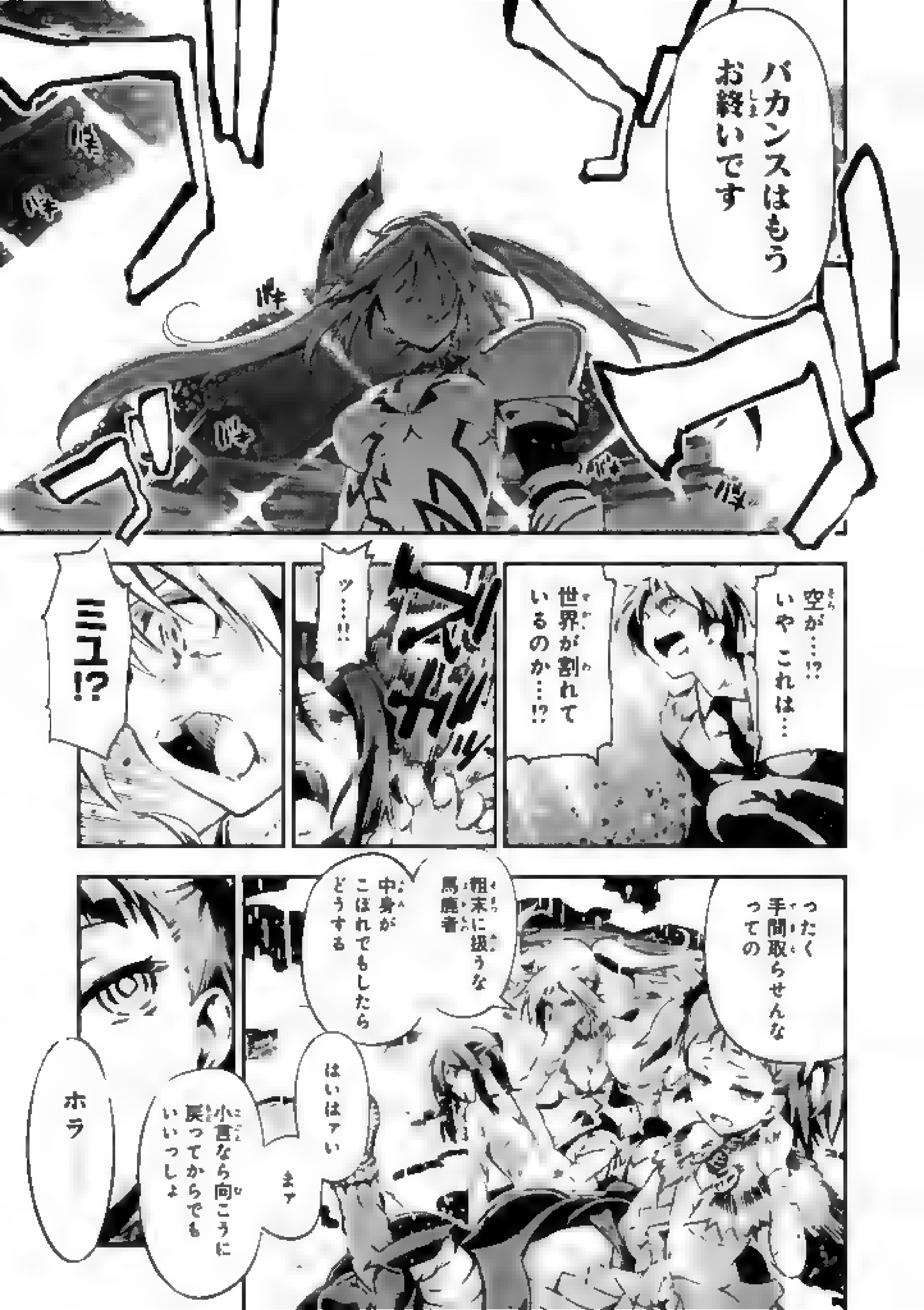
ガガガガガガガ
……ッ!!
ガガガガガ
なっ…
なにが…ッ!?
ズ…
パリッ…


エアで切り裂いた世界の裂け目…
まさか…
Archer
夢幻召喚（インストール）
Archer

……
なんなのよ～
こいつら…

誰(だれ)よ!?
ふん……


はン！
ザッ
ザッ
ようやく見っかったと思ったらなんだかオマケがウジャウジャいるんですけどー？
捨て置け
ザッ
今は最優先対象のみを回収する
……ッ!!
お迎えに上がりました
美遊様
……!!
この人たちまさか…
…いッ…
いや……！
戻りたくない…ッ!!
……そんな口が利けるようになるとは
ですが


バカンスはもう
お終いです
空が…!?
いや これは…
世界が割れて
いるのか…!?
ッ……!!
ミユ!?
ったく
手間取らせんな
っての
粗末に扱うな
馬鹿者
中身が
こぼれでもしたら
どうする
はいはァい
まァ
小言なら向こうに
戻ってからでも
いいっしょ
ホラ

・・・・揺り戻しだ
オオオオオオオオオオオオオオオ
……!!
真っ白に…!?
なにも見えな…
イリ…
ヤ…
!!
ミユ!?

イリヤ……!!
ミユ!! どこにいるの!?
ミユ!! ミユ───ッ!!!

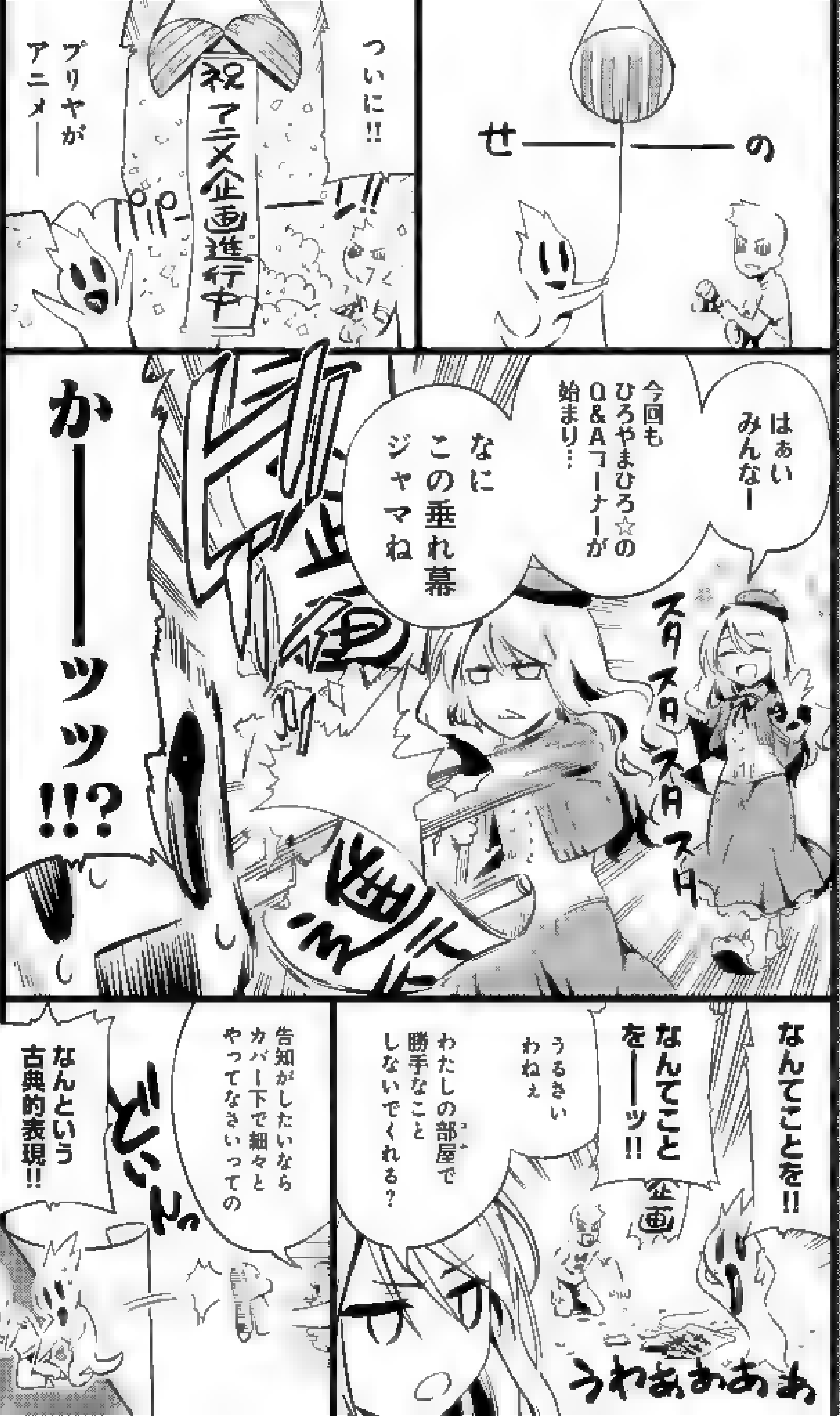
ガガガガガガガ
おかしい…
さっきまで漂っていた巨大な気配が消えた…!
それに…どういうことなの？
このあたりのはずなのに…何もない
大空洞の上に
巨大な穴なんて空いてないじゃない!!

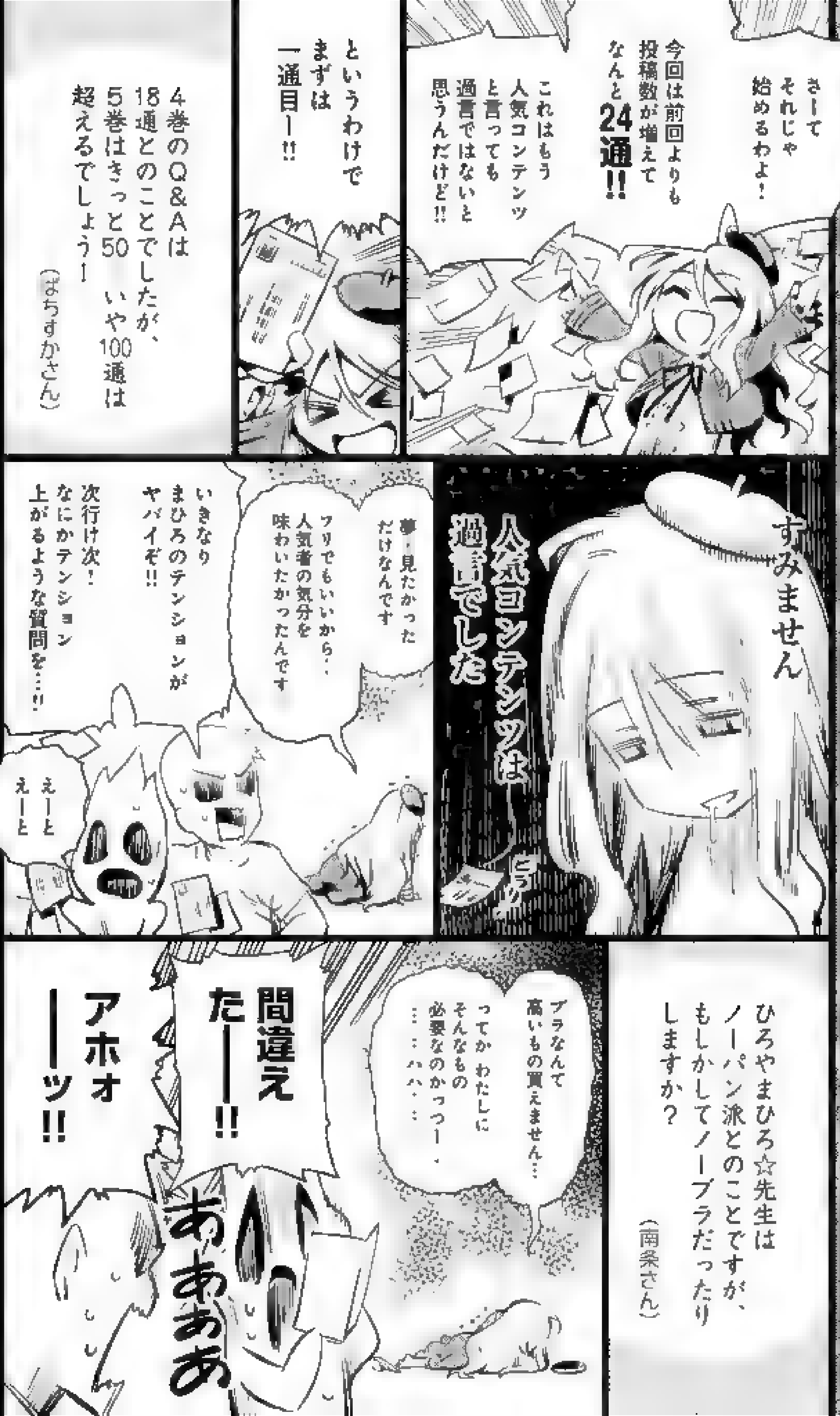
イリヤ――!!

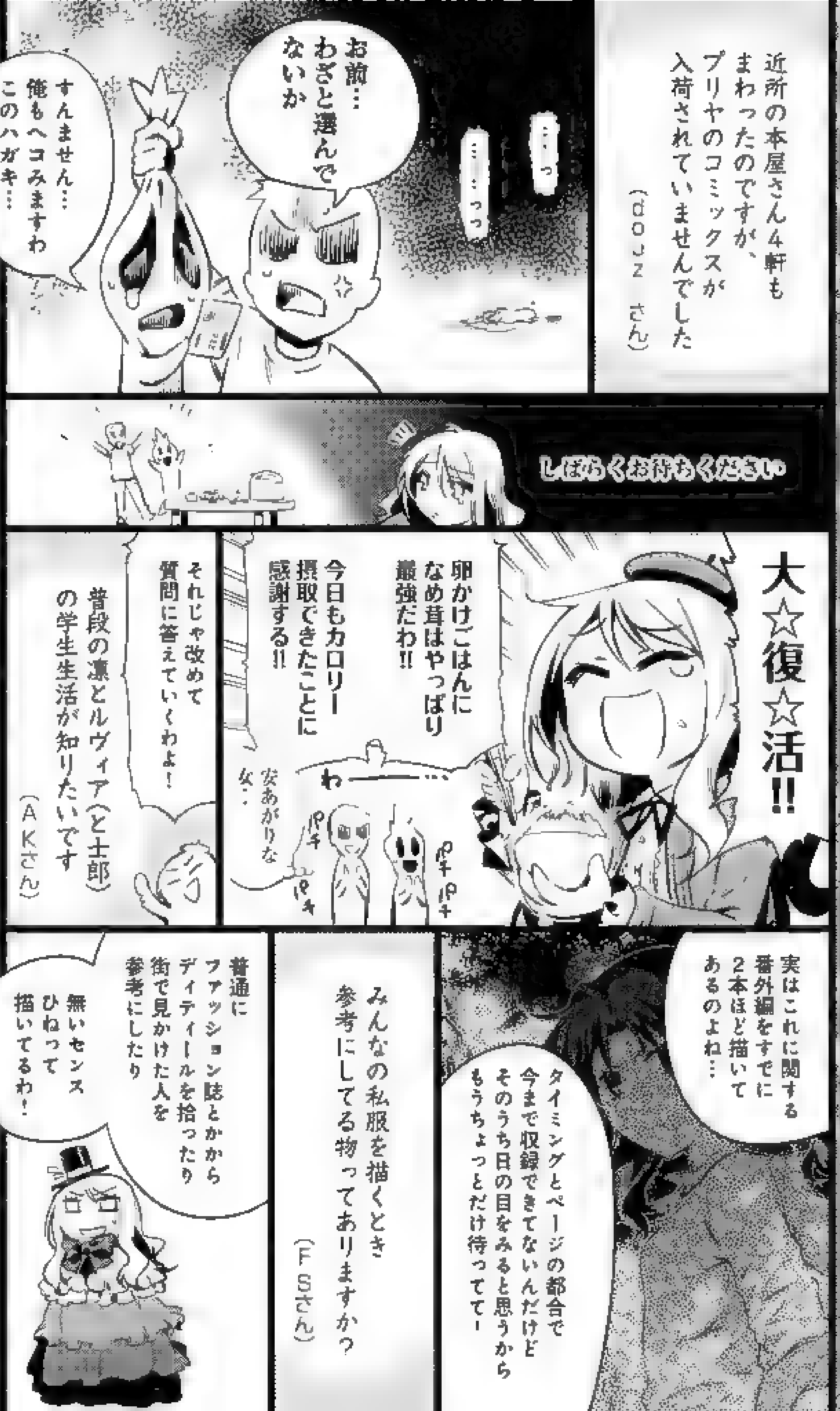
★

Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA 2wei! is end,

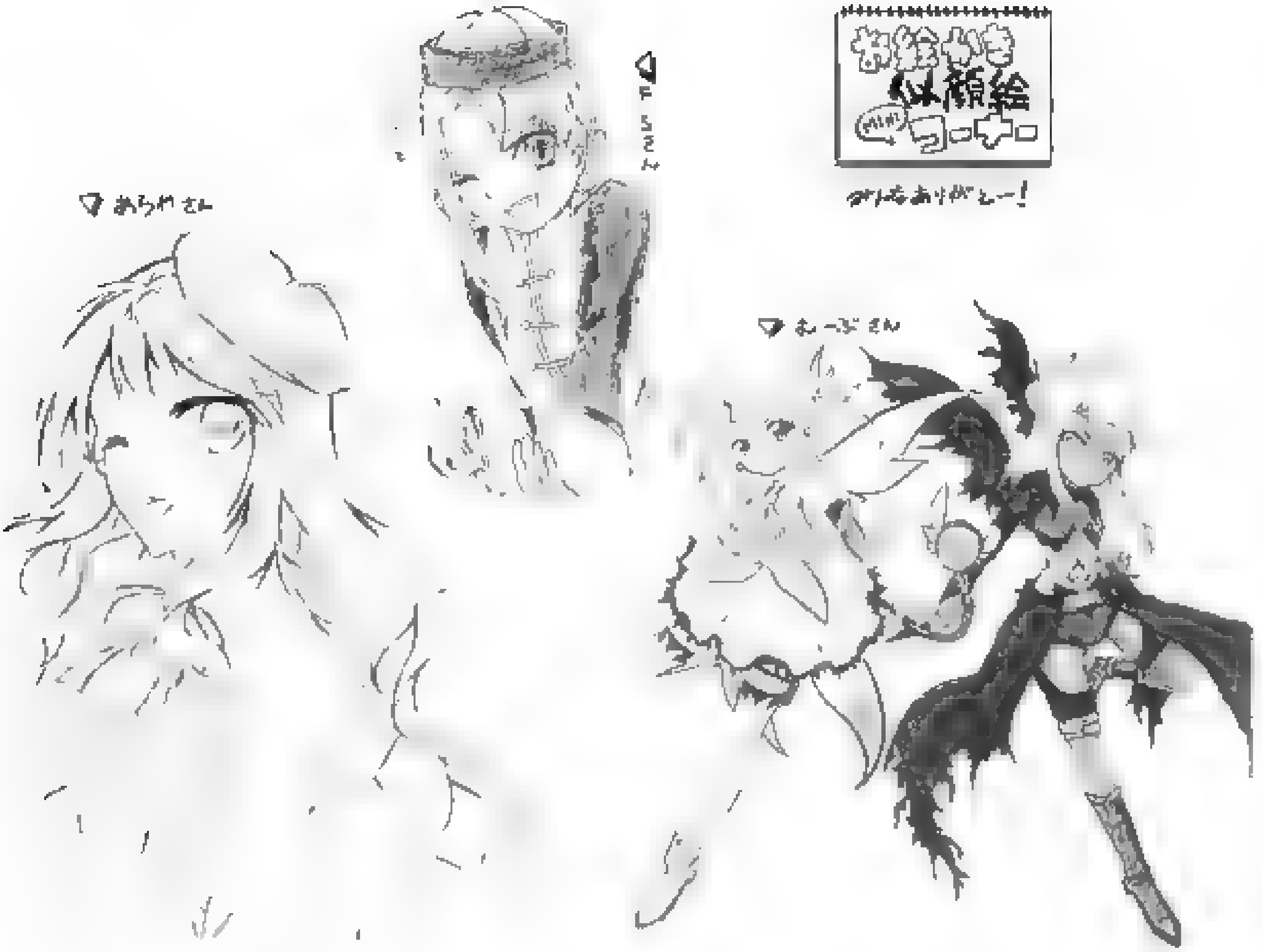
and their Fate is continued to "Drei"——


せーーーーの
ついに!!
プリヤがアニメーー
祝アニメ企画進行中
パリーーン!!
はぁい みんなー
今回もひろやまひろ☆のQ&Aコーナーが始まり…
なに この垂れ幕ジャマね
スタ スタ スタ スタ
かーーーーッッ!!?
なんてことをーーッ!!
うるさいわねぇ
わたしの部屋で勝手なことしないでくれる?
企画
うわあああああ
告知がしたいならカバー下で細々とやってなさいってのどいーん
なんという古典的表現!!


さーて それじゃ 始めるわよ！
今回は前回よりも 投稿数が増えて なんと24通!!
これはもう 人気コンテンツ と言っても 過言ではないと 思うんだけど!!
というわけで まずは 一通目ー!!
4巻のQ&Aは 18通とのことでしたが、 5巻はきっと50 いや100通は 超えるでしょう！ （ぱちすかさん）
すみません
人気コンテンツは 過言でした
ピラ…
夢・見たかった だけなんです
フリでもいいから… 人気者の気分を 味わいたかったんです
いきなり まひろのテンションが ヤバイぞ!!
次行け次！ なにかテンション 上がるような質問を…!!
えーと えーと
ひろやままひろ☆先生は ノーパン派とのことですが、 もしかしてノーブラだったり しますか？ （南条さん）
ブラなんて 高いもの買えません… ってかわたしに そんなもの 必要なのかっつー… ……ハハ……
間違え たー!!
アホォ ーーッ!!
あああ


近所の本屋さん4軒もまわったのですが、プリヤのコミックスが入荷されていませんでした
（dojz さん）
…っ
……っっ
お前…わざと選んでないか
すんません…俺もヘコみますわこのハガキ…
しばらくお待ちください
大☆復☆活!!
卵かけごはんになめ茸はやっぱり最強だわ!!
今日もカロリー摂取できたことに感謝する!!
わーー…
安あがりな女…
パチ パチ パチ パチ
それじゃ改めて質問に答えていくわよ！
普段の凛とルヴィア(と士郎)の学生生活が知りたいです
（AKさん）
実はこれに関する番外編をすでに2本ほど描いてあるのよね…
タイミングとページの都合で今まで収録できてないんだけど そのうち日の目をみると思うから もうちょっとだけ待っててー
みんなの私服を描くとき参考にしてる物ってありますか？
（FSさん）
普通にファッション誌とかからディティールを拾ったり 街で見かけた人を参考にしたり
無いセンスひねって描いてるわ！

さて最後はこちら！
こんな衝撃的な出だしのファンレター初めて見たよ！
仕事辞めました。
先生は何をきっかけに漫画家になりました？（正立大さん）
そうか　とりあえずお疲れさまってとこかな　実は俺も昔ちょっとだけ会社員やってたことがあるんだ　普通の人生から道外れまいと思って就いた職だったけど「この仕事をずっと続けた自分」ってのがリアルに想像できなくて　その人生が自分にとって本当に価値があるのかって考えたんだ　同時に　会社を辞めて漫画家として生きてく人生も想像した　会社員としての未来は容易に想像ついたんだけど　漫画家としての未来はまったく先が見えなかった　なのにね　俺は漫画家としての未来の方に魅力を感じてしまったんだ　先が見えない方が面白い　なんて単純な考えだったかもしれないけど　振り返ってこれたのはもっと幼稚なの　本当に「好きなことを本気でやって」　それで失敗だったのならもうそれで構わない」　たとえその選択が間違いだったとしても　失敗してしまったとしても　その人生には価値があると思えたんだ
それはあくまで極端だよ　職業柄　会社員も自営業も両方の気持ちがわかる俺としては極端な意見はむしろない　好きなことと興味があること　自分の素直な気持ちに添える"ことを職業にすれば　人生を楽しいものにできる可能性は高いかもしれない　ただ本当に好きなことを趣味としてとっておいて　仕事は仕事と割り切るのもありだな生き方　どう生きるにせよ自分の人生は自分のもの　自分にとっての価値をどこに置くのか考えてみるのもいいんじゃないかな
オッサンどもの人生語りに乗っ取られた────ッ!!?
ああもう今回グダグダだったけど引き続き質問受付中!!
次巻からなんか漫画のタイトルが2we-から3re-に変わるらしいけど知ったこっちゃないわ!!
お便り待ってるからねー!!
〒102-8078
東京都千代田区富士見1-8-19
角川書店 コンプエース編集部
プリズマイリヤQ＆A係
■STAFF
山本一宏
酒井孝
TO BE CONTINUED…
ペンネーム推奨！


お絵かき似顔絵 mini コーナー
みんなありがと〜!
Fさん
あらやさん
む〜ぶさん

緊急告知!!

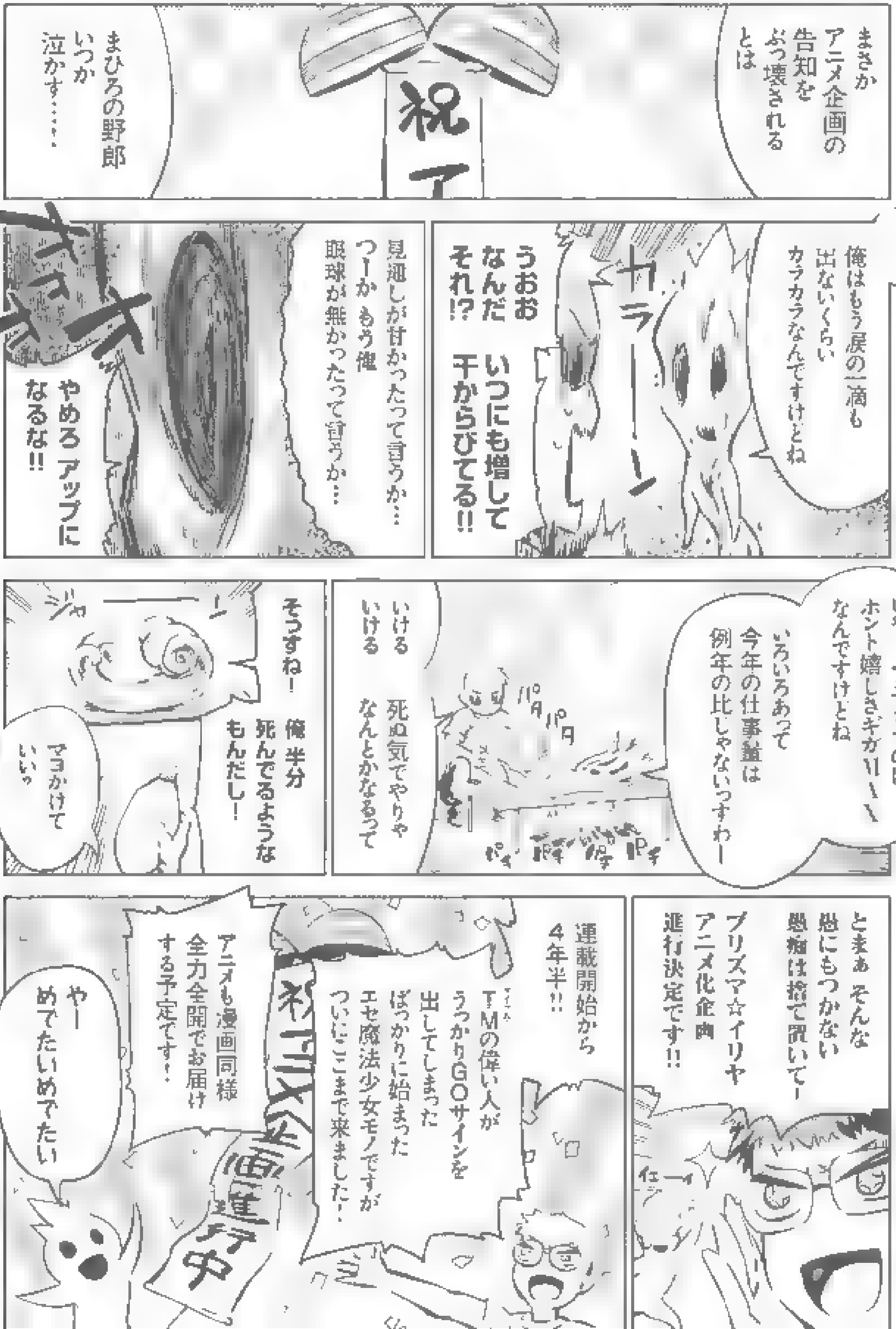
どうせだから このタイミングで 人気投票とか やったるわ!!
この本についてる アンケートハガキの 質問①に 投票欄があるわ! みんな好きな キャラクターに 投票してね!!
ちなみに わたし宛の Q&Aはハガキの メッセージ欄に 書いてもOKだよ!
みんなの 投票&お便り 待ってるわ!!

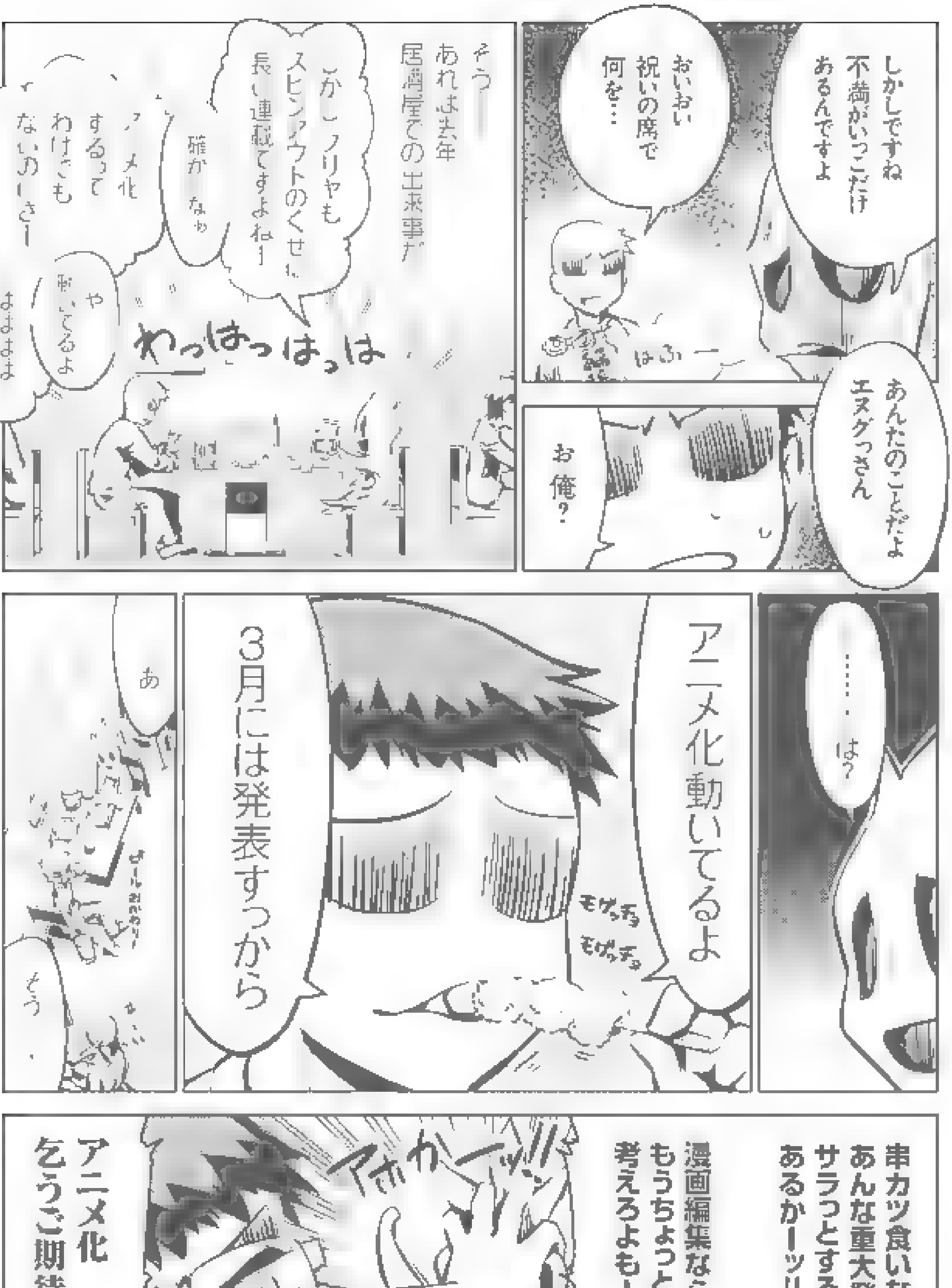
2012年5月25日(当日消印有効)
結果発表はコンプエース誌上にて
投票者のなかから抽選で100名に
描きおろし暑中見舞いをプレゼント!
※当選の発表は発送をもって
代えさせていただきます

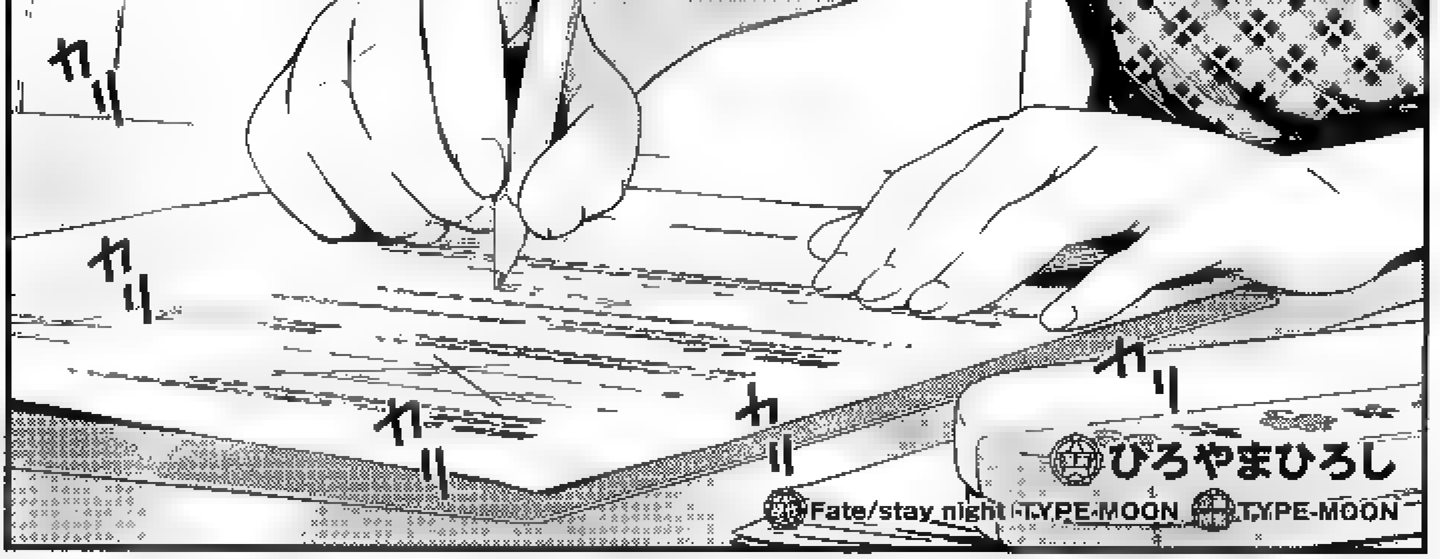
※ハガキは初版にのみ入ってるので注意よ!

Fate/kaleid liner
プリズマ☆イリヤ ツヴァイ! PRISMA ILLYA 2wei! ⑤
Kadokawa Comics A

原作 Fate/stay night [TYPE-MOON]
企画協力：TYPE-MOON
漫画
ひろやまひろし
Hiroyama Hiroshi


まさか アニメ企画の 告知を ぶっ壊される とは
祝ア
まひろの野郎 いつか 泣かす……
ま
俺はもう涙の一滴も 出ないくらい カラカラなんですけどね
カラー
うおお なんだ それ!?
いつにも増して 干からびてる!!
見通しが甘かったって言うか… つーか もう俺 眼球が無かったって言うか…
ギョオ
やめろ アップに なるな!!
いやー アニメってのは ホント嬉しさギガ!!ーー なんですけどね
いろいろあって 今年の仕事量は 例年の比じゃないっすわー
パタパタ
いける いける 死ぬ気でやりゃ なんとかなるって
パチ パチ
そっすね! 俺 半分 死んでるような もんだし!
ジャ
マヨかけて いい？
とまぁ そんな 愚にもつかない 愚痴は捨て置いて― プリズマ☆イリヤ アニメ化企画 進行決定です!!
イェーイ
営業用メガネ
連載開始から 4年半!!
T・Mの偉い人が うっかりGOサインを 出してしまった ばっかりに始まった エセ魔法少女モノですが ついにここまで来ました!
祝アニメ企画進行中
アニメも漫画同様 全力全開でお届け する予定です!
やー めでたいめでたい


しかしですね 不満がいっこだけ あるんですよ
おいおい 祝いの席で 何を…
はふー
あんたのことだよ エヌグっさん
お俺？
そう あれは去年 居酒屋での出来事だ
しかしフリャもスピンアウトのくせに 長い連載ですよねー
確かなぁ
アニメ化 するって わけでも ないのにさー
わっはっはっは
や 動いてるよ
はははは
……はっ
アニメ化動いてるよ
3月には発表すっから
モグっチョ
モグっチョ
あ
ビールおかわり
そう
串カツ食いながら あんな重大発表を サラっとするやつが あるかーッ!!
漫画編集なら もうちょっと演出 考えろよもーッ!!
アホかーッ!!
アニメ化 乞うご期待!!



ぴろやまひろし

Fate/stay night TYPE-MOON TYPE-MOON

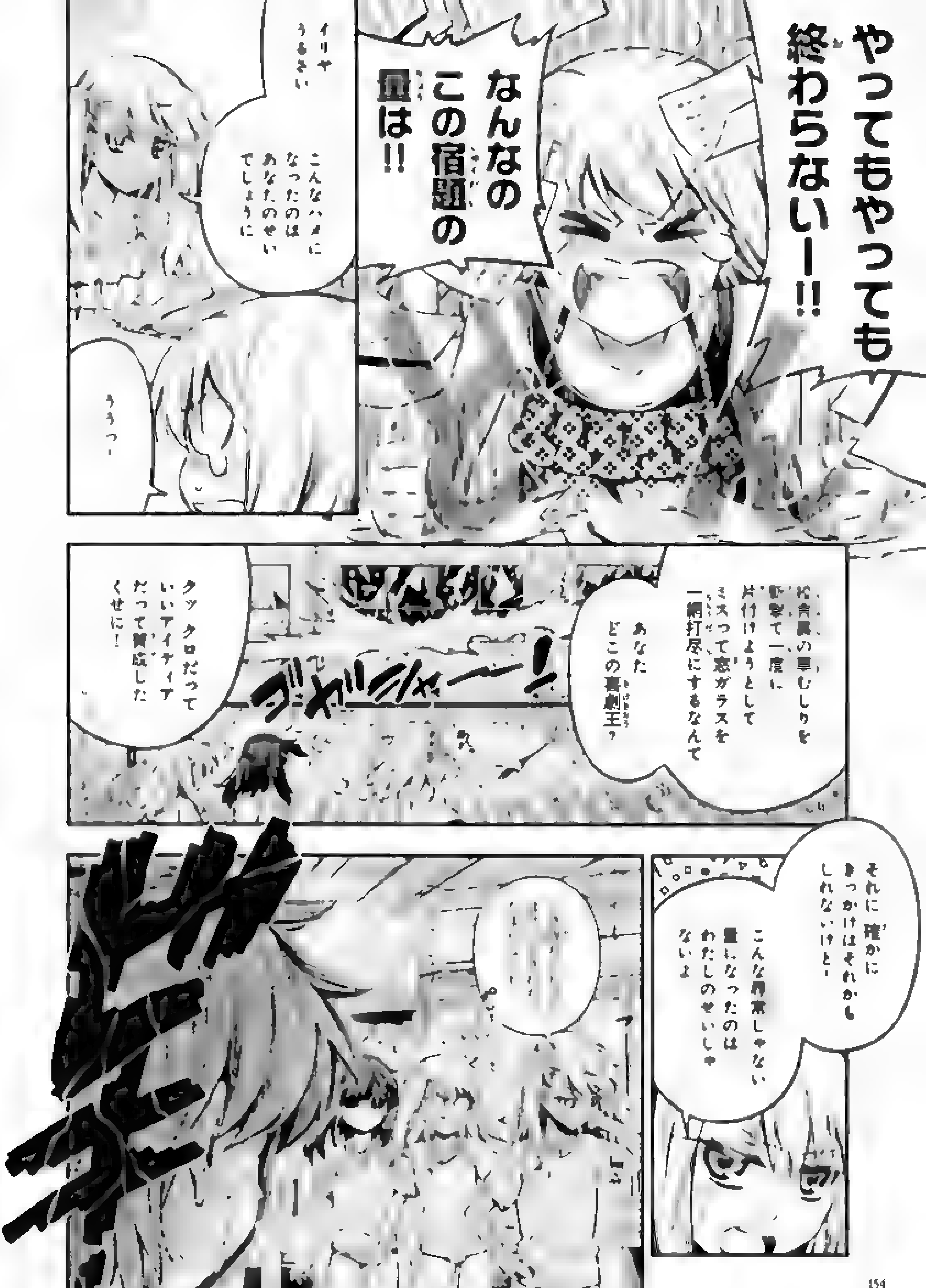
既刊コミックス3巻絶賛発売中、そして最新「ツヴァイ」第2巻7/26発売決定!!

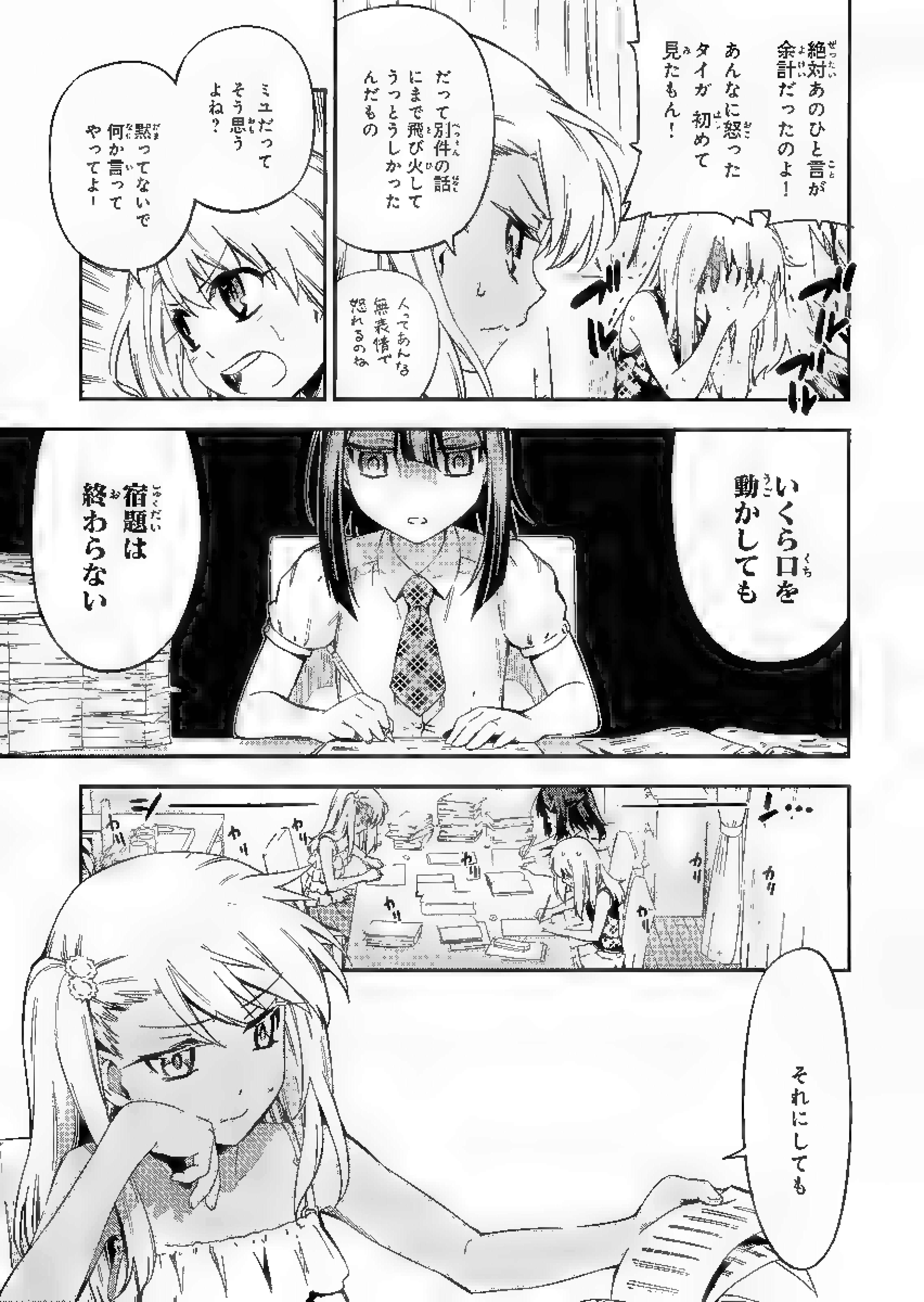
Fate/kaleid liner プリズマ☆イリヤ 2wei! ツヴァイ! PRISMA ILLYA 2wei!

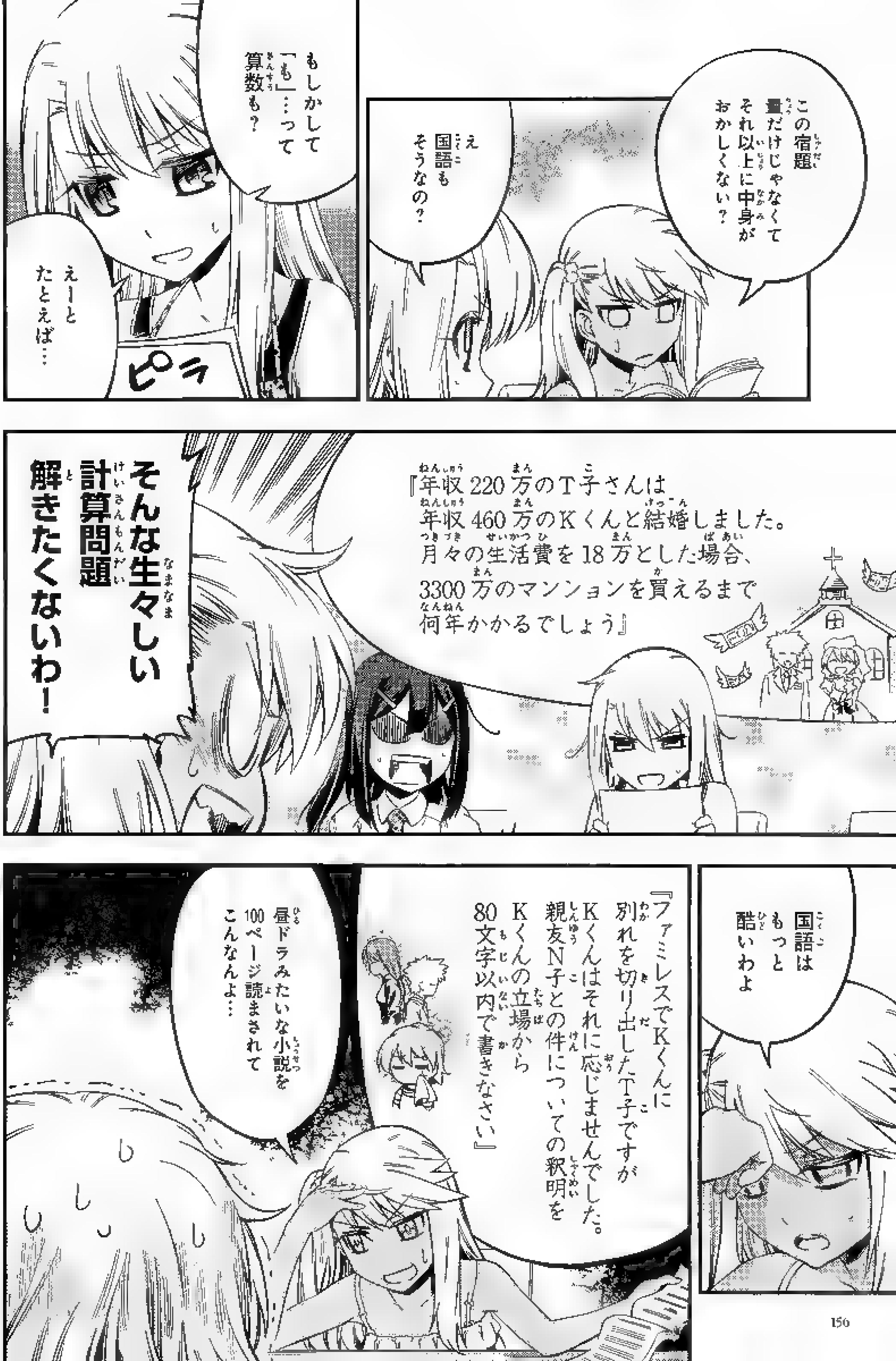
番外編☆Girls' Homework

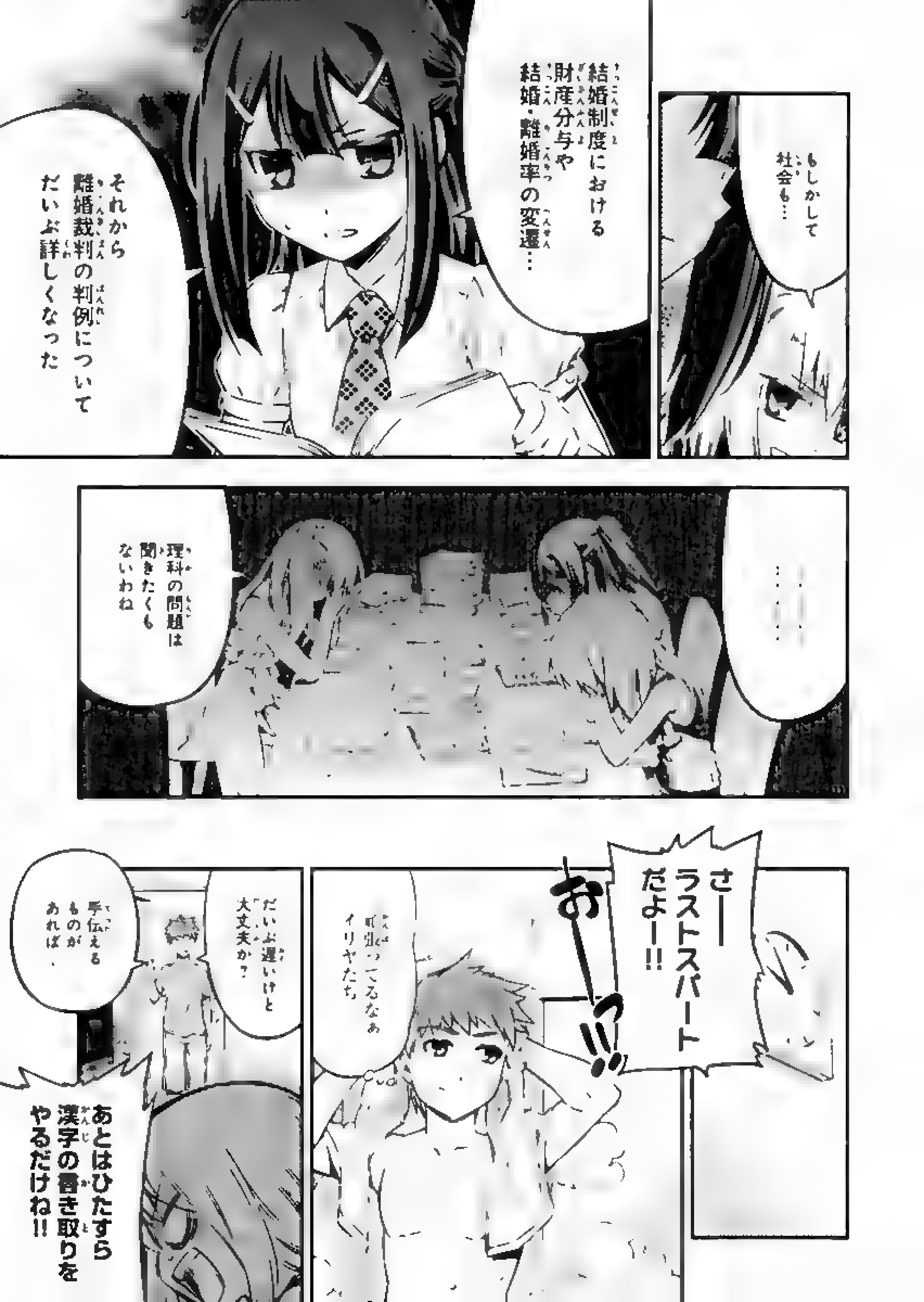
イリヤたちもいつもは普通の小学生。三人仲よく宿題中……？

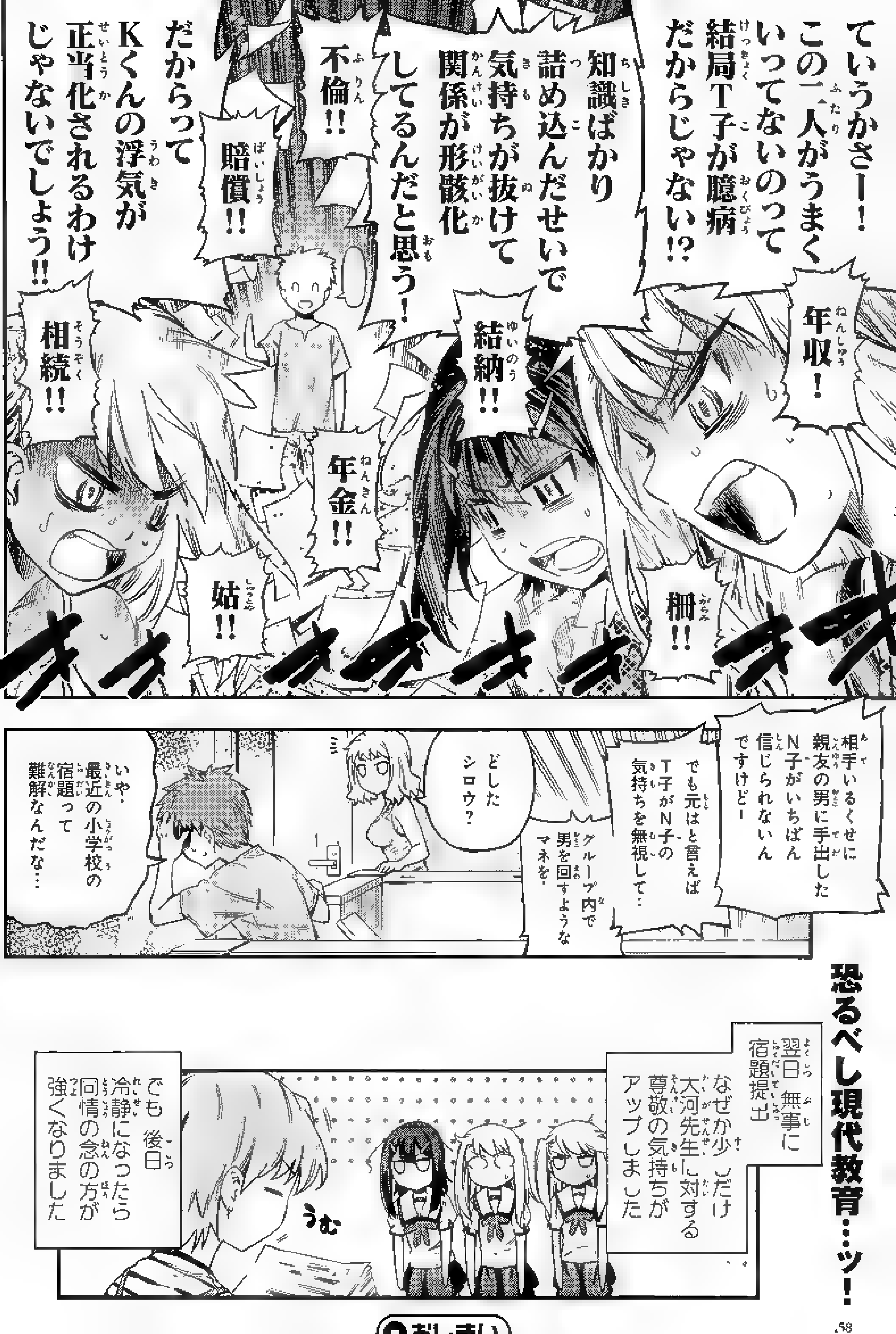
©TYPE-MOON


やってもやっても終わらないー!!
なんなのこの宿題の量は!!
イリヤうるさい
こんなハメになったのはあなたのせいでしょうに
ううっ…
校舎裏の草むしりを魔術で一度に片付けようとしてミスって窓ガラスを一網打尽にするなんてあなたどこの喜劇王？
ゴガッシャーン！
クックロだってだっていいアイディアだって賛成したくせに！
それに確かにきっかけはそれかもしれないけど…
こんな尋常じゃない量になったのはわたしのせいじゃないよ
……


絶対あのひと言が余計だったのよ！
あんなに怒ったタイガ初めて見たもん！
ブルブル
ブル
だって別件の話にまで飛び火してうっとうしかったんだもの
人ってあんな無表情で怒れるのね
ミユだってそう思うよね？
黙ってないで何か言ってよー
いくら口を動かしても
宿題は終わらない
！…
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
それにしても


この宿題量だけじゃなくてそれ以上に中身がおかしくない？
え国語もそうなの？
もしかして「も」…って算数も？
えーとたとえば…
ピラ
『年収220万のT子さんは年収460万のKくんと結婚しました。月々の生活費を18万とした場合、3300万のマンションを買えるまで何年かかるでしょう』
そんな生々しい計算問題解きたくないわ！
国語はもっと酷いわよ
『ファミレスでKくんに別れを切り出したT子ですがKくんはそれに応じませんでした。親友N子との件についての釈明をKくんの立場から80文字以内で書きなさい』
昼ドラみたいな小説を100ページ読まされてこんなんよ…

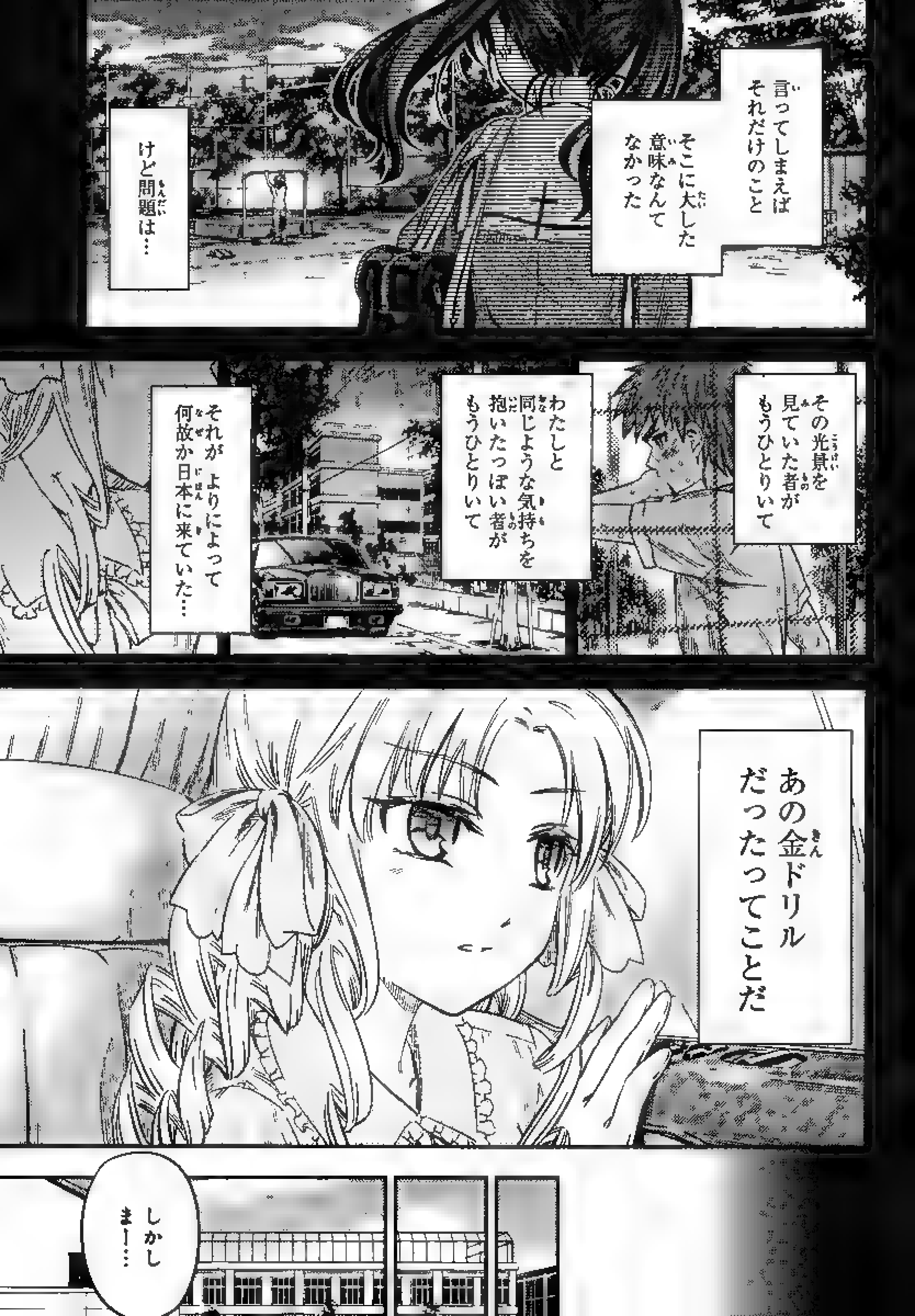

もしかして社会も…
結婚制度における財産分与や結婚・離婚率の変遷…
それから離婚裁判の判例についてだいぶ詳しくなった
……
理科の問題は聞きたくもないわね
さーラストスパートだよー!!
おーっ!!
頑張ってるなぁイリヤたち
だいぶ遅いけど大丈夫か?
手伝えるものがあれば…
あとはひたすら漢字の書き取りをやるだけね!!

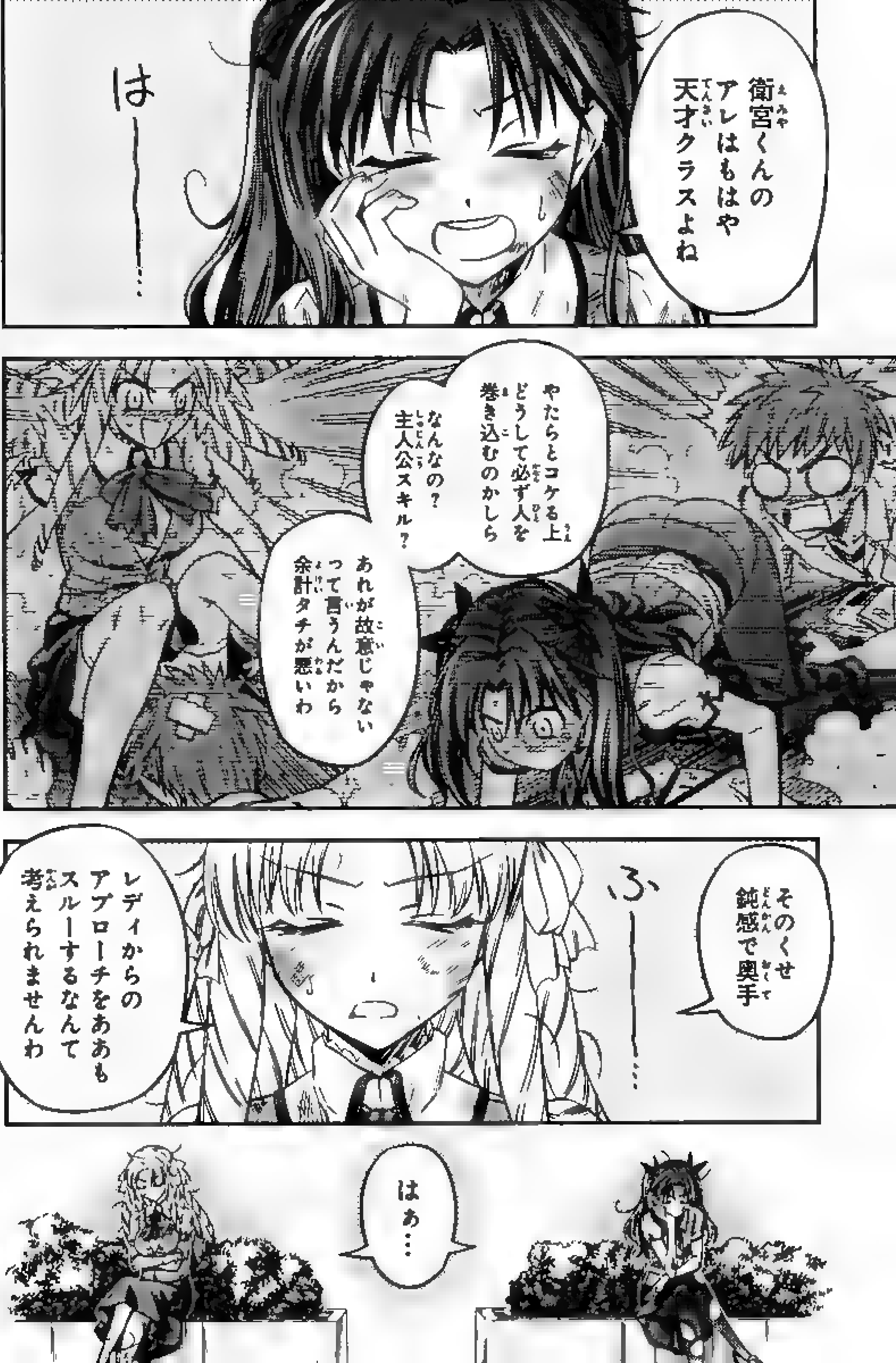

ていうかさー！この二人がうまくいってないのって結局T子が臆病だからじゃない!?
年収！
知識ばかり詰め込んだせいで気持ちが抜けて関係が形骸化してるんだと思う！
結納!!
不倫!!
賠償!!
年金!!
だからってKくんの浮気が正当化されるわけじゃないでしょう!!
相続!!
姑!!
柵!!
ォォォォォォォ
相手いるくせに親友の男に手出ししたN子がいちばん信じられないんですけどー
でも元はと言えばT子がN子の気持ちを無視して…
グループ内で男を回すようなマネを…
どしたシロウ？
いや…最近の小学校の宿題って難解なんだな…
恐るべし現代教育…ッ！
翌日 無事に宿題提出
なぜか少しだけ大河先生に対する尊敬の気持ちがアップしました
でも後日 冷静になったら同情の念の方が強くなりました
うむ

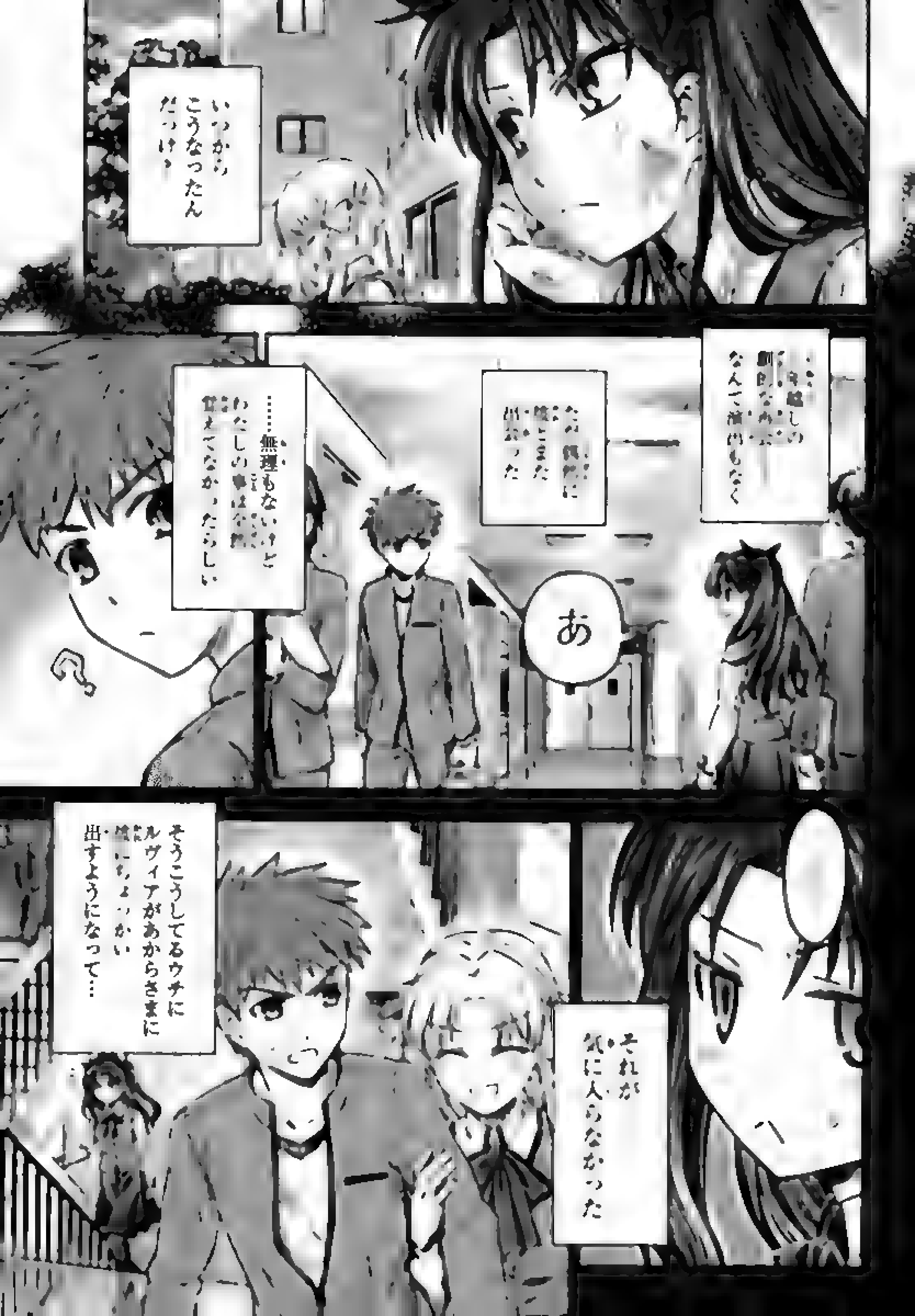
■おしまい

何年前―
プリズマ☆イリヤ 2wei!
それは夕陽の中の記憶―
ザッ
うわ 背中そり
飽きず何度も高跳びを続ける少年がいた
背丈を越えるバー
跳べるはずもない
そんな技術は少年にはない
それでも彼は
愚直に跳び続けた

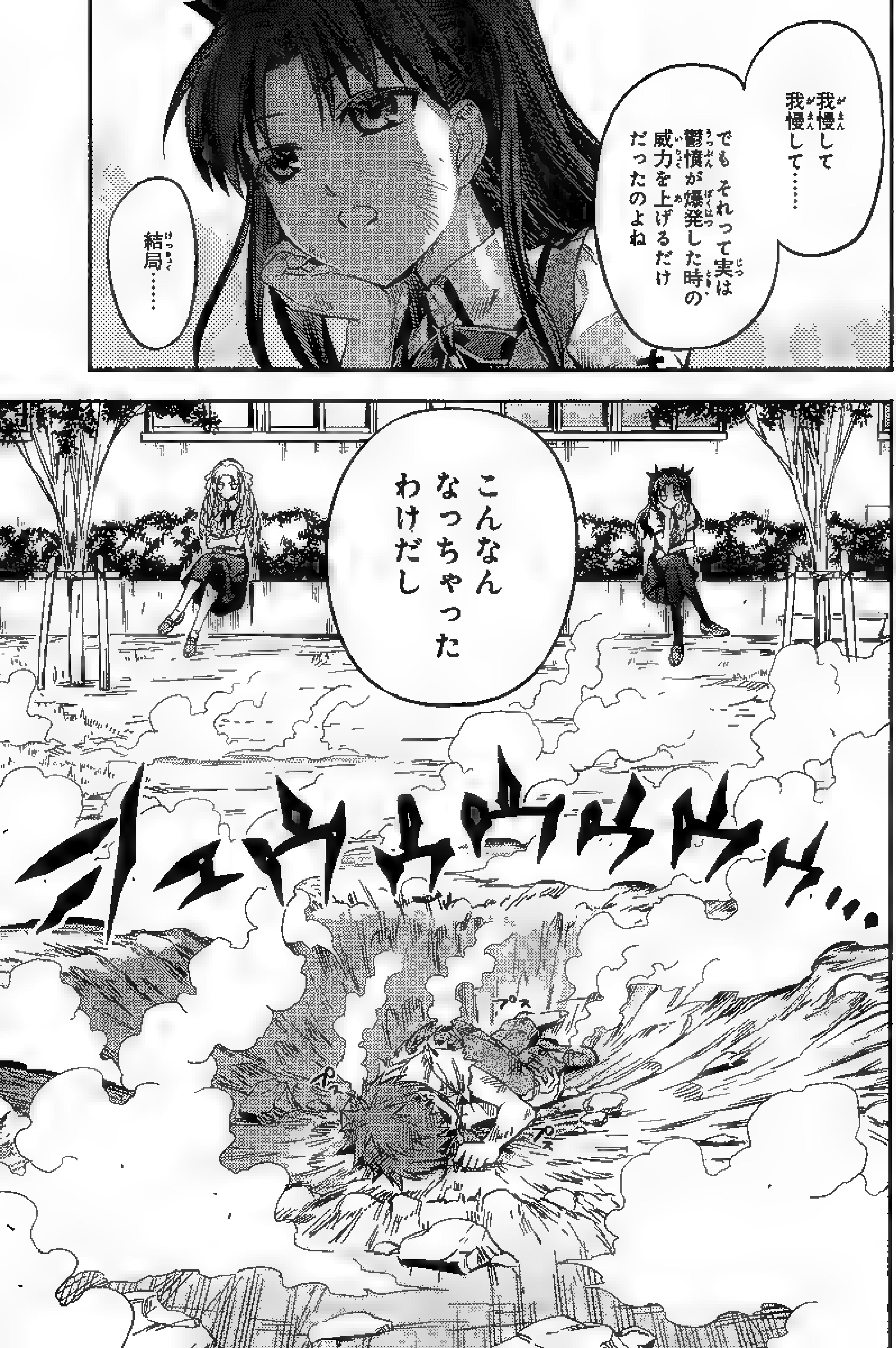
何故だろう
ただ挑み続ける
その道を――
プリズマ☆イリヤ
2wei!
番外編☆
ひろやまひろし
TYPE-MOON
TYPE-MOON


言ってしまえば
それだけのこと
そこに大した
意味なんて
なかった
けど問題は…
その光景を
見ていた者が
もうひとりいて
わたしと
同じような気持ちを
抱いたっぽい者が
もうひとりいて
それが よりによって
何故か日本に来ていた…
あの金ドリル
だったってことだ
しかし
まー…

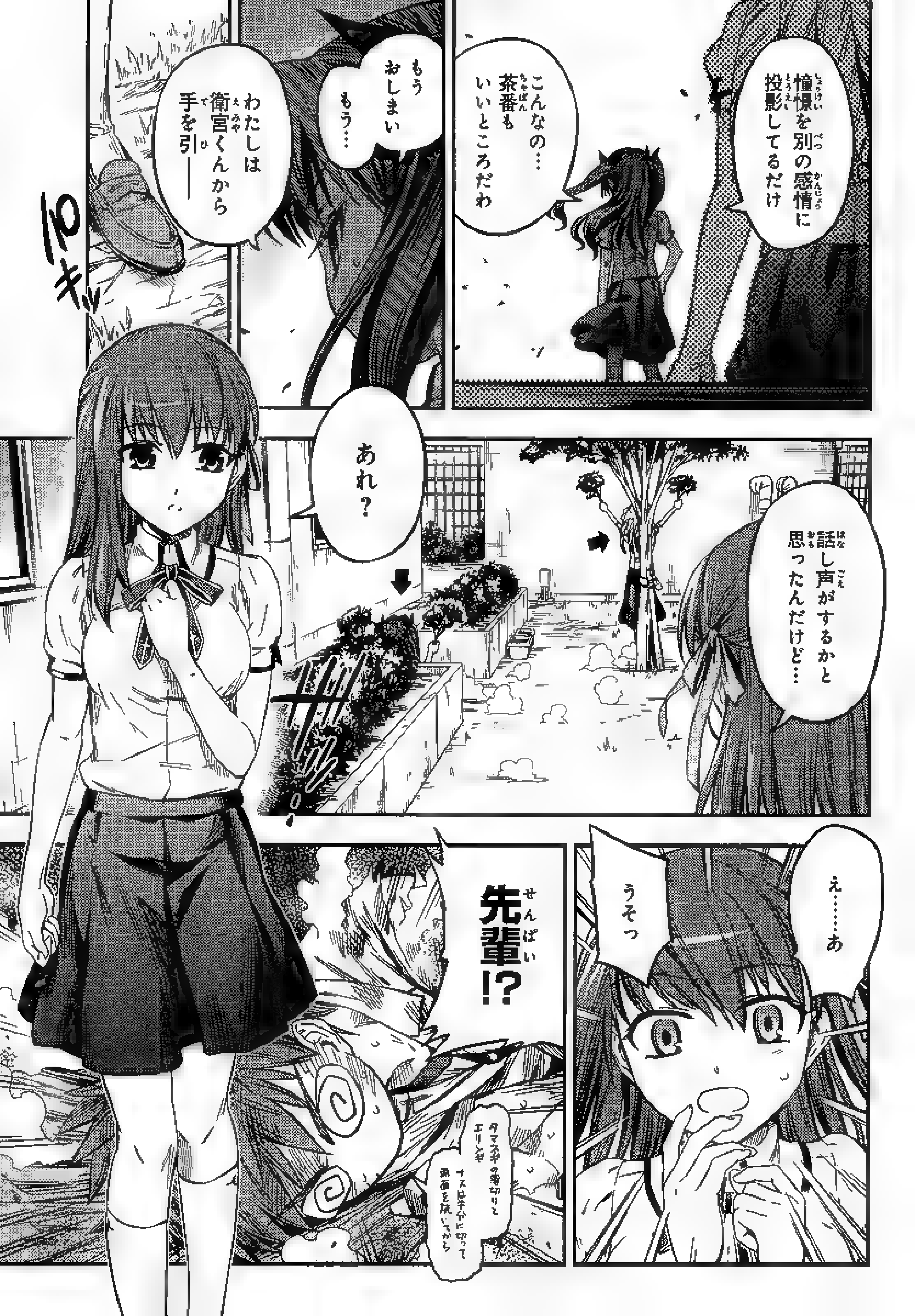

衛宮くんのアレはもはや天才クラスよね
は────…
やたらとコケる上どうして必ず人を巻き込むのかしら
なんなの？主人公スキル？
あれが故意じゃないって言うんだから余計タチが悪いわ
そのくせ鈍感で奥手
ふ────…
レディからのアプローチをああもスルーするなんて考えられませんわ
はぁ…

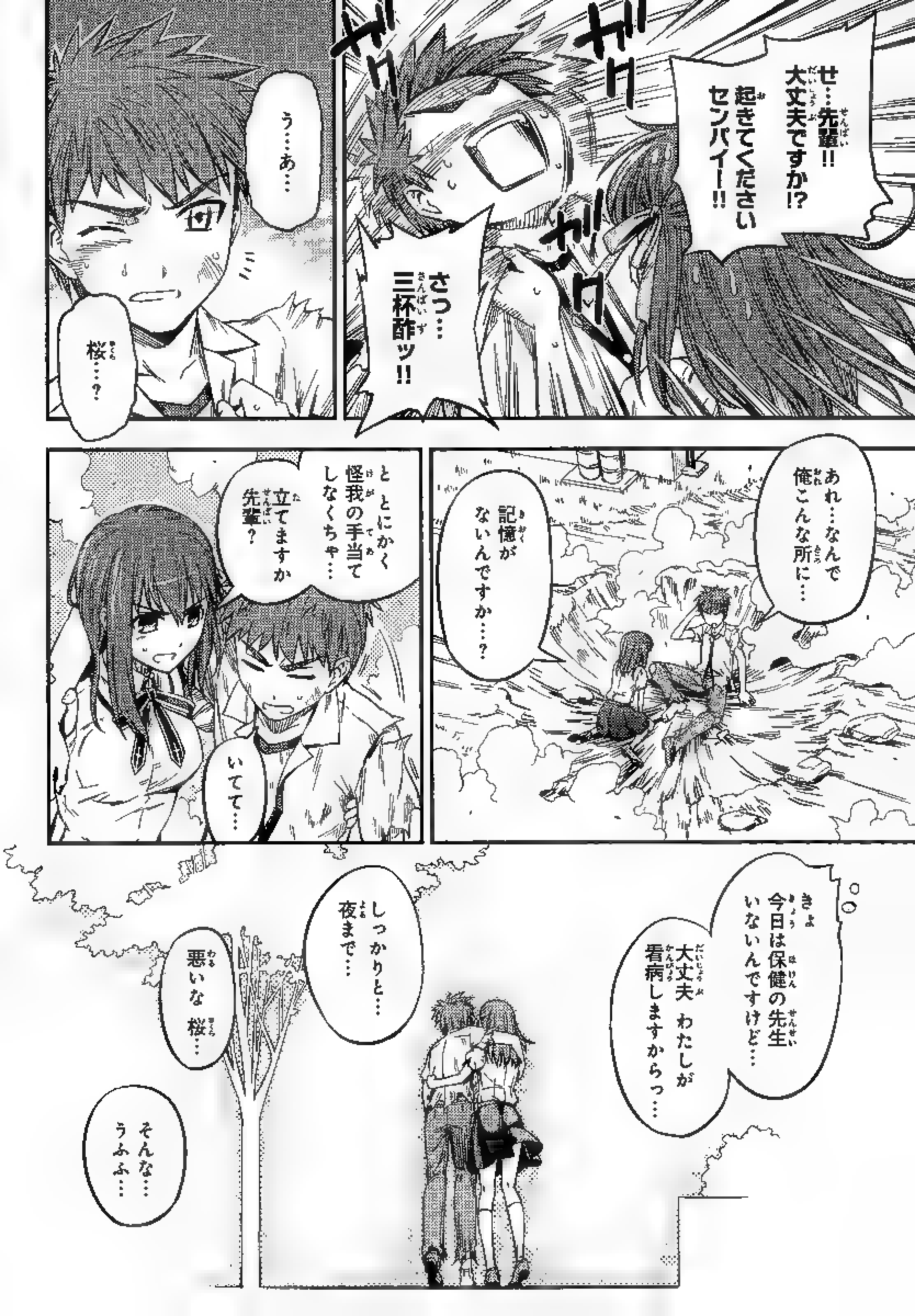

いつから こうなったんだっけ？
……卒業しの 朝日なんか なんて前触れもなく
ただ偶然に 彼とまた 出会った
あ
……無理もないけど わたしの事は全然 覚えてなかったらしい
そうこうしてるウチに ルヴィアがあからさまに 彼にちょっかい 出すようになって…
それが 気に入らなかった

[illegible]
これが
気にくわなかった
[illegible]
[illegible]
平静に　穏便に
だから わたしたちは 優等生の仮面を被り
[illegible]
本心を押し殺し
思えば
それが良くなかったんだろう


我慢して
我慢して……
でも それって実は
鬱憤が爆発した時の
威力を上げるだけ
だったのよね
結局……
こんなん
なっちゃった
わけだし
シュウウウウウウ…
プス
プス
プス

いったい
何がどうして
こうなったのか
今ではもう
思い出せませんわ
???
お弁当を誰が作るとか
何かそんな些細な事
だったような…
あ～あ
認めよう[illegible]わ[illegible]
[illegible]
わたし、
[illegible]
すきなんて[illegible]
[illegible]かは
覚えてないけど
すべては
些細なきっかけと
ソフィアへの[illegible]
でしかないんだ
終わりに
するわ
…


憧憬を別の感情に投影してるだけ
こんなの…茶番もいいとこだわ
もう おしまい もう…
わたしは衛宮くんから手を引——
パキッ
話し声がするかと思ったんだけど…
あれ？
え……あ
うそっ
先輩!?
タマネギの薄切りとエリンギ ナスは半分に切って表面を焼いてから


ガクガク
せ…先輩!! 大丈夫ですか!? 起きてください センパイー!!
ガクガク
さっ…三杯酢ッ!!
う…あ…
桜…？
あれ…なんで 俺こんな所に…
記憶がないんですか…？
と…とにかく 怪我の手当てしなくちゃ…
立てますか 先輩？
いてて…
きょ今日は保健の先生いないんですけど…
大丈夫 わたしが看病しますからっ…
しっかりと… 夜まで…
悪いな 桜…
そんな… うふふ…

この感情は

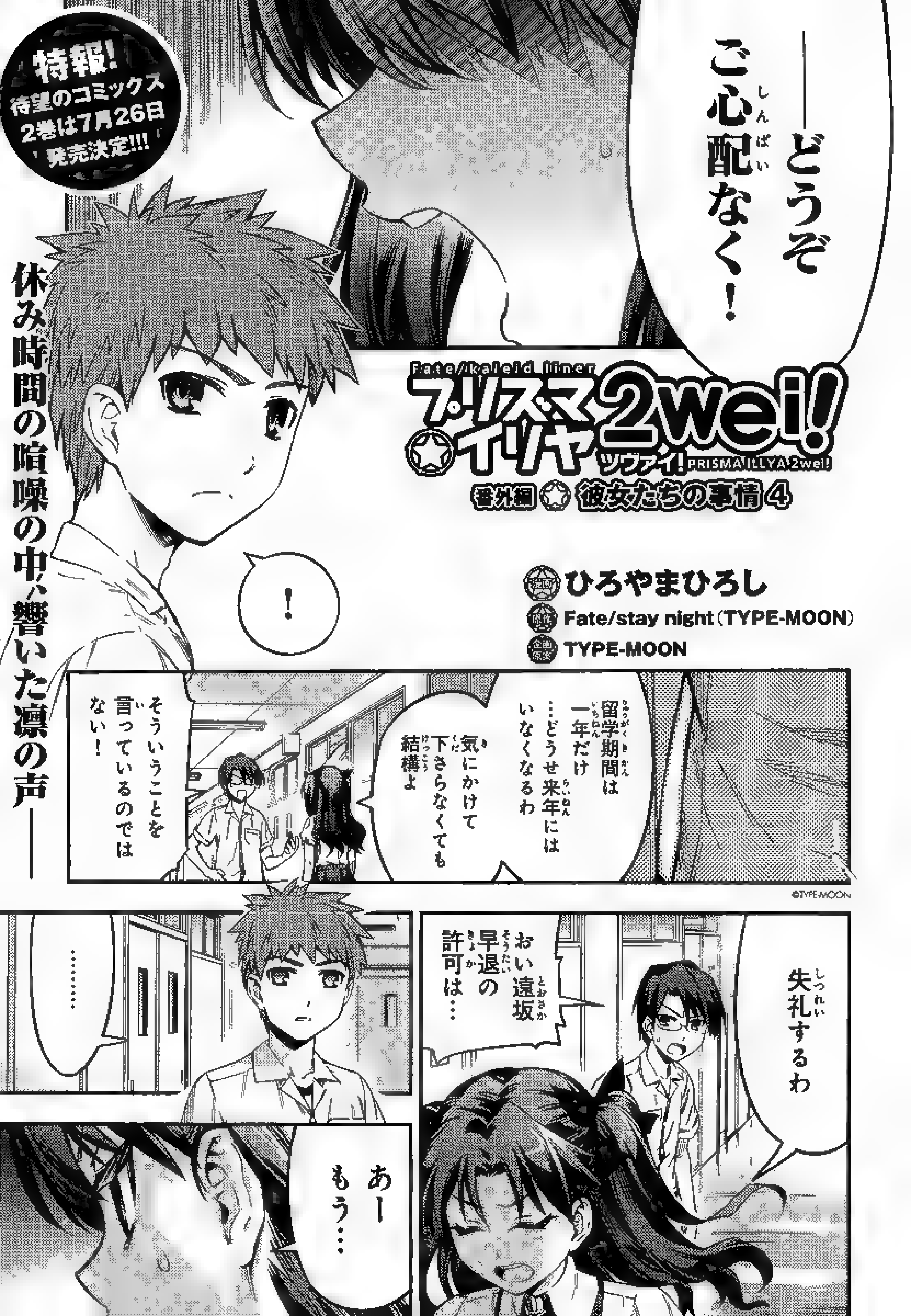
嫉妬心？
対抗心？
独占欲？
この感情ははっきりと
名前を付けられるまでは――

次号は大波乱！「お兄ちゃん」の謎が明らかに!?

○次号に続く

特報！
待望のコミックス
2巻は7月26日
発売決定!!!

休み時間の喧噪の中に響いた凜の声――

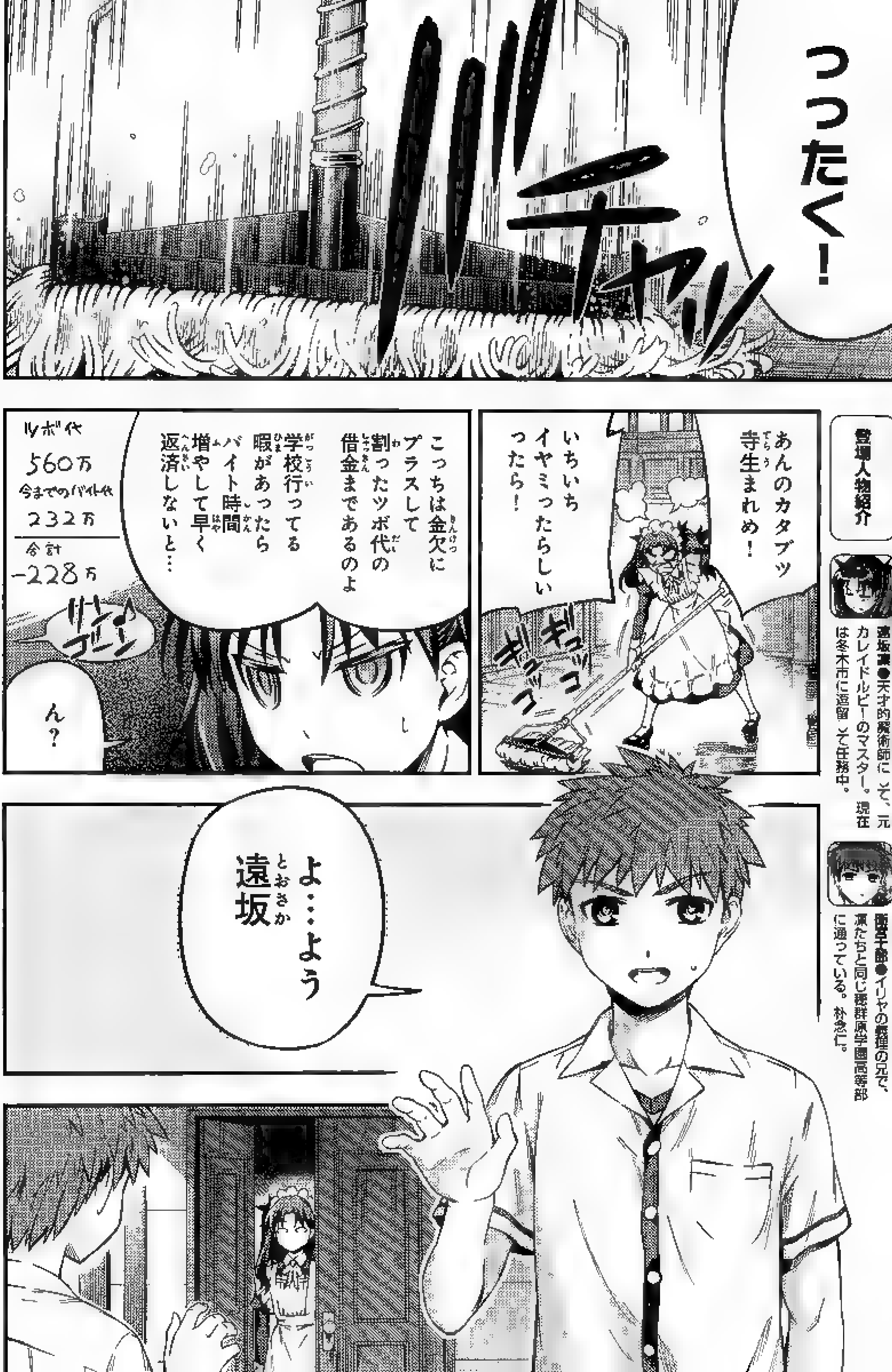

――どうぞご心配なく！
！
留学期間は一年だけ …どうせ来年にはいなくなるわ 気にかけて下さらなくても結構よ
そういうことを言っているのではない！
失礼するわ
おい遠坂 早退の許可は…
……
あー もう…

Fate/kaleid liner プリズマ☆イリヤ ツヴァイ！ PRISMA ILLYA 2wei!

番外編☆彼女たちの事情４

漫画 ひろやまひろし
原作 Fate/stay night（TYPE-MOON）
企画協力 TYPE-MOON

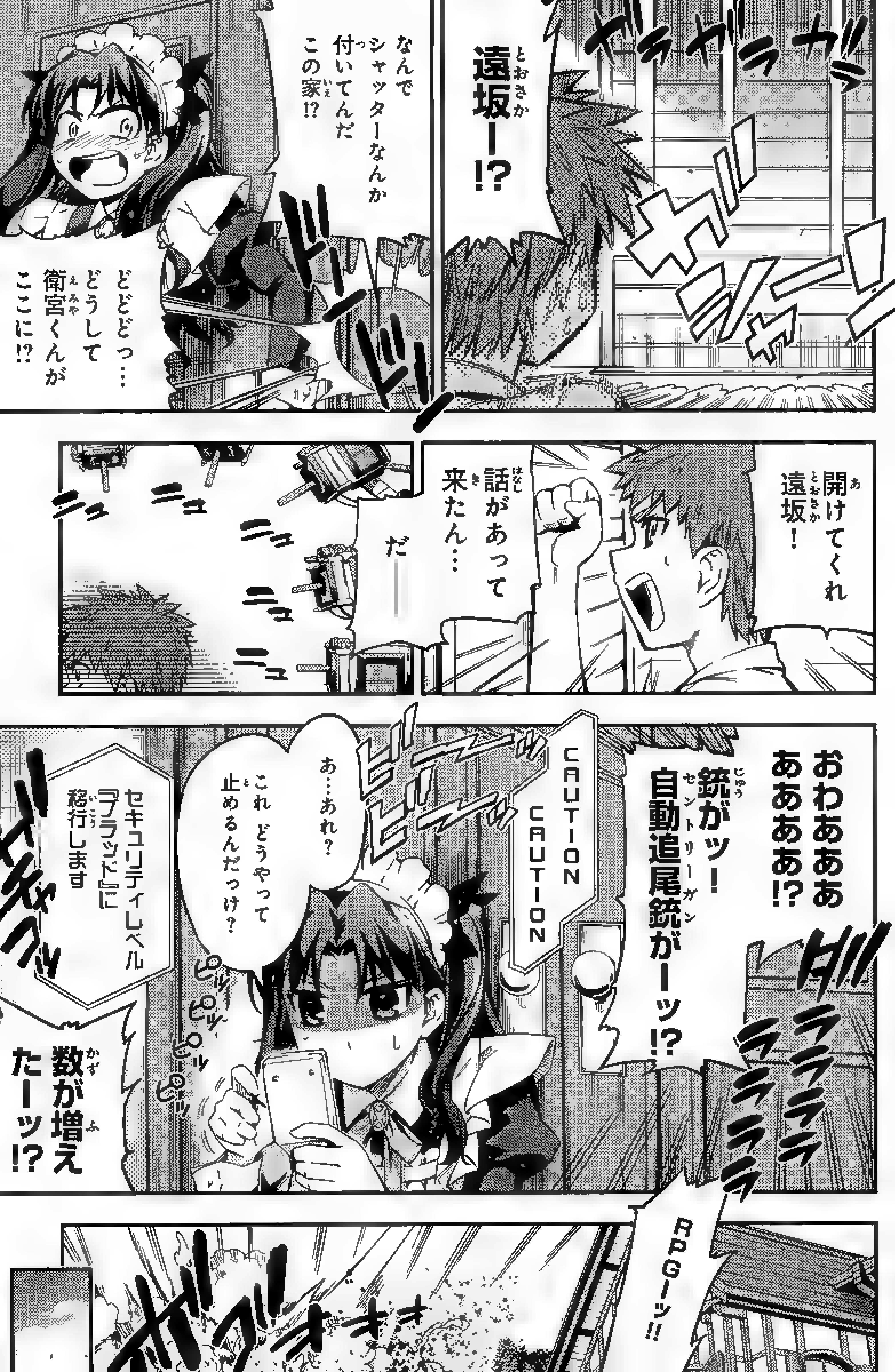
©TYPE-MOON

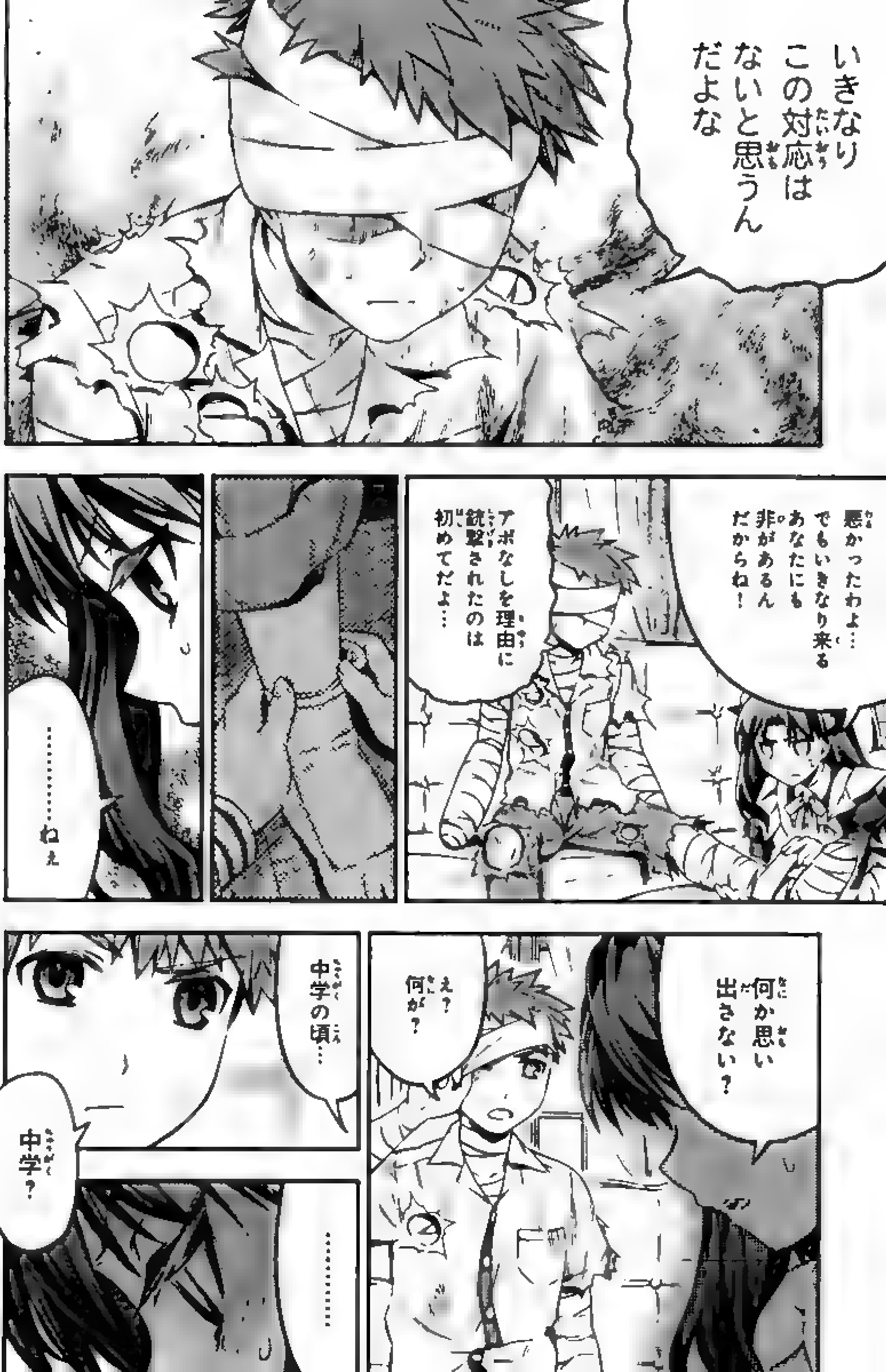

つったく！
バチャッ
あんのカタブツ寺生まれめ！
いちいちイヤミったらしいったら！
ギュッ ギュッ
こっちは金欠にプラスして割ったツボ代の借金まであるのよ
学校行ってる暇があったらバイト時間増やして早く返済しないと…
ツボ代 560万
今までのバイト代 232万
合計 -228万
リーンゴーン
ん？
よ…よう 遠坂

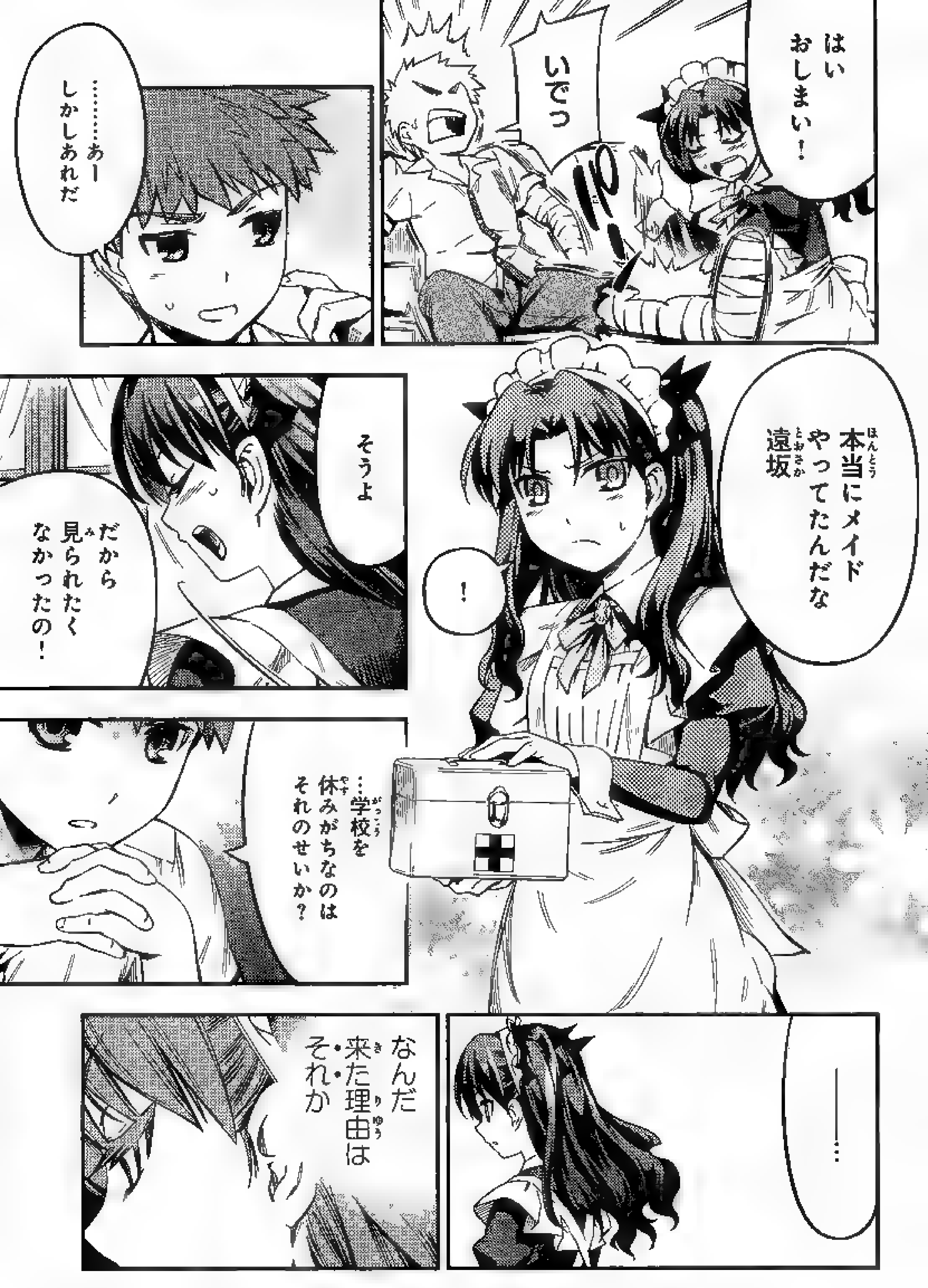
登場人物紹介

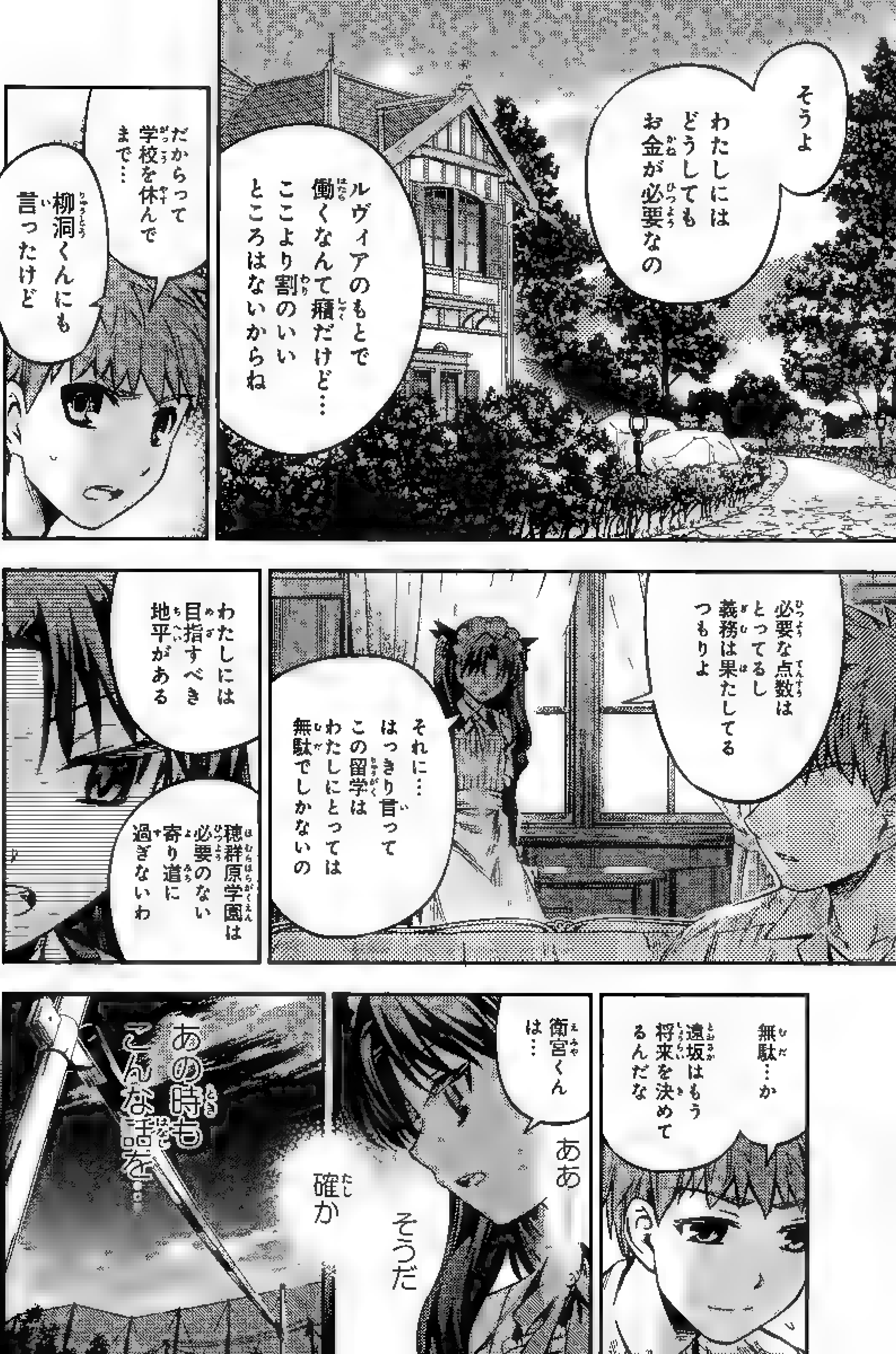
遠坂凛●天才的魔術師にして、元カレイドルビーのマスター。現在は冬木市に逗留して任務中。

衛宮士郎●イリヤの義理の兄で、凛たちと同じ穂群原学園高等部に通っている。朴念仁。


ガラガラガラガ
ガシャーン
遠坂ー!?
なんでシャッターなんか付いてんだこの家!?
ドドドドド
どどどどっ…どうして衛宮くんがここに!?
開けてくれ遠坂！
話があって来たん…
だー
ニュ
ニュ
ニュ
ニュ
ニュ
おわあああああ!?
銃がッ！自動追尾銃（セントリーガン）がーッ!?
ダダダダ
ラララララ
CAUTION
CAUTION
ビーッ
ビーッ
あ…あれ？
これどうやって止めるんだっけ？
ピッ ピッ ピッ ピッ
セキュリティレベル『ブラッド』に移行します
ガシャーン
数が増えたーッ!?
RPGーッ!!
ボガーオオオ

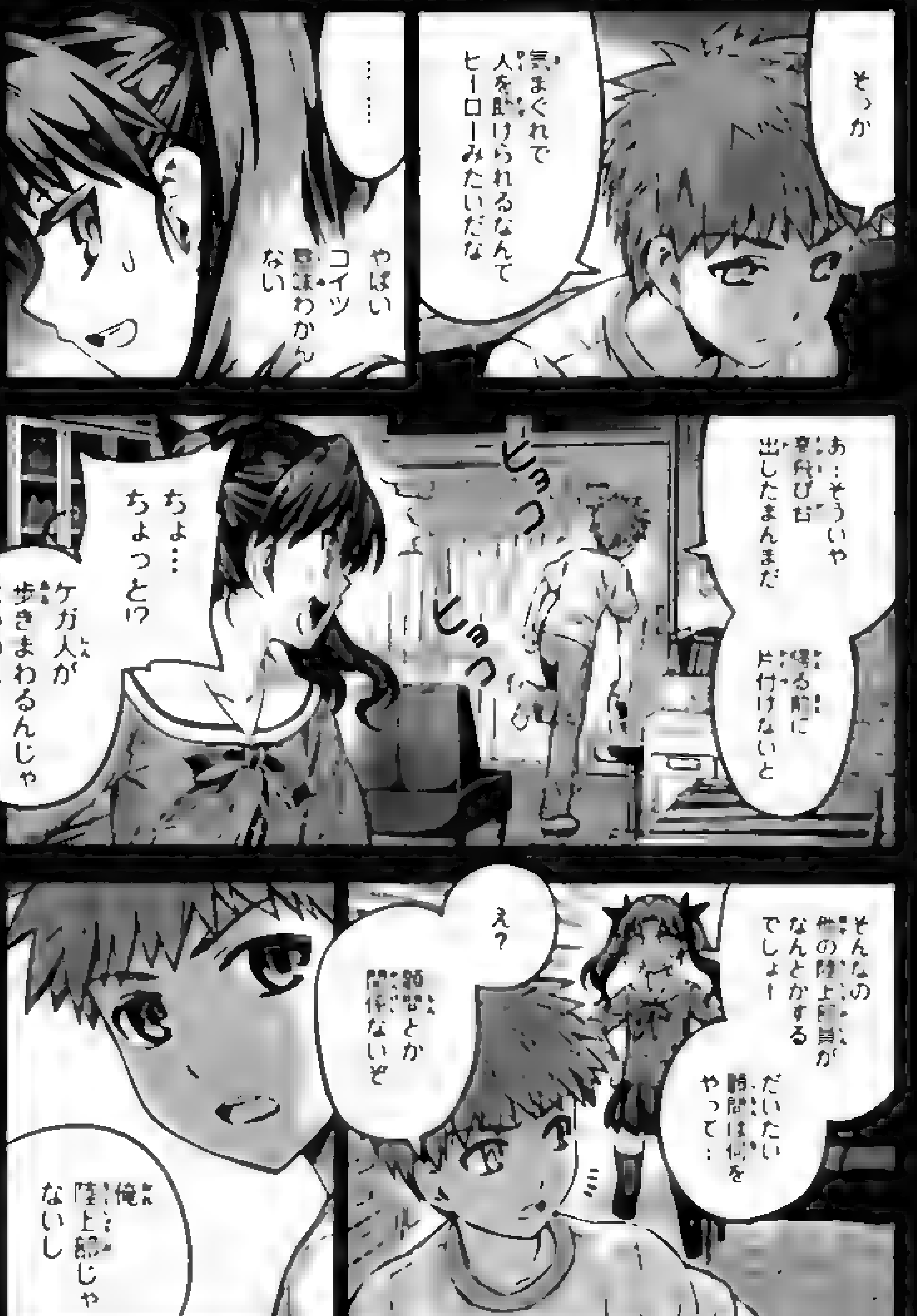

いきなりこの対応はないと思うんだよな
悪かったわよ…でもいきなり来るあなたにも非があるんだからね！
アポなしを理由に銃撃されたのは初めてだよ…
……ねえ
何か思い出さない？
え？何が？
中学の頃…
中学？
……

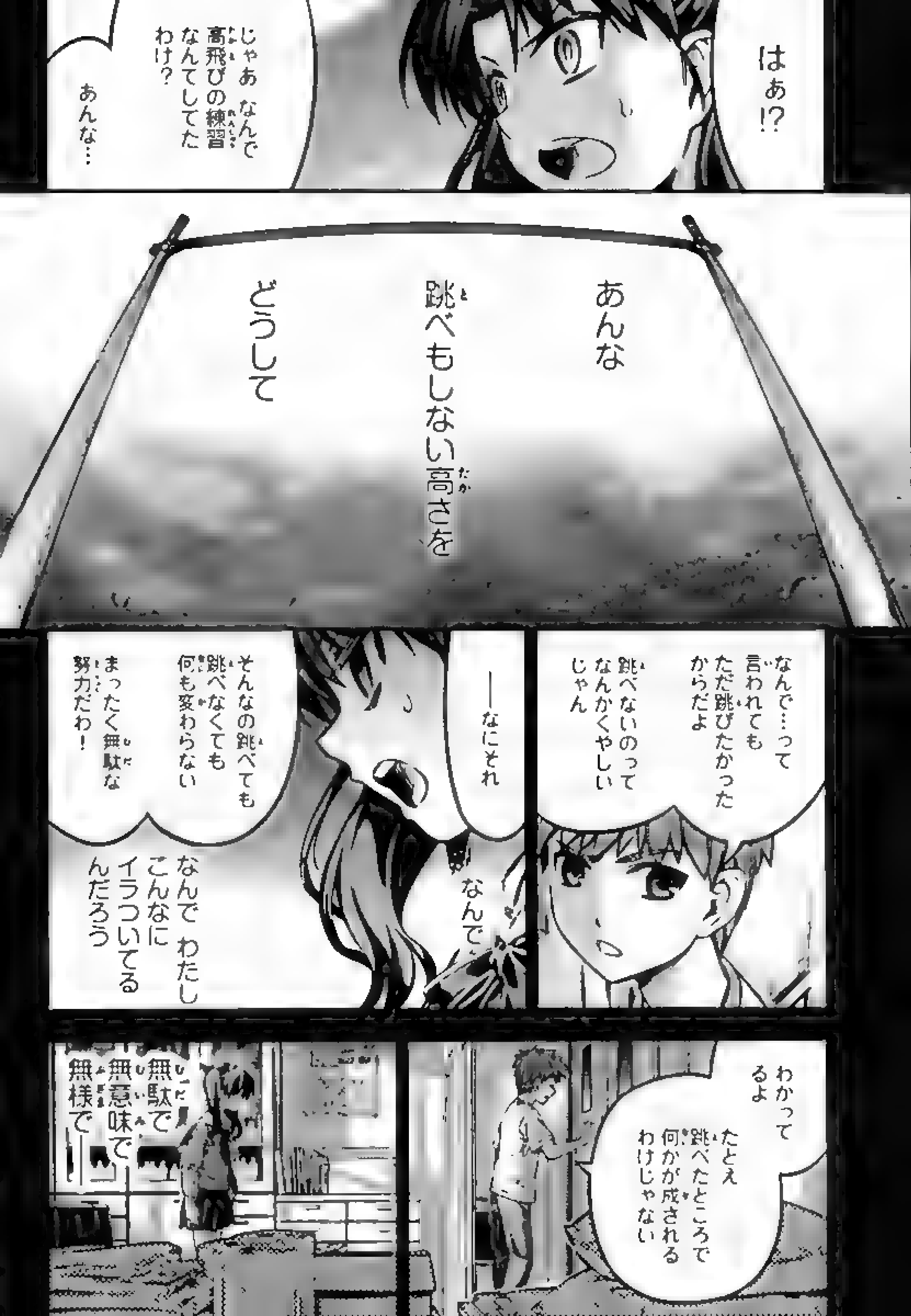

はい
おしまい！
いでっ
パ
……あー
しかしあれだ
本当(ほんとう)にメイド
やってたんだな
遠坂(とおさか)
！
そうよ
だから
見(み)られたく
なかったの！
……学校(がっこう)を
休(やす)みがちなのは
それのせいか？
――……
なんだ
来(き)た理由(りゆう)は
それか


そうよ
わたしにはどうしてもお金が必要なの
ルヴィアのもとで働くなんて癪だけど…ここより割のいいところはないからね
だからって学校を休んでまで…
柳洞くんにも言ったけど
必要な点数はとってるし義務は果たしてるつもりよ
それに…はっきり言ってこの留学はわたしにとっては無駄でしかないの
わたしには目指すべき地平がある
穂群原学園は必要のない寄り道に過ぎないわ
無駄…か
遠坂はもう将来を決めてるんだな
衛宮くんは…
ああ
そうだ
確か
あの時もこんな話を…

！
あーーーもうっ

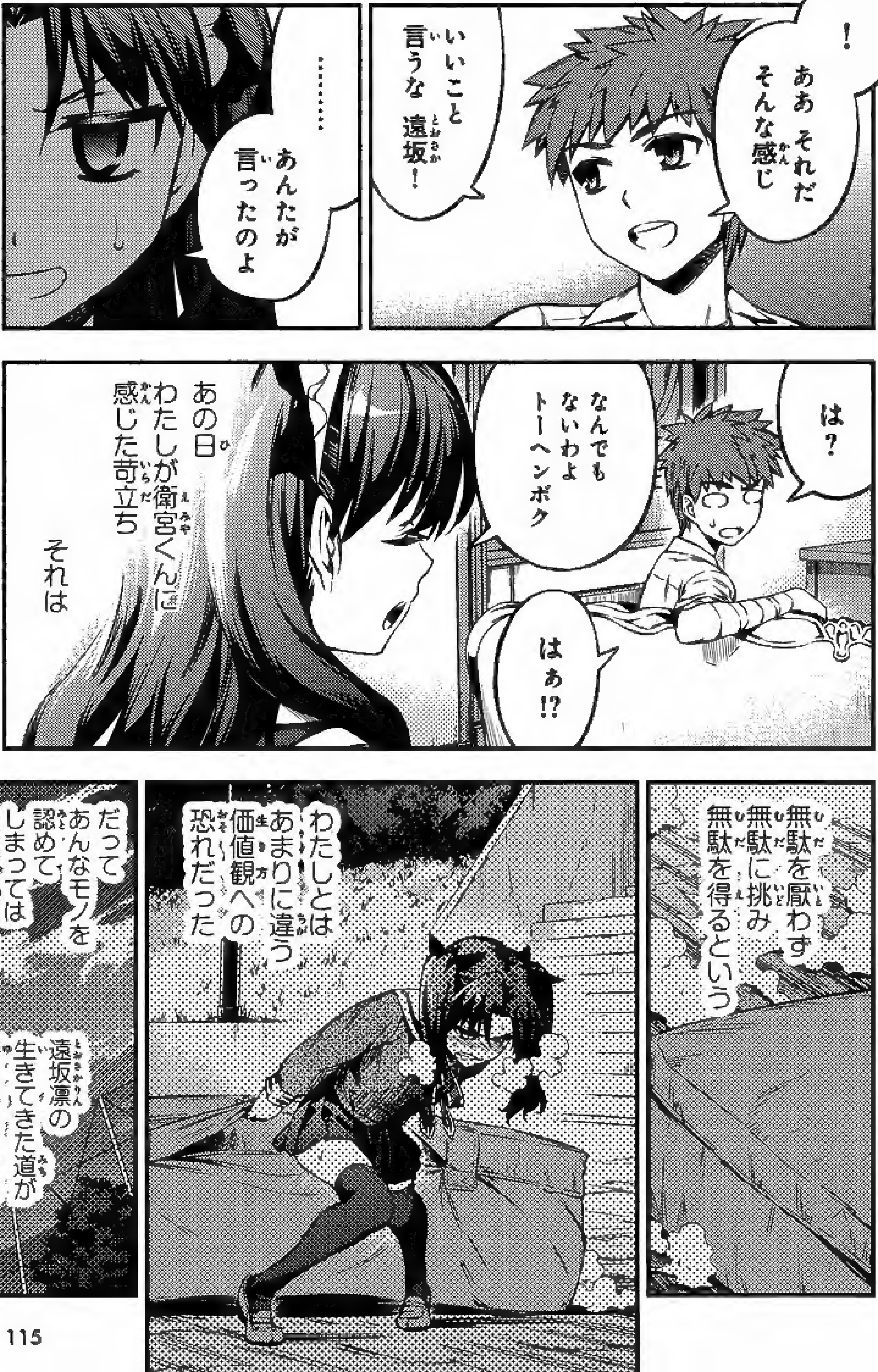
保健室
悪いな
知り合いでもないのに わざわざこんなことまで
いいわよ 別に
[illegible]だったし
いや [illegible] 助かったし
手当してくれて 助かった
あそ…
[illegible]
通りがかった[illegible]
[illegible]
助けたのは ただの気まぐれ… 気の迷いよ
感謝されるほどのことでもないわ

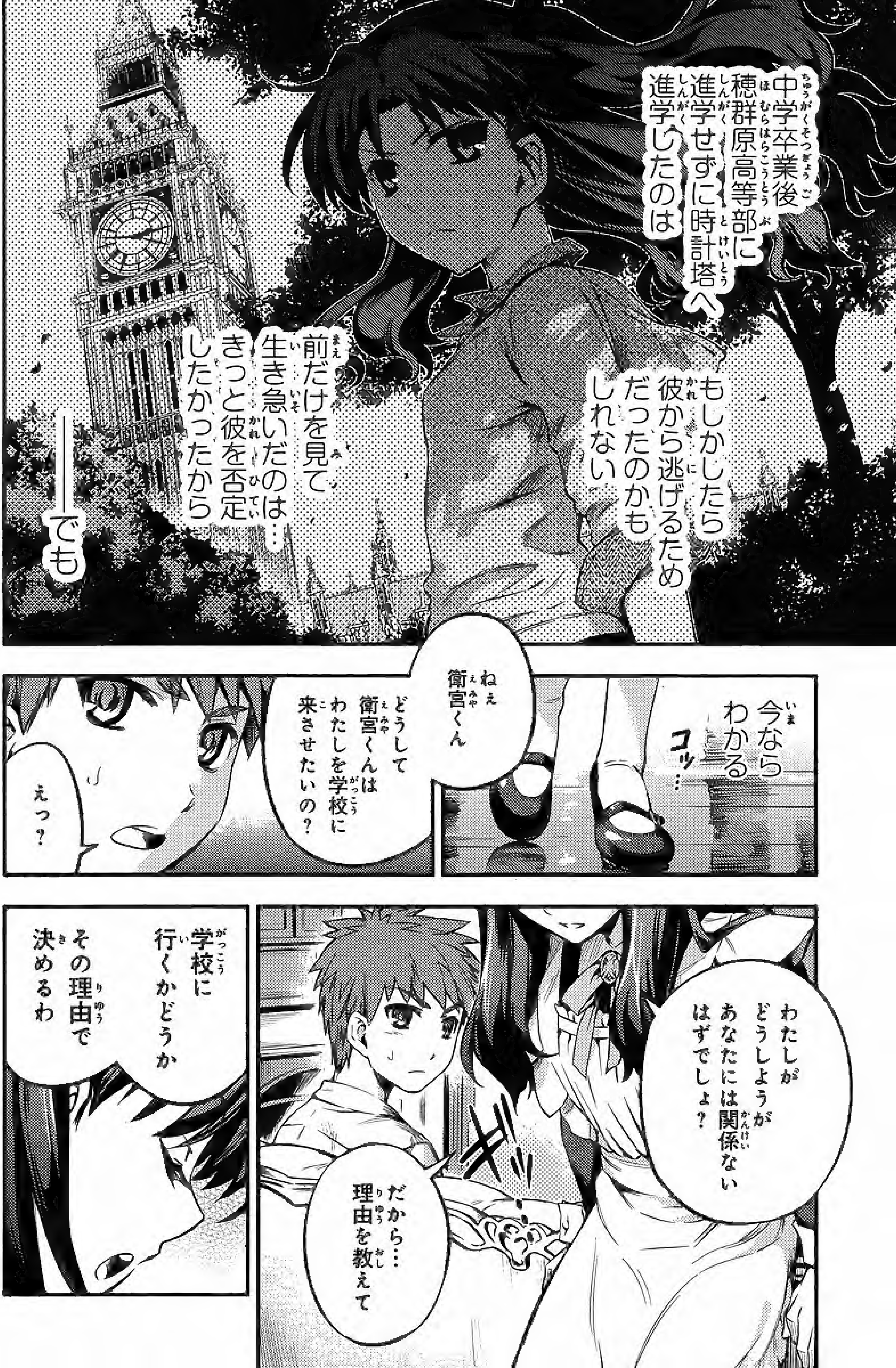

そっか
気まぐれで人を助けられるなんてヒーローみたいだな
……
やばいコイツ意味わかんない
あ…そういや高跳び台出したまんまだ
帰る前に片付けないと
ひょっ
ひょっ
ちょ…ちょっとっ
ケガ人が歩きまわるんじゃないわよ！
そんなの他の陸上部員がなんとかするでしょ！
だいたい顧問は何をやって…
え？
顧問とか関係ないぞ
俺陸上部じゃないし

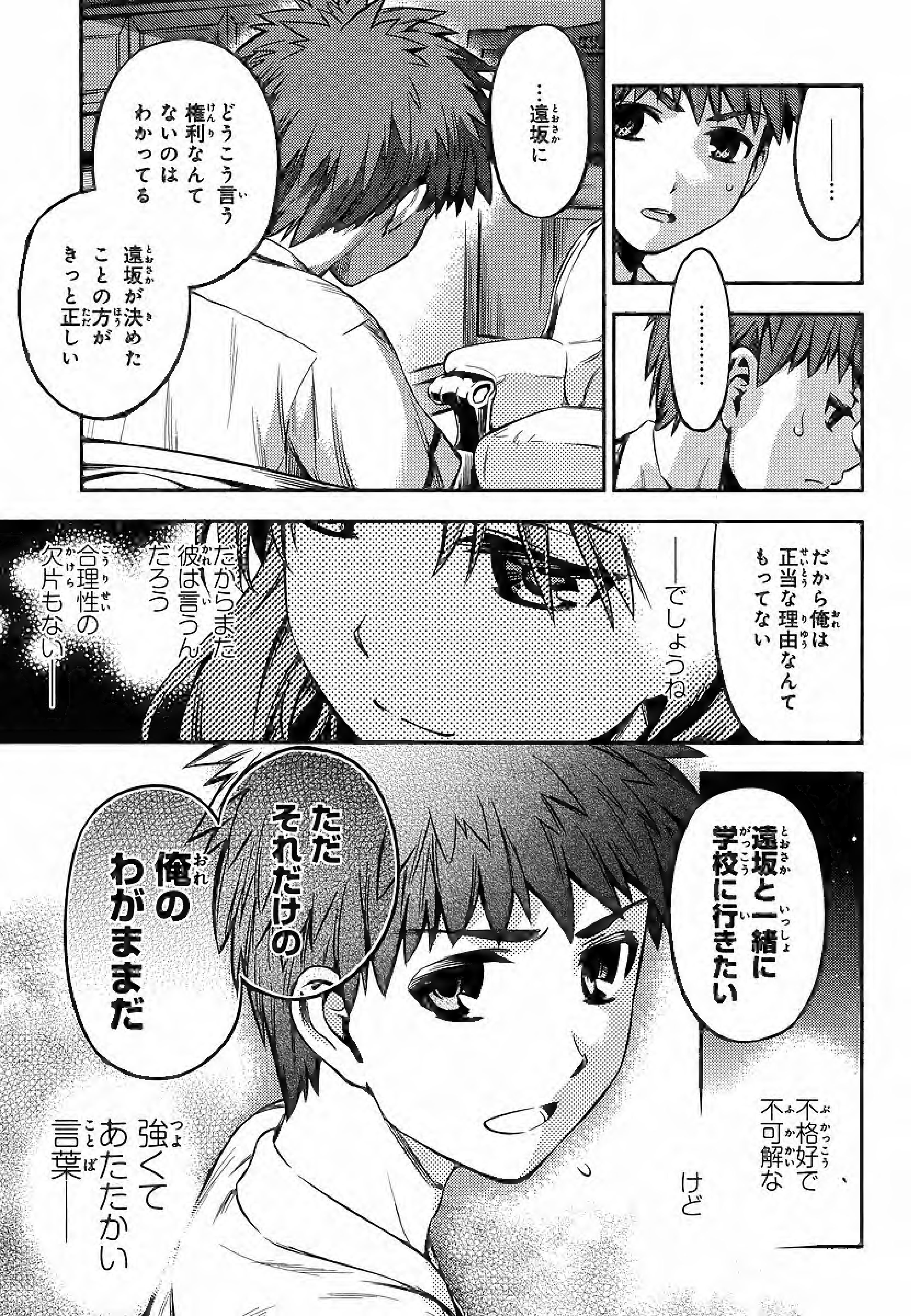

はぁ!?
じゃあ なんで 高飛びの練習 なんてしてた わけ？
あんな…
あんな 跳べもしない高さを どうして
なんで…って 言われても ただ跳びたかった からだよ
跳べないのって なんかくやしい じゃん
——なにそれ
そんなの跳べても 跳べなくても 何も変わらない
まったく無駄な 努力だわ！
なんで…
なんで わたし こんなに イラついてる んだろう
わかって るよ
たとえ 跳べたところで 何かが成される わけじゃない
無駄で 無意味で 無様で——

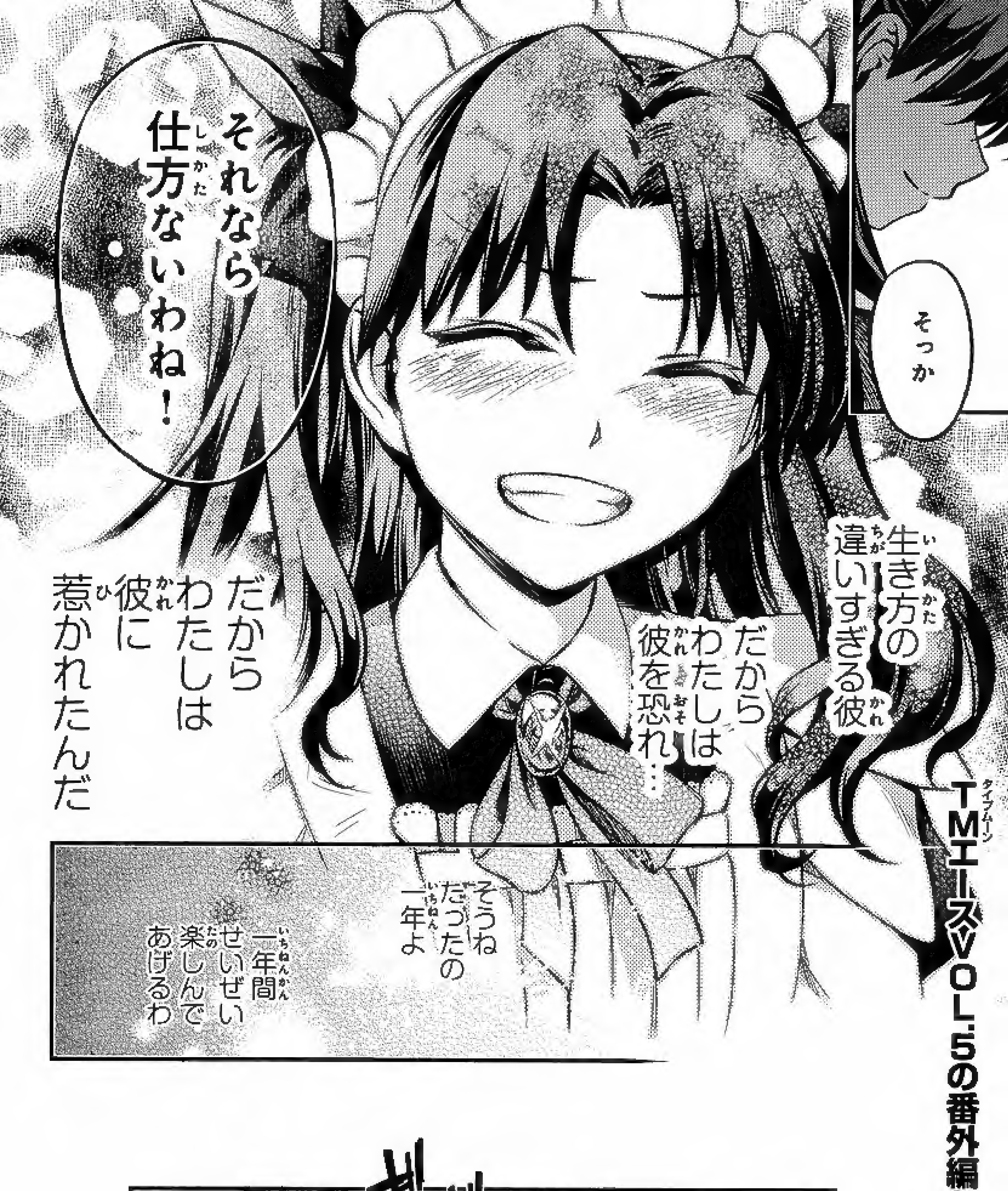
なのに
わたしは
それは
それを
挑戦をやめる
理由には
ならない
とても
綺麗だと…

俺は遠坂の言う
「目指すべき地平」
ってのが何なのかは
知らない
この留学は
役に立たないって
言うんなら たぶん
そうなんだろう
でも
一年だ
たった
一年だろ？
[illegible]くらいの期間
[illegible]へ[illegible]、
使ってみて
くれないか。
そりゃ
遠坂からしたら
[illegible]
学校生活かも
しれないけど
[illegible]
無駄[illegible]なんて
[illegible]
[illegible]と
無駄にするかどうかは
自分次第
ああ くそ
うまく
言えないな


！
ああ それだ そんな感じ
いいこと言うな 遠坂！
……
あんたが言ったのよ
は？
なんでもないわよ トーヘンボク
はぁ⁉
あの日 わたしが衛宮くんに感じた苛立ち
それは
無駄を厭わず 無駄に挑み 無駄を得るという
わたしとはあまりに違う価値観への恐れだった
だってあんなモノを認めてしまっては
遠坂凛の生きてきた道が揺らいでしまう


中学卒業後 穂群原高等部に 進学せずに時計塔へ 進学したのは
もしかしたら 彼から逃げるため だったのかも しれない
前だけを見て 生き急いだのは… きっと彼を否定 したかったから
――でも
今なら わかる
コッ…
ねえ 衛宮くん
どうして 衛宮くんは わたしを学校に 来させたいの？
えっ？
わたしが どうしようが あなたには関係ない はずでしょ？
だから… 理由を教えて
学校に 行くかどうか その理由で 決めるわ


──……
………
……遠坂に
どうこう言う権利なんてないのはわかってる
遠坂が決めたことの方がきっと正しい
だから俺は正当な理由なんてもってない
──でしょうね
だからまた彼は言うんだろう
合理性の欠片もない──
遠坂と一緒に学校に行きたい
ただそれだけの俺のわがままだ
不格好で不可解な、
けど
強くてあたたかい言葉──


そっか
生き方の違いすぎる彼
だからわたしは彼を恐れ…
それなら仕方ないわね！
だからわたしは彼に惹かれたんだ
そうね だったの一年よ
一年間せいぜい楽しんであげるわ
家に急いでオーギュスト！
なにか…とてつもなくイヤな予感がしますわーッ!!
ギャギャギャ
全速力で行きます

TMエースVOL.5の番外編もよろしく！

次号に続く